

令和4年度 病院構造改革推進方策実施状況の自己点検・評価

令和5年9月
病院局

令和4年度 病院構造改革推進方策実施計画の自己点検・評価 目次

★緊急に対応すべき事案（新型コロナウイルス対応）	1
I より良質な医療の提供	
項目1 診療機能の高度化	
（1）がん医療	4
（2）循環器疾患医療	9
（3）糖尿病医療	12
（4）精神医療	13
（5）救急・災害医療	16
（6）小児・周産期医療	19
（7）リハビリテーション医療	21
（8）その他の政策医療	23
項目2 統合再編・建替整備	26
項目3 診療機能の効率化	27
項目4 研究機能の充実	28
II 安心できる県立病院の実現	
項目1 地域医療連携の推進	30
項目2 医療安全対策等の推進	35
項目3 患者サービスの向上	37
項目4 医療の信頼性の向上	40
項目5 県民等への情報発信の推進	41
III 持続可能な経営の確保	
項目1 経営目標の設定と持続的な経営の取組	43
項目2 収益の確保	
（1）患者の受入れ促進等	47
（2）診療機能に見合う収益の確保等	50
（3）その他の収益の確保	53
項目3 費用の抑制	55
IV 安定した医療提供体制の確立	
項目1 効果的・効率的な組織・人員体制の整備	58
項目2 医師確保対策の推進	59

項目3 看護師確保対策の推進	61
項目4 専門人材の充実・確保と人材育成の取組	63
項目5 働きやすい職場づくり	65
項目6 経営形態の検討	66
項目7 安定的な地域医療の提供	67
各県立病院の目標・計画	
経営計画	68

（評価の考え方）

【目標】

評価	考え方
○（概ね）計画通り実施	・計画通りに取組みを実施した項目 （取組項目の達成が8割以上）
△ 計画をやや下回った	・計画した取組みが一部遅滞、一部未実施の項目 （取組項目の達成が6割以上8割未満）
▲ 計画を下回った	・計画した取組みが未実施の項目 （取組項目の達成が6割未満）

【取組項目】

評価	考え方
◎ 計画を上回る	・計画以上の取組みを実施 （目標を2割以上上回る達成）
○（概ね）計画通り実施	・計画通りに取組みを実施した項目 （取組項目の達成が8割以上）
△ 計画をやや下回った	・計画した取組みが一部遅滞、一部未実施の項目 （取組項目の達成が6割以上8割未満）
▲ 計画を下回った	・計画した取組みが未実施の項目 （取組項目の達成が6割未満）

※取組項目の評価理由について、新型コロナウイルスの影響によるものには【コ】と記載

★緊急に対応すべき事案（新型コロナウイルス対応）

実施計画の自己点検・評価

実施計画	評価	説明	実施状況・現況（令和5年5月の状況等）																																																																																																																																																																																																
<p>【目標】</p> <p>県民の命を守る最後の砦としての使命を果たすべく、フェーズに応じた新型コロナウイルス感染症患者対応に、収束局面を迎えるまで全力で取り組む。</p> <p>「新型コロナウイルス感染症拠点病院」である加古川医療センター、「新型コロナウイルス感染症重症等特定病院」である尼崎総合医療センターを中心に、重症者対策の強化を図る。</p> <p>また、第二種感染症指定医療機関の指定を受けている丹波医療センター、淡路医療センターをはじめ、その他の病院でも地域の医療体制の状況等を踏まえ、患者受入等を実施する。</p> <p>その他、コロナウイルス感染症対策の課題等については今後十分に検証し、それらを基に病院運営における必要な見直しを行っていく。</p>	○	<p>【説明】</p> <p>一般病棟の転用により病床を確保し、積極的に患者を受け入れる等、新型コロナウイルス対応に全力で取り組んだ。</p> <p>なお、感染症対応により診療を一部制限することがあったものの、早期に治療が必要な患者については遅滞なく対応したほか、地域の医療機関と密に連携し、地域全体に必要な医療の提供に取り組んだ。</p>																																																																																																																																																																																																	
<p>【取組項目】</p> <p>1 病床確保・受入体制の維持</p> <p>重症患者については、加古川医療センターに整備した臨時重症病棟の活用及び、ICU（集中治療室）やHCU（高度治療室）の転用により対応する。</p> <p>また、中軽症患者については、感染症指定医療機関である県立病院を中心に、新規陽性患者の発生状況に応じて、感染症病床に加え、一般病棟を新型コロナウイルス感染症対応病棟に転用することにより対応し、病床確保に取り組む。</p> <p>加えて、新型コロナが軽症の精神疾患患者や小児重症患者に対応するため、ひょうごこころの医療センターやこども病院で病床を確保する。</p> <p>これらの病床の運用にあたっては、職員の病棟間での応援や県立病院間での派遣等により必要なマンパワーを確保する。</p> <p>2 院内感染防止対策の推進</p> <p>陽性患者や疑い患者を受け入れる県立病院では、病棟や外来における適切なゾーニングの実施のほか、発熱外来の設置や一般患者と区別した待合室の整備など、患者や職員の動線を分離して対応する。</p> <p>また、個人防護具の着用や手指衛生の徹底など標準予防策を遵守するとともに、WEB面談やWEB面会の実施に向けたタブレットの導入など、院内感染防止対策を推進する。</p> <p>3 整備・計画中の病院に係る新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>(1) はりま姫路総合医療センター 播磨姫路圏域における感染症対応の機能強化を図るため、重症患者も含め、感染患者に対応可能な病室を確保し、運用を開始する。</p> <p>(2) 西宮総合医療センター（仮称） 感染患者が他の患者と交錯しない通路・専用入口並びに陰圧設備を配した専用診察室・病室等を設計に反映し、整備する。</p> <p>(3) がんセンター 感染の有無を確認するトリアージ室の充実や来院者の動線計画、入院患者が感染症に罹った場合に備える感染対応個室の整備等について設計に反映する。</p>	○	<p>はりま姫路総合医療センター、がんセンターにおいて、新型コロナウイルス感染症病床を新たに確保したほか、各病院で積極的に患者を受入</p> <p>発熱患者に対しては、適切にゾーニングした待合室等で対応したほか、WEB面談・面会の対応を実施</p> <p>感染拡大時を想定し、必要な整備を設計に反映（姫路：R4.7～感染患者対応病室運用開始）</p>	<p>1 病床確保・受入体制の維持</p> <p>①最大確保病床数（R5.5.8～9月末まで）</p> <p>県移行計画に基づき、通常医療とのバランスを考慮しながら、感染小児期と流行期の2段階のフェーズにおいて一定のコロナ対応病床を確保</p> <table border="1" data-bbox="1272 491 2114 890"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">確保病床数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>小児期</th> <th>流行期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>第二種感染症指定医療機関</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>10</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>9</td> <td>26</td> <td>第一種・第二種感染症指定医療機関</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>急性期疾患の治療を有する患者に対応</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>11</td> <td>15</td> <td>第二種感染症指定医療機関</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>11</td> <td>17</td> <td>第二種感染症指定医療機関</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>軽症の精神疾患患者に対応</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>小児の中等症・重症患者に対応</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>軽症のがん患者に対応</td> </tr> <tr> <td>災害</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 (対全県割合)</td> <td>97 (6.9%)</td> <td>132 (9.4%)</td> <td>全県確保病床数：1,401床 ※R5.5.2時点 [うち重症101床]</td> </tr> </tbody> </table> <p>②患者受入れ状況（第1波から5類移行時点（R5.5.8）まで）</p> <table border="1" data-bbox="1240 932 2163 1378"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th rowspan="2">延べ入院患者数</th> <th colspan="10">実入院患者数</th> </tr> <tr> <th>第1波 (R2.3～5)</th> <th>第2波 (R2.6～10)</th> <th>第3波 (R2.11～R3.2)</th> <th>第4波 (R3.3～6)</th> <th>第5波 (R3.7～12)</th> <th>第6波 (R4.1～6)</th> <th>第7波 (R4.7～9)</th> <th>第8波 (R4.10～R5.1)</th> <th>第8波以降 (R5.2～5)</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>26,584</td> <td>105</td> <td>247</td> <td>317</td> <td>228</td> <td>184</td> <td>293</td> <td>344</td> <td>322</td> <td>55</td> <td>2,095</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>8,424</td> <td>22</td> <td>128</td> <td>163</td> <td>107</td> <td>137</td> <td>172</td> <td>123</td> <td>130</td> <td>36</td> <td>1,018</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>30,216</td> <td>65</td> <td>153</td> <td>418</td> <td>217</td> <td>321</td> <td>425</td> <td>268</td> <td>292</td> <td>51</td> <td>2,210</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>6,183</td> <td>3</td> <td>53</td> <td>116</td> <td>88</td> <td>88</td> <td>50</td> <td>105</td> <td>143</td> <td>39</td> <td>685</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>6,097</td> <td>21</td> <td>26</td> <td>72</td> <td>60</td> <td>35</td> <td>101</td> <td>89</td> <td>104</td> <td>26</td> <td>534</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>6,876</td> <td>11</td> <td>22</td> <td>106</td> <td>79</td> <td>112</td> <td>203</td> <td>135</td> <td>114</td> <td>21</td> <td>803</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>2,493</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>27</td> <td>20</td> <td>29</td> <td>45</td> <td>30</td> <td>39</td> <td>7</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>1,737</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>11</td> <td>15</td> <td>102</td> <td>98</td> <td>83</td> <td>12</td> <td>322</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>1,845</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>36</td> <td>35</td> <td>16</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>90,455</td> <td>227</td> <td>634</td> <td>1,220</td> <td>810</td> <td>921</td> <td>1,392</td> <td>1,228</td> <td>1,262</td> <td>263</td> <td>7,957</td> </tr> </tbody> </table> <p>※姫路：R4.4以前は姫路循環器病センターにおける入院患者数</p> <p>【県立病院の延入院患者数・県内延入院患者数のうち県立病院の受入れ割合（R2.3～R5.5）】 90,455人・14.7%（割合は、EMIS（広域災害・救急医療情報システム）から算出）</p>	病院名	確保病床数		備考	小児期	流行期	尼崎	15	15	第二種感染症指定医療機関	西宮	10	10		加古川	9	26	第一種・第二種感染症指定医療機関	姫路	13	17	急性期疾患の治療を有する患者に対応	丹波	11	15	第二種感染症指定医療機関	淡路	11	17	第二種感染症指定医療機関	こころ	8	8	軽症の精神疾患患者に対応	こども	7	11	小児の中等症・重症患者に対応	がん	10	10	軽症のがん患者に対応	災害	3	3		合計 (対全県割合)	97 (6.9%)	132 (9.4%)	全県確保病床数：1,401床 ※R5.5.2時点 [うち重症101床]	病院名	延べ入院患者数	実入院患者数										第1波 (R2.3～5)	第2波 (R2.6～10)	第3波 (R2.11～R3.2)	第4波 (R3.3～6)	第5波 (R3.7～12)	第6波 (R4.1～6)	第7波 (R4.7～9)	第8波 (R4.10～R5.1)	第8波以降 (R5.2～5)	計	尼崎	26,584	105	247	317	228	184	293	344	322	55	2,095	西宮	8,424	22	128	163	107	137	172	123	130	36	1,018	加古川	30,216	65	153	418	217	321	425	268	292	51	2,210	姫路	6,183	3	53	116	88	88	50	105	143	39	685	丹波	6,097	21	26	72	60	35	101	89	104	26	534	淡路	6,876	11	22	106	79	112	203	135	114	21	803	こころ	2,493	0	5	27	20	29	45	30	39	7	202	こども	1,737	0	0	1	11	15	102	98	83	12	322	がん	1,845	—	—	—	—	—	1	36	35	16	88	合計	90,455	227	634	1,220	810	921	1,392	1,228	1,262	263	7,957
病院名	確保病床数		備考																																																																																																																																																																																																
	小児期	流行期																																																																																																																																																																																																	
尼崎	15	15	第二種感染症指定医療機関																																																																																																																																																																																																
西宮	10	10																																																																																																																																																																																																	
加古川	9	26	第一種・第二種感染症指定医療機関																																																																																																																																																																																																
姫路	13	17	急性期疾患の治療を有する患者に対応																																																																																																																																																																																																
丹波	11	15	第二種感染症指定医療機関																																																																																																																																																																																																
淡路	11	17	第二種感染症指定医療機関																																																																																																																																																																																																
こころ	8	8	軽症の精神疾患患者に対応																																																																																																																																																																																																
こども	7	11	小児の中等症・重症患者に対応																																																																																																																																																																																																
がん	10	10	軽症のがん患者に対応																																																																																																																																																																																																
災害	3	3																																																																																																																																																																																																	
合計 (対全県割合)	97 (6.9%)	132 (9.4%)	全県確保病床数：1,401床 ※R5.5.2時点 [うち重症101床]																																																																																																																																																																																																
病院名	延べ入院患者数	実入院患者数																																																																																																																																																																																																	
		第1波 (R2.3～5)	第2波 (R2.6～10)	第3波 (R2.11～R3.2)	第4波 (R3.3～6)	第5波 (R3.7～12)	第6波 (R4.1～6)	第7波 (R4.7～9)	第8波 (R4.10～R5.1)	第8波以降 (R5.2～5)	計																																																																																																																																																																																								
尼崎	26,584	105	247	317	228	184	293	344	322	55	2,095																																																																																																																																																																																								
西宮	8,424	22	128	163	107	137	172	123	130	36	1,018																																																																																																																																																																																								
加古川	30,216	65	153	418	217	321	425	268	292	51	2,210																																																																																																																																																																																								
姫路	6,183	3	53	116	88	88	50	105	143	39	685																																																																																																																																																																																								
丹波	6,097	21	26	72	60	35	101	89	104	26	534																																																																																																																																																																																								
淡路	6,876	11	22	106	79	112	203	135	114	21	803																																																																																																																																																																																								
こころ	2,493	0	5	27	20	29	45	30	39	7	202																																																																																																																																																																																								
こども	1,737	0	0	1	11	15	102	98	83	12	322																																																																																																																																																																																								
がん	1,845	—	—	—	—	—	1	36	35	16	88																																																																																																																																																																																								
合計	90,455	227	634	1,220	810	921	1,392	1,228	1,262	263	7,957																																																																																																																																																																																								

実施計画	評価	説明	実施状況・現況（令和5年5月の状況等）																											
			<p>③人的支援の状況</p> <p>○県立病院間の職員派遣実績 新型コロナウイルス感染症患者受入病床拡大への対応及び検査体制支援・研修のため、県立病院間で職員を派遣 （単位：人）</p> <table border="1" data-bbox="1301 284 2152 512"> <thead> <tr> <th rowspan="2">派遣先</th> <th colspan="2">派遣元</th> </tr> <tr> <th>第1波～第4波（～R3.3）</th> <th>第4波（R3.4～）以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>看護師：15（西宮、こども、がん、姫路）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>看護師：66（がん、姫路） 検査技師：9（尼崎、西宮、丹波、淡路、がん、姫路、リハ西）</td> <td>医師：11（淡路、こども、姫路、災害、公立豊岡、神戸大） 看護師：41（尼崎、西宮、丹波、淡路、こども、がん、姫路） ※臨時重症専用病棟の運用に係る派遣</td> </tr> </tbody> </table> <p>○宿泊療養施設への医師派遣 宿泊療養施設における医療ケアの充実を図るため、医師を派遣し療養者の健康管理を実施 ・西宮：令和3年2月3日～10日 ・災害：令和3年1月14日～2月17日、以降も随時往診を実施</p> <p>○沖縄県への看護師派遣 沖縄県からの要請に基づき看護師を派遣 （単位：人）</p> <table border="1" data-bbox="1301 695 2152 762"> <thead> <tr> <th></th> <th>第2波（R2.8.27～9.11）</th> <th>第4波（R3.6.7～6.22）</th> <th>第6波（R4.1.18～2.2）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>9（丹波、淡路、がん）</td> <td>6（淡路、がん）</td> <td>5（丹波、淡路）</td> </tr> </tbody> </table> <p>○感染管理認定看護師による各施設への訪問指導 福祉施設や医療機関内での感染拡大を防ぐため、感染管理認定看護師が施設を訪問し、感染防止対策等を指導 （単位：回）</p> <table border="1" data-bbox="1301 855 2152 922"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>4（こころ、姫路）</td> <td>5（西宮、淡路、姫路）</td> <td>9（丹波）</td> </tr> </tbody> </table>	派遣先	派遣元		第1波～第4波（～R3.3）	第4波（R3.4～）以降	尼崎	看護師：15（西宮、こども、がん、姫路）	—	加古川	看護師：66（がん、姫路） 検査技師：9（尼崎、西宮、丹波、淡路、がん、姫路、リハ西）	医師：11（淡路、こども、姫路、災害、公立豊岡、神戸大） 看護師：41（尼崎、西宮、丹波、淡路、こども、がん、姫路） ※臨時重症専用病棟の運用に係る派遣		第2波（R2.8.27～9.11）	第4波（R3.6.7～6.22）	第6波（R4.1.18～2.2）	人数	9（丹波、淡路、がん）	6（淡路、がん）	5（丹波、淡路）		R2	R3	R4	回数	4（こころ、姫路）	5（西宮、淡路、姫路）	9（丹波）
派遣先	派遣元																													
	第1波～第4波（～R3.3）	第4波（R3.4～）以降																												
尼崎	看護師：15（西宮、こども、がん、姫路）	—																												
加古川	看護師：66（がん、姫路） 検査技師：9（尼崎、西宮、丹波、淡路、がん、姫路、リハ西）	医師：11（淡路、こども、姫路、災害、公立豊岡、神戸大） 看護師：41（尼崎、西宮、丹波、淡路、こども、がん、姫路） ※臨時重症専用病棟の運用に係る派遣																												
	第2波（R2.8.27～9.11）	第4波（R3.6.7～6.22）	第6波（R4.1.18～2.2）																											
人数	9（丹波、淡路、がん）	6（淡路、がん）	5（丹波、淡路）																											
	R2	R3	R4																											
回数	4（こころ、姫路）	5（西宮、淡路、姫路）	9（丹波）																											

実施計画	評価	説明	実施状況・現況（令和5年5月の状況等）																																						
			<p>3 整備・計画中の病院に係る新型コロナウイルス感染症対策</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西宮総合医療センター（仮称）</td> <td>感染患者が他の患者と交錯しない通路、専用入口、陰圧対応の専用診察室・病室等の整備を設計に反映した。</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>トリージング室の充実や来院者の動線計画に加え、入院患者の感染時に備え、感染対応個室の整備を設計に反映した。</td> </tr> </tbody> </table> <p>○大学等との連携による調査・研究の推進</p> <p>【血清疫学調査の概要（R2～R4）】</p> <p>(1) 実施目的 神戸大学と連携し、感染後に無症状のまま治癒した者を含む、抗体保有者の状況を調査することで、感染拡大規模等を科学的に分析</p> <p>(2) 事業主体 神戸大学医学部</p> <p>(3) 協力 兵庫県病院局</p> <p>【共同研究の成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>抗体検査の先行実施</td> <td>加古川医療センターのスタッフ508名を対象に実施した抗体検査では、全員抗体が検出されず、標準的なウイルス防護措置の有用性を確認（R2.5）</td> </tr> <tr> <td>中和抗体・サイトカインの測定</td> <td>加古川医療センターに入院中の感染患者の血清を用いて、中和抗体及びサイトカインの測定を実施し、全ての感染患者への中和抗体の産出と、重症度の高い患者ほど中和抗体価が高いことを確認（R2.8）</td> </tr> <tr> <td>大規模血清疫学調査①</td> <td>尼崎総合医療センター、西宮病院、こども病院等、県内の5病院1施設提供の10,377人の血清中における新型コロナウイルス抗体の有無を多角的に解析した結果、中和抗体の保有率がわずか0.15%と、県内の感染率が極めて低いことを確認（R2.12）</td> </tr> <tr> <td>大規模血清疫学調査②</td> <td>健康財団提供の1,000人の血清中における抗体の有無を解析したところ、感染歴のある人が2.1%おり、PCR検査に基づいた感染率である0.85%と比較して2.5倍の人が実際に感染していたことから、一定数の不顕性感染者や検出されていない軽症者が存在していることを確認。また、高齢者の多くはワクチン接種における抗体を保有しており、ワクチンの優先接種が感染拡大を抑制したことを確認（R3.9）</td> </tr> <tr> <td>大規模血清疫学調査③</td> <td>①健康財団の1,000人の血清中における抗体の有無を解析したところ、血清中の抗Sタンパク質抗体（主にワクチン接種者に存在）の保有率は90.8%に達しており、ワクチン接種率との相関を確認。また、R3.8時点の調査と比較し、全ての年代において、血清中の抗Sタンパク質抗体の保有量が減少しており、接種後の時間経過に伴うワクチン効果の減衰を確認（R4.1） ②ワクチンのブースター接種を受けた72人の全員がオミクロン株に対する中和抗体を獲得していることを確認（R4.1）</td> </tr> <tr> <td>大規模血清疫学調査④</td> <td>ワクチンを3回接種した神戸大学医学部附属病院の医師40名を対象に、2回接種後約7か月、および3回目（ブースター）接種後の血清中のオミクロンB.A.2株に対する中和抗体を測定したところ、ブースター接種による上昇を確認（R4.4）</td> </tr> <tr> <td>ユニバーサル中和抗体の開発</td> <td>幅広いウイルスに中和活性を持つユニバーサル中和抗体を開発（R4.10）</td> </tr> </tbody> </table> <p>【市民公開講座「これだけは知っておきたい 新型コロナウイルス感染症」の開催】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>県の役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第68回 日本ウイルス学会学術集会 市民公開講座</td> <td>令和3年11月15日</td> <td>神戸新聞松方ホール</td> <td>兵庫県共催</td> </tr> <tr> <td>市民公開講座</td> <td>令和4年3月10日</td> <td>県立但馬文教府</td> <td>兵庫県病院局主催（神戸大学との共同主催）、但馬県民局共催</td> </tr> <tr> <td>市民公開講座</td> <td>令和4年12月15日</td> <td>アクリエひめじ</td> <td>兵庫県病院局主催（神戸大学との共同主催）、はりま姫路総合医療センター共催、中播磨県民センター後援</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	内容	西宮総合医療センター（仮称）	感染患者が他の患者と交錯しない通路、専用入口、陰圧対応の専用診察室・病室等の整備を設計に反映した。	がんセンター	トリージング室の充実や来院者の動線計画に加え、入院患者の感染時に備え、感染対応個室の整備を設計に反映した。	項目	実績	抗体検査の先行実施	加古川医療センターのスタッフ508名を対象に実施した抗体検査では、全員抗体が検出されず、標準的なウイルス防護措置の有用性を確認（R2.5）	中和抗体・サイトカインの測定	加古川医療センターに入院中の感染患者の血清を用いて、中和抗体及びサイトカインの測定を実施し、全ての感染患者への中和抗体の産出と、重症度の高い患者ほど中和抗体価が高いことを確認（R2.8）	大規模血清疫学調査①	尼崎総合医療センター、西宮病院、こども病院等、県内の5病院1施設提供の10,377人の血清中における新型コロナウイルス抗体の有無を多角的に解析した結果、中和抗体の保有率がわずか0.15%と、県内の感染率が極めて低いことを確認（R2.12）	大規模血清疫学調査②	健康財団提供の1,000人の血清中における抗体の有無を解析したところ、感染歴のある人が2.1%おり、PCR検査に基づいた感染率である0.85%と比較して2.5倍の人が実際に感染していたことから、一定数の不顕性感染者や検出されていない軽症者が存在していることを確認。また、高齢者の多くはワクチン接種における抗体を保有しており、ワクチンの優先接種が感染拡大を抑制したことを確認（R3.9）	大規模血清疫学調査③	①健康財団の1,000人の血清中における抗体の有無を解析したところ、血清中の抗Sタンパク質抗体（主にワクチン接種者に存在）の保有率は90.8%に達しており、ワクチン接種率との相関を確認。また、R3.8時点の調査と比較し、全ての年代において、血清中の抗Sタンパク質抗体の保有量が減少しており、接種後の時間経過に伴うワクチン効果の減衰を確認（R4.1） ②ワクチンのブースター接種を受けた72人の全員がオミクロン株に対する中和抗体を獲得していることを確認（R4.1）	大規模血清疫学調査④	ワクチンを3回接種した神戸大学医学部附属病院の医師40名を対象に、2回接種後約7か月、および3回目（ブースター）接種後の血清中のオミクロンB.A.2株に対する中和抗体を測定したところ、ブースター接種による上昇を確認（R4.4）	ユニバーサル中和抗体の開発	幅広いウイルスに中和活性を持つユニバーサル中和抗体を開発（R4.10）	名称	開催日	場所	県の役割	第68回 日本ウイルス学会学術集会 市民公開講座	令和3年11月15日	神戸新聞松方ホール	兵庫県共催	市民公開講座	令和4年3月10日	県立但馬文教府	兵庫県病院局主催（神戸大学との共同主催）、但馬県民局共催	市民公開講座	令和4年12月15日	アクリエひめじ	兵庫県病院局主催（神戸大学との共同主催）、はりま姫路総合医療センター共催、中播磨県民センター後援
病院名	内容																																								
西宮総合医療センター（仮称）	感染患者が他の患者と交錯しない通路、専用入口、陰圧対応の専用診察室・病室等の整備を設計に反映した。																																								
がんセンター	トリージング室の充実や来院者の動線計画に加え、入院患者の感染時に備え、感染対応個室の整備を設計に反映した。																																								
項目	実績																																								
抗体検査の先行実施	加古川医療センターのスタッフ508名を対象に実施した抗体検査では、全員抗体が検出されず、標準的なウイルス防護措置の有用性を確認（R2.5）																																								
中和抗体・サイトカインの測定	加古川医療センターに入院中の感染患者の血清を用いて、中和抗体及びサイトカインの測定を実施し、全ての感染患者への中和抗体の産出と、重症度の高い患者ほど中和抗体価が高いことを確認（R2.8）																																								
大規模血清疫学調査①	尼崎総合医療センター、西宮病院、こども病院等、県内の5病院1施設提供の10,377人の血清中における新型コロナウイルス抗体の有無を多角的に解析した結果、中和抗体の保有率がわずか0.15%と、県内の感染率が極めて低いことを確認（R2.12）																																								
大規模血清疫学調査②	健康財団提供の1,000人の血清中における抗体の有無を解析したところ、感染歴のある人が2.1%おり、PCR検査に基づいた感染率である0.85%と比較して2.5倍の人が実際に感染していたことから、一定数の不顕性感染者や検出されていない軽症者が存在していることを確認。また、高齢者の多くはワクチン接種における抗体を保有しており、ワクチンの優先接種が感染拡大を抑制したことを確認（R3.9）																																								
大規模血清疫学調査③	①健康財団の1,000人の血清中における抗体の有無を解析したところ、血清中の抗Sタンパク質抗体（主にワクチン接種者に存在）の保有率は90.8%に達しており、ワクチン接種率との相関を確認。また、R3.8時点の調査と比較し、全ての年代において、血清中の抗Sタンパク質抗体の保有量が減少しており、接種後の時間経過に伴うワクチン効果の減衰を確認（R4.1） ②ワクチンのブースター接種を受けた72人の全員がオミクロン株に対する中和抗体を獲得していることを確認（R4.1）																																								
大規模血清疫学調査④	ワクチンを3回接種した神戸大学医学部附属病院の医師40名を対象に、2回接種後約7か月、および3回目（ブースター）接種後の血清中のオミクロンB.A.2株に対する中和抗体を測定したところ、ブースター接種による上昇を確認（R4.4）																																								
ユニバーサル中和抗体の開発	幅広いウイルスに中和活性を持つユニバーサル中和抗体を開発（R4.10）																																								
名称	開催日	場所	県の役割																																						
第68回 日本ウイルス学会学術集会 市民公開講座	令和3年11月15日	神戸新聞松方ホール	兵庫県共催																																						
市民公開講座	令和4年3月10日	県立但馬文教府	兵庫県病院局主催（神戸大学との共同主催）、但馬県民局共催																																						
市民公開講座	令和4年12月15日	アクリエひめじ	兵庫県病院局主催（神戸大学との共同主催）、はりま姫路総合医療センター共催、中播磨県民センター後援																																						

I より良質な医療の提供

項目 1 診療機能の高度化 (1) がん医療

○ 基本方向
がんは、本県における死亡原因の第1位（全死因の29.6%）であり、「兵庫県保健医療計画」及び「兵庫県がん対策推進計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた高度専門医療を提供する。

○ 取組内容

1 病院の役割
 (1) がんセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院として高度で専門的な集学的治療を実施するほか、地域がん診療連携拠点病院間の連携強化、拠点病院への研修、診療支援等を行う。また、あり方検討委員会の報告を踏まえて、がんゲノム医療等最新医療を提供していく。
 (2) 淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）は、地域がん診療連携拠点病院として、高度で専門的な集学的治療を提供するほか、地域の医療機関との共同研修を行うとともに、患者や家族に対する支援を充実する。
 (3) 尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センターは、地域の医療連携体制における役割を踏まえ、集学的治療を提供する。
 (4) こども病院は、小児がん拠点病院として、集学的治療を提供するほか、神戸陽子線センターと連携した陽子線治療を行う。
 (5) 粒子線医療センターは、高度ながん治療を実施するほか、他の粒子線治療施設で対応困難な「肝臓・膵臓・頭頸部」がん患者への取り組みを推進する。
 (6) 粒子線医療センター及び神戸陽子線センターは、粒子線医療の有効性を積極的に広報し患者の受入れ促進を進める。
 (7) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、腫瘍センターの設置や高度先進的ながん治療ネットワークの構築などを行い、がん診療連携拠点病院並みのがん診療を提供する。

2 診療機能の高度化
内視鏡下手術用支援機器（ダヴィンチ）、IMRT対応のリニアック装置等の高度医療機器により、最新治療を提供する。

3 地域連携の推進
がんセンターを中心に、県統一のがん地域連携クリニカルパスなどを活用した地域連携を推進する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																																																																																																											
<p>〔目標〕 がんセンター等は、国及び県指定がん診療拠点病院として高度で専門的な集学的治療を実施する。また、こども病院は、小児がん拠点病院として集学的治療を実施するほか、神戸陽子線センターと連携した陽子線治療を実施する。更に、粒子線医療センターは、他の粒子線治療施設で対応困難な「肝臓・膵臓・頭頸部」がん患者への取り組みを推進する。</p>	<p>がんゲノム医療拠点病院であるがんセンター、連携病院であるこども病院において、積極的にパネル検査を実施するなど最先端のがん医療を提供した。また、神戸陽子線センターにおいて、こども病院と連携した陽子線治療を実施した。更に、粒子線医療センターは、他の粒子線治療施設で対応困難な「肝臓・膵臓・頭頸部」がん患者への取り組みを推進した。</p>	○	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部項目で計画を下回った病院もあったが、がん手術件数や外来化学療法の数等が増加しており、概ね計画どおりに実施した。</p>																																																																																																																																												
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 病院の役割</p> <p>(1) がん手術総件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">国指定</td> <td>がん</td> <td>1,945/2,100【○】</td> <td>1,779/1,920【○】</td> <td>2,214/1,900【○】</td> <td>2,205/2,050</td> <td>107.6%</td> </tr> <tr> <td>尼崎</td> <td>1,474/1,500【○】</td> <td>1,406/1,437【○】</td> <td>1,427/1,456【○】</td> <td>1,361/1,464</td> <td>93.0%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>195/200【○】</td> <td>230/230【○】</td> <td>244/296【○】</td> <td>298/290</td> <td>102.8%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>557/562【○】</td> <td>337/518【○】</td> <td>406/440【○】</td> <td>393/390</td> <td>100.8%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県指定</td> <td>西宮</td> <td>1,103/980【○】</td> <td>1,262/1,334【○】</td> <td>1,296/1,150【○】</td> <td>1,157/1,440</td> <td>80.3%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>967/821【○】</td> <td>719/780【○】</td> <td>802/841【○】</td> <td>663/747</td> <td>88.8%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>890/477</td> <td>186.6%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,241/6,163</td> <td>5,733/6,219</td> <td>6,389/6,083</td> <td>6,967/6,858</td> <td>101.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：件（延件数）)</p>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	国指定	がん	1,945/2,100【○】	1,779/1,920【○】	2,214/1,900【○】	2,205/2,050	107.6%	尼崎	1,474/1,500【○】	1,406/1,437【○】	1,427/1,456【○】	1,361/1,464	93.0%	丹波	195/200【○】	230/230【○】	244/296【○】	298/290	102.8%	淡路	557/562【○】	337/518【○】	406/440【○】	393/390	100.8%	県指定	西宮	1,103/980【○】	1,262/1,334【○】	1,296/1,150【○】	1,157/1,440	80.3%	加古川	967/821【○】	719/780【○】	802/841【○】	663/747	88.8%	姫路	—	—	—	890/477	186.6%	計	6,241/6,163	5,733/6,219	6,389/6,083	6,967/6,858	101.6%	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 病院の役割</p> <p>(2) うち5大がんの手術総件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">国指定</td> <td>がん</td> <td>910/1,000【○】</td> <td>985/840【○】</td> <td>952/900【○】</td> <td>896/960</td> <td>93.3%</td> </tr> <tr> <td>尼崎</td> <td>685/650【○】</td> <td>594/702【○】</td> <td>614/680【○】</td> <td>625/630</td> <td>99.2%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>123/150【○】</td> <td>154/170【○】</td> <td>187/204【△】</td> <td>191/180</td> <td>106.1%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>368/331【○】</td> <td>222/348【○】</td> <td>260/290【○】</td> <td>279/240</td> <td>116.3%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県指定</td> <td>西宮</td> <td>346/390【○】</td> <td>537/550【○】</td> <td>739/520【◎】</td> <td>649/650</td> <td>99.8%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>446/351【○】</td> <td>354/339【○】</td> <td>402/410【○】</td> <td>426/334</td> <td>127.5%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>571/296</td> <td>192.9%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,878/2,872</td> <td>2,846/2,949</td> <td>3,154/3,004</td> <td>3,637/3,290</td> <td>110.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：件（延件数）)</p>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	国指定	がん	910/1,000【○】	985/840【○】	952/900【○】	896/960	93.3%	尼崎	685/650【○】	594/702【○】	614/680【○】	625/630	99.2%	丹波	123/150【○】	154/170【○】	187/204【△】	191/180	106.1%	淡路	368/331【○】	222/348【○】	260/290【○】	279/240	116.3%	県指定	西宮	346/390【○】	537/550【○】	739/520【◎】	649/650	99.8%	加古川	446/351【○】	354/339【○】	402/410【○】	426/334	127.5%	姫路	—	—	—	571/296	192.9%	計	2,878/2,872	2,846/2,949	3,154/3,004	3,637/3,290	110.5%	○ ○ ○ ○ ○ ○ ◎	<p>(姫路) 開院に伴う診療機能拡充による患者数増</p> <p>(加古川) 【△】感染拡大緩和による内視鏡手術の増による胃がん・大腸がんの手術件数増 乳がんの手術件数増 乳腺外科医1名増による乳がんの手術件数増</p> <p>(姫路) 開院に伴う診療機能拡充による患者数増</p>	<p>○国指定がん診療連携拠点病院の指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>指定年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都道府県</td> <td>がん</td> <td>平成19年1月31日</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">地域</td> <td>阪神</td> <td>令和3年3月29日</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>平成20年2月8日</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>平成19年1月31日</td> </tr> </tbody> </table> <p>○国指定小児がん拠点病院の指定状況 こども病院：平成25年2月8日指定</p> <p>○県指定がん診療連携拠点病院の指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>指定年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神</td> <td>西宮</td> <td>平成22年9月3日</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川</td> <td>平成23年2月16日</td> </tr> <tr> <td>播磨姫路</td> <td>姫路</td> <td>令和5年3月31日</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	指定年月日	都道府県	がん	平成19年1月31日	地域	阪神	令和3年3月29日	丹波	平成20年2月8日	淡路	平成19年1月31日	区分	病院名	指定年月日	阪神	西宮	平成22年9月3日	東播磨	加古川	平成23年2月16日	播磨姫路	姫路	令和5年3月31日
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																																																																																																									
国指定	がん	1,945/2,100【○】	1,779/1,920【○】	2,214/1,900【○】	2,205/2,050	107.6%																																																																																																																																									
	尼崎	1,474/1,500【○】	1,406/1,437【○】	1,427/1,456【○】	1,361/1,464	93.0%																																																																																																																																									
	丹波	195/200【○】	230/230【○】	244/296【○】	298/290	102.8%																																																																																																																																									
	淡路	557/562【○】	337/518【○】	406/440【○】	393/390	100.8%																																																																																																																																									
県指定	西宮	1,103/980【○】	1,262/1,334【○】	1,296/1,150【○】	1,157/1,440	80.3%																																																																																																																																									
	加古川	967/821【○】	719/780【○】	802/841【○】	663/747	88.8%																																																																																																																																									
	姫路	—	—	—	890/477	186.6%																																																																																																																																									
計	6,241/6,163	5,733/6,219	6,389/6,083	6,967/6,858	101.6%																																																																																																																																										
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																																																																																																									
国指定	がん	910/1,000【○】	985/840【○】	952/900【○】	896/960	93.3%																																																																																																																																									
	尼崎	685/650【○】	594/702【○】	614/680【○】	625/630	99.2%																																																																																																																																									
	丹波	123/150【○】	154/170【○】	187/204【△】	191/180	106.1%																																																																																																																																									
	淡路	368/331【○】	222/348【○】	260/290【○】	279/240	116.3%																																																																																																																																									
県指定	西宮	346/390【○】	537/550【○】	739/520【◎】	649/650	99.8%																																																																																																																																									
	加古川	446/351【○】	354/339【○】	402/410【○】	426/334	127.5%																																																																																																																																									
	姫路	—	—	—	571/296	192.9%																																																																																																																																									
計	2,878/2,872	2,846/2,949	3,154/3,004	3,637/3,290	110.5%																																																																																																																																										
区分	病院名	指定年月日																																																																																																																																													
都道府県	がん	平成19年1月31日																																																																																																																																													
地域	阪神	令和3年3月29日																																																																																																																																													
	丹波	平成20年2月8日																																																																																																																																													
	淡路	平成19年1月31日																																																																																																																																													
	区分	病院名	指定年月日																																																																																																																																												
阪神	西宮	平成22年9月3日																																																																																																																																													
東播磨	加古川	平成23年2月16日																																																																																																																																													
播磨姫路	姫路	令和5年3月31日																																																																																																																																													

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																																
<p>(3) 国指定がん診療連携拠点病院としての研修会等の開催</p> <p>① 都道府県がん診療連携拠点病院（がん）</p> <ul style="list-style-type: none"> 協議会、研修会等の開催回数 				<p>○県保健医療計画（H30.4）に記載の「専門的ながん診療」の機能を有する病院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>圏域名</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5"> ・手術、放射線療法及び薬物療法を効果的に組み合わせた集学的治療の実施 ・年間入院がん患者数が500人以上 </td> <td>神戸</td> <td>こども</td> </tr> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎、西宮</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>がん、加古川</td> </tr> <tr> <td>播磨姫路</td> <td>姫路</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>丹波</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>淡路</td> <td></td> </tr> <tr> <td>先進医療の提供</td> <td>—</td> <td>粒子線 神戸陽子</td> </tr> </tbody> </table>	区分	圏域名	病院名	・手術、放射線療法及び薬物療法を効果的に組み合わせた集学的治療の実施 ・年間入院がん患者数が500人以上	神戸	こども	阪神	尼崎、西宮	東播磨	がん、加古川	播磨姫路	姫路	丹波	丹波	淡路	淡路		先進医療の提供	—	粒子線 神戸陽子																																												
区分	圏域名	病院名																																																																		
・手術、放射線療法及び薬物療法を効果的に組み合わせた集学的治療の実施 ・年間入院がん患者数が500人以上	神戸	こども																																																																		
	阪神	尼崎、西宮																																																																		
	東播磨	がん、加古川																																																																		
	播磨姫路	姫路																																																																		
	丹波	丹波																																																																		
淡路	淡路																																																																			
先進医療の提供	—	粒子線 神戸陽子																																																																		
<p>(単位：回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催内容</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協議会、研修会等</td> <td>22/22 【○】</td> <td>24/21 【○】</td> <td>21/18 【○】</td> <td>19/19</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>がん診療連携協議会</td> <td>1/1 【○】</td> <td>1/1 【○】</td> <td>1/1 【○】</td> <td>1/1</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>同幹事会</td> <td>2/2 【○】</td> <td>2/2 【○】</td> <td>2/2 【○】</td> <td>2/2</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>がん登録実務初級者研修会</td> <td>2/2 【○】</td> <td>1/3 【▲】</td> <td>2/2 【○】</td> <td>2/2</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	開催内容	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	協議会、研修会等	22/22 【○】	24/21 【○】	21/18 【○】	19/19	100.0%	がん診療連携協議会	1/1 【○】	1/1 【○】	1/1 【○】	1/1	100.0%	同幹事会	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2	100.0%	がん登録実務初級者研修会	2/2 【○】	1/3 【▲】	2/2 【○】	2/2	100.0%		○ ○ ○ ○																																				
開催内容	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																															
協議会、研修会等	22/22 【○】	24/21 【○】	21/18 【○】	19/19	100.0%																																																															
がん診療連携協議会	1/1 【○】	1/1 【○】	1/1 【○】	1/1	100.0%																																																															
同幹事会	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2	100.0%																																																															
がん登録実務初級者研修会	2/2 【○】	1/3 【▲】	2/2 【○】	2/2	100.0%																																																															
<p>② 地域がん診療拠点病院</p>				<p>○がん医療にかかる専門・認定看護師の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>がん看護 尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、姫路(2)、がん(3)、神戸陽子(1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">認定</td> <td>緩和ケア 尼崎(2)、加古川(2)、姫路(1)、丹波(1)、淡路(2)、こども(1)、がん(3)、粒子線(1)</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法 尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、姫路(3)、丹波(1)、淡路(1)、こども(2)、がん(4)</td> </tr> <tr> <td>がん薬物療法 西宮(1)、淡路(1)</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛 丹波(1)、がん(1)、粒子線(1)</td> </tr> <tr> <td>乳がん 尼崎(1)、西宮(1)、がん(1)</td> </tr> <tr> <td>がん放射線療法 西宮(1)、姫路(1)、こども(1)、がん(2)、粒子線(1)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院別人数	専門	がん看護 尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、姫路(2)、がん(3)、神戸陽子(1)	認定	緩和ケア 尼崎(2)、加古川(2)、姫路(1)、丹波(1)、淡路(2)、こども(1)、がん(3)、粒子線(1)	がん化学療法 尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、姫路(3)、丹波(1)、淡路(1)、こども(2)、がん(4)	がん薬物療法 西宮(1)、淡路(1)	がん性疼痛 丹波(1)、がん(1)、粒子線(1)	乳がん 尼崎(1)、西宮(1)、がん(1)	がん放射線療法 西宮(1)、姫路(1)、こども(1)、がん(2)、粒子線(1)																																																					
区分	病院別人数																																																																			
専門	がん看護 尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、姫路(2)、がん(3)、神戸陽子(1)																																																																			
認定	緩和ケア 尼崎(2)、加古川(2)、姫路(1)、丹波(1)、淡路(2)、こども(1)、がん(3)、粒子線(1)																																																																			
	がん化学療法 尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、姫路(3)、丹波(1)、淡路(1)、こども(2)、がん(4)																																																																			
	がん薬物療法 西宮(1)、淡路(1)																																																																			
	がん性疼痛 丹波(1)、がん(1)、粒子線(1)																																																																			
	乳がん 尼崎(1)、西宮(1)、がん(1)																																																																			
がん放射線療法 西宮(1)、姫路(1)、こども(1)、がん(2)、粒子線(1)																																																																				
<p>(単位：回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">セミナー等</td> <td>がん</td> <td>2/2 【○】</td> <td>0/3 【▲】</td> <td>0/2 【▲】</td> <td>3/3</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>尼崎</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0/— 【—】</td> <td>0/1</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>8/5 【◎】</td> <td>0/5 【▲】</td> <td>4/5 【○】</td> <td>5/1</td> <td>500.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>3/4 【△】</td> <td>1/3 【▲】</td> <td>1/2 【▲】</td> <td>1/1</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>13/11</td> <td>1/11</td> <td>5/9</td> <td>9/6</td> <td>150.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	セミナー等	がん	2/2 【○】	0/3 【▲】	0/2 【▲】	3/3	100.0%	尼崎	—	—	0/— 【—】	0/1	0.0%	丹波	8/5 【◎】	0/5 【▲】	4/5 【○】	5/1	500.0%	淡路	3/4 【△】	1/3 【▲】	1/2 【▲】	1/1	100.0%	計		13/11	1/11	5/9	9/6	150.0%		○ ▲ ◎ ○	<p>(尼崎) 【コ】感染状況を考慮し、中止(丹波)</p> <p>【コ】感染状況緩和により、がん患者サロンを再開</p>																										
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																														
セミナー等	がん	2/2 【○】	0/3 【▲】	0/2 【▲】	3/3	100.0%																																																														
	尼崎	—	—	0/— 【—】	0/1	0.0%																																																														
	丹波	8/5 【◎】	0/5 【▲】	4/5 【○】	5/1	500.0%																																																														
	淡路	3/4 【△】	1/3 【▲】	1/2 【▲】	1/1	100.0%																																																														
計		13/11	1/11	5/9	9/6	150.0%																																																														
<p>(単位：回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">研修会等</td> <td>がん</td> <td>6/8 【△】</td> <td>7/9 【△】</td> <td>8/9 【○】</td> <td>9/9</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>尼崎</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2/— 【—】</td> <td>2/2</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>3/3 【○】</td> <td>3/3 【○】</td> <td>3/4 【△】</td> <td>3/3</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>3/4 【△】</td> <td>3/4 【△】</td> <td>2/3 【△】</td> <td>1/3</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>12/15</td> <td>13/16</td> <td>15/16</td> <td>15/17</td> <td>88.2%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	研修会等	がん	6/8 【△】	7/9 【△】	8/9 【○】	9/9	100.0%	尼崎	—	—	2/— 【—】	2/2	100.0%	丹波	3/3 【○】	3/3 【○】	3/4 【△】	3/3	100.0%	淡路	3/4 【△】	3/4 【△】	2/3 【△】	1/3	33.3%	計		12/15	13/16	15/16	15/17	88.2%		○ ○ ○ ▲	<p>(淡路) 研修項目を増やし、1回あたりの内容充実による回数減</p>																										
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																														
研修会等	がん	6/8 【△】	7/9 【△】	8/9 【○】	9/9	100.0%																																																														
	尼崎	—	—	2/— 【—】	2/2	100.0%																																																														
	丹波	3/3 【○】	3/3 【○】	3/4 【△】	3/3	100.0%																																																														
	淡路	3/4 【△】	3/4 【△】	2/3 【△】	1/3	33.3%																																																														
計		12/15	13/16	15/16	15/17	88.2%																																																														
<p>(4) 外来化学療法件数</p>				<p>○各病院のがん相談支援窓口</p> <ul style="list-style-type: none"> がん相談支援センター（がん）（相談件数）令和4年度実績：1,837件（R5.3末時点） がん相談支援センター（尼崎） がん相談支援センター（西宮） 患者相談支援センター（加古川） がん相談支援センター（姫路） がん相談支援センター（丹波） がん相談支援センター（淡路） がん相談室（こども） 																																																																
<p>(単位：件（延件数）)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">国指定</td> <td>がん</td> <td>13,819/14,000 【○】</td> <td>14,198/14,500 【○】</td> <td>13,891/14,500 【○】</td> <td>13,333/14,500</td> <td>92.0%</td> </tr> <tr> <td>尼崎</td> <td>10,910/9,000 【◎】</td> <td>10,730/10,660 【○】</td> <td>11,212/10,910 【○】</td> <td>11,814/11,086</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>1,326/800 【◎】</td> <td>1,778/1,300 【◎】</td> <td>1,933/1,809 【○】</td> <td>2,074/2,000</td> <td>103.7%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>2,865/2,830 【○】</td> <td>3,115/2,500 【◎】</td> <td>3,387/2,660 【◎】</td> <td>4,067/3,300</td> <td>123.2%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県指定</td> <td>西宮</td> <td>3,932/3,500 【○】</td> <td>3,723/4,100 【○】</td> <td>4,065/3,800 【○】</td> <td>3,997/4,000</td> <td>99.9%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>2,570/2,789 【○】</td> <td>2,652/2,607 【○】</td> <td>2,701/2,670 【○】</td> <td>3,565/2,808</td> <td>127.0%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2,388/1,845</td> <td>129.4%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>230/264 【○】</td> <td>278/220 【◎】</td> <td>225/280 【○】</td> <td>262/180</td> <td>145.6%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>35,652/33,183</td> <td>36,474/35,887</td> <td>37,414/36,629</td> <td>41,500/39,719</td> <td>104.5%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	国指定	がん	13,819/14,000 【○】	14,198/14,500 【○】	13,891/14,500 【○】	13,333/14,500	92.0%	尼崎	10,910/9,000 【◎】	10,730/10,660 【○】	11,212/10,910 【○】	11,814/11,086	100.0%	丹波	1,326/800 【◎】	1,778/1,300 【◎】	1,933/1,809 【○】	2,074/2,000	103.7%	淡路	2,865/2,830 【○】	3,115/2,500 【◎】	3,387/2,660 【◎】	4,067/3,300	123.2%	県指定	西宮	3,932/3,500 【○】	3,723/4,100 【○】	4,065/3,800 【○】	3,997/4,000	99.9%	加古川	2,570/2,789 【○】	2,652/2,607 【○】	2,701/2,670 【○】	3,565/2,808	127.0%	姫路	—	—	—	2,388/1,845	129.4%	こども	230/264 【○】	278/220 【◎】	225/280 【○】	262/180	145.6%	計		35,652/33,183	36,474/35,887	37,414/36,629	41,500/39,719	104.5%		○ ○ ○ ◎ ○ ◎ ◎	<p>(淡路) 【コ】患者受入制限の緩和による患者数増 (加古川) 乳腺外科医1名増による件数増 (姫路) 開院に伴う診療機能拡充による患者数増 (こども) 小児がん患者受入数増</p>	
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																														
国指定	がん	13,819/14,000 【○】	14,198/14,500 【○】	13,891/14,500 【○】	13,333/14,500	92.0%																																																														
	尼崎	10,910/9,000 【◎】	10,730/10,660 【○】	11,212/10,910 【○】	11,814/11,086	100.0%																																																														
	丹波	1,326/800 【◎】	1,778/1,300 【◎】	1,933/1,809 【○】	2,074/2,000	103.7%																																																														
	淡路	2,865/2,830 【○】	3,115/2,500 【◎】	3,387/2,660 【◎】	4,067/3,300	123.2%																																																														
県指定	西宮	3,932/3,500 【○】	3,723/4,100 【○】	4,065/3,800 【○】	3,997/4,000	99.9%																																																														
	加古川	2,570/2,789 【○】	2,652/2,607 【○】	2,701/2,670 【○】	3,565/2,808	127.0%																																																														
	姫路	—	—	—	2,388/1,845	129.4%																																																														
こども	230/264 【○】	278/220 【◎】	225/280 【○】	262/180	145.6%																																																															
計		35,652/33,183	36,474/35,887	37,414/36,629	41,500/39,719	104.5%																																																														

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）		
(5) 緩和ケア研修会の開催（出席者数）		(単位：人)									
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②					
国指定	がん	0/26 【▲】	0/10 【▲】	11/12 【○】	9/12	75.0%	△	(がん) 【コ】感染拡大第8波期間中実施による出席者数減 (淡路) 研修会の開催日と学会が重なったことによる出席者数減 (姫路) 統合に伴う医師数増による出席者増 (姫路) 開院に伴う診療機能拡充による患者数の増 (こども) 【コ】感染拡大による受診控え (こども) 【コ】感染拡大による受診控え	○緩和ケア病棟 加古川医療センター（25床） はりま姫路総合医療センター（20床） 丹波医療センター（22床） ○緩和ケア専用病床 がんセンター（4床） ○緩和ケアチームを有する病院 尼崎総合医療センター、西宮病院、 加古川医療センター、はりま姫路総合医療センター、 丹波医療センター、淡路医療センター、 こども病院、がんセンター、粒子線医療センター		
	尼崎	41/40 【○】	24/41 【▲】	28/24 【○】	28/24	116.7%	○				
	丹波	51/25 【◎】	26/36 【△】	12/24 【▲】	27/24	112.5%	○				
	淡路	22/24 【○】	11/25 【▲】	12/25 【▲】	14/20	70.0%	△				
県指定	西宮	21/18 【○】	9/21 【▲】	13/18 【△】	14/12	116.7%	○				
	加古川	22/18 【◎】	0/20 【▲】	15/12 【◎】	15/15	100.0%	○				
	姫路	-	-	-	24/15	160.0%	◎				
合計		157/151	70/153	91/115	131/122	107.4%					
(6) 緩和ケア病棟（病床）延入院患者数		(単位：人（延人数）)									
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②					
病棟	加古川	5,584/5,289 【○】	1,322/5,597 【▲】	1,850/2,094 【○】	3,620/3,438	105.3%	○	(こども) 【コ】感染拡大による受診控え	○がんセンターでのがんゲノム医療の推進 平成28年度 ・研究部にバイオバンク室を設置（スタッフ2名配置） 平成30年度 ・ゲノム医療・臨床試験センターを設置 令和元年度 ・がんゲノム医療拠点病院に指定（令和元年9月19日） ○こども病棟の小児がん拠点病院としての取組 平成24年度 ・小児がん拠点病院に指定 平成25年度 ・医療福祉相談員（MSW）の専従配置 ・長期フォローアップ外来の開設 ・緩和ケアチームの設置 平成26年度 ・小児がん医療センターを設置 平成28年度【移転建替】 ・緩和ケア病室の設置 ・全病棟へのプレイルーム配置 ・院内学級の整備 ・ファミリーハウスの拡充（11室→16室）等 平成29年度【神戸陽子線センターを開設】 ・神戸陽子線センターと連携し、患者の晩期合併症等のリスクが少ない陽子線治療を提供 令和元年度 ・がんゲノム医療連携病院に指定（令和2年1月1日）		
	姫路	-	-	-	4,167/3,468	120.2%	◎				
	丹波	7,415/5,000 【◎】	7,641/7,600 【○】	7,583/7,665 【○】	7,805/7,655	102.0%	○				
病床	がん	1,147/1,000 【○】	426/1,150 【▲】	195/1,000 【▲】	149/150	99.3%	○				
	合計	14,146/11,389	9,389/14,427	9,628/10,845	15,741/14,711	107.0%					
(7) がんゲノム医療 ・がんゲノム医療の推進		(単位：人)									
① 遺伝子パネル検査実施件数		(単位：人)									
病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②						
こども	-	8/- 【-】	6/15 【▲】	8/15	53.3%	▲	(こども) 【コ】感染拡大による受診控え				
がん	116/- 【-】	111/140 【△】	133/120 【○】	136/120	113.3%	○					
合計	116	119/140	139/135	144/135	106.7%						
② がんゲノム外来患者数		(単位：人)									
病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②						
こども	-	8/- 【-】	11/15 【△】	11/15	73.3%	△	(こども) 【コ】感染拡大による受診控え				
がん	159/40 【◎】	146/200 【△】	170/168 【○】	147/168	87.5%	○					
合計	159/40	154/200	181/183	158/183	86.3%						
(8) 粒子線治療		(単位：件)									
① 神戸陽子線センターとの連携と治療実施（小児陽子線治療の実施、人材の育成、医療機関等の広報活動） （こども） ・小児陽子線治療の実施件数		(単位：件)									
病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②						
こども	55/84 【△】	67/60 【○】	57/86 【△】	53/60	88.3%	○					

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																																									
<p>② 粒子線治療の保険適用の積極的P R及び神戸陽子線Cと連携した県内外の医療機関との連携強化による粒子線治療実患者数の確保（粒子線）</p> <p>・粒子線治療実施患者数</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粒子線</td> <td>320/528 【△】</td> <td>257/430 【▲】</td> <td>243/383 【△】</td> <td>314/327</td> <td>96.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	粒子線	320/528 【△】	257/430 【▲】	243/383 【△】	314/327	96.0%		○		<p>○粒子線治療保険適用の状況</p> <p>①陽子線のみ、②重粒子線のみ、③陽子線及び重粒子線</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>疾患名（適用年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>・小児腫瘍（限局性の固形悪性腫瘍に限る）(H28)</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>・切除非適応の局所進行性子宮頸部線がん(R4)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>・切除非適応の骨軟部腫瘍(陽子線：H30、重粒子線：H28) ・頭頸部悪性腫瘍（口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く）(H30) ・限局性及び局所進行性前立腺がん(H30) ・切除非適応の肝細胞がん（長径4cm以上に限る）(R4) ・切除非適応の肝内胆管がん(R4) ・切除非適応の局所進行性膵がん(R4) ・切除非適応の局所進行性大腸がん（手術後の再発に限る）(R4)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○粒子線治療費の支援制度</p> <p>(1) AYA世代に対する先進医療の陽子線治療費の減免（R2～）</p> <p>・対象者：国内在住1年以上で先進医療の陽子線治療を受ける20～39歳であり、前年の世帯総所得600万円以下の世帯に属する方</p> <p>・減免割合・自己負担額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>世帯総所得</th> <th>減免割合</th> <th>治療費</th> <th>減免額</th> <th>自己負担額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>210万円以下</td> <td>3/4</td> <td rowspan="2">2,883,000円</td> <td>2,162,300円</td> <td>720,700円</td> </tr> <tr> <td>210万円超 600万円以下</td> <td>1/2</td> <td>1,441,500円</td> <td>1,441,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 粒子線治療資金貸付制度の所得制限の撤廃（R2～）</p> <p>・制度の概要</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>貸付対象者</td> <td>国内在住1年以上</td> </tr> <tr> <td>貸付対象費用</td> <td>粒子線治療料（限度額2,883,000円）</td> </tr> <tr> <td>利子</td> <td>無利子</td> </tr> <tr> <td>償還期間</td> <td>10年以内</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ダヴィンチ・ヒノトリの導入状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>導入機器</th> <th>台数</th> <th>稼働年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>ダヴィンチ</td> <td>1台</td> <td>H26.6</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>ダヴィンチ</td> <td>1台</td> <td>H27.12</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加古川</td> <td>ダヴィンチ</td> <td>1台</td> <td>H25.9</td> </tr> <tr> <td>ヒノトリ</td> <td>1台</td> <td>R4.3</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>ダヴィンチ</td> <td>1台</td> <td>R4.9</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>ダヴィンチ</td> <td>1台</td> <td>R5.7</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>ダヴィンチ</td> <td>1台</td> <td>H25.4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	疾患名（適用年度）	①	・小児腫瘍（限局性の固形悪性腫瘍に限る）(H28)	②	・切除非適応の局所進行性子宮頸部線がん(R4)	③	・切除非適応の骨軟部腫瘍(陽子線：H30、重粒子線：H28) ・頭頸部悪性腫瘍（口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く）(H30) ・限局性及び局所進行性前立腺がん(H30) ・切除非適応の肝細胞がん（長径4cm以上に限る）(R4) ・切除非適応の肝内胆管がん(R4) ・切除非適応の局所進行性膵がん(R4) ・切除非適応の局所進行性大腸がん（手術後の再発に限る）(R4)	世帯総所得	減免割合	治療費	減免額	自己負担額	210万円以下	3/4	2,883,000円	2,162,300円	720,700円	210万円超 600万円以下	1/2	1,441,500円	1,441,500円	貸付対象者	国内在住1年以上	貸付対象費用	粒子線治療料（限度額2,883,000円）	利子	無利子	償還期間	10年以内	病院名	導入機器	台数	稼働年月	尼崎	ダヴィンチ	1台	H26.6	西宮	ダヴィンチ	1台	H27.12	加古川	ダヴィンチ	1台	H25.9	ヒノトリ	1台	R4.3	姫路	ダヴィンチ	1台	R4.9	淡路	ダヴィンチ	1台	R5.7	がん	ダヴィンチ	1台	H25.4
病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																																								
粒子線	320/528 【△】	257/430 【▲】	243/383 【△】	314/327	96.0%																																																																								
区分	疾患名（適用年度）																																																																												
①	・小児腫瘍（限局性の固形悪性腫瘍に限る）(H28)																																																																												
②	・切除非適応の局所進行性子宮頸部線がん(R4)																																																																												
③	・切除非適応の骨軟部腫瘍(陽子線：H30、重粒子線：H28) ・頭頸部悪性腫瘍（口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く）(H30) ・限局性及び局所進行性前立腺がん(H30) ・切除非適応の肝細胞がん（長径4cm以上に限る）(R4) ・切除非適応の肝内胆管がん(R4) ・切除非適応の局所進行性膵がん(R4) ・切除非適応の局所進行性大腸がん（手術後の再発に限る）(R4)																																																																												
世帯総所得	減免割合	治療費	減免額	自己負担額																																																																									
210万円以下	3/4	2,883,000円	2,162,300円	720,700円																																																																									
210万円超 600万円以下	1/2		1,441,500円	1,441,500円																																																																									
貸付対象者	国内在住1年以上																																																																												
貸付対象費用	粒子線治療料（限度額2,883,000円）																																																																												
利子	無利子																																																																												
償還期間	10年以内																																																																												
病院名	導入機器	台数	稼働年月																																																																										
尼崎	ダヴィンチ	1台	H26.6																																																																										
西宮	ダヴィンチ	1台	H27.12																																																																										
加古川	ダヴィンチ	1台	H25.9																																																																										
	ヒノトリ	1台	R4.3																																																																										
姫路	ダヴィンチ	1台	R4.9																																																																										
淡路	ダヴィンチ	1台	R5.7																																																																										
がん	ダヴィンチ	1台	H25.4																																																																										
<p>③ アンギオCTの活用等により、難治性がんである「肝臓・膵臓・頭頸部がん」患者への取り組みを強化（粒子線）</p> <p>・粒子線治療患者における「肝臓・膵臓・頭頸部がん」患者の割合</p> <p style="text-align: right;">(単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粒子線</td> <td>39.0/45.0 【○】</td> <td>31.9/47.0 【△】</td> <td>30.9/40.0 【△】</td> <td>42.4/34.9</td> <td>121.5%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	粒子線	39.0/45.0 【○】	31.9/47.0 【△】	30.9/40.0 【△】	42.4/34.9	121.5%		◎	保険適用拡大に伴う増																																																														
病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																																								
粒子線	39.0/45.0 【○】	31.9/47.0 【△】	30.9/40.0 【△】	42.4/34.9	121.5%																																																																								
<p>④ 粒子線治療の保険適用の積極的P R及び粒子線医療Cと連携した県内外の医療機関との連携強化による陽子線治療実患者数の確保（神戸陽子）</p> <p>・陽子線治療実患者数</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">神戸陽子</td> <td>成人</td> <td>134/176 【△】</td> <td>158/178 【○】</td> <td>181/193 【○】</td> <td>192/196</td> <td>98.0%</td> </tr> <tr> <td>小児</td> <td>60/84 【△】</td> <td>70/82 【○】</td> <td>58/87 【△】</td> <td>55/73</td> <td>75.3%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>194/260</td> <td>228/260</td> <td>239/280</td> <td>247/269</td> <td>91.8%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	区分	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	神戸陽子	成人	134/176 【△】	158/178 【○】	181/193 【○】	192/196	98.0%	小児	60/84 【△】	70/82 【○】	58/87 【△】	55/73	75.3%	計	194/260	228/260	239/280	247/269	91.8%		○ △	小児の適用患者の減																																																
病院名	区分	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																																							
神戸陽子	成人	134/176 【△】	158/178 【○】	181/193 【○】	192/196	98.0%																																																																							
	小児	60/84 【△】	70/82 【○】	58/87 【△】	55/73	75.3%																																																																							
	計	194/260	228/260	239/280	247/269	91.8%																																																																							
<p>(9) キャンサーボード（がん医療に関する治療方針等を検討・共有するためのカンファレンス）を開催するためのテレビ会議システム等を活用したがん診療ネットワークの構築（参加病院：がん、こども、粒子線、神戸陽子）</p> <p>・キャンサーボード実施回数</p> <p style="text-align: right;">(単位：回数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん、こども、粒子線、神戸陽子</td> <td>525/640 【○】</td> <td>476/510 【○】</td> <td>517/510 【○】</td> <td>630/500</td> <td>126.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	がん、こども、粒子線、神戸陽子	525/640 【○】	476/510 【○】	517/510 【○】	630/500	126.0%		◎	保険適用拡大に伴う増																																																														
病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																																								
がん、こども、粒子線、神戸陽子	525/640 【○】	476/510 【○】	517/510 【○】	630/500	126.0%																																																																								
<p>2 診療機能の高度化</p> <p>(1) 内視鏡下手術用支援機器（ダヴィンチ・ヒノトリ）による手術件数</p> <p style="text-align: right;">(単位：件（延件数）)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">国指定</td> <td>がん</td> <td>140/130 【○】</td> <td>216/130 【◎】</td> <td>215/200 【○】</td> <td>237/220</td> <td>107.7%</td> </tr> <tr> <td>尼崎</td> <td>159/110 【◎】</td> <td>134/156 【○】</td> <td>154/159 【○】</td> <td>169/148</td> <td>96.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県指定</td> <td>西宮</td> <td>38/25 【◎】</td> <td>59/50 【○】</td> <td>60/65 【○】</td> <td>63/55</td> <td>114.5%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>113/142 【△】</td> <td>74/115 【△】</td> <td>100/90 【○】</td> <td>98/105</td> <td>93.3%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>26/100</td> <td>26.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>450/407</td> <td>483/451</td> <td>529/514</td> <td>593/628</td> <td>94.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	国指定	がん	140/130 【○】	216/130 【◎】	215/200 【○】	237/220	107.7%	尼崎	159/110 【◎】	134/156 【○】	154/159 【○】	169/148	96.1%	県指定	西宮	38/25 【◎】	59/50 【○】	60/65 【○】	63/55	114.5%	加古川	113/142 【△】	74/115 【△】	100/90 【○】	98/105	93.3%	姫路	-	-	-	26/100	26.0%		計	450/407	483/451	529/514	593/628	94.4%		○ ○ ○ ○ ▲	(姫路) 開院後の人材育成や手術室の運用安定化に時間を要したことによる低実績																												
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																																							
国指定	がん	140/130 【○】	216/130 【◎】	215/200 【○】	237/220	107.7%																																																																							
	尼崎	159/110 【◎】	134/156 【○】	154/159 【○】	169/148	96.1%																																																																							
県指定	西宮	38/25 【◎】	59/50 【○】	60/65 【○】	63/55	114.5%																																																																							
	加古川	113/142 【△】	74/115 【△】	100/90 【○】	98/105	93.3%																																																																							
	姫路	-	-	-	26/100	26.0%																																																																							
	計	450/407	483/451	529/514	593/628	94.4%																																																																							

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (2) 循環器疾患医療

○ 基本方向	心疾患は本県における死亡原因の第2位(全体の14.8%)、脳血管疾患は第4位(全体の8.3%)であり、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた高度専門医療を提供する。
○ 取組内容	<p>1 病院の役割</p> <p>(1) 姫路循環器病センター(はりま姫路総合医療センター(仮称))は、全県の拠点病院として心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。</p> <p>(2) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター(仮称)は、専門病院に総合的な診療機能を付加すること等で診療体制の充実を図り、合併症への対応を強化する。</p> <p>(3) 尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センターは、心疾患、脳血管疾患に対する急性期医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。</p> <p>(4) 柏原病院(丹波医療センター)は、引き続き心疾患に対する急性期医療を提供するとともに、統合再編後については、救急拠点施設として、脳卒中等の重症救急患者に対応する。</p> <p>2 診療機能の高度化</p> <p>尼崎総合医療センター及び姫路循環器病センター(はりま姫路総合医療センター(仮称))は、ハイブリッド手術室システム等の高度医療機器を活用した最新治療を提供する。</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況(令和5年5月の状況等)																																																			
<p>【目標】</p> <p>はりま姫路総合医療センター等は心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。</p> <p>また、尼崎総合医療センター及びはりま姫路総合医療センターは、ハイブリッド手術室システム等を活用した最新治療を提供する。</p>	<p>はりま姫路総合医療センター等は心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療及び急性期リハビリテーション医療を提供した。</p> <p>また、尼崎総合医療センター及びはりま姫路総合医療センターは、ハイブリッド手術室システム等を活用した最新治療を提供したが、右記の理由により計画を下回った。</p>	△	<p>新型コロナウイルス感染症の影響等により、複数項目の手術・治療法において計画を下回った一方で、大動脈瘤ステント術や経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)の件数等、計画を上回った項目もあった。</p>	<p>○ 県保健医療計画(H30.4)に記載されている急性心筋梗塞の急性期医療の機能を有する病院</p> <p>① 専門的検査(心臓カテーテル検査、CT検査等)及び専門的診療(大動脈バルーンパンピング・緊急ペーシング等)の24時間対応</p> <p>② 経皮的冠動脈形成術(経皮的冠動脈ステント留置術を含む)を年間200症例以上実施</p> <p>③ 救急入院患者の受入実績がある</p> <p>④ 心臓血管外科に常勤医を配置</p> <p>⑤ 冠動脈バイパス術を実施</p>																																																			
<p>【取組項目】</p> <p>1 病院の役割</p> <p>(1) 開心術の件数</p>	<p>【取組項目】</p> <p>1 病院の役割</p>		<p>(姫路)</p> <p>統合による患者抑制を考慮して計画を立てたが、当初から円滑な受入れにより一定の手術件数を確保(淡路)</p> <p>【コ】感染患者受入れによる入院・手術制限</p>	<p>○ 県保健医療計画(H30.4)に記載されている急性心筋梗塞の急性期医療の機能を有する病院</p> <p>① 専門的検査(心臓カテーテル検査、CT検査等)及び専門的診療(大動脈バルーンパンピング・緊急ペーシング等)の24時間対応</p> <p>② 経皮的冠動脈形成術(経皮的冠動脈ステント留置術を含む)を年間200症例以上実施</p> <p>③ 救急入院患者の受入実績がある</p> <p>④ 心臓血管外科に常勤医を配置</p> <p>⑤ 冠動脈バイパス術を実施</p>																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1実績/計画</th> <th>R2実績/計画</th> <th>R3実績/計画</th> <th>R4実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>尼崎</td> <td>194/170【○】</td> <td>159/193【○】</td> <td>175/188【○】</td> <td>191/182</td> <td>104.9%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>287/282【○】</td> <td>221/300【△】</td> <td>241/258【○】</td> <td>238/185</td> <td>128.6%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>112/40【◎】</td> <td>111/95【○】</td> <td>103/110【○】</td> <td>71/100</td> <td>71.0%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>147/178【○】</td> <td>152/150【○】</td> <td>169/140【◎】</td> <td>172/180</td> <td>95.6%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>740/670</td> <td>643/738</td> <td>688/696</td> <td>672/647</td> <td>103.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：件(延件数))</p>	区分	病院名	R1実績/計画	R2実績/計画	R3実績/計画	R4実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	194/170【○】	159/193【○】	175/188【○】	191/182	104.9%	姫路	287/282【○】	221/300【△】	241/258【○】	238/185	128.6%	淡路	112/40【◎】	111/95【○】	103/110【○】	71/100	71.0%	専門	こども	147/178【○】	152/150【○】	169/140【◎】	172/180	95.6%	合計		740/670	643/738	688/696	672/647	103.9%	<p>(2) 大動脈瘤ステント術の件数</p>		<p>(姫路)</p> <p>統合による患者抑制を考慮して計画を立てたが、当初から円滑な受入れにより一定の手術件数を確保(淡路)</p> <p>【コ】感染患者受入れによる入院・手術制限</p>	<p>○ 県保健医療計画(H30.4)に記載されている急性心筋梗塞の急性期医療の機能を有する病院</p> <p>① 専門的検査(心臓カテーテル検査、CT検査等)及び専門的診療(大動脈バルーンパンピング・緊急ペーシング等)の24時間対応</p> <p>② 経皮的冠動脈形成術(経皮的冠動脈ステント留置術を含む)を年間200症例以上実施</p> <p>③ 救急入院患者の受入実績がある</p> <p>④ 心臓血管外科に常勤医を配置</p> <p>⑤ 冠動脈バイパス術を実施</p>											
区分	病院名	R1実績/計画	R2実績/計画	R3実績/計画	R4実績①/計画②	①/②																																																	
総合	尼崎	194/170【○】	159/193【○】	175/188【○】	191/182	104.9%																																																	
	姫路	287/282【○】	221/300【△】	241/258【○】	238/185	128.6%																																																	
	淡路	112/40【◎】	111/95【○】	103/110【○】	71/100	71.0%																																																	
専門	こども	147/178【○】	152/150【○】	169/140【◎】	172/180	95.6%																																																	
合計		740/670	643/738	688/696	672/647	103.9%																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1実績/計画</th> <th>R2実績/計画</th> <th>R3実績/計画</th> <th>R4実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>尼崎</td> <td>78/85【○】</td> <td>72/89【○】</td> <td>62/78【△】</td> <td>66/66</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>122/128【○】</td> <td>90/117【△】</td> <td>90/110【○】</td> <td>119/61</td> <td>195.1%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>32/36【○】</td> <td>20/30【△】</td> <td>23/26【○】</td> <td>20/20</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>232/249</td> <td>182/236</td> <td>175/214</td> <td>205/147</td> <td>139.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：件(延件数))</p>	区分	病院名	R1実績/計画	R2実績/計画	R3実績/計画	R4実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	78/85【○】	72/89【○】	62/78【△】	66/66	100.0%	姫路	122/128【○】	90/117【△】	90/110【○】	119/61	195.1%	淡路	32/36【○】	20/30【△】	23/26【○】	20/20	100.0%	合計		232/249	182/236	175/214	205/147	139.5%	<p>(3) 冠動脈形成術の件数</p>		<p>(西宮)</p> <p>【コ】スタッフの感染による病棟閉鎖や地域の医療機関からの紹介患者数減</p> <p>(淡路)</p> <p>【コ】感染患者受入れによる入院・手術制限</p>	<p>○ 県保健医療計画(H30.4)に記載されている急性心筋梗塞の急性期医療の機能を有する病院</p> <p>① 検査(X線検査、CT検査、MRI(拡張強調画像)、血管連続撮影)24時間実施可能(オンコール体制含む)</p> <p>② 適応がある症例では超急性期に血栓回収療法等が24時間当直体制で実施可能</p> <p>③ 血栓溶解療法(t-PA)が24時間実施可能</p> <p>④ 外科的治療が必要な場合2時間以内に治療開始(24時間対応)</p> <p>⑤ 急性期リハビリテーションの実施</p>																		
区分	病院名	R1実績/計画	R2実績/計画	R3実績/計画	R4実績①/計画②	①/②																																																	
総合	尼崎	78/85【○】	72/89【○】	62/78【△】	66/66	100.0%																																																	
	姫路	122/128【○】	90/117【△】	90/110【○】	119/61	195.1%																																																	
	淡路	32/36【○】	20/30【△】	23/26【○】	20/20	100.0%																																																	
合計		232/249	182/236	175/214	205/147	139.5%																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1実績/計画</th> <th>R2実績/計画</th> <th>R3実績/計画</th> <th>R4実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">総合</td> <td>尼崎</td> <td>552/600【○】</td> <td>482/540【○】</td> <td>555/514【○】</td> <td>512/522</td> <td>98.1%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>138/120【○】</td> <td>118/120【○】</td> <td>105/120【○】</td> <td>88/120</td> <td>73.3%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>31/41【△】</td> <td>13/30【▲】</td> <td>15/18【○】</td> <td>24/23</td> <td>104.3%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>604/565【○】</td> <td>654/584【○】</td> <td>600/605【○】</td> <td>535/516</td> <td>103.7%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>107/100【○】</td> <td>92/100【○】</td> <td>93/100【○】</td> <td>86/91</td> <td>94.5%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>324/250【◎】</td> <td>314/338【○】</td> <td>258/320【○】</td> <td>240/320</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>1,756/1,676</td> <td>1,688/1,712</td> <td>1,626/1,677</td> <td>1,485/1,592</td> <td>93.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：件(延件数))</p>	区分	病院名	R1実績/計画	R2実績/計画	R3実績/計画	R4実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	552/600【○】	482/540【○】	555/514【○】	512/522	98.1%	西宮	138/120【○】	118/120【○】	105/120【○】	88/120	73.3%	加古川	31/41【△】	13/30【▲】	15/18【○】	24/23	104.3%	姫路	604/565【○】	654/584【○】	600/605【○】	535/516	103.7%	丹波	107/100【○】	92/100【○】	93/100【○】	86/91	94.5%	淡路	324/250【◎】	314/338【○】	258/320【○】	240/320	75.0%	合計		1,756/1,676	1,688/1,712	1,626/1,677	1,485/1,592	93.3%			<p>(西宮)</p> <p>【コ】スタッフの感染による病棟閉鎖や地域の医療機関からの紹介患者数減</p> <p>(淡路)</p> <p>【コ】感染患者受入れによる入院・手術制限</p>	<p>○ 県保健医療計画(H30.4)に記載されている急性心筋梗塞の急性期医療の機能を有する病院</p> <p>① 検査(X線検査、CT検査、MRI(拡張強調画像)、血管連続撮影)24時間実施可能(オンコール体制含む)</p> <p>② 適応がある症例では超急性期に血栓回収療法等が24時間当直体制で実施可能</p> <p>③ 血栓溶解療法(t-PA)が24時間実施可能</p> <p>④ 外科的治療が必要な場合2時間以内に治療開始(24時間対応)</p> <p>⑤ 急性期リハビリテーションの実施</p>
区分	病院名	R1実績/計画	R2実績/計画	R3実績/計画	R4実績①/計画②	①/②																																																	
総合	尼崎	552/600【○】	482/540【○】	555/514【○】	512/522	98.1%																																																	
	西宮	138/120【○】	118/120【○】	105/120【○】	88/120	73.3%																																																	
	加古川	31/41【△】	13/30【▲】	15/18【○】	24/23	104.3%																																																	
	姫路	604/565【○】	654/584【○】	600/605【○】	535/516	103.7%																																																	
	丹波	107/100【○】	92/100【○】	93/100【○】	86/91	94.5%																																																	
	淡路	324/250【◎】	314/338【○】	258/320【○】	240/320	75.0%																																																	
合計		1,756/1,676	1,688/1,712	1,626/1,677	1,485/1,592	93.3%																																																	

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
(4) 経皮的動脈弁バルーン拡張術（BAV）の件数		(単位：件（延件数）)							
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②			
総合	姫路	5/63 【▲】	3/2 【◎】	12/5 【◎】	15/9	166.7%	◎	(姫路) 統合による患者抑制を考慮して計画を立てたが、当初から円滑な受入れにより一定の件数を確保	
	淡路	31/32 【○】	23/30 【△】	24/30 【○】	19/25	76.0%	△		
合計		36/95	26/32	36/35	34/34	100.0%		【コ】 感染患者受入れによる入院・手術制限	
(5) 開頭術の件数		(単位：件（延件数）)							
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②			
総合	尼崎	75/100 【△】	43/130 【▲】	64/78 【○】	71/73	97.3%	○	(西宮) 脳卒中救急患者の受入数減 (加古川) 【コ】 一般患者の受入制限	
	西宮	45/50 【○】	44/45 【○】	57/35 【◎】	37/50	74.0%	△		
	加古川	59/50 【○】	20/56 【▲】	21/29 【△】	16/40	40.0%	▲		
	姫路	181/126 【◎】	158/187 【○】	161/163 【○】	127/152	83.6%	○		
	丹波	—	—	—	22/25	88.0%	○		
	淡路	45/35 【◎】	30/35 【○】	35/45 【△】	39/37	105.4%	○		
合計		405/361	295/453	338/350	312/377	82.8%			
(6) 脳血管内手術の件数		(単位：件（延件数）)							
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②			
総合	尼崎	41/65 【△】	40/44 【○】	33/41 【○】	27/40	67.5%	△	(尼崎) 対象患者の減 (加古川) ▲ 脳神経外科医異動による減 (姫路) ○ 開院に伴う診療機能拡充による患者数増	
	西宮	8/13 【△】	17/6 【◎】	18/15 【◎】	17/18	94.4%	○		
	加古川	6/9 【△】	0/10 【▲】	2/3 【△】	0/3	0.0%	▲		
	姫路	93/89 【○】	97/89 【○】	94/95 【○】	161/80	201.3%	◎		
	丹波	—	—	—	16/20	80.0%	○		
	淡路	40/25 【◎】	36/40 【○】	61/45 【◎】	49/60	81.7%	○		
計		188/201	190/189	208/199	270/221	122.2%			
(7) 血栓溶解療法（t-P A）の件数		(単位：件（延件数）)							
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②			
総合	尼崎	22/15 【◎】	37/12 【◎】	37/46 【○】	19/29	65.5%	△	(尼崎) 対象患者の減 (西宮) ▲ 脳卒中救急患者の受入数減 (加古川) ▲ 脳神経外科医異動による減 (姫路) ○ 統合による患者抑制を考慮して計画を立てたが、当初から円滑な受入れにより一定の件数を確保	
	西宮	9/5 【◎】	5/8 【△】	9/6 【◎】	4/7	57.1%	▲		
	加古川	1/1 【○】	0/1 【▲】	0/1 【▲】	0/1	0.0%	▲		
	姫路	26/38 【△】	31/30 【○】	57/24 【◎】	47/22	213.6%	◎		
	丹波	—	—	—	5/5	100.0%	○		
	淡路	4/10 【▲】	8/12 【△】	10/8 【◎】	10/10	100.0%	○		
計		62/69	81/63	113/85	85/74	114.9%			

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
(8) 急性期リハの件数 ・心疾患									
		(単位：件 (延件数))							
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②			
総合	尼崎※	8,483/ - 【-】	7,272/ - 【-】	13,558/- 【-】	16,835/13,028	129.2%	◎	(尼崎) 対象患者数の増 (西宮) 【コ】心疾患リハ対象の入院患者数減 (姫路) 救急患者を含めた対象患者数増	
	西宮	1,858/1,800 【○】	1,857/1,904 【○】	2,147/1,703 【◎】	1,321/1,947	67.8%	△		
	姫路	15,228/14,547 【○】	16,204/14,883 【○】	17,582/14,333 【◎】	17,977/13,184	136.4%	◎		
	丹波	694/- 【-】	1,469/1,100 【◎】	2,076/1,000 【◎】	1,948/2,100	92.8%	○		
	淡路	8,071/6,500 【◎】	6,733/7,829 【○】	6,639/8,100 【○】	6,803/6,500	104.7%	○		
計		25,851/22,847	26,263/25,716	42,002/25,136	44,884/36,759	122.1%			
・脳血管疾患									
		(単位：件 (延件数))							
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②			
総合	尼崎※	10,322/- 【-】	9,031/ - 【-】	36,321/- 【-】	42,635/34,254	124.5%	◎	(尼崎) 対象患者数の増 (丹波) 脳神経外科医増に伴う患者数増	
	西宮	10,582/10,000 【○】	11,622/10,362 【○】	11,772/10,902 【○】	10,880/11,405	95.4%	○		
	加古川	9,827/9,357 【○】	5,512/9,552 【▲】	8,114/7,311 【○】	7,160/8,105	88.3%	○		
	姫路	21,029/23,570 【○】	22,918/22,598 【○】	22,809/19,976 【○】	25,740/29,873	86.2%	○		
	丹波	1,261/- 【-】	2,621/3,400 【△】	7,545/2,000 【◎】	18,218/9,000	202.4%	◎		
	淡路	11,804/13,000 【○】	11,307/13,057 【○】	12,610/12,000 【○】	13,683/12,100	113.1%	○		
計		54,503/55,927	53,980/58,969	99,171/52,189	118,316/104,737	113.0%			
※ (尼崎) R1・R2 はリハビリを実施した日数									
(9) 地域連携パスの運用件数 (脳血管疾患)									
		(単位：件 (延件数))							
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②			
総合	尼崎	115/120 【○】	104/130 【○】	103/106 【○】	47/119	39.5%	▲	(尼崎) 対象患者の減 (西宮) 脳卒中救急患者の受入数減 (加古川) 【コ】感染状況緩和による患者受入制限の縮小に伴う受入患者数増 (姫路) 連携病院への転院数の増	
	西宮	41/48 【○】	26/45 【▲】	26/28 【○】	3/26	11.5%	▲		
	加古川	11/10 【○】	6/8 【△】	0/5 【▲】	14/8	175.0%	◎		
	姫路	162/184 【○】	177/264 【△】	196/146 【◎】	230/180	127.8%	◎		
	淡路	127/95 【◎】	86/118 【△】	131/110 【○】	115/100	115.0%	○		
計		456/457	399/565	456/395	409/433	94.5%			
2 診療機能の高度化		2 診療機能の高度化							
・経カテーテル的大動脈弁置換術 (TAVI) の件数									
		(単位：件 (延件数))							
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②			
総合	尼崎	70/40 【◎】	57/71 【○】	68/47 【◎】	84/60	140.0%	◎	(尼崎) 対象患者の増 (姫路) 統合による患者抑制を考慮して計画を立てたが、当初から円滑な受入れにより一定の件数を確保	
	姫路	56/61 【○】	85/53 【◎】	96/82 【○】	87/69	126.1%	◎		
計		126/101	142/124	164/129	171/129	132.6%			

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (3) 糖尿病医療

○ 基本方向
糖尿病は適切な治療を行うことなく放置すると重大な合併症を引き起こすため、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた糖尿病医療を提供する。

○ 取組内容

1 病院の役割
尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）、姫路循環器病センター（はりま姫路総合医療センター（仮称））は、地域の医療連携体制における役割を踏まえた医療を提供する。

2 診療機能の高度化
統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、専門病院に総合的な診療機能を付加すること等で診療体制の充実を図り、心疾患等の合併症を有する糖尿病患者への治療体制を強化する。

3 地域医療機関との連携体制の構築
尼崎総合医療センター等は、無治療糖尿病患者や重篤な合併症を有する糖尿病患者の早期診断・治療のため地域の医療機関との連携体制の構築に取り組む。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																														
<p>【目標】 尼崎総合医療センター等は、地域の医療連携体制における役割を踏まえた医療を提供するほか、無治療糖尿病患者や重篤な合併症を有する糖尿病患者の早期診断・治療のため地域の医療機関との連携体制の構築に取り組む。</p>	<p>尼崎総合医療センター等は、地域の医療連携体制における役割を踏まえた医療を提供するほか、無治療糖尿病患者や重篤な合併症を有する糖尿病患者の早期診断・治療のため地域の医療機関との連携体制の構築に取り組んだが、右記の理由により計画を下回った。</p>	△	<p>新型コロナウイルス感染症の影響等により、全体では計画値を下回ったが、新規入院患者数が計画値を上回った病院もあった。</p>	<p>○県保健医療計画（H30.4）に記載している糖尿病専門治療の機能を有する病院</p> <table border="1"> <tr><td>圏域</td><td>上記条件の全てを満たしている病院</td></tr> <tr><td>阪神</td><td>尼崎、西宮</td></tr> <tr><td>東播磨</td><td>加古川</td></tr> <tr><td>播磨姫路</td><td>姫路</td></tr> </table>	圏域	上記条件の全てを満たしている病院	阪神	尼崎、西宮	東播磨	加古川	播磨姫路	姫路																																																						
圏域	上記条件の全てを満たしている病院																																																																	
阪神	尼崎、西宮																																																																	
東播磨	加古川																																																																	
播磨姫路	姫路																																																																	
<p>【取組項目】 1 病院の役割 (1) 新規入院患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="5">総合</td><td>尼崎</td><td>259/260 【○】</td><td>209/275 【△】</td><td>191/240 【△】</td><td>222/224</td><td>99.1%</td></tr> <tr><td>西宮</td><td>216/220 【○】</td><td>208/240 【○】</td><td>233/220 【○】</td><td>212/210</td><td>101.0%</td></tr> <tr><td>加古川</td><td>103/128 【○】</td><td>136/168 【○】</td><td>158/80 【◎】</td><td>152/196</td><td>77.6%</td></tr> <tr><td>姫路</td><td>124/126 【○】</td><td>96/170 【▲】</td><td>73/112 【△】</td><td>98/98</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>淡路</td><td>27/16 【◎】</td><td>20/28 【△】</td><td>12/15 【○】</td><td>15/10</td><td>150.0%</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>729/750</td><td>669/881</td><td>667/667</td><td>699/738</td><td>94.7%</td></tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	259/260 【○】	209/275 【△】	191/240 【△】	222/224	99.1%	西宮	216/220 【○】	208/240 【○】	233/220 【○】	212/210	101.0%	加古川	103/128 【○】	136/168 【○】	158/80 【◎】	152/196	77.6%	姫路	124/126 【○】	96/170 【▲】	73/112 【△】	98/98	100.0%	淡路	27/16 【◎】	20/28 【△】	12/15 【○】	15/10	150.0%	計		729/750	669/881	667/667	699/738	94.7%	<p>【取組項目】 1 病院の役割</p>	○ ○ △ ○ ◎	<p>(加古川) 【コ】糖尿病教育入院の実患者数減による減 (淡路) 【コ】入院・手術・検査制限の緩和</p>	<p>○県保健医療計画（H30.4）に記載している糖尿病の急性増悪時治療の機能を有する病院</p> <table border="1"> <tr><td>圏域</td><td>上記条件の全てを満たしている病院</td></tr> <tr><td>阪神</td><td>尼崎、西宮</td></tr> <tr><td>東播磨</td><td>加古川</td></tr> <tr><td>播磨姫路</td><td>姫路</td></tr> <tr><td>丹波</td><td>丹波</td></tr> <tr><td>淡路</td><td>淡路</td></tr> </table>	圏域	上記条件の全てを満たしている病院	阪神	尼崎、西宮	東播磨	加古川	播磨姫路	姫路	丹波	丹波	淡路	淡路					
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																												
総合	尼崎	259/260 【○】	209/275 【△】	191/240 【△】	222/224	99.1%																																																												
	西宮	216/220 【○】	208/240 【○】	233/220 【○】	212/210	101.0%																																																												
	加古川	103/128 【○】	136/168 【○】	158/80 【◎】	152/196	77.6%																																																												
	姫路	124/126 【○】	96/170 【▲】	73/112 【△】	98/98	100.0%																																																												
	淡路	27/16 【◎】	20/28 【△】	12/15 【○】	15/10	150.0%																																																												
計		729/750	669/881	667/667	699/738	94.7%																																																												
圏域	上記条件の全てを満たしている病院																																																																	
阪神	尼崎、西宮																																																																	
東播磨	加古川																																																																	
播磨姫路	姫路																																																																	
丹波	丹波																																																																	
淡路	淡路																																																																	
<p>(2) 糖尿病教育入院の実患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="5">総合</td><td>尼崎</td><td>195/200 【○】</td><td>144/213 【△】</td><td>135/175 【△】</td><td>142/167</td><td>85.0%</td></tr> <tr><td>西宮</td><td>176/220 【○】</td><td>179/190 【○】</td><td>181/175 【○】</td><td>179/180</td><td>99.4%</td></tr> <tr><td>加古川</td><td>152/123 【◎】</td><td>56/118 【▲】</td><td>77/57 【◎】</td><td>22/107</td><td>20.6%</td></tr> <tr><td>姫路</td><td>122/131 【○】</td><td>85/137 【△】</td><td>83/110 【△】</td><td>63/97</td><td>64.9%</td></tr> <tr><td>淡路</td><td>9/5 【◎】</td><td>2/13 【▲】</td><td>1/5 【▲】</td><td>3/3</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>654/679</td><td>466/671</td><td>477/522</td><td>409/554</td><td>73.8%</td></tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	195/200 【○】	144/213 【△】	135/175 【△】	142/167	85.0%	西宮	176/220 【○】	179/190 【○】	181/175 【○】	179/180	99.4%	加古川	152/123 【◎】	56/118 【▲】	77/57 【◎】	22/107	20.6%	姫路	122/131 【○】	85/137 【△】	83/110 【△】	63/97	64.9%	淡路	9/5 【◎】	2/13 【▲】	1/5 【▲】	3/3	100.0%	計		654/679	466/671	477/522	409/554	73.8%		○ ○ ▲ △ ○	<p>(加古川) 【コ】一般患者の受入制限 (姫路) 外来へのシフト等、治療方法の変化に伴う減</p>	<p>○県保健医療計画（H30.4）に記載している糖尿病の慢性合併症治療の機能を有する病院</p> <table border="1"> <tr><td>圏域</td><td>上記条件の全てを満たしている病院</td></tr> <tr><td>阪神</td><td>尼崎、西宮</td></tr> <tr><td>東播磨</td><td>加古川</td></tr> <tr><td>丹波</td><td>丹波</td></tr> </table> <p>○専門看護師・認定看護師の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>慢性疾患</td> <td>加古川(2)</td> </tr> <tr> <td>認定</td> <td>糖尿病</td> <td>尼崎(1)、姫路(1)、淡路(1)、こども(1)</td> </tr> </tbody> </table>	圏域	上記条件の全てを満たしている病院	阪神	尼崎、西宮	東播磨	加古川	丹波	丹波	区分	病院別人数		専門	慢性疾患	加古川(2)	認定	糖尿病	尼崎(1)、姫路(1)、淡路(1)、こども(1)
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																												
総合	尼崎	195/200 【○】	144/213 【△】	135/175 【△】	142/167	85.0%																																																												
	西宮	176/220 【○】	179/190 【○】	181/175 【○】	179/180	99.4%																																																												
	加古川	152/123 【◎】	56/118 【▲】	77/57 【◎】	22/107	20.6%																																																												
	姫路	122/131 【○】	85/137 【△】	83/110 【△】	63/97	64.9%																																																												
	淡路	9/5 【◎】	2/13 【▲】	1/5 【▲】	3/3	100.0%																																																												
計		654/679	466/671	477/522	409/554	73.8%																																																												
圏域	上記条件の全てを満たしている病院																																																																	
阪神	尼崎、西宮																																																																	
東播磨	加古川																																																																	
丹波	丹波																																																																	
区分	病院別人数																																																																	
専門	慢性疾患	加古川(2)																																																																
認定	糖尿病	尼崎(1)、姫路(1)、淡路(1)、こども(1)																																																																

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (4) 精神医療

○ 基本方向
ひょうごこころの医療センターは、民間病院等では対応が困難な急性期の患者等に対し、専門医療を提供するとともに、他の県立病院と連携した身体合併症患者への対応強化等を推進する。

○ 取組内容

- ひょうごこころの医療センターは、精神科医療の全県拠点病院として、児童思春期精神疾患、3次救急医療、アルコール依存症等の専門治療を充実する。
 - 精神科の急性期医療、3次救急医療及びアルコール依存症等に対する専門的治療を引き続き提供するとともに、児童思春期センター（愛称：ひかりの森）と地域の保健福祉関係機関等の連携を推進する。
 - 長期入院患者等の地域移行や精神病床の機能分化が進められる中、地域移行の促進に向けたアウトリーチ（訪問支援）の充実を図るとともに、他の県立病院と連携した身体合併症患者への対応強化等を推進する。
 - 認知症関連行動障害を有する患者の早期鑑別・早期治療や身体合併症への対応を充実するとともに、医療観察法により入院決定を受けた心神喪失患者に対する医療の提供を検討する。
- 尼崎総合医療センターは、ひょうごこころの医療センター等との連携により、精神科専門医、救急医等関係診療科医が協力して身体合併症を有する精神疾患患者へ適切に対応する。
- 淡路医療センターは、地域の実情等を踏まえ精神科医療を提供する。
- 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、外傷等の身体合症状を持つ精神疾患患者に適切な対応を行う。
- 認知症疾患医療センター指定を受けた各病院は、認知症の鑑別診断を行うとともに、圏域の中核となって医療機関等を対象とした研修や症例検討会を開催し、医療連携を推進する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																		
<p>【目標】</p> <p>ひょうごこころの医療センターにおいて、児童思春期精神疾患、3次救急医療、アルコール依存症等の専門医療を充実するとともに長期入院患者等の退院促進を図る。</p> <p>また、認知症疾患医療センター設置病院は鑑別診断を適切に行う。</p>	<p>ひょうごこころの医療センターにおいて、児童思春期精神疾患、3次救急医療、アルコール依存症等の専門医療を充実するとともに長期入院患者等の退院促進を図った。</p> <p>また、認知症疾患医療センター設置病院は鑑別診断を適切な実施を推進したが、右記の理由により計画を下回った。</p>	△	<p>新型コロナウイルス感染症の影響等により、退院支援に関する項目等において回数や人数を制限し、全体的には計画値を下回った。一方で、こころの医療センターの精神科救急医療センター入院患者数やアルコール依存症の入院患者数等、計画値が上回った項目もあった。</p>																																																			
<p>【取組項目】</p> <p>1 新規入院患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>尼崎</td> <td>29/45 【△】</td> <td>26/48 【▲】</td> <td>29/31 【○】</td> <td>21/32</td> <td>65.6%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>35/112</td> <td>31.3%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>100/165 【△】</td> <td>94/156 【△】</td> <td>95/96 【○】</td> <td>110/100</td> <td>110.0%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>792/1,096 【△】</td> <td>598/900 【△】</td> <td>883/800 【○】</td> <td>1,140/850</td> <td>134.1%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>921</td> <td>718/1,104</td> <td>1,007/927</td> <td>1,306/1,094</td> <td>119.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	29/45 【△】	26/48 【▲】	29/31 【○】	21/32	65.6%	姫路	—	—	—	35/112	31.3%	淡路	100/165 【△】	94/156 【△】	95/96 【○】	110/100	110.0%	専門	こころ	792/1,096 【△】	598/900 【△】	883/800 【○】	1,140/850	134.1%	計		921	718/1,104	1,007/927	1,306/1,094	119.4%	<p>【取組項目】</p> <p>1 新規入院患者数</p> <p>(単位：人)</p>	△	<p>(尼崎) 対象患者の減 (姫路) 平均在院日数が計画より長期化したことによる減 (こころ) 救急患者の受入増</p>	<p>○専門看護師・認定看護師の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>精神</td> <td>尼崎(1)、西宮(1)、姫路(1)、淡路(2)、こころ(1)</td> </tr> <tr> <td>認知症</td> <td>尼崎(3)、加古川(1)、丹波(1)、こころ(1)</td> </tr> <tr> <td>日本精神科看護協会認定</td> <td>精神科看護</td> <td>こころ(6)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院別人数	専門	精神	尼崎(1)、西宮(1)、姫路(1)、淡路(2)、こころ(1)	認知症	尼崎(3)、加古川(1)、丹波(1)、こころ(1)	日本精神科看護協会認定	精神科看護	こころ(6)
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																
総合	尼崎	29/45 【△】	26/48 【▲】	29/31 【○】	21/32	65.6%																																																
	姫路	—	—	—	35/112	31.3%																																																
	淡路	100/165 【△】	94/156 【△】	95/96 【○】	110/100	110.0%																																																
専門	こころ	792/1,096 【△】	598/900 【△】	883/800 【○】	1,140/850	134.1%																																																
計		921	718/1,104	1,007/927	1,306/1,094	119.4%																																																
区分	病院別人数																																																					
専門	精神	尼崎(1)、西宮(1)、姫路(1)、淡路(2)、こころ(1)																																																				
	認知症	尼崎(3)、加古川(1)、丹波(1)、こころ(1)																																																				
日本精神科看護協会認定	精神科看護	こころ(6)																																																				
<p>2 ひょうごこころの医療センターの取組</p> <p>(1) 児童思春期センターの円滑な運営（入院患者数）</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>15,422/17,659 【○】</td> <td>11,411/17,345 【△】</td> <td>10,023/15,000 【△】</td> <td>13,765/11,500</td> <td>119.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	専門	こころ	15,422/17,659 【○】	11,411/17,345 【△】	10,023/15,000 【△】	13,765/11,500	119.7%	<p>2 ひょうごこころの医療センターの取組</p>	○																																						
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																
専門	こころ	15,422/17,659 【○】	11,411/17,345 【△】	10,023/15,000 【△】	13,765/11,500	119.7%																																																
<p>(2) 精神科救急医療センターの充実強化</p> <p>・救急医療センター入院患者数</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>338/485 【△】</td> <td>189/413 【▲】</td> <td>423/340 【◎】</td> <td>593/200</td> <td>296.5%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	専門	こころ	338/485 【△】	189/413 【▲】	423/340 【◎】	593/200	296.5%		◎	<p>【コ】感染状況緩和より救急受入体制が回復 (救急算定病床の追加・拡大)</p>																																					
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																
専門	こころ	338/485 【△】	189/413 【▲】	423/340 【◎】	593/200	296.5%																																																
<p>・精神科救急医療システムからの入院患者数</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>61/78 【△】</td> <td>37/76 【▲】</td> <td>31/60 【▲】</td> <td>48/40</td> <td>120.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	専門	こころ	61/78 【△】	37/76 【▲】	31/60 【▲】	48/40	120.0%		◎	<p>精神科救急情報センターからの依頼件数増</p>																																					
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																
専門	こころ	61/78 【△】	37/76 【▲】	31/60 【▲】	48/40	120.0%																																																

実施計画の自己点検・評価

実施計画			実施状況				評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
(3) 退院支援の実施									
① 地域移行の推進による退院支援の強化			(単位：件、回)						
区分	病院名	区分	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	○ ▲ ◎	▲：検討対象となる長期入院患者数減に伴う開催回数の減 ◎：入院患者の増
専門	こころ	入院時の業務	1,352/2,400【▲】	1,412/1,600【○】	1,345/1,630【○】	1,438/1,416	101.6%		
		退院支援委員会の開催回数	162/90【◎】	166/130【◎】	124/180【△】	90/168	53.6%		
		退院調整に関する業務回数	31,149/11,000【◎】	33,928/11,000【◎】	42,371/42,480【○】	45,592/36,000	126.6%		
② 心理教育の実施			(単位：回、人)						
区分	病院名	区分	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	○ △	【コ】院内感染患者発生により、プログラムを一部中止・参加人数を制限
専門	こころ	心理教育	238/258【○】	163/250【△】	142/236【△】	127/133	95.5%		
		患者延参加数	1,082/2,122【▲】	622/1,162【▲】	420/1,140【▲】	335/505	66.3%		
③ 作業所・救護施設の利用を促進するための退院前訪問・同行の実施			(単位：回)						
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	△	【コ】感染状況を考慮し、実施制限	
専門	こころ	654/750【○】	602/700【○】	516/630【○】	437/600	72.8%			
④ 相談員による面接・電話調整			(単位：件)						
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	○		
専門	こころ	32,022/36,000【○】	44,284/34,400【◎】	48,701/40,700【○】	50,841/47,600	106.8%			
⑤ 訪問看護の実施			(単位：人)						
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	○		
専門	こころ	3,113/3,250【○】	3,275/3,500【○】	3,402/3,260【○】	3,422/3,500	97.8%			
(4) アルコール依存症治療の充実									
・入院患者数			(単位：人/日)						
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	◎	入院条件の緩和・外来枠の拡大	
専門	こころ	31.4/38.9【○】	20.2/34.1【▲】	20.0/40.0【▲】	26.0/20.5	126.8%			
・外来アルコール依存症プログラムの実施			(単位：人/日)						
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	△	【コ】感染状況を考慮し、参加人数を制限	
専門	こころ	30/-【-】	299/68【◎】	288/288【○】	247/328	75.3%			
(5) 外来機能の充実強化									
・外来患者数			(単位：人)						
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	○		
専門	こころ	51,122/51,801【○】	50,009/51,500【○】	50,279/52,555【○】	49,449/51,000	97.0%			
(6) 障害児リハビリテーションの実施			(単位：件)						
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	△	【コ】対象外来患者の減	
専門	こころ	1,740/2,294【△】	1,521/2,400【△】	1,418/1,700【○】	1,691/2,400	70.5%			

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
3 認知症鑑別診断の件数		3 認知症鑑別診断の件数							
		(単位：件 (延件数))							
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②			
総合	尼崎	160/100 【◎】	220/347 【△】	224/186 【◎】	214/246	87.0%	○	(姫路) 開院に伴う診療機能拡充による 患者数増	
	姫路	588/700 【○】	565/666 【○】	529/565 【○】	577/450	128.2%	◎		
	淡路	271/300 【○】	262/371 【△】	280/270 【○】	289/272	106.3%	○		
専門	こころ※	1,111/685 【◎】	995/1,111 【○】	1,208/1,100 【○】	190/180	105.6%	○		
	リハ西	1,122/950 【○】	1,141/1,157 【○】	1,248/1,122 【○】	1,284/1,141	112.5%	○		
計		3,252/2,735	2,371/3,652	3,489/3,243	2,554/2,289	111.6%			
※（こころ）R3 以前は、鑑別診断のための診察を行った件数									

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (5) 救急・災害医療

- 基本方向

県民が急傷病時に安心して診療を受けることができるよう、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割を踏まえ、災害医療センターを中心に、2次、3次の救急医療の充実を図っていく。
また、災害時にも県民の求める医療を適切に提供できるようハード、ソフトの両面から機能充実を図り、県立病院全体の強靱化を進める。
- 取組内容

1 救急医療

 - (1) 災害医療センターは、高度救命救急センターとして、高度救命救急医療を提供するとともに救急医療の従事者に対する研修等を行う。
 - (2) 尼崎総合医療センターの救命救急センターにおいて、24時間365日断ることなく救急患者に対応するER型救急医療の提供を行う。
 - (3) 加古川医療センターは、救命救急センターとして、3次救急医療を提供するとともに、ドクターヘリを活用した迅速な患者受け入れを行う。
 - (4) 西宮病院、淡路医療センター、姫路循環器病センターは、救命救急センターとして、3次救急医療を提供する。
 - (5) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、新たに総合的な診療機能を活かした3次救急医療を提供するなど救急医療を充実するとともに、加古川医療センターと連携した兵庫県ドクターヘリを運航する。
 - (6) 柏原病院（丹波医療センター）は、圏域の救急医療の中核病院として、2次を中心に、3次的機能病院としての役割を果たす。

2 災害医療

 - (1) 災害拠点病院の機能強化や人材育成を引き続き推進する。
 - (2) 災害医療センターは、基幹災害拠点病院として、大規模災害に備えるとともに、災害医療の従事者に対する研修等を行う。
 - (3) すべての県立病院は業務継続計画（BCP）等に基づき、災害発生時には速やかに必要な医療の提供を行う。
 - (4) 兵庫DMAT指定病院、DPAT登録医療機関は、災害発生時に県からの要請に基づき必要な医療チームの派遣を行う。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																																			
<p>【目標】 救命救急センターや2次救急輪番病院については、地域の医療機関や消防機関と連携して、圏域の救急医療を確保する。 災害医療センターにおいては、兵庫県全域の救急・災害医療の教育拠点としての役割も担う。</p>	<p>救命救急センターや2次救急輪番病院については、地域の医療機関や消防機関と連携して、圏域の救急医療を確保する。 災害医療センターにおいては、兵庫県全域の救急・災害医療の教育拠点としての役割も担ったが、右記の理由により計画を下回った。</p>	△	<p>新型コロナウイルス感染症の影響等で、ドクターカー出動件数等が計画を下回った。一方で、救急車搬送患者数、重篤患者数は、全体的に計画値を上回った。</p>	<p>参考：現況（令和5年5月の状況等）</p>																																																																			
<p>【取組項目】 1 救急医療 (1) 救急車搬送患者</p>	<p>【取組項目】 1 救急医療</p>			<p>1 救急医療 ○救急医療における県立病院の役割</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">3次救急</td> <td>高度救命救急センター</td> <td>災害</td> </tr> <tr> <td>救命救急センター</td> <td>尼崎、西宮、加古川、姫路、淡路</td> </tr> <tr> <td>3次的機能病院</td> <td>丹波</td> </tr> <tr> <td>2次救急</td> <td>2次輪番病院</td> <td>西宮、加古川、丹波</td> </tr> </tbody> </table> <p>○認定看護師の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">認定</td> <td>救急</td> <td>西宮(2)、加古川(1)、姫路(4)、淡路(1)</td> </tr> <tr> <td>クリティカルケア</td> <td>尼崎(2)、姫路(5)、こども(1)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	役割	3次救急	高度救命救急センター	災害	救命救急センター	尼崎、西宮、加古川、姫路、淡路	3次的機能病院	丹波	2次救急	2次輪番病院	西宮、加古川、丹波	区分	病院別人数	認定	救急	西宮(2)、加古川(1)、姫路(4)、淡路(1)	クリティカルケア	尼崎(2)、姫路(5)、こども(1)																																															
区分	病院名	役割																																																																					
3次救急	高度救命救急センター	災害																																																																					
	救命救急センター	尼崎、西宮、加古川、姫路、淡路																																																																					
	3次的機能病院	丹波																																																																					
2次救急	2次輪番病院	西宮、加古川、丹波																																																																					
区分	病院別人数																																																																						
認定	救急	西宮(2)、加古川(1)、姫路(4)、淡路(1)																																																																					
	クリティカルケア	尼崎(2)、姫路(5)、こども(1)																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">総合</td> <td>尼崎</td> <td>11,477/11,650 【○】</td> <td>8,777/12,906 【△】</td> <td>9,877/10,438 【○】</td> <td>11,948/10,290</td> <td>116.1%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>3,946/4,400 【○】</td> <td>3,509/4,106 【○】</td> <td>3,814/3,610 【○】</td> <td>4,581/3,700</td> <td>123.8%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>2,595/2,014 【◎】</td> <td>946/2,518 【▲】</td> <td>1,620/1,990 【○】</td> <td>2,668/1,899</td> <td>140.5%</td> </tr> <tr> <td>(ドクヘリ搬送)</td> <td>(449/466 【○】)</td> <td>(355/450 【△】)</td> <td>(360/398 【○】)</td> <td>(403/564)</td> <td>71.5%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>2,499/2,688 【○】</td> <td>2,385/2,468 【○】</td> <td>2,300/2,249 【○】</td> <td>5,537/3,943</td> <td>140.4%</td> </tr> <tr> <td>(ドクヘリ搬送)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(217/173)</td> <td>125.4%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">専門</td> <td>丹波</td> <td>2,149/1,900 【○】</td> <td>2,017/2,300 【○】</td> <td>2,415/2,300 【○】</td> <td>3,211/2,500</td> <td>128.4%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>3,225/3,500 【○】</td> <td>2,702/3,200 【○】</td> <td>3,094/3,000 【○】</td> <td>3,418/3,000</td> <td>113.9%</td> </tr> <tr> <td>災害</td> <td>963/986 【○】</td> <td>1,266/931 【◎】</td> <td>1,099/1,125 【○】</td> <td>1,054/1,450</td> <td>72.7%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26,854/27,138</td> <td>21,602/28,429</td> <td>24,219/24,712</td> <td>32,417/26,782</td> <td>121.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	11,477/11,650 【○】	8,777/12,906 【△】	9,877/10,438 【○】	11,948/10,290	116.1%	西宮	3,946/4,400 【○】	3,509/4,106 【○】	3,814/3,610 【○】	4,581/3,700	123.8%	加古川	2,595/2,014 【◎】	946/2,518 【▲】	1,620/1,990 【○】	2,668/1,899	140.5%	(ドクヘリ搬送)	(449/466 【○】)	(355/450 【△】)	(360/398 【○】)	(403/564)	71.5%	姫路	2,499/2,688 【○】	2,385/2,468 【○】	2,300/2,249 【○】	5,537/3,943	140.4%	(ドクヘリ搬送)	-	-	-	(217/173)	125.4%	専門	丹波	2,149/1,900 【○】	2,017/2,300 【○】	2,415/2,300 【○】	3,211/2,500	128.4%	淡路	3,225/3,500 【○】	2,702/3,200 【○】	3,094/3,000 【○】	3,418/3,000	113.9%	災害	963/986 【○】	1,266/931 【◎】	1,099/1,125 【○】	1,054/1,450	72.7%	計	26,854/27,138	21,602/28,429	24,219/24,712	32,417/26,782	121.0%	<p>(単位：人)</p> <p>(西宮) 救命救急センターの受入体制の充実(加古川) ◎：【コ】コロナ患者の救急受入増 △：【コ】一般患者の受入制限 (姫路) 開院に伴う診療機能拡充による円滑な救急受入 (丹波) 救急医定着による受入体制の充実(災害) 【コ】感染拡大緩和により、受入制限を行っていた他の医療機関からの一般患者受入れ数減</p>	<p>(加古川) 【コ】感染状況緩和による患者受入制限の緩和に伴う増 (姫路) 開院に伴う診療機能拡充による円滑な救急受入 (淡路) 【コ】患者受入規制の緩和、感染拡大緩和による来島者患者増</p>
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																																	
総合	尼崎	11,477/11,650 【○】	8,777/12,906 【△】	9,877/10,438 【○】	11,948/10,290	116.1%																																																																	
	西宮	3,946/4,400 【○】	3,509/4,106 【○】	3,814/3,610 【○】	4,581/3,700	123.8%																																																																	
	加古川	2,595/2,014 【◎】	946/2,518 【▲】	1,620/1,990 【○】	2,668/1,899	140.5%																																																																	
	(ドクヘリ搬送)	(449/466 【○】)	(355/450 【△】)	(360/398 【○】)	(403/564)	71.5%																																																																	
	姫路	2,499/2,688 【○】	2,385/2,468 【○】	2,300/2,249 【○】	5,537/3,943	140.4%																																																																	
	(ドクヘリ搬送)	-	-	-	(217/173)	125.4%																																																																	
専門	丹波	2,149/1,900 【○】	2,017/2,300 【○】	2,415/2,300 【○】	3,211/2,500	128.4%																																																																	
	淡路	3,225/3,500 【○】	2,702/3,200 【○】	3,094/3,000 【○】	3,418/3,000	113.9%																																																																	
	災害	963/986 【○】	1,266/931 【◎】	1,099/1,125 【○】	1,054/1,450	72.7%																																																																	
計	26,854/27,138	21,602/28,429	24,219/24,712	32,417/26,782	121.0%																																																																		
<p>(2) うち重篤患者数（高度救命救急センター及び救命救急センター）</p>	<p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>1,837/2,540 【△】</td> <td>1,446/1,702 【○】</td> <td>1,429/1,634 【○】</td> <td>1,496/1,625</td> <td>92.1%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>919/1,020 【○】</td> <td>924/747 【◎】</td> <td>917/840 【○】</td> <td>890/930</td> <td>95.7%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>587/554 【○】</td> <td>223/590 【▲】</td> <td>271/579 【▲】</td> <td>1,061/834</td> <td>127.2%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>1,199/1,051 【○】</td> <td>949/1,214 【△】</td> <td>850/1,079 【△】</td> <td>1,850/1,429</td> <td>129.5%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>623/750 【○】</td> <td>407/700 【▲】</td> <td>511/600 【○】</td> <td>633/420</td> <td>150.7%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>災害</td> <td>890/823 【○】</td> <td>1,131/779 【◎】</td> <td>1,004/950 【○】</td> <td>944/1,135</td> <td>83.2%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,055/6,738</td> <td>5,080/5,732</td> <td>4,982/5,682</td> <td>6,874/6,373</td> <td>107.9%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	1,837/2,540 【△】	1,446/1,702 【○】	1,429/1,634 【○】	1,496/1,625	92.1%	西宮	919/1,020 【○】	924/747 【◎】	917/840 【○】	890/930	95.7%	加古川	587/554 【○】	223/590 【▲】	271/579 【▲】	1,061/834	127.2%	姫路	1,199/1,051 【○】	949/1,214 【△】	850/1,079 【△】	1,850/1,429	129.5%	淡路	623/750 【○】	407/700 【▲】	511/600 【○】	633/420	150.7%	専門	災害	890/823 【○】	1,131/779 【◎】	1,004/950 【○】	944/1,135	83.2%	計	6,055/6,738	5,080/5,732	4,982/5,682	6,874/6,373	107.9%																			
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																																	
総合	尼崎	1,837/2,540 【△】	1,446/1,702 【○】	1,429/1,634 【○】	1,496/1,625	92.1%																																																																	
	西宮	919/1,020 【○】	924/747 【◎】	917/840 【○】	890/930	95.7%																																																																	
	加古川	587/554 【○】	223/590 【▲】	271/579 【▲】	1,061/834	127.2%																																																																	
	姫路	1,199/1,051 【○】	949/1,214 【△】	850/1,079 【△】	1,850/1,429	129.5%																																																																	
	淡路	623/750 【○】	407/700 【▲】	511/600 【○】	633/420	150.7%																																																																	
専門	災害	890/823 【○】	1,131/779 【◎】	1,004/950 【○】	944/1,135	83.2%																																																																	
計	6,055/6,738	5,080/5,732	4,982/5,682	6,874/6,373	107.9%																																																																		

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (6) 小児・周産期医療

<p>○ 基本方向 小児医療及び周産期医療については、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割を踏まえ高度専門医療を提供する。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 小児医療 (1) 尼崎総合医療センター及びこども病院は、小児救命救急センターとして、適切な医療を提供する。 (2) 西宮病院、淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）は、小児の2次救急医療等を提供する。 (3) こども病院は、神戸市立医療センター中央市民病院等との連携のもと、循環器疾患等のキャリアオーバー患者に対する適切な医療を提供する。</p> <p>2 周産期医療 (1) 総合周産期母子医療センターに指定されている尼崎総合医療センター及びこども病院を中心に、地域医療機関との連携を行い、周産期医療の充実を図る。 (2) 西宮病院、淡路医療センターは、地域周産期母子医療センターとして医療を提供する。 (3) 統合再編後の丹波医療センターは、近隣の周産期母子医療センター等と連携した医療を提供しながら、周産期医療の充実を図る。 (4) 統合再編するはりま姫路総合医療センター（仮称）は、総合周産期母子医療センターを補完するために必要な機能を整備する。</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																																								
<p>〔目標〕 小児救命救急センター及び小児中核病院である尼崎総合医療センター及びこども病院を中心として、小児救急医療を提供する。 総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センターは、地域の産科医療機関や消防機関と連携して、役割に応じた周産期医療を適切に提供する。</p>	<p>小児救命救急センター及び小児中核病院である尼崎総合医療センター及びこども病院を中心として、小児救急医療を提供した。 総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センターは、地域の産科医療機関や消防機関と連携して、役割に応じた周産期医療を適切に提供した。</p>	○		<p>診療体制等の影響により、一部項目で計画値を下回ったが、全体を通して概ね計画通りに実施した。特に小児の救急車搬送患者数は多くの病院で積極的な受入れを行ったことで、全体的に計画を上回った。</p>																																																																								
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 小児医療 ・小児の救急車搬送患者数</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 小児医療</p>			○小児救急医療における県立病院の役割																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>3,037/2,900【○】</td> <td>1,858/3,075【△】</td> <td>2,627/2,421【○】</td> <td>3,170/2,923</td> <td>108.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>397/460【○】</td> <td>328/380【○】</td> <td>357/360【○】</td> <td>379/451</td> <td>84.0%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>194/108</td> <td>179.6%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>268/300【○】</td> <td>140/300【▲】</td> <td>168/154【○】</td> <td>291/200</td> <td>145.5%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>150/177【○】</td> <td>96/181【▲】</td> <td>135/150【○】</td> <td>194/90</td> <td>215.6%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>1,727/2,040【○】</td> <td>1,169/1,800【△】</td> <td>1,750/1,300【◎】</td> <td>2,467/1,400</td> <td>176.2%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>5,579/5,877</td> <td>3,591/5,736</td> <td>5,037/4,385</td> <td>6,695/5,172</td> <td>129.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	3,037/2,900【○】	1,858/3,075【△】	2,627/2,421【○】	3,170/2,923	108.5%	西宮	397/460【○】	328/380【○】	357/360【○】	379/451	84.0%	姫路	—	—	—	194/108	179.6%	丹波	268/300【○】	140/300【▲】	168/154【○】	291/200	145.5%	淡路	150/177【○】	96/181【▲】	135/150【○】	194/90	215.6%	専門	こども	1,727/2,040【○】	1,169/1,800【△】	1,750/1,300【◎】	2,467/1,400	176.2%	計		5,579/5,877	3,591/5,736	5,037/4,385	6,695/5,172	129.4%	<p>2 周産期医療</p> <p>(1) ハイリスク妊婦数</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>	<p>(姫路) 開院に伴う診療機能拡充による円滑な救急受入 (丹波) 救急医定着による積極的な受入体制の構築 (淡路、こども) 【コ】患者受入制限の緩和</p>	<p>○小児救急医療における県立病院の役割</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3次救急</td> <td>小児救命救急センター</td> <td rowspan="2">尼崎、こども</td> </tr> <tr> <td>小児中核病院(A)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2次救急</td> <td>小児地域医療センター(B)</td> <td>丹波、淡路</td> </tr> <tr> <td>病院群輪番病院</td> <td>西宮、丹波</td> </tr> </tbody> </table> <p>(A)：高度専門的な小児医療を実施し、小児救命救急医療を24時間365日体制で実施 (B)：小児専門医療を実施し、24時間365日小児救急への対応が可能</p> <p>○周産期医療における県立病院の位置づけ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合周産期母子医療センター(A)</td> <td>尼崎、こども</td> </tr> <tr> <td>地域周産期母子医療センター(B)</td> <td>西宮、淡路</td> </tr> <tr> <td>地域周産期病院(C)</td> <td>姫路、丹波</td> </tr> </tbody> </table> <p>(A)：周産期に関する高度かつ専門的な医療提供(MFICU：6床以上、NICU：9床以上) (B)：比較的高度の医療提供、地域における周産期医療施設との連絡調整等 (C)：地域周産期母子医療センターと協力して、ハイリスク妊婦又はハイリスク新生児の診療等に時間を要したことによる計画未達</p>	区分		病院名	3次救急	小児救命救急センター	尼崎、こども	小児中核病院(A)	2次救急	小児地域医療センター(B)	丹波、淡路	病院群輪番病院	西宮、丹波	区分	病院名	総合周産期母子医療センター(A)	尼崎、こども	地域周産期母子医療センター(B)	西宮、淡路	地域周産期病院(C)	姫路、丹波
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																																						
総合	尼崎	3,037/2,900【○】	1,858/3,075【△】	2,627/2,421【○】	3,170/2,923	108.5%																																																																						
	西宮	397/460【○】	328/380【○】	357/360【○】	379/451	84.0%																																																																						
	姫路	—	—	—	194/108	179.6%																																																																						
	丹波	268/300【○】	140/300【▲】	168/154【○】	291/200	145.5%																																																																						
	淡路	150/177【○】	96/181【▲】	135/150【○】	194/90	215.6%																																																																						
専門	こども	1,727/2,040【○】	1,169/1,800【△】	1,750/1,300【◎】	2,467/1,400	176.2%																																																																						
計		5,579/5,877	3,591/5,736	5,037/4,385	6,695/5,172	129.4%																																																																						
区分		病院名																																																																										
3次救急	小児救命救急センター	尼崎、こども																																																																										
	小児中核病院(A)																																																																											
2次救急	小児地域医療センター(B)	丹波、淡路																																																																										
	病院群輪番病院	西宮、丹波																																																																										
区分	病院名																																																																											
総合周産期母子医療センター(A)	尼崎、こども																																																																											
地域周産期母子医療センター(B)	西宮、淡路																																																																											
地域周産期病院(C)	姫路、丹波																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>172/180【○】</td> <td>161/170【○】</td> <td>159/172【○】</td> <td>206/174</td> <td>118.4%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>151/200【△】</td> <td>151/155【○】</td> <td>120/128【○】</td> <td>135/120</td> <td>112.5%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2/10</td> <td>20.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>42/40【○】</td> <td>63/40【◎】</td> <td>43/40【○】</td> <td>53/60</td> <td>88.3%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>124/120【○】</td> <td>154/130【○】</td> <td>159/160【○】</td> <td>149/180</td> <td>82.8%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>489/540</td> <td>529/495</td> <td>481/500</td> <td>545/544</td> <td>100.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	172/180【○】	161/170【○】	159/172【○】	206/174	118.4%	西宮	151/200【△】	151/155【○】	120/128【○】	135/120	112.5%	姫路	—	—	—	2/10	20.0%	淡路	42/40【○】	63/40【◎】	43/40【○】	53/60	88.3%	専門	こども	124/120【○】	154/130【○】	159/160【○】	149/180	82.8%	計		489/540	529/495	481/500	545/544	100.2%	<p>2 周産期医療</p> <p>(1) ハイリスク妊婦数</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>▲</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>(姫路) 移転に伴い、新たな連携病院探しに時間を要したことによる計画未達</p>																											
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																																						
総合	尼崎	172/180【○】	161/170【○】	159/172【○】	206/174	118.4%																																																																						
	西宮	151/200【△】	151/155【○】	120/128【○】	135/120	112.5%																																																																						
	姫路	—	—	—	2/10	20.0%																																																																						
	淡路	42/40【○】	63/40【◎】	43/40【○】	53/60	88.3%																																																																						
専門	こども	124/120【○】	154/130【○】	159/160【○】	149/180	82.8%																																																																						
計		489/540	529/495	481/500	545/544	100.2%																																																																						

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）													
(2) 母体搬送受入数		(単位：人)							○専門看護師、認定看護師の状況													
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②			<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>小児看護</td> <td>尼崎(2)、淡路(1)、こども(3)</td> </tr> <tr> <td>母性看護</td> <td>西宮(1)、姫路(1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">認定</td> <td>新生児集中ケア</td> <td>尼崎(3)、こども(3)</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>尼崎(2)、こども(1)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院別人数		専門	小児看護	尼崎(2)、淡路(1)、こども(3)	母性看護	西宮(1)、姫路(1)	認定	新生児集中ケア	尼崎(3)、こども(3)	小児救急	尼崎(2)、こども(1)
区分	病院別人数																					
専門	小児看護	尼崎(2)、淡路(1)、こども(3)																				
	母性看護	西宮(1)、姫路(1)																				
認定	新生児集中ケア	尼崎(3)、こども(3)																				
	小児救急	尼崎(2)、こども(1)																				
総合	尼崎	93/120 【△】	97/106 【○】	100/96 【○】	88/84	104.8%	○ ○ ◎ ○ △	(姫路) 開院に伴う診療機能拡充による患者数増 (こども) 適応症例の減														
	西宮	97/110 【△】	82/120 【△】	58/84 【△】	81/75	108.0%																
	姫路	—	—	—	5/3	166.7%																
	淡路	4/5 【○】	2/5 【▲】	4/4 【○】	3/3	100.0%																
専門	こども	84/90 【○】	106/90 【○】	153/100 【◎】	114/170	67.1%																
計		278/325	287/321	315/284	291/335	86.9%																
(3) 2,500g未満の新生児実入院患者数		(単位：人)																				
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																
総合	尼崎	196/240 【○】	213/240 【○】	199/197 【○】	225/211	106.6%	○ ○ ◎ △ ○	(姫路) 開院に伴う診療機能拡充による患者数増 (淡路) 対象患者の減														
	西宮	117/120 【○】	94/110 【○】	97/120 【○】	86/100	86.0%																
	姫路	—	—	—	13/7	185.7%																
	淡路	33/50 【△】	50/50 【○】	35/40 【○】	38/50	76.0%																
専門	こども	191/182 【○】	353/180 【◎】	229/220 【○】	241/230	104.8%																
計		537/592	710/580	560/577	603/598	100.8%																
(4) 新生児の搬送受入総数		(単位：人)																				
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																
総合	尼崎	65/70 【○】	72/70 【○】	54/75 【△】	72/58	124.1%	◎ ○ ○ ○	(尼崎) 対象患者の増														
	西宮	50/60 【○】	39/50 【△】	38/40 【○】	46/40	115.0%																
	淡路	3/3 【○】	2/3 【△】	4/4 【○】	3/3	100.0%																
専門	こども	201/174 【○】	173/190 【○】	179/180 【○】	178/180	98.9%																
計		319/307	286/313	275/299	299/281	106.4%																
(5) 院内助産の実施件数		(単位：件)																				
区分	病院名	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																		
総合	淡路	5/- 【-】	7/10	70.0%			△	(淡路) 対象患者の減														

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (7) リハビリテーション医療

- 基本方向
リハビリテーション中央病院及びリハビリテーション西播磨病院においては、全県の中核施設として、安全で質の高い先導的なリハビリテーション医療を追求するとともに、各地域におけるリハビリテーション関係機関と連携し、地域と結びついた一貫したリハビリテーション提供体制の充実を図る。
- 取組内容
 - 1 リハビリテーション中央病院は、ロボットリハビリテーションを推進するとともに、リハビリテーション西播磨病院は、神経難病リハビリテーションを更に充実する。
 - 2 急性期病院において、治療後の早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図るとともに、「地域連携バス」等により近隣病院との連携を強化する。
 - 3 がんセンター等は、がんリハビリの充実に取り組み、術後早期の機能回復を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																												
<p>〔目標〕 全県の中核施設として、リハビリテーション中央病院において、ロボットリハビリテーションを推進し、また、リハビリテーション西播磨病院において神経難病リハビリテーションを適切に提供する。 また、急性期病院において、早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図る。</p>	<p>全県の中核施設として、リハビリテーション中央病院において、ロボットリハビリテーションを推進し、また、リハビリテーション西播磨病院において神経難病リハビリテーションを適切に提供した。 また、急性期病院において、早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図った。</p>	○	<p>ロボット機器を用いたリハビリテーションの実施患者数やスポーツ医学診療センター患者数等は計画を大きく上回ったほか、摂食・嚥下支援センターの入院・外来患者数が昨年度を上回る等、全体を通して概ね計画通りに実施した。</p>	<p>○リハビリテーション中央病院で導入しているロボット機器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンピュータ制御義足</td> <td>下肢切断者 (主に大腿切断者)</td> </tr> <tr> <td>筋電電動義手</td> <td>上肢切断者 (成人、小児)</td> </tr> <tr> <td>装着型サイボーグ HAL® (CYBERDYNE 株式会社)</td> <td>脊髄損傷 (不全麻痺) 脳血管障害 (片麻痺)</td> </tr> <tr> <td>HONDA 歩行アシスト (本田技研工業株式会社)</td> <td>下肢の人工関節 置換術後</td> </tr> <tr> <td>ウォークエイド® (帝人ファーマ株式会社)</td> <td>足関節の麻痺</td> </tr> <tr> <td>C-Brace® (オットーボック・ジャパン株式会社)</td> <td>脊髄損傷 (不全麻痺) 脳血管障害 (片麻痺)</td> </tr> </tbody> </table>	機器	対象	コンピュータ制御義足	下肢切断者 (主に大腿切断者)	筋電電動義手	上肢切断者 (成人、小児)	装着型サイボーグ HAL® (CYBERDYNE 株式会社)	脊髄損傷 (不全麻痺) 脳血管障害 (片麻痺)	HONDA 歩行アシスト (本田技研工業株式会社)	下肢の人工関節 置換術後	ウォークエイド® (帝人ファーマ株式会社)	足関節の麻痺	C-Brace® (オットーボック・ジャパン株式会社)	脊髄損傷 (不全麻痺) 脳血管障害 (片麻痺)														
機器	対象																															
コンピュータ制御義足	下肢切断者 (主に大腿切断者)																															
筋電電動義手	上肢切断者 (成人、小児)																															
装着型サイボーグ HAL® (CYBERDYNE 株式会社)	脊髄損傷 (不全麻痺) 脳血管障害 (片麻痺)																															
HONDA 歩行アシスト (本田技研工業株式会社)	下肢の人工関節 置換術後																															
ウォークエイド® (帝人ファーマ株式会社)	足関節の麻痺																															
C-Brace® (オットーボック・ジャパン株式会社)	脊髄損傷 (不全麻痺) 脳血管障害 (片麻痺)																															
<p>〔取組項目〕 1 リハビリテーション中央病院の取組 (1) ロボット機器を用いたリハビリテーションの臨床応用 (脊髄損傷、四肢切断、脳卒中等) ・実施患者数</p>	<p>〔取組項目〕 1 リハビリテーション中央病院の取組 (1) ロボット機器を用いたリハビリテーションの臨床応用 (脊髄損傷、四肢切断、脳卒中等) ・実施患者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>リハ中</td> <td>76/-【-】</td> <td>52/65【○】</td> <td>75/57【◎】</td> <td>136/52</td> <td>261.5%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	専門	リハ中	76/-【-】	52/65【○】	75/57【◎】	136/52	261.5%	◎	<p>ロボット機器を歩行機能評価に活用したことによる対象患者数の増</p>	<p>○リハビリテーション中央病院で導入しているロボット機器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンピュータ制御義足</td> <td>下肢切断者 (主に大腿切断者)</td> </tr> <tr> <td>筋電電動義手</td> <td>上肢切断者 (成人、小児)</td> </tr> <tr> <td>装着型サイボーグ HAL® (CYBERDYNE 株式会社)</td> <td>脊髄損傷 (不全麻痺) 脳血管障害 (片麻痺)</td> </tr> <tr> <td>HONDA 歩行アシスト (本田技研工業株式会社)</td> <td>下肢の人工関節 置換術後</td> </tr> <tr> <td>ウォークエイド® (帝人ファーマ株式会社)</td> <td>足関節の麻痺</td> </tr> <tr> <td>C-Brace® (オットーボック・ジャパン株式会社)</td> <td>脊髄損傷 (不全麻痺) 脳血管障害 (片麻痺)</td> </tr> </tbody> </table>	機器	対象	コンピュータ制御義足	下肢切断者 (主に大腿切断者)	筋電電動義手	上肢切断者 (成人、小児)	装着型サイボーグ HAL® (CYBERDYNE 株式会社)	脊髄損傷 (不全麻痺) 脳血管障害 (片麻痺)	HONDA 歩行アシスト (本田技研工業株式会社)	下肢の人工関節 置換術後	ウォークエイド® (帝人ファーマ株式会社)	足関節の麻痺	C-Brace® (オットーボック・ジャパン株式会社)	脊髄損傷 (不全麻痺) 脳血管障害 (片麻痺)
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																										
専門	リハ中	76/-【-】	52/65【○】	75/57【◎】	136/52	261.5%																										
機器	対象																															
コンピュータ制御義足	下肢切断者 (主に大腿切断者)																															
筋電電動義手	上肢切断者 (成人、小児)																															
装着型サイボーグ HAL® (CYBERDYNE 株式会社)	脊髄損傷 (不全麻痺) 脳血管障害 (片麻痺)																															
HONDA 歩行アシスト (本田技研工業株式会社)	下肢の人工関節 置換術後																															
ウォークエイド® (帝人ファーマ株式会社)	足関節の麻痺																															
C-Brace® (オットーボック・ジャパン株式会社)	脊髄損傷 (不全麻痺) 脳血管障害 (片麻痺)																															
<p>(2) 回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準の維持 (単位：%)</p>	<p>(2) 回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準の維持 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>項目</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">専門</td> <td rowspan="3">リハ中</td> <td>在宅復帰率 (基準：70.0%以上)</td> <td>90.4/87.0【○】</td> <td>94.8/89.4【○】</td> <td>90.3/94.0【○】</td> <td>86.8/87.9</td> <td>98.7%</td> </tr> <tr> <td>日常生活機能評価10点以上 又はFIM総得点55点以下 (基準30.0%以上)</td> <td>49.0/33.0【◎】</td> <td>51.4/49.4【○】</td> <td>49.1/46.0【○】</td> <td>42.3/50.9</td> <td>83.1%</td> </tr> <tr> <td>日常生活機能評価4点以上 又はFIM総得点16点以上改善 (基準30.0%以上)</td> <td>82.9/70.0【○】</td> <td>90.5/84.0【○】</td> <td>91.8/89.1【○】</td> <td>75.9/91.0</td> <td>83.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	項目	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	専門	リハ中	在宅復帰率 (基準：70.0%以上)	90.4/87.0【○】	94.8/89.4【○】	90.3/94.0【○】	86.8/87.9	98.7%	日常生活機能評価10点以上 又はFIM総得点55点以下 (基準30.0%以上)	49.0/33.0【◎】	51.4/49.4【○】	49.1/46.0【○】	42.3/50.9	83.1%	日常生活機能評価4点以上 又はFIM総得点16点以上改善 (基準30.0%以上)	82.9/70.0【○】	90.5/84.0【○】	91.8/89.1【○】	75.9/91.0	83.4%	○		
区分	病院名	項目	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																									
専門	リハ中	在宅復帰率 (基準：70.0%以上)	90.4/87.0【○】	94.8/89.4【○】	90.3/94.0【○】	86.8/87.9	98.7%																									
		日常生活機能評価10点以上 又はFIM総得点55点以下 (基準30.0%以上)	49.0/33.0【◎】	51.4/49.4【○】	49.1/46.0【○】	42.3/50.9	83.1%																									
		日常生活機能評価4点以上 又はFIM総得点16点以上改善 (基準30.0%以上)	82.9/70.0【○】	90.5/84.0【○】	91.8/89.1【○】	75.9/91.0	83.4%																									
<p>(3) 人工関節センターにおける人工関節置換術件数 (単位：件)</p>	<p>(3) 人工関節センターにおける人工関節置換術件数 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>リハ中</td> <td>302/290【○】</td> <td>190/320【▲】</td> <td>215/250【○】</td> <td>289/190</td> <td>152.1%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	専門	リハ中	302/290【○】	190/320【▲】	215/250【○】	289/190	152.1%	◎	<p>【コ】令和3年度の感染拡大により、延期となった手術実施による件数増</p>															
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																										
専門	リハ中	302/290【○】	190/320【▲】	215/250【○】	289/190	152.1%																										
<p>(4) 患者1人1日実施単位数の拡大 (単位：単位)</p>	<p>(4) 患者1人1日実施単位数の拡大 (単位：単位)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>項目</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">専門</td> <td rowspan="3">リハ中</td> <td>一般(手術)</td> <td>2.0/2.2【○】</td> <td>2.7/2.2【◎】</td> <td>2.8/2.0【◎】</td> <td>2.0/1.7</td> <td>117.6%</td> </tr> <tr> <td>障害者</td> <td>4.4/3.4【◎】</td> <td>4.8/4.3【○】</td> <td>4.7/4.4【○】</td> <td>4.5/4.4</td> <td>102.3%</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>5.5/5.6【○】</td> <td>6.0/5.5【○】</td> <td>6.0/5.5【○】</td> <td>6.2/5.5</td> <td>112.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	項目	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	専門	リハ中	一般(手術)	2.0/2.2【○】	2.7/2.2【◎】	2.8/2.0【◎】	2.0/1.7	117.6%	障害者	4.4/3.4【◎】	4.8/4.3【○】	4.7/4.4【○】	4.5/4.4	102.3%	回復期	5.5/5.6【○】	6.0/5.5【○】	6.0/5.5【○】	6.2/5.5	112.7%	○		
区分	病院名	項目	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																									
専門	リハ中	一般(手術)	2.0/2.2【○】	2.7/2.2【◎】	2.8/2.0【◎】	2.0/1.7	117.6%																									
		障害者	4.4/3.4【◎】	4.8/4.3【○】	4.7/4.4【○】	4.5/4.4	102.3%																									
		回復期	5.5/5.6【○】	6.0/5.5【○】	6.0/5.5【○】	6.2/5.5	112.7%																									

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況				評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
(5) スポーツ医学診療センター患者数		(単位：件)						
区分	病院名	項目	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②			
専門	リハ中	入院患者	6,799/2,867【◎】	12,390/8,400	147.5%	◎	入院：他の医療機関への訪問強化による患者数増 外来：広報活動、夜間診療の開始等による患者数増	
		外来患者	3,745/134【◎】	6,799/3,888	174.9%	◎		
2 リハビリテーション西播磨病院の取組		2 リハビリテーション西播磨病院の取組						
(1) 回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準の維持		(単位：%)						
区分	病院名	項目	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	
専門	リハ西	在宅復帰率 (基準：70.0%以上)	86.9/81.0【○】	87.6/79.7【○】	83.3/86.9【○】	89.1/87.6	101.7%	○
		日常生活機能評価10点以上 又はFIM総得点55点以下 (基準30.0%以上)	31.6/31.0【○】	36.8/32.7【○】	35.1/31.6【○】	43.6/36.8	118.5%	○
		リハビリテーション実績指数 (基準40.0%以上)	48.2/46.2【○】	53.2/46.2【○】	54.5/48.2【○】	62.5/53.2	117.5%	○
		日常生活機能評価4点以上 又はFIM総得点16点以上改善 (基準30.0%以上)	47.5/58.0【○】	64.6/54.1【○】	82.2/47.5【◎】	79.1/64.6	122.4%	◎
(2) 病床利用率及び1日あたり外来患者数の安定的確保及び更なる向上		(2) 病床利用率及び1日あたり外来患者数の安定的確保及び更なる向上						
① 摂食・嚥下支援センターの本格稼働による入院及び外来患者数の増加		① 摂食・嚥下支援センターの本格稼働による入院及び外来患者数の増加 (R4 実績：入院患者2人、外来患者24人)				◎	地元在宅医療推進協議会及び病院主催研修において摂食・嚥下支援の積極的な発信・広報等に取組んだことにより、R3 実績（入院患者0人、外来患者11名）から増	
② 病床利用率及び1日あたり外来患者数		(単位：%、人)						
区分	病院名	項目	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	
専門	リハ西	病床利用率	95.2/95.5【○】	86.7/95.5【○】	87.8/95.2【○】	84.1/95.5	88.1%	○
		外来患者数	44.0/46.0【○】	40.3/46.0【○】	40.0/46.0【○】	38.4/46.0	83.5%	○
3 急性期病院の取組		3 急性期病院の取組						
・リハビリテーション実施単位の向上		(単位)						
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	121,579/142,000【○】	123,102/130,388【○】	124,511/123,460【○】	139,885/119,307	117.2%	○	
	西宮	65,296/62,500【○】	68,469/64,682【○】	63,967/68,241【○】	49,587/65,588	75.6%	△	
	加古川	51,226/48,554【○】	35,667/47,329【△】	39,448/42,900【○】	43,302/43,901	98.6%	○	
	姫路	53,369/54,252【○】	65,304/54,393【◎】	67,546/57,380【○】	99,900/107,549	92.9%	○	
	丹波	35,338/30,000【○】	45,141/45,000【○】	55,348/48,500【○】	82,501/76,650	107.6%	○	
	淡路	63,145/59,000【○】	60,288/62,924【○】	64,754/64,000【○】	65,384/63,500	103.0%	○	
専門	こども	16,617/19,810【○】	17,622/17,000【○】	18,817/18,000【○】	17,690/19,560	90.4%	○	
	がん	20,568/21,000【○】	21,753/21,400【○】	16,175/21,680【△】	15,403/20,000	77.0%	△	
計		427,138/437,116	437,346/443,116	450,566/444,161	513,652/516,055	99.5%		
							◎回復期リハビリテーション病棟稼働（丹波） 急性期治療を終えた患者を対象に、リハビリを実施する回復期リハビリテーション病棟（45床）の運用を開始（R4.4.1）。 (西宮) リハビリ職員数（稼働）の減 (がん) 【コ】入院制限等によるリハビリ介入件数の減、リハビリ職員数（稼働）の減	

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (8) その他の政策医療

○ 基本方向
「兵庫県保健医療計画」に定められた各病院の役割を踏まえ、結核・感染症医療、アレルギー疾患医療、難病医療等を提供する。

○ 取組内容

1 結核・感染症医療
(1) エイズ治療拠点病院において高度専門医療を提供するほか、エイズ診療協力病院においても機能に応じた医療を提供する。
(2) 兵庫県新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）は患者の受入れ体制を整備する。
(3) 加古川医療センターは、第一種感染症病床及び第二種感染症病床を、尼崎総合医療センター、淡路医療センターにおいては、第二種感染症病床を確保し、新興感染症等に対する医療を提供する。
(4) 統合再編後の丹波医療センターは第二種感染症病床を設置し、新興感染症等に対する医療を提供する。
(5) 淡路医療センターは、引き続き結核医療及び精神疾患と結核の合併症患者への医療を提供する。

2 アレルギー疾患医療
(1) 県アレルギー疾患医療拠点病院であるこども病院は、診断が困難な疾患や標準的治療では病態が安定化しない重症及び難治性アレルギー疾患患者に対し、関係する複数の診療科が連携し、診断、治療、管理を行う。
(2) アレルギー科やアレルギー外来を設置している病院において、適切な医療を提供する。

3 難病医療
専門医を配置するなど、難病医療の拠点病院・協力病院として必要な機能を整備し、入院治療が必要な重症難病患者に対して、適切な医療を提供する。

4 透析医療
透析患者に対し、良質で安全な医療を提供する。

5 臓器移植
西宮病院等は、臓器移植を必要とする患者に、適切に臓器の提供及び移植の実施ができるよう体制の充実を図る。

6 造血幹細胞移植（骨髄移植、さい帯血移植）
(1) 化学療法等では治癒しない白血病や重症再生不良性貧血等の患者に対して骨髄移植の機会を確保するため、尼崎総合医療センター、西宮病院、こども病院、がんセンターは、引き続き骨髄移植を実施する。
(2) さい帯血移植は、提供者に身体的負担をかけないことなどから、移植の推進に協力する。

7 へき地医療
(1) 淡路医療センター及び柏原病院（丹波医療センター）は、へき地医療拠点病院としての役割を果たす。
(2) 統合再編後の丹波医療センターは、引き続きへき地医療拠点病院として、医師を育成するとともに、へき地診療所等へ医師を派遣する。
(3) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、製鉄記念広畑病院のへき地医療拠点病院としての機能を継承する。

8 性差医療
尼崎総合医療センター及び淡路医療センターは、引き続き女性総合外来を実施する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）															
<p>〔目標〕 結核・感染症医療やアレルギー疾患医療、透析医療等の政策医療について、各病院の役割に応じて適切な医療を提供する。</p>	<p>結核・感染症医療やアレルギー疾患医療、透析医療等の政策医療について、各病院の役割に応じて適切な医療を提供したが、右記の理由により計画を下回った。</p>	△	<p>新型コロナウイルス感染症の影響や対象疾患患者の増減等により、項目ごとに計画を上回ったもの・下回ったものがあつたが、腎臓移植や末梢血幹細胞移植、さい帯血移植の実施件数等は計画を上回った。</p>	<p>参考：現況（令和5年5月の状況等）</p>															
<p>〔取組項目〕 1 結核・感染症医療 (1) 第一種感染症指定医療機関（加古川医療センター） ① 新型インフルエンザを想定した診療訓練を実施する等、感染症に対する専門医療の提供体制を整備する。 ② 専門医の勤務状況（週1日） 院内感染症外来・ICTミーティング・院内ラウンド（広域抗菌薬ラウンド、血培ラウンド、環境ラウンド）を実施する。</p>	<p>〔取組項目〕 1 結核・感染症医療 (1) 第一種感染症指定医療機関（加古川医療センター） ① 新型インフルエンザを想定した診療訓練を実施する等、感染症に対する専門医療の提供体制を整備した。 ② 専門医の勤務状況（週1日） 院内感染症外来・ICTミーティング・院内ラウンド（抗菌薬ラウンド、血培ラウンド、環境ラウンド）を実施した。</p>	○	<p>概ね計画どおり実施</p>	<p>○エイズ医療における県立病院の役割</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">エイズ治療拠点病院</td> <td>尼崎総合医療センター</td> </tr> <tr> <td>加古川医療センター</td> </tr> <tr> <td>淡路医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>○感染症医療機関の指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一種感染症指定医療機関</td> <td>加古川医療センター（2床）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第二種感染症指定医療機関</td> <td>尼崎総合医療センター（8床）</td> </tr> <tr> <td>加古川医療センター（6床）</td> </tr> <tr> <td>丹波医療センター（4床）</td> </tr> <tr> <td>淡路医療センター（4床）</td> </tr> </tbody> </table> <p>○結核病床設置病院：淡路医療センター（15床）</p>	区分	病院名	エイズ治療拠点病院	尼崎総合医療センター	加古川医療センター	淡路医療センター	区分	病院名	第一種感染症指定医療機関	加古川医療センター（2床）	第二種感染症指定医療機関	尼崎総合医療センター（8床）	加古川医療センター（6床）	丹波医療センター（4床）	淡路医療センター（4床）
区分	病院名																		
エイズ治療拠点病院	尼崎総合医療センター																		
	加古川医療センター																		
	淡路医療センター																		
区分	病院名																		
第一種感染症指定医療機関	加古川医療センター（2床）																		
第二種感染症指定医療機関	尼崎総合医療センター（8床）																		
	加古川医療センター（6床）																		
	丹波医療センター（4床）																		
	淡路医療センター（4床）																		

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																			
<p>(2) 第二種感染症指定機関（尼崎総合医療センター、加古川医療センター、丹波医療センター、淡路医療センター）ほか</p> <p>① 平時から新型インフルエンザを想定した診療訓練を実施する等、患者の受入体制を整備するとともに、発生時においては、「兵庫県新型インフルエンザ対策行動計画」に基づき、入院患者の受け入れや外来診療への協力など、適切な医療を提供する。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症対策では、感染症指定医療機関を中心に感染患者の積極的な受入に全力で取り組む。</p> <p>2 アレルギー疾患医療 ・アレルギー専門外来の患者数</p>	<p>(2) 第二種感染症指定機関（尼崎総合医療センター、加古川医療センター、丹波医療センター、淡路医療センター）ほか</p> <p>① 平時から新型インフルエンザを想定した診療訓練を実施する等、患者の受入体制を整備するとともに、発生時においては、「兵庫県新型インフルエンザ対策行動計画」に基づき、入院患者の受け入れや外来診療への協力など、適切な医療を提供した。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症対策では、感染症指定医療機関を中心に感染患者の積極的な受入に全力で取り組んだ。</p> <p>2 アレルギー疾患医療</p>	○	<p>概ね計画どおり実施</p> <p>各病院で新型コロナウイルス感染患者を積極的に受け入れ</p>	<p>○認定看護師の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定</td> <td>感染管理</td> </tr> <tr> <td></td> <td>尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、姫路(2)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○県アレルギー疾患医療拠点病院 こども病院 (H30.2.1指定)</p> <p>○アレルギー科設置病院 尼崎総合医療センター、こども病院</p> <p>○アレルギー外来設置病院 ・尼崎総合医療センター（小児アレルギー科） ・西宮病院（小児科、耳鼻咽喉科） ・加古川医療センター（皮膚科） ・丹波医療センター（小児科） ・こども病院（アレルギー科）</p>	区分	病院別人数	認定	感染管理		尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、姫路(2)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)																																													
区分	病院別人数																																																						
認定	感染管理																																																						
	尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、姫路(2)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)																																																						
(単位：人（延人数）)																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1実績/計画</th> <th>R2実績/計画</th> <th>R3実績/計画</th> <th>R4実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>1,850/2,000【○】</td> <td>672/1,500【▲】</td> <td>1,434/1,179【◎】</td> <td>1,888/1,582</td> <td>119.3%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>584/620【○】</td> <td>568/965【▲】</td> <td>634/520【◎】</td> <td>643/600</td> <td>107.2%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>1,308/1,503【○】</td> <td>894/1,505【▲】</td> <td>982/1,271【△】</td> <td>1,334/1,261</td> <td>105.8%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>949/800【○】</td> <td>818/1,000【○】</td> <td>825/1,000【○】</td> <td>831/860</td> <td>96.6%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>3,253/1,413【◎】</td> <td>3,788/3,000【◎】</td> <td>4,957/3,500【◎】</td> <td>5,042/4,900</td> <td>102.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>7,944/6,336</td> <td>6,740/7,970</td> <td>8,832/7,470</td> <td>9,738/9,203</td> <td>105.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1実績/計画	R2実績/計画	R3実績/計画	R4実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	1,850/2,000【○】	672/1,500【▲】	1,434/1,179【◎】	1,888/1,582	119.3%	西宮	584/620【○】	568/965【▲】	634/520【◎】	643/600	107.2%	加古川	1,308/1,503【○】	894/1,505【▲】	982/1,271【△】	1,334/1,261	105.8%	丹波	949/800【○】	818/1,000【○】	825/1,000【○】	831/860	96.6%	専門	こども	3,253/1,413【◎】	3,788/3,000【◎】	4,957/3,500【◎】	5,042/4,900	102.9%	計		7,944/6,336	6,740/7,970	8,832/7,470	9,738/9,203	105.8%	<p>3 難病医療 ・神経難病相談センター及び神経難病リハビリテーションセンター相談件数</p>	○	<p>(尼崎) 【コ】感染拡大による受診控えや関係医療機関との面談中止による患者との接触機会減</p> <p>(リハ西) 【コ】外来受診控えにより、メール・FAX等による相談件数増</p>	<p>○</p> <p>△</p> <p>◎</p>					
区分	病院名	R1実績/計画	R2実績/計画	R3実績/計画	R4実績①/計画②	①/②																																																	
総合	尼崎	1,850/2,000【○】	672/1,500【▲】	1,434/1,179【◎】	1,888/1,582	119.3%																																																	
	西宮	584/620【○】	568/965【▲】	634/520【◎】	643/600	107.2%																																																	
	加古川	1,308/1,503【○】	894/1,505【▲】	982/1,271【△】	1,334/1,261	105.8%																																																	
	丹波	949/800【○】	818/1,000【○】	825/1,000【○】	831/860	96.6%																																																	
専門	こども	3,253/1,413【◎】	3,788/3,000【◎】	4,957/3,500【◎】	5,042/4,900	102.9%																																																	
計		7,944/6,336	6,740/7,970	8,832/7,470	9,738/9,203	105.8%																																																	
(単位：件（延件数）)																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1実績/計画</th> <th>R2実績/計画</th> <th>R3実績/計画</th> <th>R4実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>尼崎</td> <td>5,134/4,400【○】</td> <td>5,110/5,135【○】</td> <td>4,876/5,264【○】</td> <td>3,714/4,945</td> <td>75.1%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>リハ西</td> <td>293/360【○】</td> <td>265/330【○】</td> <td>325/293【○】</td> <td>417/265</td> <td>157.4%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>5,427/4,760</td> <td>5,375/5,465</td> <td>5,201/5,557</td> <td>4,131/5,210</td> <td>79.3%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1実績/計画	R2実績/計画	R3実績/計画	R4実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	5,134/4,400【○】	5,110/5,135【○】	4,876/5,264【○】	3,714/4,945	75.1%	専門	リハ西	293/360【○】	265/330【○】	325/293【○】	417/265	157.4%	計		5,427/4,760	5,375/5,465	5,201/5,557	4,131/5,210	79.3%	<p>3 難病医療</p>	△																									
区分	病院名	R1実績/計画	R2実績/計画	R3実績/計画	R4実績①/計画②	①/②																																																	
総合	尼崎	5,134/4,400【○】	5,110/5,135【○】	4,876/5,264【○】	3,714/4,945	75.1%																																																	
専門	リハ西	293/360【○】	265/330【○】	325/293【○】	417/265	157.4%																																																	
計		5,427/4,760	5,375/5,465	5,201/5,557	4,131/5,210	79.3%																																																	
(単位：件（延件数）)																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1実績/計画</th> <th>R2実績/計画</th> <th>R3実績/計画</th> <th>R4実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">総合</td> <td>尼崎</td> <td>4,525/4,400【○】</td> <td>4,088/4,582【○】</td> <td>2,839/4,279【△】</td> <td>4,159/3,472</td> <td>119.8%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>4,215/4,200【○】</td> <td>3,621/4,300【○】</td> <td>3,708/4,300【○】</td> <td>3,028/4,050</td> <td>74.8%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>15,341/15,345【○】</td> <td>14,587/15,327【○】</td> <td>13,285/14,933【○】</td> <td>12,458/15,341</td> <td>81.2%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3,198/4,176</td> <td>76.6%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>76/-【-】</td> <td>1,407/900【◎】</td> <td>2,027/1,400【◎】</td> <td>1,804/2,000</td> <td>90.2%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>2,716/2,233【◎】</td> <td>2,080/2,600【○】</td> <td>1,799/2,350【△】</td> <td>1,886/1,800</td> <td>104.8%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>26,873/26,178</td> <td>25,783/27,709</td> <td>23,658/27,262</td> <td>26,533/30,839</td> <td>86.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1実績/計画	R2実績/計画	R3実績/計画	R4実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	4,525/4,400【○】	4,088/4,582【○】	2,839/4,279【△】	4,159/3,472	119.8%	西宮	4,215/4,200【○】	3,621/4,300【○】	3,708/4,300【○】	3,028/4,050	74.8%	加古川	15,341/15,345【○】	14,587/15,327【○】	13,285/14,933【○】	12,458/15,341	81.2%	姫路	-	-	-	3,198/4,176	76.6%	丹波	76/-【-】	1,407/900【◎】	2,027/1,400【◎】	1,804/2,000	90.2%	淡路	2,716/2,233【◎】	2,080/2,600【○】	1,799/2,350【△】	1,886/1,800	104.8%	計		26,873/26,178	25,783/27,709	23,658/27,262	26,533/30,839	86.0%	<p>4 透析医療 ・透析の件数</p>	○	<p>(西宮) 外来維持透析患者数の減</p> <p>(姫路) 統合により、慢性維持透析患者を他医療機関へ紹介したことによる減</p>	○
区分	病院名	R1実績/計画	R2実績/計画	R3実績/計画	R4実績①/計画②	①/②																																																	
総合	尼崎	4,525/4,400【○】	4,088/4,582【○】	2,839/4,279【△】	4,159/3,472	119.8%																																																	
	西宮	4,215/4,200【○】	3,621/4,300【○】	3,708/4,300【○】	3,028/4,050	74.8%																																																	
	加古川	15,341/15,345【○】	14,587/15,327【○】	13,285/14,933【○】	12,458/15,341	81.2%																																																	
	姫路	-	-	-	3,198/4,176	76.6%																																																	
	丹波	76/-【-】	1,407/900【◎】	2,027/1,400【◎】	1,804/2,000	90.2%																																																	
	淡路	2,716/2,233【◎】	2,080/2,600【○】	1,799/2,350【△】	1,886/1,800	104.8%																																																	
計		26,873/26,178	25,783/27,709	23,658/27,262	26,533/30,839	86.0%																																																	

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）					
5 臓器移植		5 臓器移植												
・腎臓移植の実施件数		(単位：件（延件数）)							○臓器移植における県立病院の役割					
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>腎臓移植病院</td> <td>西宮</td> </tr> <tr> <td>臓器提供病院</td> <td>尼崎、西宮、加古川、姫路、淡路、こども、災害</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	腎臓移植病院	西宮	臓器提供病院	尼崎、西宮、加古川、姫路、淡路、こども、災害
区分	病院名													
腎臓移植病院	西宮													
臓器提供病院	尼崎、西宮、加古川、姫路、淡路、こども、災害													
総合	西宮	13/20 【△】	12/18 【△】	9/12 【△】	18/10	180.0%	◎	【コ】感染状況緩和による件数増						
6 造血幹細胞移植		6 造血幹細胞移植												
・骨髄移植の実施件数		(単位：件（延件数）)							○骨髄移植実施病院					
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②		<ul style="list-style-type: none"> ・尼崎総合医療センター ・こども病院 ・がんセンター 						
総合	尼崎	6/25 【▲】	8/7 【○】	5/8 【△】	1/8	12.5%	▲	(尼崎、こども)						
専門	こども	6/7 【○】	9/6 【◎】	10/8 【◎】	4/11	36.4%	▲	対象疾患患者の減						
	がん	6/11 【▲】	4/7 【▲】	4/4 【○】	4/2	200.0%	◎	(がん)						
計		18/43	21/28	19/20	9/21	42.9%		対象疾患患者の増						
・末梢血幹細胞移植の実施件数		(単位：件（延件数）)							○末梢血幹細胞移植実施病院					
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②		<ul style="list-style-type: none"> ・尼崎総合医療センター ・西宮病院 ・こども病院 ・がんセンター 						
総合	尼崎	10/- 【-】	15/13 【○】	16/13 【◎】	17/9	188.9%	◎	(尼崎、がん)						
	西宮	0/- 【-】	3/1 【◎】	1/2 【▲】	2/2	100.0%	○	対象疾患患者の増						
専門	こども	18/- 【-】	19/18 【○】	28/16 【◎】	19/27	70.4%	△	(こども)						
	がん	11/- 【-】	8/11 【△】	6/20 【▲】	15/8	187.5%	◎	対象疾患患者の減						
計		39/-	45/46	51/51	53/46	115.2%								
・さい帯血移植の実施件数		(単位：日（延日数）)							○さい帯血移植病院					
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②		<ul style="list-style-type: none"> ・尼崎総合医療センター ・こども病院 ・がんセンター 						
総合	尼崎	9/- 【-】	15/16 【○】	9/14 【△】	9/7	128.6%	◎	(尼崎、がん)						
	こども	5/- 【-】	4/6 【△】	1/6 【▲】	4/4	100.0%	○	対象疾患患者の増						
専門	がん	4/- 【-】	5/4 【◎】	2/6 【▲】	4/3	133.3%	◎							
計		18/-	24/26	12/26	17/14	121.4%								
7 へき地医療		7 へき地医療												
・へき地医療機関への医師派遣の日数		(単位：日（延日数）)							○へき地医療における県立病院の役割					
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>へき地医療拠点病院</td> <td>姫路、丹波、淡路</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	へき地医療拠点病院	姫路、丹波、淡路		
区分	病院名													
へき地医療拠点病院	姫路、丹波、淡路													
総合	姫路	-	-	-	0/13	0.0%	▲	(姫路)						
	丹波	100/100 【○】	98/96 【○】	95/100 【○】	89/96	92.7%	○	家島診療所から派遣要請なしによる実績ゼロ（令和5年度～要請再開）						
	淡路	48/48 【○】	36/48 【△】	36/42 【○】	35/36	97.2%	○							
計		148/148	134/144	131/142	124/145	85.5%		○はりま姫路総合医療センターから家島診療所への医師派遣日数（R5） R5.6に1日派遣、R5.9に1日派遣予定						
8 性差医療		8 性差医療												
・女性総合外来の件数		(単位：件（延件数）)							○女性総合外来設置病院					
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②		<ul style="list-style-type: none"> ・尼崎総合医療センター（塚口病院より継承） ・淡路医療センター（H16.4開設） 						
総合	尼崎	163/240 【△】	54/200 【▲】	30/137 【▲】	21/72	29.2%	▲	(尼崎)						
	淡路	1,076/1,182 【○】	995/1,101 【○】	959/1,000 【○】	860/1,050	81.9%	○	対象患者の減						
計		1,239/1,422	1,049/1,301	989/1,137	881/1,122	78.5%								

I より良質な医療の提供

項目2 統合再編・建替整備

○ 基本方向

高度専門・特殊医療をさらに充実するとともに、病院運営の一層の効率化を図るため、病院の統合再編を行う。また、県民に対し良質な医療を提供していくためには、高度専門医療等の医療機能の充実や施設の老朽化、狭隘化等への対応が必要であることから、経営状況及び一般会計の負担を踏まえつつ、計画的な建替整備等を行う。移転跡地については、資産の有効活用を図るため、売却することを基本とする。

○ 取組内容

1 統合再編・建替整備

- (1) 丹波医療センター（2019年7月開院）、はりま姫路総合医療センター（仮称）（2022年度上期開院）の整備を推進する。
- (2) 西宮病院と西宮市立中央病院について、県市で締結した基本協定に基づき、統合再編整備を推進する。
- (3) がんセンターは、あり方検討委員会の報告を踏まえ、建替整備等を検討する。
- (4) 尼崎総合医療センターについて、高度・先進医療の中核医療機関としての今後必要な診療機能の具体化を行い、施設拡充を検討する。

2 跡地利用

- (1) 柏原病院
丹波市新庁舎の検討状況を踏まえ、病院局、丹波市、柏原病院、丹波県民局を構成員とする跡地活用検討会で具体的な利活用を検討する。あわせて、跡地処分に向けた土地の課題解決を図る。
- (2) 姫路循環器病センター
用地所有者である地元姫路市に対して返還に向けて協議を行っていく。
- (3) 西宮病院
県と西宮市で有効活用を検討する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
<p>【目標】</p> <p>はりま姫路総合医療センター及び西宮総合医療センター（仮称）の統合再編整備、がんセンターの建替整備を推進する。</p>	<p>はりま姫路総合医療センターを開院した他、西宮総合医療センター（仮称）の統合再編整備、がんセンターの建替整備を推進した。</p>	△	<p>入札不調の影響により、西宮総合医療センター（仮称）の建設工事の着工が遅れた。また、建設資材不足等を踏まえ、がんセンターの設計の見直しを行ったため、設計期間が延長となった。 （上記を受け、開院時期を見直し）</p>	
<p>【取組項目】</p> <p>1 統合再編・建替整備</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) はりま姫路総合医療センター 「県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編基本計画」（平成29年2月策定）に基づき、5月に新病院を開院 (2) 西宮総合医療センター（仮称） 「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本計画（令和2年2月策定）」に基づき、設計・建設工事を実施 (3) がんセンターの整備 「県立がんセンター建替整備基本計画」（令和3年2月策定）に基づき、設計を実施 (4) 尼崎総合医療センター 患者サポートセンターを整備（令和4年度下期供用開始） <p>2 跡地利用</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 旧柏原病院 跡地の一部を県社会福祉事業団が活用予定。それ以外の部分については、跡地活用推進検討会で引き続き利活用を検討 また、建物の解体撤去等を実施 (2) 姫路循環器病センター 用地所有者である姫路市への返還に向け、建物の解体設計等を実施 (3) 西宮病院 3号棟は西宮市への売却を基本とし、西宮市において活用予定のない本館・2号棟は民間への売却を検討 	<p>【取組項目】</p> <p>1 統合再編・建替整備</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) はりま姫路総合医療センター ・開院前に綿密な職員トレーニング、リハーサル等を実施した。 ・基本計画に基づき新病院を開院した（R4.5.1）。 ・開院に伴い、ダヴィンチ等の高度医療機器を導入した。 (2) 西宮総合医療センター（仮称） 基本計画に基づき設計を実施したが、入札不調により令和4年度中には建設工事に着手できなかった。 (3) がんセンターの整備 基本計画に基づき、基本設計をとりまとめたが、建設資材不足等に対応するため、設計見直しを行った。 (4) 尼崎総合医療センター 患者サポートセンターを開設した（R5.2.27）。 <p>2 跡地利用</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 旧柏原病院 跡地の一部を県社会福祉事業団が活用予定で、それ以外の部分については、跡地活用推進検討会で引き続き利活用を検討した。 また、建物の解体撤去等を実施した。 (2) 旧姫路循環器病センター 用地所有者である姫路市への返還に向け、建物の解体設計等に着手した。 (3) 西宮病院 3号棟は西宮市への売却を基本とし、西宮市において活用予定のない本館・2号棟は民間への売却を検討した。 	<p>○ 計画どおり、R4.5に新病院を開院</p> <p>△ 入札不調により令和4年度中は建設工事未着手</p> <p>△ 設計の見直しを行ったため、設計期間が延長（建設工期も見直し）</p> <p>○ 計画どおり、R5.2に患者サポートセンターを開設</p> <p>○ 計画どおり、建物の解体工事を完了</p> <p>○ 計画どおり、建物の解体設計を開始</p> <p>○ 計画どおり、検討に着手</p>	<p>1 統合再編・建替整備</p> <ol style="list-style-type: none"> (2) 西宮総合医療センター（仮称） 令和2年11月～令和4年7月：設計 令和5年3月～：着工準備 令和5年7月～：着工 (3) がんセンター 令和3年11月～令和5年4月：設計 <p>2 跡地利用</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 旧柏原病院 旧柏原病院跡地は福祉部に移管（障害者支援施設の用地として活用） 旧柏原看護専門学校跡地は、引き続き跡地活用検討委員会で利活用を検討 (2) 旧姫路循環器病センター 令和8年度の返還に向け、姫路市とスケジュールや今後の手続等の調整に着手 (3) 西宮病院 「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本計画」の方針に基づき、進め方を検討 	

I より良質な医療の提供
項目3 診療機能の効率化

○ 基本方向	医療の標準化を進め医療の質の向上を図るため、DPC分析ソフトの活用等により、クリニカルパスの充実等を行うとともに、地域医療連携と効率化の観点から地域連携クリニカルパス適用の促進を図る。 また、医療機能の高度化やチーム医療の充実等、良質で安全な医療を引き続き提供するため、診療体制の充実を推進する。
○ 取組内容	<p>1 診療科目等の見直し</p> <p>(1) 疾病構造や医療ニーズの変化等を踏まえ、診療科目の見直しを行う。</p> <p>(2) 地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、診療科別病床数等の見直しを行う。</p> <p>2 クリニカルパスの充実</p> <p>5大がんなどの県統一地域連携クリニカルパスの適用を推進するとともに、DPC分析ソフトの活用等により、他病院とのベンチマークを通じたクリニカルパスの充実を図る。</p> <p>3 専門センター制の導入促進</p> <p>複数の診療科、多職種の協働による専門センター制の導入を推進する。</p> <p>4 チーム医療の推進</p> <p>多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を活かしつつ連携・補完し、患者の状況に的確に対応した医療を提供するチーム医療を引き続き推進する。</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																							
<p>【目標】</p> <p>診療科目の見直しなど、医療ニーズの変化等に適切に対応するほか、クリニカルパスを活用し、良質な医療を効果的かつ効率的に提供する。 また、専門センター制やチーム医療の推進等により診療体制の充実を図る。</p>	<p>診療科目の見直しなど、医療ニーズの変化等に適切に対応するほか、クリニカルパスを活用し、良質な医療を効果的かつ効率的に提供した。 また、専門センター制やチーム医療の推進等により診療体制の充実を図った。</p>	○	診療科目の見直し、クリニカルパスの充実等により診療機能の効率化を図った。																																								
<p>【取組項目】</p> <p>1 診療科目等の見直し</p> <p>(1) 診療科目の見直し</p> <p>病院構造や医療ニーズの変化等を踏まえ診療科目の見直しを実施 ・「糖尿病・内分泌内科」を新設（R4.4）（淡路）</p> <p>(2) 診療科別病床数の見直し</p> <p>地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、診療科別病床数の見直しを実施</p> <p>2 クリニカルパスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 5大がんなどの県統一クリニカルパスの適用を推進 使用可能なクリニカルパスの拡充及びクリニカルパス適用率の向上 <p>○クリニカルパス適用率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こども</th> <th>がん</th> <th>粒子線</th> <th>神戸陽子</th> <th>リハ中</th> <th>リハ西</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>66.4</td> <td>51.8</td> <td>47.6</td> <td>49.2</td> <td>33.6</td> <td>38.1</td> <td>32.1</td> <td>63.7</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>48.1</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>69.4</td> <td>47.1</td> <td>48.6</td> <td>45.3</td> <td>33.7</td> <td>50.0</td> <td>37.1</td> <td>65.2</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>34.5</td> </tr> </tbody> </table>	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん	粒子線	神戸陽子	リハ中	リハ西	R3実績	66.4	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	100.0	48.1	R4実績	69.4	47.1	48.6	45.3	33.7	50.0	37.1	65.2	100.0	100.0	100.0	34.5	<p>【取組項目】</p> <p>1 診療科目等の見直し</p> <p>(1) 診療科目の見直し</p> <p>病院構造や医療ニーズの変化等を踏まえ診療科目の見直しを実施 ・「糖尿病・内分泌内科」を新設した（R4.4）（淡路）。 ・統合再編に伴い、血液内科、感染症内科、小児外科、放射線診断科、放射線治療科を新設した（R4.5）（姫路）。 ※旧製鉄記念広畑病院で標榜していた診療科は除く</p> <p>(2) 診療科別病床数の見直し</p> <p>地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、診療科別病床数の見直しを実施 ・回復期リハビリテーション病棟（45床）の運用を開始した（R4.4）（丹波）。</p> <p>2 クリニカルパスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 5大がんなどの県統一クリニカルパスの適用を推進した。 使用可能なクリニカルパスの拡充及びクリニカルパス適用率の向上に取り組んだ。 <p>(単位:%)</p>	○	2病院において、診療科目の見直しを実施	○専門センター制の導入状況（設置件数）
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん	粒子線	神戸陽子	リハ中	リハ西																															
R3実績	66.4	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	100.0	48.1																															
R4実績	69.4	47.1	48.6	45.3	33.7	50.0	37.1	65.2	100.0	100.0	100.0	34.5																															
		○	概ね計画どおり実施																																								
		○	クリニカルパス推進対策本部の設置と各病院のパス推進チームの設置による体制を強化																																								
<p>3 専門センター制の導入促進</p> <p>複数の診療科、多職種の協働による専門センター制の導入を推進</p> <p>4 チーム医療の推進</p> <p>多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を活かしつつ連携・補完し、患者の状況に的確に対応した医療を提供するチーム医療を推進</p>	<p>3 専門センター制の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 統合再編に伴い、心臓血管センター、臨床研修センター、認知症疾患医療センターを新設した（姫路）。 <p>4 チーム医療の推進</p> <p>多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を活かしつつ連携・補完し、患者の状況に的確に対応した医療を提供するチーム医療を推進した。</p>	○	統合再編にあわせ、複数の専門センターを新設																																								
		○	概ね計画どおり実施																																								

病院名	件数
尼崎	18
西宮	10
加古川	9
姫路	21
丹波	5
淡路	9
こころ	2
こども	7
がん	7
リハ中	3
リハ西	3
計	94

I より良質な医療の提供
項目4 臨床研究等の充実

<p>○ 基本方向 県立病院の医療水準の向上を図り、医薬品等の安全性を高めるため、受託研究や治験等の臨床研究、大学等との共同研究を推進する。</p> <p>○ 取組内容 1 受託研究 (1) 共同研究実施要綱及び県立病院受託研究取扱規程に基づき、受託研究や治験等の臨床研究、大学等との共同研究を推進する。 (2) 厚生労働省、日本学術振興会等が実施する公募型の研究制度を活用する。 (3) 研究成果は、学会、県民を対象とするシンポジウム等において発表するほか、印刷媒体、インターネットを活用して県民に情報提供する。 (4) こども病院、姫路循環器病センターに設置された神戸大学連携大学院・臨床研究センターにおいて、研究を推進し、臨床研究医を育成する。 (5) 統合再編するはりま姫路総合医療センター（仮称）は、最新かつ質の高い臨床研究を実施するために臨床研究センターを整備し、臨床研究支援体制を充実する。 (6) がんセンターは、あり方検討委員会の報告を踏まえ、臨床研究の充実を図る。</p> <p>2 治験 臨床治験推進方策に基づき、治験を推進する。</p>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																																																							
<p>〔目標〕 県立病院の医療水準を向上するため、各種の臨床研究を推進する。 また、医薬品等の安全性を高めるとともに、医療の質の向上を図るため、治験を推進する。</p> <p>〔取組項目〕 県立病院の医療水準の向上を図るとともに、医療全体の質の向上に貢献するため、受託研究・治験を推進</p> <p>1 受託研究 (1) 受託研究の件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">総合</td> <td>尼崎</td> <td>190/200 【○】</td> <td>161/190 【○】</td> <td>151/205 【△】</td> <td>130/146</td> <td>89.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>34/48 【△】</td> <td>44/36 【◎】</td> <td>40/44 【○】</td> <td>48/45</td> <td>106.7%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>44/45 【○】</td> <td>40/45 【○】</td> <td>45/42 【○】</td> <td>45/48</td> <td>93.8%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>51/39 【◎】</td> <td>37/53 【△】</td> <td>32/46 【△】</td> <td>137/92</td> <td>148.9%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>9/7 【◎】</td> <td>8/7 【○】</td> <td>9/6 【◎】</td> <td>9/5</td> <td>180.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>2/16 【▲】</td> <td>2/11 【▲】</td> <td>4/3 【◎】</td> <td>4/1</td> <td>400.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">専門</td> <td>こども</td> <td>39/45 【○】</td> <td>40/36 【○】</td> <td>41/37 【○】</td> <td>33/41</td> <td>80.5%</td> </tr> <tr> <td>がん※</td> <td>236/280 【○】</td> <td>228/265 【○】</td> <td>148/260 【○】</td> <td>113/150</td> <td>75.3%</td> </tr> <tr> <td>粒子線</td> <td>4/6 【△】</td> <td>3/4 【△】</td> <td>3/4 【△】</td> <td>1/3</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td>神戸陽子</td> <td>3/— 【—】</td> <td>1/2 【▲】</td> <td>0/1 【▲】</td> <td>0/1</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>リハ中</td> <td>4/4 【○】</td> <td>4/2 【◎】</td> <td>6/2 【◎】</td> <td>9/4</td> <td>225.0%</td> </tr> <tr> <td>リハ西</td> <td>1/2 【▲】</td> <td>1/— 【—】</td> <td>1/1 【○】</td> <td>1/1</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>617/694</td> <td>569/651</td> <td>480/651</td> <td>530/537</td> <td>98.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（がん）R3～集計方法を見直し（重複研究の精査を実施）</p>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	190/200 【○】	161/190 【○】	151/205 【△】	130/146	89.0%	西宮	34/48 【△】	44/36 【◎】	40/44 【○】	48/45	106.7%	加古川	44/45 【○】	40/45 【○】	45/42 【○】	45/48	93.8%	姫路	51/39 【◎】	37/53 【△】	32/46 【△】	137/92	148.9%	丹波	9/7 【◎】	8/7 【○】	9/6 【◎】	9/5	180.0%	淡路	2/16 【▲】	2/11 【▲】	4/3 【◎】	4/1	400.0%	専門	こども	39/45 【○】	40/36 【○】	41/37 【○】	33/41	80.5%	がん※	236/280 【○】	228/265 【○】	148/260 【○】	113/150	75.3%	粒子線	4/6 【△】	3/4 【△】	3/4 【△】	1/3	33.3%	神戸陽子	3/— 【—】	1/2 【▲】	0/1 【▲】	0/1	0.0%	リハ中	4/4 【○】	4/2 【◎】	6/2 【◎】	9/4	225.0%	リハ西	1/2 【▲】	1/— 【—】	1/1 【○】	1/1	100.0%	合計	617/694	569/651	480/651	530/537	98.7%	<p>県立病院の医療水準を向上するため、各種の臨床研究を推進した。 また、医薬品等の安全性を高めるとともに、医療の質の向上を図るため、治験を推進した。</p> <p>1 受託研究 (単位：件（延件数）)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>△</p> <p>▲</p> <p>▲</p> <p>◎</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>依頼件数の増減等により、受託研究・治験ともに病院ごとに件数が増減したが、全体としては概ね計画どおりに実施した。</p> <p>（姫路） 開院に伴う新規受託研究の増（丹波、淡路、リハ中） 依頼件数の増（がん） 事務職員の欠員により、CRC が一時的に事務業務も担当したため、受託研究の件数を調整したことによる減 （粒子線） 対象患者がいなかったことによる減 （神戸陽子） 新規受託研究要請なしによる実績ゼロ</p> <p>継続して共同研究を実施</p>	<p>参考：現況（令和5年5月の状況等）</p> <p>○神戸大学連携大学院 (1) こども病院（平成25年4月協定締結） 神戸大学との連携大学院に関する協定に基づき、平成27年4月から大学院生1名を受け入れ (2) はりま姫路総合医療センター（平成27年1月（旧姫路循環器病センター時）協定締結） 神戸大学との連携大学院に関する協定に基づき、平成28年4月から大学院生を受け入れ（令和5年5月現在1名） (3) ひょうごこころの医療センター（令和2年4月協定締結） 神戸大学との連携大学院に関する協定を締結し、令和3年度から大学院生を募集</p> <p>○KUN I U M I 研究（淡路） ・淡路医療センターが神戸大学、国立循環器病センターと共同で実施（H31.3～） ・無症状の心不全患者を早期に発見し、重症化防止につなげていくため、淡路島内の医療機関から収集した心不全入院患者情報を活用 ・高齢心不全患者の特徴を抽出し、有効な対処方法を検討</p>
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																																																					
総合	尼崎	190/200 【○】	161/190 【○】	151/205 【△】	130/146	89.0%																																																																																					
	西宮	34/48 【△】	44/36 【◎】	40/44 【○】	48/45	106.7%																																																																																					
	加古川	44/45 【○】	40/45 【○】	45/42 【○】	45/48	93.8%																																																																																					
	姫路	51/39 【◎】	37/53 【△】	32/46 【△】	137/92	148.9%																																																																																					
	丹波	9/7 【◎】	8/7 【○】	9/6 【◎】	9/5	180.0%																																																																																					
	淡路	2/16 【▲】	2/11 【▲】	4/3 【◎】	4/1	400.0%																																																																																					
専門	こども	39/45 【○】	40/36 【○】	41/37 【○】	33/41	80.5%																																																																																					
	がん※	236/280 【○】	228/265 【○】	148/260 【○】	113/150	75.3%																																																																																					
	粒子線	4/6 【△】	3/4 【△】	3/4 【△】	1/3	33.3%																																																																																					
	神戸陽子	3/— 【—】	1/2 【▲】	0/1 【▲】	0/1	0.0%																																																																																					
	リハ中	4/4 【○】	4/2 【◎】	6/2 【◎】	9/4	225.0%																																																																																					
	リハ西	1/2 【▲】	1/— 【—】	1/1 【○】	1/1	100.0%																																																																																					
合計	617/694	569/651	480/651	530/537	98.7%																																																																																						
<p>(2) 神戸大学、国立循環器病研究センター等との心不全共同研究の実施（淡路）</p>	<p>(2) 神戸大学、国立循環器病研究センター等との心不全共同研究（KUN I U M I 研究）を実施（淡路） ・参加登録患者数：2,416例（R5.5.1現在）</p>	<p>○</p>	<p>継続して共同研究を実施</p>	<p>○KUN I U M I 研究（淡路） ・淡路医療センターが神戸大学、国立循環器病センターと共同で実施（H31.3～） ・無症状の心不全患者を早期に発見し、重症化防止につなげていくため、淡路島内の医療機関から収集した心不全入院患者情報を活用 ・高齢心不全患者の特徴を抽出し、有効な対処方法を検討</p>																																																																																							

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
2 治験 ・ 治験の件数		2 治験 (単位：件（延件数）)							
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②			
総合	尼崎	45/44 【○】	38/45 【○】	31/42 【△】	37/31	119.4%	○	(西宮) 令和5年度中に終了予定の治験を前倒し実施したことによる増 (姫路) 開院に伴う新規治験の増 (淡路) 新規依頼なし (こども) 【コ】 感染状況緩和による依頼件数増	
	西宮	9/9 【○】	8/4 【◎】	9/9 【○】	13/9	144.4%	◎		
	姫路	15/16 【○】	21/17 【◎】	22/15 【◎】	27/22	122.7%	◎		
	淡路	2/8 【▲】	2/5 【▲】	0/3 【▲】	1/2	50.0%	▲		
専門	こども	19/13 【◎】	19/13 【◎】	12/17 【△】	22/16	137.5%	◎		
	がん	109/100 【○】	109/110 【○】	107/110 【○】	98/110	89.1%	○		
	リハ中	4/6 【△】	4/5 【○】	1/1 【○】	1/1	100.0%	○		
合計	203/198	201/199	182/197	199/191	104.2%				

II 安心できる県立病院の実現

項目1 地域医療連携の推進

○ 基本方向	医療資源を有効に活用し、効果的かつ効率的に医療サービスを提供するため、地域連携を推進し、紹介率及び逆紹介率のより一層の向上を図る。
○ 取組内容	
1 地域医療構想への対応	各圏域で行われる地域医療構想調整会議の議論等を踏まえて、県立病院間及び他の医療機関との連携強化、医療機能の分化、必要な診療機能の見直し等を行う。
2 地域医療ネットワークへの参画等	(1) 県立病院間及び県立病院と他の公立・公的病院等との間において、診療応援等の医療連携の更なる推進を図る。 (2) セキュリティ対策の確保を図りつつICT（情報通信技術）の活用を図り、地域医療ネットワークシステムへの参画やウェブ（インターネットテレビ電話会議システム）を活用した症例検討や遠隔医療の充実など、他の医療機関との情報ネットワーク化を推進する。
3 地域医療連携体制等の充実	(1) 医療福祉相談員の充実など、地域医療との連携や患者相談を一層推進できる体制の整備を行う。 (2) 各圏域で開催している地域医療連携担当者会議へ積極的に参画する。 (3) インターネット等による診療・検査予約の拡充や地域医療ネットワークシステムへの参画など、ICTを活用し、患者紹介システムの利便性の向上を図る。
4 紹介率の向上	(1) ホームページや広報誌などを活用し、患者、地域医療機関に対して、治療実績等の積極的な情報提供を行う。 (2) 地域の医療機関との情報交換、研究会、症例検討会等を拡充する。 (3) 治療中や治療終了時に、患者の治療状況等を紹介元医療機関に報告する。 (4) 医師会等に県立病院の治療実績等を報告する。
5 逆紹介率の向上	(1) 地域連携クリニカルパスの導入を促進する。 (2) 円滑な退院支援のため、後送病院、施設等を幅広く確保する。 (3) 在宅医療、介護サービス等との連携体制の構築を検討する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																										
<p>【目標】 地域医療支援病院及び地域がん診療連携拠点病院等は、その役割を踏まえ、医療機器の共同利用の促進や、地域の医療従事者等への研修、相談、情報提供等を行うとともに、地域連携クリニカルパス等の推進を図るなど、地域医療連携を推進する。 また、他の病院及び診療所においても、オープンセミナー等の実施や地域連携クリニカルパス等の推進により、地域医療連携の推進により、紹介率、逆紹介率の維持、向上を図る。</p>	<p>地域医療支援病院及び地域がん診療連携拠点病院等は、その役割を踏まえ、医療機器の共同利用の促進や、地域の医療従事者等への研修、相談、情報提供等を行うとともに、地域連携クリニカルパス等の推進を図るなど、地域医療連携を推進した。 また、他の病院及び診療所においても、オープンセミナー等の実施や地域連携クリニカルパス等の推進により、地域医療連携の推進により、紹介率、逆紹介率の維持、向上を図った。</p>	○	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮して研修会や講演会、各種会議等を中止した病院もあったものの、オンラインの活用や感染状況が緩和したタイミングで開催する等して、計画を上回った病院もあった。 全体的に概ね計画どおり実施した。</p>																											
<p>【取組項目】 1 地域医療構想への対応 各圏域で行われる地域医療構想調整会議の議論等を踏まえて、県立病院間及び他の医療機関との連携強化、医療機能の分化、必要な診療機能の見直しを検討 2 地域医療ネットワークへの参画等 (1) 阪神医療福祉情報ネットワーク（h-Anshin むこねっと）による地域連携を推進（患者共有データ件数）（尼崎、西宮）</p>	<p>【取組項目】 1 地域医療構想への対応 各圏域で行われる地域医療構想調整会議の議論等を踏まえて、県立病院間及び他の医療機関との連携強化、医療機能の分化、必要な診療機能の見直しを検討した。 2 地域医療ネットワークへの参画等</p>	○	<p>概ね計画どおり実施</p>	<p>○兵庫県地域医療構想（H28.10 策定） ・団塊の世代がすべて後期高齢者となる2025（令和7）年に向け、地域完結型医療が必要とされている。兵庫県でも、県民の理解のもと、①医療機能の分化・連携、②在宅医療の充実、それを支える③医療従事者の確保を進め、「地域完結型医療」の構築を目的として、地域医療構想を策定 ・圏域毎の地域医療構想における直近の課題・現状を踏まえ、その推進方策を記載する「兵庫県保健医療計画（圏域版）」を平成31年3月に策定</p>																										
	<p>(単位：件（延件数）)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>1,136/1,340 【○】</td> <td>1,140/1,202 【○】</td> <td>1,088/1,142 【○】</td> <td>894/1,133</td> <td>78.9%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>254/130 【◎】</td> <td>359/419 【○】</td> <td>424/300 【◎】</td> <td>254/385</td> <td>66.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>1,390/1,470</td> <td>1,499/1,621</td> <td>1,512/1,442</td> <td>1,148/1,518</td> <td>75.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	1,136/1,340 【○】	1,140/1,202 【○】	1,088/1,142 【○】	894/1,133	78.9%	西宮	254/130 【◎】	359/419 【○】	424/300 【◎】	254/385	66.0%		計	1,390/1,470	1,499/1,621	1,512/1,442	1,148/1,518	75.6%	△ △	<p>(尼崎) 対象患者数の減 (西宮) 【○】対象患者数の減</p>
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																								
総合	尼崎	1,136/1,340 【○】	1,140/1,202 【○】	1,088/1,142 【○】	894/1,133	78.9%																								
	西宮	254/130 【◎】	359/419 【○】	424/300 【◎】	254/385	66.0%																								
	計	1,390/1,470	1,499/1,621	1,512/1,442	1,148/1,518	75.6%																								

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																											
(2) 淡路地域医療連携システム（あわじネット）の活用による患者確保及び地域医療連携体制を強化（参加医療機関数）（淡路） （単位：機関数）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>淡路</td> <td>46/44 【○】</td> <td>46/45 【○】</td> <td>46/47 【○】</td> <td>47/45</td> <td>104.4%</td> </tr> </tbody> </table>					区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	総合	淡路	46/44 【○】	46/45 【○】	46/47 【○】	47/45	104.4%	○															
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																														
総合	淡路	46/44 【○】	46/45 【○】	46/47 【○】	47/45	104.4%																														
(3) 明石在宅医療連携システム（明石しごせんネット）の活用による患者の確保及び地域医療連携体制の強化（がん） ・参加登録医療機関数（R4.1時点）：72 医療機関		(3) 明石在宅医療連携システム（明石しごせんネット）の活用による患者の確保及び地域医療連携体制を強化（がん） ・参加登録医療機関数（R5.3時点）：73 医療機関					○	昨年度から登録医療機関が1増加しており、概ね計画どおり実施																												
(4) 尼崎総合医療センター及び丹波医療センターにおいて、但馬（公立豊岡病院）・神戸大学等遠隔医療教育ネットワークによるTVカンファレンスを実施（開催回数） （単位：回（延回数））		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>12/12 【○】</td> <td>12/12 【○】</td> <td>12/12 【○】</td> <td>12/12</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>126/120 【○】</td> <td>124/120 【○】</td> <td>127/126 【○】</td> <td>126/126</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>138/132</td> <td>136/132</td> <td>139/138</td> <td>138/138</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>					区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	12/12 【○】	12/12 【○】	12/12 【○】	12/12	100.0%	丹波	126/120 【○】	124/120 【○】	127/126 【○】	126/126	100.0%	計		138/132	136/132	139/138	138/138	100.0%	○		○医療機関コミュニケーションアプリを活用したリアルタイムでの情報共有、迅速な診断・治療の実施（導入済：尼崎、加古川、姫路、丹波、淡路） ※兵庫県循環器病対策推進計画（R4.4）に記載されている「ICTを活用した循環器病医療連携ネットワーク」にも活用
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																														
総合	尼崎	12/12 【○】	12/12 【○】	12/12 【○】	12/12	100.0%																														
	丹波	126/120 【○】	124/120 【○】	127/126 【○】	126/126	100.0%																														
計		138/132	136/132	139/138	138/138	100.0%																														
(5) 遠隔病理診断ネットワークによる神戸大学、長崎大学等とのカンファレンスを実施（淡路） （単位：回（延回数））		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>淡路</td> <td>1,645/- 【-】</td> <td>531/1,000 【▲】</td> <td>601/650 【○】</td> <td>40/420</td> <td>9.5%</td> </tr> </tbody> </table>					区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	総合	淡路	1,645/- 【-】	531/1,000 【▲】	601/650 【○】	40/420	9.5%	▲	(淡路) 病理医のスキル向上により診断困難事例等の追認依頼件数が激減	○遠隔病理診断ネットワークによる神戸大学、長崎大学等とのカンファレンスの実施（淡路） 診断困難例を主体に専用システムを用いて遠隔カンファレンスを実施し、精度の高い病理診断を提供													
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																														
総合	淡路	1,645/- 【-】	531/1,000 【▲】	601/650 【○】	40/420	9.5%																														
(6) キャンサーボード（がん医療に関する治療方針等を検討・共有するためのカンファレンス）を開催するためにテレビ会議システム等を活用したがん診療ネットワークを構築（参加病院：がん、こども、粒子線、神戸陽子）【再掲P7】 ・キャンサーボード実施回数 （単位：回）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>R1 実績/計画</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん、こども、粒子線、神戸陽子</td> <td>525/640 【○】</td> <td>476/510 【○】</td> <td>517/510 【○】</td> <td>630/500</td> <td>126.0%</td> </tr> </tbody> </table>					病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	がん、こども、粒子線、神戸陽子	525/640 【○】	476/510 【○】	517/510 【○】	630/500	126.0%	◎	(粒子線) 保険適用拡大に伴う増																
病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																															
がん、こども、粒子線、神戸陽子	525/640 【○】	476/510 【○】	517/510 【○】	630/500	126.0%																															
(7) 情報ネットワークシステムを活用したこども病院及び地域の中核病院の医師によるオンラインでの協働診療体制の構築（参加病院：こども、丹波、淡路）		(7) 情報ネットワークシステムを活用したこども病院及び地域の中核病院の医師によるオンラインでの協働診療体制を構築（参加病院：こども、丹波、淡路）					○	令和3年度後半から運用開始	○こども病院及び地域の中核病院の医師によるオンライン診療の実施（こども、丹波、淡路、（公立豊岡）） ・延べ実施症例：3例（R3.11～R5.5） ・更なる患者利便性の向上を図るため、病院間の調整を継続するとともに、新たな活用場面・手法を検討																											
(8) 県立病院間等での遠隔画像診断ネットワークを構築し、休日・夜間帯における救急患者等への的確な医療の提供や、医師の働き方改革等を推進（参加病院：西宮、加古川、丹波、淡路、こころ、こども、がん）		(8) 県立病院間等での遠隔画像診断ネットワークを構築し、休日・夜間帯における救急患者等への的確な医療の提供や、医師の働き方改革等を推進（参加病院：西宮、加古川、丹波、淡路、こころ、こども、がん）					○	院外から放射線画像を確認し、コンサルトを実施	○県立病院間における遠隔画像診断ネットワークの運用（西宮、加古川、丹波、淡路、こころ、こども、がん） ・院外から放射線画像を確認し、コンサルトを実施 ・病院間でのカンファレンスを今後実施予定																											

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況		評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）						
3 地域医療支援病院の取組 (1) 医療機器の共同利用件数		3 地域医療支援病院の取組 (単位：件（延件数）)				○地域医療支援病院（尼崎、西宮、加古川、姫路、丹波、淡路、こども）患者に身近な地域で医療が提供されることが望ましいという観点から、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じた、第一線の地域医療を担うかかりつけ医等を支援する能力を備え、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備等を有するものについて、都道府県知事が個別に承認。						
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②						
総合	尼崎	1,050/1,510【△】	816/1,096【△】	862/1,050【○】	862/964	89.4%	○					
	西宮	660/756【○】	418/700【▲】	480/540【○】	380/460	82.6%	○					
	加古川	621/494【◎】	386/700【▲】	513/507【○】	682/535	127.5%	◎					
	姫路	139/160【○】	68/150【▲】	62/125【▲】	412/730	56.4%	▲					
	丹波	1,016/1,050【○】	1,140/1,450【△】	1,087/1,100【○】	1,126/1,100	102.4%	○					
	淡路	939/1,100【○】	625/1,011【△】	692/759【○】	676/650	104.0%	○					
専門	がん	72/-【-】	98/115【○】	101/95【○】	105/95	110.5%	○					
	計	4,497/5,070	3,551/5,222	3,797/4,176	4,243/4,534	93.6%						
(2) 研修会（医療従事者向け）及び講演会（地域住民向け）件数		(単位：回（延回数）)										
区分	病院名	R1 実績/計画		R2 実績/計画		R3 実績/計画		R4 実績①/計画②		①/②		
		研修会	講演会	研修会	講演会	研修会	講演会	研修会	講演会	研修会	講演会	
総合	尼崎	28/20【◎】	18/18【○】	7/18【▲】	0/18【▲】	2/14【▲】	0/9【▲】	1/14	0/9	7.1%	0.0%	▲▲
	西宮	39/27【◎】	3/3【○】	16/55【▲】	0/3【▲】	26/20【◎】	0/3【▲】	29/29	2/2	100.0%	100.0%	○○
	加古川	47/76【△】	1/2【▲】	9/60【▲】	1/4【▲】	36/23【◎】	4/1【◎】	34/29	1/1	117.2%	100.0%	○○
	姫路	13/12【○】	1/2【▲】	3/13【▲】	0/2【▲】	13/12【○】	1/1【○】	18/13	16/1	138.5%	1600.0%	◎◎
	丹波	12/12【○】	12/12【○】	1/12【▲】	0/12【▲】	2/18【▲】	4/3【◎】	4/4	11/12	100.0%	91.7%	○○
	淡路	39/46【○】	3/3【○】	3/38【▲】	0/2【▲】	13/20【△】	1/2【▲】	19/11	2/1	172.7%	200.0%	◎◎
専門	こども	22/35【△】	-	7/32【▲】	-	19/26【△】	-	24/16	-	150.0%	-	◎-
	神戸陽子	1/-【-】	5/-【-】	0/-【-】	2/-【-】	0/2【▲】	1/6【▲】	-	1/2	-	50.0%	-▲
	計	201/228	43/40	46/228	1/41	111/135	11/25	129/116	33/28	111.2%	117.9%	
(3) 地域医療連携室等の退院調整件数		(単位：件（延件数）)										
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②						
総合	尼崎	5,107/5,200【○】	4,507/5,020【○】	5,281/5,000【○】	11,619/12,000	96.8%	○					
	西宮	1,628/1,550【○】	1,508/1,635【○】	1,847/1,630【○】	1,839/1,557	118.1%	○					
	加古川	1,321/1,011【◎】	824/1,250【△】	973/1,083【○】	1,387/1,080	128.4%	◎					
	姫路	1,649/1,600【○】	3,109/1,600【◎】	3,707/2,250【◎】	2,929/3,563	82.2%	○					
	丹波	2,431/1,700【◎】	2,671/2,700【○】	4,657/2,560【◎】	5,948/4,450	133.7%	◎					
	淡路	2,759/2,310【○】	3,199/2,655【◎】	5,852/2,800【◎】	6,635/4,800	138.2%	◎					
専門	こども	607/400【◎】	760/600【◎】	2,726/1,000【◎】	3,981/4,000	99.5%	○					
	がん	1,260/1,300【○】	2,265/1,270【◎】	4,037/2,000【◎】	4,215/4,000	105.4%	○					
	リハ中	735/800【○】	671/720【○】	707/677【○】	710/750	94.7%	○					
	リハ西	499/480【○】	486/471【○】	486/499【○】	473/486	97.3%	○					
	計	17,996/16,351	20,000/17,921	30,273/19,499	39,736/36,686	108.3%						
※（尼崎）R4～計算方法を見直し（病棟主体の生活指導も退院調整に含めた）												
（姫路）R4～計算方法を見直し（病棟看護師中心の支援を除いた）												
							○患者サポートセンターの整備（尼崎）入院前から退院まで連続した患者支援を行うため、院内に分散している入院前検査説明、麻酔科診察、退院調整等の入院支援機能を集約した患者サポートセンターを設置（R5.2.27）。入院前から患者の「入院生活」や「退院後の生活」を見据えて対応（淡路）退院要請介入職員数を増員して対応（淡路）入院支援加算Ⅰの取得に向け、療養指導を積極推進したことによる増					

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況		評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）						
(4) 地域連携パス会議や関係者連携会議の開催												
		(単位：回（延回数）)										
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②						
総合	尼崎	16/6 【◎】	18/20 【○】	21/20 【○】	21/20	105.0%	○ ○ ◎ ○ ◎ ◎ ○ ○ ◎ ◎					
	西宮	28/31 【○】	13/37 【▲】	27/35 【△】	32/32	100.0%						
	加古川	8/11 【△】	3/8 【▲】	8/8 【○】	6/3	200.0%						
	姫路	11/12 【○】	8/12 【△】	9/10 【○】	10/10	100.0%						
	丹波	14/14 【○】	8/15 【▲】	10/12 【○】	11/7	157.1%						
	淡路	18/17 【○】	19/19 【○】	14/18 【△】	17/14	121.4%						
専門	がん	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2	100.0%						
	リハ中	15/15 【○】	7/15 【▲】	9/6 【◎】	8/10	80.0%						
	リハ西	10/9 【○】	10/12 【○】	12/10 【◎】	12/10	120.0%						
計	122/117	88/140	112/121	119/108	110.2%							
(5) 訪問看護師との看看連携会議等の開催												
		(単位：回（延回数）)										
区分	病院名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②						
総合	尼崎	3/3 【○】	0/3 【▲】	0/3 【▲】	2/3	66.7%	△ ○ ○ ▲ ○ ◎ ○ ○ ○ ▲					
	西宮	20/32 【△】	7/31 【▲】	9/14 【△】	9/9	100.0%						
	加古川	6/6 【○】	6/6 【○】	6/6 【○】	6/7	85.7%						
	姫路	1/2 【▲】	0/2 【▲】	0/1 【▲】	0/1	0.0%						
	丹波	3/3 【○】	2/3 【△】	3/3 【○】	2/2	100.0%						
	淡路	3/4 【△】	2/3 【△】	3/2 【◎】	4/3	133.3%						
専門	こども	42/35 【◎】	39/36 【○】	44/42 【○】	48/20	240.0%						
	がん	3/2 【◎】	2/3 【△】	3/3 【○】	4/4	100.0%						
	リハ中	35/30 【○】	11/40 【▲】	17/27 【△】	18/20	90.0%						
	リハ西	1/2 【▲】	0/1 【▲】	1/1 【○】	0/1	0.0%						
計	117/119	69/128	86/102	93/70	132.9%							
4 紹介率及び逆紹介率の向上		4 紹介率及び逆紹介率の向上										
		(単位：%)										
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線	神戸陽子	
紹介率	R3 決算	73.1	83.4	58.2	70.6	77.6	74.0	91.3	87.7	73.5	100.0	100.0
	R4 計画①	75.9	80.0	66.3	66.8	78.3	74.0	82.0	87.8	73.6	100.0	100.0
	R4 決算②	71.3	102.8	91.0	75.7	69.3	77.5	82.3	84.9	97.7	100.0	100.0
	差(②-①)	△4.6	22.8	24.7	8.9	△9.0	3.5	0.3	△2.9	24.1	0.0	0.0
逆紹介率	R3 決算	91.3	71.0	52.9	180.0	87.9	72.1	47.1	62.3	46.8	100.0	100.0
	R4 計画①	95.8	132.0	70.7	115.9	78.1	70.0	45.0	65.1	46.8	100.0	100.0
	R4 決算②	90.8	106.8	78.9	81.9	105.2	73.6	38.9	66.3	79.1	100.0	100.0
	差(②-①)	△5.0	△25.2	8.2	△34.0	27.1	3.6	△6.1	1.2	32.3	0.0	0.0

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
<p>5 こども病院と神戸市立中央市民病院との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本合意書（H27.10.1締結）を踏まえた神戸中央市民病院との連携促進 <ul style="list-style-type: none"> ① 医療連携における対象診療科及び症例数の拡充 ② 教育、研修における連携 ③ 医療情報システムの共有 <p>6 神戸陽子線センターと近隣医療機関との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸市立中央市民病院との成人救命救急に関する診療連携（H30.7.4合意書締結） ・ポートアイランド病院との成人入院患者に関する診療連携（R1.8.22合意書締結） ・神戸低侵襲がん医療センターとの成人患者に関する診療連携（入院受入、化学療法併用、歯科治療、肺及び肝臓がんのマーカ―留置、胃及び大腸の内視鏡検査及びPET検査等） ・神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター（ICCR）との成人患者に関する診療連携（前立腺がん患者のマーカ―及びスペース OAR 留置） 	<p>5 こども病院と神戸市立中央市民病院との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸中央市民病院との連携会議を実施した。（R4開催回数：4回） <p>6 神戸陽子線センターと近隣医療機関との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①神戸市立中央市民病院 <ul style="list-style-type: none"> ・成人救命救急に関する診療連携を実施した。（H30.7.4合意書締結、R4.11.1更新）。 ・成人救急及び患者紹介等に関する連携会議を開催した（書面開催）。 ・同病院からの紹介患者数（R4：12人 ※うち治療開始6人） ②ポートアイランド病院 <ul style="list-style-type: none"> ・入院受入れ停止中（新型コロナ感染防止対応） ③神戸低侵襲がん医療センター <ul style="list-style-type: none"> ・診療連携に関する調整（随時） ・同センターへの入院患者数（R4：33人） ④神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター <ul style="list-style-type: none"> ・同センターでの前立腺マーカ―及びスペース OAR 挿入患者数（R4：112人） ・治療患者の入院患者数：2人（R4.9～） 	<p>○</p> <p>○</p>	<p>会議を開催し、神戸中央市民病院との連携を継続実施</p> <p>ポートアイランド病院については新型コロナ感染防止のため入院受入れを停止していたものの、他病院については概ね計画どおりに連携を実施</p>	<p>○こども病院と神戸市立中央市民病院との連携について「基本合意書」（H27.10.1締結）を踏まえた連携促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 医療連携における対象診療科及び症例数の拡充 ② 教育、研修における連携 ③ 医療情報システムの共有 <p>○神戸陽子線センターと近隣医療機関との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①神戸市立中央市民病院 ②ポートアイランド病院 ③神戸低侵襲がん医療センター <ul style="list-style-type: none"> ・同センターへの入院患者数（R5：5人） ④神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター

II 安心できる県立病院の実現
項目2 医療安全対策等の推進

<p>○ 基本方向 患者に安心・安全な医療を提供するため、病院局及び各病院が一体となって組織的に医療事故の発生防止、院内感染の防止を図っていく。 また、医療紛争の発生防止や円満解決を図るため、引き続き患者等からの相談や医療訴訟に適切に対応する。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 医療安全対策の推進</p> <p>(1) 「医療事故防止標準マニュアル」及び「医療安全管理指針」に基づき、安全な医療を推進する。 (2) 県立病院医療安全会議において、県立病院全体の医療安全対策等の検討を行う。 (3) 医療事故等調査委員会を適切な時期に開催し、医療事故の原因究明等を行う。 (4) 各病院の医療事故防止対策委員会を中心に医療事故防止対策等を検討するとともに、医療安全管理者、リスクマネージャーを中心に医療安全対策を推進する。 (5) 病院局及び各病院において、医療従事者を対象に、医療安全に関する意識醸成、事故防止策の啓発等を行うための研修会を開催する。 (6) 病院局及び各病院において、医療安全に関する情報の収集に努めるとともに、それを一層迅速に周知徹底し、医療安全の確保を図る。 (7) 医療における安全管理をより一層向上させるため、引き続き県立病院において発生した医療過誤等の公表を行うことにより、医療事故防止に資する情報を共有する。</p> <p>2 院内感染の防止</p> <p>(1) 感染対策会議において、県立病院全体の感染対策等の検討を行う。 (2) 各病院の院内感染防止対策委員会を中心に、院内感染情報の収集や分析、院内感染防止策の検討、職員に対する意識醸成等を行う。 (3) 院内感染防止標準マニュアルを活用し、院内感染の防止に努めるとともに、仮に院内感染が発生した場合には速やかに適切な対応を行う。 (4) 感染管理認定看護師等の院内の感染防止対策に専従する担当職員を配置するなど体制の充実を図る。</p> <p>3 医事紛争への適切な対応</p> <p>(1) 各病院と医療紛争相談専門員が連携し、医療に関する苦情や相談に適切に対応する。 (2) 医療に精通した弁護士を選任し、医療訴訟に適切に対応する。 (3) 神戸地方裁判所と協力して医療訴訟・鑑定ガイドンスを実施する。</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）														
<p>【目標】 病院局及び各病院が一体となって医療事故の発生防止や院内感染の防止を図る。 また、医療に関する苦情や相談に適切に対応し、医事紛争の発生防止や円満解決に努める。</p>	<p>病院局及び各病院が一体となって医療事故の発生防止や院内感染の防止を図った。 また、医療に関する苦情や相談に適切に対応し、医事紛争の発生防止や円満解決に努めた。</p>	○	新型コロナウイルス感染症の影響による医療訴訟ガイドンスの中止を除き、概ね計画どおりに実施した。															
<p>【取組項目】</p> <p>1 医療安全対策の推進</p> <p>(1) 医療安全会議における医療安全対策の検討（年3回）</p> <p>(2) 職種別リスク管理委員会におけるヒヤリ・ハット事例の収集分析</p> <p>(3) 医療安全研修の実施（年1回）</p> <p>(4) 医療安全対策専従職員の役割の明確化による安全管理体制の充実強化（医療事故やヒヤリ・ハット事例の院内ラウンドによる確認・分析等を実施）</p> <p>(5) 医療事故の情報共有及び迅速な公表</p> <p>(6) 入院患者の服薬指導の充実</p>	<p>【取組項目】</p> <p>1 医療安全対策の推進</p> <p>(1) 医療安全会議において医療安全対策を検討した。 R4実績：3回（R4.7.5、R4.10.25、R5.3.1）</p> <p>(2) 職種別リスク管理委員会におけるヒヤリ・ハット事例の収集分析結果を医療安全会議（10月）に報告し、分析結果を活用し再発防止に取り組んだ。</p> <p>(3) 医療安全研修の実施 ・R4実績：1回（R4.11.17） ・各病院で医療事故防止研修会を定期的に開催した。 R4実績：全病院計77回</p> <p>(4) 医療安全対策専従職員の基本的な業務を定め、各病院において医療事故やヒヤリ・ハットの再発防止に向けて取り組んだ。</p> <p>(5) 医療事故の情報共有及び迅速な公表 原則、翌月に病院運営会議等で報告のうえ、過誤事案等について翌々月に公表を実施した。</p> <p>(6) 入院患者の服薬指導を実施した。</p>	○ ○ ○ ○ ○ ○	<p>計画どおり開催</p> <p>事例を収集し、医療安全会議で報告</p> <p>計画どおり開催</p> <p>各病院の医療安全専従職員間で再発防止について月1回の情報共有を実施</p> <p>病院運営会議で報告後公表事案については概ね翌々月以内に公表を実施</p> <p>服薬指導率8割を達成</p>	<p>○医療安全管理者の配置(13病院1診療所) ○医療安全部長の配置(10病院) ○リスクマネージャーの配置(13病院1診療所・527名) ○医療安全にかかる専従者の配置(10病院) ○医療安全・医療事故防止等を所掌する看護職の配置(病院局企画課)</p> <p>○医療過誤(レベル3b以上)の公表件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5 (~5月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>6件</td> <td>11件</td> <td>7件</td> <td>6件</td> <td>3件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (~5月)	件数	6件	11件	7件	6件	3件	1件
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (~5月)												
件数	6件	11件	7件	6件	3件	1件												

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																
<p>2 院内感染の防止 ・感染対策会議の開催（年1回）</p> <p>3 医事紛争への適切な対応 （1） 県立病院における医療訴訟への適切な対応 （令和2年度実績：1件→令和4年2月まで：1件）</p> <p>（2） 医療訴訟への適切な対応の推進</p> <p>（3） 神戸地方裁判所と協力して医療訴訟・鑑定ガイドランスを実施</p>	<p>2 院内感染の防止 ・感染対策会議を開催した。 R4 実績：1回（R4.12.16）</p> <p>3 医事紛争への適切な対応 （1） 県立病院における医療訴訟への適切な対応を実施した。</p> <p>（2） 医療訴訟への適切な対応を推進した。</p> <p>（3） 神戸地方裁判所と協力して実施する医療訴訟ガイドランスは、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し中止した。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>▲</p>	<p>計画どおりに会議を開催</p> <p>各医療訴訟に適切な対応を実施</p> <p>案件ごとに適切に弁護士を専任し、対応</p> <p>【コ】左記理由により中止</p>	<p>○認定看護師の状況【再掲 P24】</p> <table border="1" data-bbox="1574 220 2119 323"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定</td> <td>感染管理</td> <td>尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、姫路(2)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○病院局に医療紛争相談専門員（1名）を配置 ○各病院に医療相談窓口を設置 ○県医療担当の弁護士：4名 ○県立病院における医療訴訟件数の推移 （新たに訴えられた件数）※指定管理病院を除く</p> <table border="1" data-bbox="1581 491 2175 595"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5 (~5月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>総件数</td> <td>6件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>4件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○裁判での和解と判決の推移</p> <table border="1" data-bbox="1581 655 2175 778"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5 (~5月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>和解</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>判決※</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※判決：確定判決のみ</p>	区分		病院別人数	認定	感染管理	尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、姫路(2)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (~5月)	新規件数	1件	1件	1件	1件	1件	1件	総件数	6件	1件	2件	3件	3件	4件		H30	R1	R2	R3	R4	R5 (~5月)	和解	0件	4件	0件	0件	1件	0件	判決※	0件	2件	0件	0件	0件	0件
区分		病院別人数																																																		
認定	感染管理	尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、姫路(2)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)																																																		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (~5月)																																														
新規件数	1件	1件	1件	1件	1件	1件																																														
総件数	6件	1件	2件	3件	3件	4件																																														
	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (~5月)																																														
和解	0件	4件	0件	0件	1件	0件																																														
判決※	0件	2件	0件	0件	0件	0件																																														

II 安心できる県立病院の実現

項目3 患者サービスの向上

○ 基本方向	外来待ち時間の短縮や退院患者に対する相談体制の充実等、引き続き各種の取り組みを推進することにより、患者サービスの向上を図る。
○ 取組内容	
1 外来待ち時間の短縮	(1) 患者呼出システムや自動精算機の導入等 I C Tシステムの充実を図り、会計等での待ち時間を短縮する。 (2) 地域医療連携室や予約センターにおいて外来診療予約を実施し、診療の待ち時間を短縮する。 (3) インターネット等による診療・検査予約の拡充や地域医療ネットワークシステムへの参画など、I C Tを活用し、患者紹介システムの利便性の向上を図る。
2 患者の退院に向けた相談体制の強化	患者とその家族が抱える退院後の生活支援を行うため、医療福祉相談員を充実するなど相談体制の強化を図る。
3 平均在院日数の適正化及び入院待機患者の縮減	(1) 入院患者の逆紹介を促進する。 (2) クリニカルパス及び地域連携クリニカルパスを活用し、計画的な診療を実施する。 (3) 検査・治療機器、手術室等を計画的に稼働する。 (4) 入院前から患者リスク情報を収集・共有化するとともに、入院早期から退院支援を行い、患者の入退院管理の最適化（P F M）を推進する。
4 アメニティの充実等	(1) トイレ、洗面所など、患者及び来院者が利用する施設、設備をより快適なものに整備・充実を図る。 (2) 患者の心にゆとりや潤いを与えるため屋上緑化を推進する。 (3) 患者の療養環境の向上のため、患者の個室化ニーズ等への対応を検討する。
5 患者等とのコミュニケーションの推進	(1) 患者の県立病院に対する意見等を把握し、患者サービスの向上に繋げるため、定期的に患者意識調査を実施する。 (2) 病院運営懇話会、提案箱、フォーラムなどを通じて寄せられた意見や提案に適切に対応する。 (3) 各職場の接遇リーダーを養成する研修や患者に接する機会が多い職員を対象に接遇研修を実施し、接遇の向上を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）															
【目標】 外来待ち時間の短縮、平均在院日数の適正化、快適な療養環境の確保により患者サービスを向上する。	外来待ち時間の短縮、平均在院日数の適正化、快適な療養環境の確保により患者サービスを向上した。	○	概ね計画どおり、患者サービスの向上に向けて取り組んだ。	参考：現況（令和5年5月の状況等） ○電子カルテの整備・更新状況 ・全県立病院に導入済 ・更新は、時期の集中を避け計画的に実施 ・情報の標準化は、国の方針や医療DX推進本部（R4.10.11設置）での議論を踏まえ、改修等所要の整備を今後検討 ○A I・I C Tシステムの導入状況 ・AI搭載医療機器の導入【再掲 P7】															
【取組項目】 1 外来待ち時間の短縮 ・各病院において地域医療連携室や予約センターでの外来診療予約の実施等により外来待ち時間の短縮を図る。 ・はりま姫路総合医療センターの整備において、I C Tシステムの活用により、会計等での待ち時間の短縮を図る。	【取組項目】 1 外来待ち時間の短縮 ・こども病院で保険証確認システム・後払い会計システムを導入する（R5.1）等、各病院において地域医療連携室や予約センターでの外来診療予約の実施等により外来待ち時間の短縮を図った。 ・はりま姫路総合医療センターの整備において、患者呼出システムを導入し、患者呼出受信機の配布を開始する（R4.5）等、I C Tシステムの活用により、会計等での待ち時間の短縮を図った。	○	外来・会計等の待ち時間の短縮のためのシステムを導入し、利便性を向上	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設置</th> <th>AI機能</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT室</td> <td>ノイズ除去</td> <td>尼崎、西宮、加古川、姫路、こども、がん</td> </tr> <tr> <td>MRI室</td> <td>ノイズ除去</td> <td>尼崎、姫路、がん、こども</td> </tr> <tr> <td>読影室</td> <td>診断支援</td> <td>尼崎、西宮、姫路</td> </tr> <tr> <td>内視鏡室</td> <td>診断支援</td> <td>西宮</td> </tr> </tbody> </table> ・保険証確認システム・後払い会計システムの導入（こども） ・患者呼出受信機・アプリの導入 呼出受信機の配布（尼崎、姫路） 患者スマホアプリの提供（丹波）	設置	AI機能	病院名	CT室	ノイズ除去	尼崎、西宮、加古川、姫路、こども、がん	MRI室	ノイズ除去	尼崎、姫路、がん、こども	読影室	診断支援	尼崎、西宮、姫路	内視鏡室	診断支援	西宮
設置	AI機能	病院名																	
CT室	ノイズ除去	尼崎、西宮、加古川、姫路、こども、がん																	
MRI室	ノイズ除去	尼崎、姫路、がん、こども																	
読影室	診断支援	尼崎、西宮、姫路																	
内視鏡室	診断支援	西宮																	

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況		評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）						
2 患者の退院に向けた相談体制の強化		2 患者の退院に向けた相談体制の強化				・遠隔診療・診断【再掲P31】 遠隔病理診断ネットワークによる神戸大学、長崎大学等とのカンファレンスの実施（淡路） こども病院及び地域の中核病院の医師によるオンライン診療の実施（こども、丹波、淡路、（公立豊岡）） 県立病院間における遠隔画像診断ネットワークの運用 （西宮、加古川、丹波、淡路、こころ、こども、がん） 医療機関コミュニケーションアプリを活用したリアルタイムでの情報共有、迅速な診断・治療の実施 （導入済：尼崎、加古川、姫路、丹波、淡路）						
(1) 入院前検査センター（対象パス件数、入院及び検査説明件数）												
（単位：件、件（延件数））												
区分	病院名	R1 実績/計画		R2 実績/計画		R3 実績/計画		R4 実績①/計画②		①/② (件数)	評価	説明
		対象パス	件数	対象パス	件数	対象パス	件数	対象パス	件数			
総合	尼崎	319/336	20,456/22,000【○】	455/336	17,221/21,303【○】	517/460	18,286/18,730【○】	555/498	19,940/18,647	106.9%	○ (加古川) ○ 対象疾患・診療科の増 ◎ (姫路) △ 緊急入院患者の割合が高かったことによる説明介入件数の減	
	西宮	49/41	2,350/2,300【○】	56/37	2,165/2,600【○】	57/57	2,388/2,650【○】	60/56	2,509/2,250	111.5%		
	加古川	10/13	2,956/1,380【◎】	14/18	2,941/3,200【○】	14/12	4,388/2,733【◎】	20/23	4,945/3,357	147.3%		
	姫路	23/20	1,549/1,580【○】	60/22	1,562/3,100【▲】	64/40	3,140/3,000【○】	405/400	6,958/11,500	60.5%		
	丹波	60/-	1,806/-【-】	48/60	1,928/2,300【○】	55/65	2,207/1,850【○】	52/48	2,371/2,100	112.9%		
専門	淡路	41/20	6,421/5,057【◎】	49/50	7,374/7,200【○】	60/48	9,009/7,200【◎】	65/65	9,533/10,000	95.3%	○	
	こども	-	8,664/8,500【○】	-	7,647/6,700【○】	-	8,699/5,600【◎】	-	8,226/9,350	88.0%		
	がん	71/-	2,359/-【-】	69/-	2,353/-【-】	163/-	3,444/-【-】	163/163	3,792/4,000	94.8%		
計		573/430	46,561/40,817	751/523	43,191/46,403	930/682	51,561/41,763	1,320/1,253	58,274/61,204	95.2%	○	
(2) PFMの活用により患者の入院管理最適化を推進（尼崎、淡路）		(2) PFMの活用により患者の入院管理最適化を推進した。（尼崎、淡路）		○	PFMを活用し、入院管理最適化を推進	○入院前検査センターの設置状況 ・尼崎（検査・入院説明センター：H27.7設置、患者サポートセンター：R5.2設置） ・西宮（入退院支援センター：H30.7設置） ・加古川（入院サポートセンター：H29.4設置） ・姫路（患者支援センター：R4.5設置） ・丹波（入院センター：R1.7設置） ・淡路（入退院支援センター：H30.9設置） ・こども（入院前検査センター：H28.5設置） ・がん（入退院支援センター：H30.11設置） ○患者サポートセンターの整備（尼崎）【再掲P32】 入院前から退院まで連続した患者支援を行うため、院内に分散している入院前検査説明、麻酔科診察、退院調整等の入退院支援機能を集約した患者サポートセンターを設置（R5.2.27）。入院前から患者の「入院生活」や「退院後の生活」を見据え、住み慣れた地域で継続して暮らしていけるよう医師・看護師等の多職種の連携・協働による患者支援を行い、PFM機能の拡充を図る。 ○PFM(Patient Flow Management) 予定入院患者の情報を入院前に把握し、問題解決に早期に着手すると同時に、病床の管理を合理的に行う等を目的とする仕組み						

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
3 平均在院日数の適正化 ・平均在院日数		3 平均在院日数の適正化 （単位：日）					○	疾患別の在院日数を念頭に適切にベッドコントロールを実施	
区分	病院名	R1実績/計画	R2実績/計画	R3実績/計画	R4実績①/計画②	①/②			
総合	尼崎	9.4/9.5	9.5/9.5	9.5/9.3	9.5/9.3	102.2%			
	西宮	10.2/9.7	9.9/9.6	10.2/10.2	10.2/9.7	105.2%			
	加古川	11.4/11.3	10.5/11.4	10.8/11.4	11.3/10.9	103.7%			
	姫路	14.0/14.3	13.2/13.7	13.7/14.0	12.0/11.0	109.1%			
	丹波	11.9/12.0	12.5/11.6	12.0/11.9	13.6/12.9	105.4%			
専門	淡路	12.7/12.0	11.9/13.2	11.8/12.0	12.8/11.9	107.6%			
	こころ	82.9/71.1	67.2/74.4	49.5/80.0	47.7/60.8	78.5%			
	こども	11.8/12.2	12.1/12.6	11.1/12.5	11.5/11.4	100.9%			
	がん	11.6/13.0	11.7/13.0	11.5/13.0	11.5/11.5	100.0%			
	粒子線	30.6/30.0	36.6/33.4	35.7/36.0	32.1/33.5	95.8%			
4 アメニティの充実等 患者及び来院者等の快適性に向けた施設・整備改修を推進		4 アメニティの充実等 患者及び来院者等の快適性に向けた施設・整備改修を推進した。					○	概ね計画どおり実施	○患者意識調査の実施状況 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ延期（令和5年度中実施予定）
5 患者等とのコミュニケーションの推進 (1) 病院運営懇話会の開催 指定管理の3病院を除く各病院で、年1回以上開催 (2) 接遇研修の実施（年1回）（接遇とクレーム対応等）		5 患者等とのコミュニケーションの推進 (1) 病院運営懇話会の開催 一部病院（加古川、丹波）を除き、年1回以上開催した。 (2) 接遇研修は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し中止した。					○	一部の病院を除いて、概ね計画どおり開催	
							▲	【コ】左記理由により中止	○全病院に提案（意見）箱を設置し、寄せられた意見や提案等について、情報誌や掲示板で対応内容等を周知

II 安心できる県立病院の実現

項目4 医療の信頼性の向上

<p>○ 基本方向 患者自身の治療法の理解と選択を支援するため、インフォームド・コンセントやセカンド・オピニオンを充実する。 また、EBMの推進や外部評価の活用により、県立病院における医療の信頼性の向上を図る。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 インフォームド・コンセントの充実等 (1) 電子カルテ等を活用し、患者の立場に立った分かりやすく説明を行い、インフォームド・コンセントを取得する。 (2) 患者の自己決定権を尊重した医療を実施するため、セカンド・オピニオンを推進する。 (3) 患者からカルテ開示がなされた場合には、「個人情報の保護に関する条例」に基づき、適切に開示を行う。</p> <p>2 EBMの推進 各学会が導入した診療ガイドライン等を参考にしながら、EBMに基づく良質で安全な医療を推進する。</p> <p>3 外部評価の活用 病院機能評価やISOの受審や更新については、個々の病院の実情に応じて実施する。</p>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																		
<p>【目標】 患者の視点に立ったわかりやすいインフォームド・コンセントやセカンド・オピニオン等を実施する。 また、病院運営懇話会等において広く県民等から意見を求め、県民の医療ニーズを病院運営に反映するとともに、患者や家族の立場や心理に十分配慮した接遇やコミュニケーションを行う。また、県民の健康・医療への関心に応じて、公開講座やセミナー、フォーラム等を開催する。</p>	<p>患者の視点に立ったわかりやすいインフォームド・コンセントやセカンド・オピニオン等を実施したほか、患者等からのカルテ開示請求についても適切に対応した。</p>	○	概ね計画どおり、医療の信頼性の向上に資する取組を実施した。																																			
<p>【取組項目】</p> <p>1 インフォームド・コンセントの充実等 (1) 患者の視点に立った分かりやすいインフォームド・コンセントの実施 (2) 患者自らの治療法の選択に資するセカンド・オピニオンの実施 (3) 開示請求に基づく適切なカルテ開示の実施</p> <p>2 EBMの推進 ・各学会が導入した診療ガイドライン等を参考にしながら、EBMに基づく良質で安全な医療を推進 (EBM=Evidence-based Medicine：根拠に基づく医療)</p> <p>3 外部評価の推進 ・病院機能評価やISOの受審や更新については、個々の病院の実情に応じて実施</p>	<p>【取組項目】</p> <p>1 インフォームド・コンセントの充実等 (1) ACPの概念を取り入れ、各病院で患者の視点に立った分かりやすいインフォームド・コンセントを実施した。 (2) 患者自らの治療法の選択に資するセカンド・オピニオンを実施した。 (R3実績：424件→R4実績：395件) (3) 開示請求に基づく適切なカルテ開示を実施した。 (R3実績：428件→R4実績：410件)</p> <p>2 EBMの推進 各学会が導入した診療ガイドライン等を参考にしながら、EBMに基づく良質で安全な医療を推進した。</p> <p>3 外部評価の推進 病院機能評価やISOの受診や更新について、各病院で検討・準備を実施した。 ・病院機能評価（R4新規・更新認定病院） （新規）がんセンター （更新）淡路医療センター リハビリテーション西播磨病院</p>	○ ○ ○ ○ ○	<p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね例年どおり実施</p> <p>開示請求に適切に対応し、カルテ開示を実施</p> <p>EBMに基づく良質で安全な医療を推進</p> <p>各病院の実情に応じて外部評価を活用</p>	<p>○ACP (Advance Care Planning) 今後の治療・療養について、患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセス。</p> <p>○セカンド・オピニオンの実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>544件</td> <td>527件</td> <td>432件</td> <td>424件</td> <td>395件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○カルテ開示の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5 (6月末時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>372件</td> <td>407件</td> <td>348件</td> <td>428件</td> <td>410件</td> <td>82件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○病院機能評価の認定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院機能評価の認定</td> <td>尼崎、西宮、淡路、こども、がん、リハ中、リハ西</td> </tr> </tbody> </table> <p>○臨床検査室の認定（ISO15189）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ISO15189の認定</td> <td>尼崎、こども、がん</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H30	R1	R2	R3	R4	件数	544件	527件	432件	424件	395件	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (6月末時点)	件数	372件	407件	348件	428件	410件	82件	区分	病院名	病院機能評価の認定	尼崎、西宮、淡路、こども、がん、リハ中、リハ西	区分	病院名	ISO15189の認定	尼崎、こども、がん
年度	H30	R1	R2	R3	R4																																	
件数	544件	527件	432件	424件	395件																																	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (6月末時点)																																
件数	372件	407件	348件	428件	410件	82件																																
区分	病院名																																					
病院機能評価の認定	尼崎、西宮、淡路、こども、がん、リハ中、リハ西																																					
区分	病院名																																					
ISO15189の認定	尼崎、こども、がん																																					

II 安心できる県立病院の実現

項目5 県民等への情報発信の推進

- 基本方向

地域の医療機関への情報提供等を通じた地域医療連携の推進とともに、県民等に県立病院の診療機能や役割等の更なる周知を図るため、民間のノウハウを取り入れながら様々なメディアを活用した分かりやすい情報発信を積極的に行う。
- 取組内容
 - 1 ホームページのコンテンツの充実及び適時適切な更新により、患者、地域医療機関への積極的な情報提供を図る。
 - 2 広報誌の充実により患者、地域医療機関への積極的な情報提供を図る。
 - 3 報道機関に対し、県立病院に関する情報を積極的に提供すること等で、様々なメディアを活用した情報発信を行う。
 - 4 患者や紹介元医療機関に向けた講演会等を開催し、県立病院に関する情報を積極的に発信する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況		評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
〔目標〕 病院によるホームページでの情報発信や広報誌等の定期的な発行、「県民だよりひょうご」等の広報誌により県立病院の情報をわかりやすく提供する。		病院によるホームページでの情報発信や広報誌等の定期的な発行、ラジオ・新聞など様々なメディアを活用した広報活動等により県立病院の情報をわかりやすく提供したが、右記の理由により計画を下回った。		△	講演会の開催回数について、新型コロナウイルス感染症の影響で全体的には計画を下回った。一方で、広報誌の発行や様々なメディアを活用した情報発信については概ね計画どおり取り組んだ。	○診療案内は、神戸陽子を除く13病院で発行済 ○各県立病院で地域医療機関向け情報誌を定期的に発行 [広報誌の発行状況]
〔取組項目〕 1 病院局及び各病院で、ホームページを随時更新し、県民に対して最新情報を提供 ・病院ホームページにおいて治療開始待ち時間の明示を開始（粒子線） 2 各病院で、地域医療機関又は県民向けの情報誌を定期的に発行 ・広報誌の発行		〔取組項目〕 1 病院局及び各病院で、ホームページを随時更新し、県民に対して最新情報を提供した。 ・病院ホームページにおいて治療開始待ち時間の明示を開始した。（粒子線） 2 各病院で、地域医療機関又は県民向けの情報誌を定期的に発行した。		○	病院局・各病院でホームページを随時更新し、情報を発信 (加古川) 【コ】コロナ患者受入れを継続したことによりトビックスの発信に至らず (姫路) 開院前後に掲載内容の検討をするのに時間を要したことによる計画未達	
(単位：回)						
病院名	広報誌名	R1 実績/計画	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②
尼崎	あまが咲だより	12/12 【○】	12/12 【○】	12/12 【○】	12/12	100.0%
西宮	はまかぜ	4/4 【○】	3/4 【△】	4/4 【○】	4/4	100.0%
加古川	県かこ地域医療連携ニュース	6/6 【○】	6/6 【○】	6/6 【○】	6/6	100.0%
	ニュースレター	3/4 【△】	0/3 【▲】	1/1 【○】	0/2	0.0%
姫路	はりひめ（※1）	4/12 【▲】	4/4 【○】	4/4 【○】	4/4	100.0%
	はり姫と。（※2）	6/6 【○】	6/6 【○】	6/6 【○】	3/6	50.0%
丹波	地域医療連携センターだより	4/4 【○】	4/4 【○】	4/4 【○】	4/4	100.0%
	がん相談支援センターだより	3/3 【○】	3/3 【○】	3/3 【○】	3/3	100.0%
淡路	くにうみ県病だより	2/3 【△】	2/3 【△】	1/2 【▲】	2/2	100.0%
こころ	光る風	4/4 【○】	3/4 【△】	3/3 【○】	3/3	100.0%
こども	げんきカエル	4/4 【○】	4/4 【○】	4/4 【○】	4/4	100.0%
がん	かけはし	6/6 【○】	5/6 【○】	5/6 【○】	5/5	100.0%
	ニュースレター	1/1 【○】	1/1 【○】	1/1 【○】	1/1	100.0%
粒子線	粒子線医療センターだより	-	3/3 【○】	3/4 【△】	3/3	100.0%
	ニュースレター	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2	100.0%
神戸陽子	地域医療連携だより	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2	100.0%
	さんぼみち	4/- 【-】	4/- 【-】	4/- 【-】	4/-	-
リハ西	ひかりの都	3/3 【○】	3/3 【○】	3/3 【○】	3/3	100.0%
計		66/76	63/70	68/67	65/66	98.5%

※1（姫路）R1～R3は、姫路循環器病センター発行「あじさい」

※2（姫路）R1～R3は、姫路循環器病センター発行「地域医療連携NEWS」

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																																																																																																																																																																									
<p>3 各病院で、報道機関等に対し、県立病院に関する情報を積極的に提供すること等で、様々なメディアを活用した情報発信を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルサイネージを使ったインフォメーションボードを設置し、地域医療連携病院の案内や情報発信を推進（淡路） 保険適用拡大 PR チラシの配布や装置保守日を活用した施設見学会の開催（粒子線） <p>・web 広報の充実（検索連動型広告、ディスプレイ広告）による施設及び陽子線治療の認知度向上に取り組んだ（神戸陽子）。</p>	<p>3 各病院で、報道機関等に対し、県立病院に関する情報を積極的に提供すること等で、様々なメディアを活用した情報発信を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルサイネージを使ったインフォメーションボードを設置し、地域医療連携病院の案内や情報発信を推進した（淡路）。 保険適用拡大 PR チラシの配布や装置保守日を活用した施設見学会を開催した（粒子線）。R4 施設見学会回数：2回 新病院や健康増進に関するラジオ情報番組を毎週水曜日に放送した（姫路）。※R5.3 終了 ケーブルテレビで健康増進に関する番組を年3回放送した（淡路）。 ラジオ番組で粒子線治療の保険適用拡大を発信した（粒子線）。 県立病院に関する広報記事を新聞紙面に掲載した。 	○	各病院においてラジオ・新聞など様々なメディアを活用した情報発信を実施	<p>3 各病院で、報道機関等に対し、県立病院に関する情報を積極的に提供すること等で、様々なメディアを活用した情報発信を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 県 SNS（Twitter、Instagram 等）を活用して県立病院に関する情報発信を実施 <p>※新たな媒体（新聞、医療関連インターネットサイト等）の活用等、更なる広報の充実・効果的な広報の取組を継続的に検討</p>																																																																																																																																																																																																									
（単位：件）																																																																																																																																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">神戸陽子</td> <td>HPアクセス数</td> <td>99,944/-【-】</td> <td>88,453/100,000【○】</td> <td>125,177/100,000</td> <td>125.2%</td> </tr> <tr> <td>うち検索連動型広告</td> <td>46,513/-【-】</td> <td>34,270/45,000【△】</td> <td>58,572/48,000</td> <td>122.0%</td> </tr> <tr> <td>うちディスプレイ広告</td> <td>29,576/-【-】</td> <td>30,963/30,000【○】</td> <td>30,689/30,000</td> <td>102.3%</td> </tr> </tbody> </table>					病院名	区分	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②	神戸陽子	HPアクセス数	99,944/-【-】	88,453/100,000【○】	125,177/100,000	125.2%	うち検索連動型広告	46,513/-【-】	34,270/45,000【△】	58,572/48,000	122.0%	うちディスプレイ広告	29,576/-【-】	30,963/30,000【○】	30,689/30,000	102.3%																																																																																																																																																																																			
病院名	区分	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績①/計画②	①/②																																																																																																																																																																																																								
神戸陽子	HPアクセス数	99,944/-【-】	88,453/100,000【○】	125,177/100,000	125.2%																																																																																																																																																																																																								
	うち検索連動型広告	46,513/-【-】	34,270/45,000【△】	58,572/48,000	122.0%																																																																																																																																																																																																								
	うちディスプレイ広告	29,576/-【-】	30,963/30,000【○】	30,689/30,000	102.3%																																																																																																																																																																																																								
<p>4 各病院で、紹介元医療機関等に向けた講演会等を開催し、県立病院に関する情報を積極的に発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演会の開催等 	<p>4 各病院で、紹介元医療機関等に向けた講演会等を開催し、県立病院に関する情報を積極的に発信した。</p>	◎ ◎ ○	広報活動の拡充等によるアクセス数増																																																																																																																																																																																																										
（単位：回、人）																																																																																																																																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th rowspan="2">講座名</th> <th colspan="2">R1 実績/計画</th> <th colspan="2">R2 実績/計画</th> <th colspan="2">R3 実績/計画</th> <th colspan="2">R4 実績①/計画②</th> <th rowspan="2">①/② (回数)</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th></th> <th>回数</th> <th></th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">尼崎</td> <td>・市民すこやかセミナー</td> <td>6/6【○】</td> <td>0/6【▲】</td> <td>0/3【▲】</td> <td>—</td> <td>0/3</td> <td>—</td> <td>0.0%</td> <td rowspan="2">▲</td> </tr> <tr> <td>・社協コラボ出前セミナー</td> <td>7/6【○】</td> <td>0/8【▲】</td> <td>1/3【▲】</td> <td>78</td> <td>0/3</td> <td>—</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>・県民公開講座（がん・生活習慣病）</td> <td>3/3【○】</td> <td>0/3【▲】</td> <td>0/3【▲】</td> <td>—</td> <td>2/1</td> <td>187</td> <td>200.0%</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>・県民向けフォーラム</td> <td>1/1【○】</td> <td>1/1【○】</td> <td>1/1【○】</td> <td>70</td> <td>1/1</td> <td>83</td> <td>100.0%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">姫路</td> <td>・市民講座（※）</td> <td>1/1【○】</td> <td>0/1【▲】</td> <td>1/1【○】</td> <td>130</td> <td>16/1</td> <td>1,229</td> <td>1600.0%</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>(1) 病院フェスタ</td> <td>1/1【○】</td> <td>0/1【▲】</td> <td>0/1【▲】</td> <td>—</td> <td>0/1</td> <td>—</td> <td>0.0%</td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">丹波</td> <td>(2) 市民健康講座（地域と研修医との懇談会）</td> <td>11/12【○】</td> <td>0/12【▲】</td> <td>4/3【◎】</td> <td>80</td> <td>11/12</td> <td>232</td> <td>91.7%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(1) 市民公開講座</td> <td>3/2【◎】</td> <td>1/2【▲】</td> <td>1/1【○】</td> <td>—(※)</td> <td>0/1</td> <td>—</td> <td>0.0%</td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">淡路</td> <td>(2) 病院フェスタ</td> <td>1/1【○】</td> <td>0/1【▲】</td> <td>0/1【▲】</td> <td>—</td> <td>0/1</td> <td>—</td> <td>0.0%</td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>(1) 県民向け講演会</td> <td>1/1【○】</td> <td>0/1【▲】</td> <td>0/1【▲】</td> <td>—</td> <td>3/1</td> <td>128</td> <td>300.0%</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">こころ</td> <td>(2) セミナー</td> <td>4/5【○】</td> <td>1/4【▲】</td> <td>2/4【▲】</td> <td>130</td> <td>3/1</td> <td>180</td> <td>300.0%</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>(3) 病院フェスタ（光風あいアイまつり）</td> <td>2/2【○】</td> <td>0/2【▲】</td> <td>0/2【▲】</td> <td>—</td> <td>0/1</td> <td>—</td> <td>0.0%</td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>・がんフォーラム</td> <td>2/4【▲】</td> <td>1/3【▲】</td> <td>1/3【▲】</td> <td>146</td> <td>4/4</td> <td>498</td> <td>100.0%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">粒子線</td> <td>(1) 医療関係者向け粒子線治療Web講演会</td> <td>1/1【○】</td> <td>18/1【◎】</td> <td>19/24【△】</td> <td>101</td> <td>3/19</td> <td>82</td> <td>15.8%</td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>(2) 患者・一般向け粒子線治療Web講演会</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>9/6【◎】</td> <td>42</td> <td>12/12</td> <td>56</td> <td>100.0%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>神戸陽子</td> <td>・一般対象施設見学会・公開講演会</td> <td>—</td> <td>2/6【▲】</td> <td>1/6【▲】</td> <td>—(※)</td> <td>3/2</td> <td>40</td> <td>150.0%</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>リハ中</td> <td>・県民公開講座</td> <td>1/1【○】</td> <td>0/1【▲】</td> <td>1/1【○】</td> <td>80</td> <td>1/1</td> <td>89</td> <td>100.0%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>リハ西</td> <td>・県民公開講座</td> <td>1/1【○】</td> <td>0/1【▲】</td> <td>1/1【○】</td> <td>153</td> <td>1/1</td> <td>49</td> <td>100.0%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>46/49</td> <td>24/55</td> <td>42/74</td> <td>1,010</td> <td>60/66</td> <td>2,853</td> <td>90.9%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					病院名	講座名	R1 実績/計画		R2 実績/計画		R3 実績/計画		R4 実績①/計画②		①/② (回数)	回数		回数		回数	参加者数	回数	参加者数	尼崎	・市民すこやかセミナー	6/6【○】	0/6【▲】	0/3【▲】	—	0/3	—	0.0%	▲	・社協コラボ出前セミナー	7/6【○】	0/8【▲】	1/3【▲】	78	0/3	—	0.0%	西宮	・県民公開講座（がん・生活習慣病）	3/3【○】	0/3【▲】	0/3【▲】	—	2/1	187	200.0%	◎	加古川	・県民向けフォーラム	1/1【○】	1/1【○】	1/1【○】	70	1/1	83	100.0%	○	姫路	・市民講座（※）	1/1【○】	0/1【▲】	1/1【○】	130	16/1	1,229	1600.0%	◎	(1) 病院フェスタ	1/1【○】	0/1【▲】	0/1【▲】	—	0/1	—	0.0%	▲	丹波	(2) 市民健康講座（地域と研修医との懇談会）	11/12【○】	0/12【▲】	4/3【◎】	80	11/12	232	91.7%	○	(1) 市民公開講座	3/2【◎】	1/2【▲】	1/1【○】	—(※)	0/1	—	0.0%	▲	淡路	(2) 病院フェスタ	1/1【○】	0/1【▲】	0/1【▲】	—	0/1	—	0.0%	▲	(1) 県民向け講演会	1/1【○】	0/1【▲】	0/1【▲】	—	3/1	128	300.0%	◎	こころ	(2) セミナー	4/5【○】	1/4【▲】	2/4【▲】	130	3/1	180	300.0%	◎	(3) 病院フェスタ（光風あいアイまつり）	2/2【○】	0/2【▲】	0/2【▲】	—	0/1	—	0.0%	▲	・がんフォーラム	2/4【▲】	1/3【▲】	1/3【▲】	146	4/4	498	100.0%	○	粒子線	(1) 医療関係者向け粒子線治療Web講演会	1/1【○】	18/1【◎】	19/24【△】	101	3/19	82	15.8%	▲	(2) 患者・一般向け粒子線治療Web講演会	—	—	9/6【◎】	42	12/12	56	100.0%	○	神戸陽子	・一般対象施設見学会・公開講演会	—	2/6【▲】	1/6【▲】	—(※)	3/2	40	150.0%	◎	リハ中	・県民公開講座	1/1【○】	0/1【▲】	1/1【○】	80	1/1	89	100.0%	○	リハ西	・県民公開講座	1/1【○】	0/1【▲】	1/1【○】	153	1/1	49	100.0%	○	計		46/49	24/55	42/74	1,010	60/66	2,853	90.9%	
病院名	講座名	R1 実績/計画		R2 実績/計画			R3 実績/計画		R4 実績①/計画②		①/② (回数)																																																																																																																																																																																																		
		回数		回数		回数	参加者数	回数	参加者数																																																																																																																																																																																																				
尼崎	・市民すこやかセミナー	6/6【○】	0/6【▲】	0/3【▲】	—	0/3	—	0.0%	▲																																																																																																																																																																																																				
	・社協コラボ出前セミナー	7/6【○】	0/8【▲】	1/3【▲】	78	0/3	—	0.0%																																																																																																																																																																																																					
西宮	・県民公開講座（がん・生活習慣病）	3/3【○】	0/3【▲】	0/3【▲】	—	2/1	187	200.0%	◎																																																																																																																																																																																																				
加古川	・県民向けフォーラム	1/1【○】	1/1【○】	1/1【○】	70	1/1	83	100.0%	○																																																																																																																																																																																																				
姫路	・市民講座（※）	1/1【○】	0/1【▲】	1/1【○】	130	16/1	1,229	1600.0%	◎																																																																																																																																																																																																				
	(1) 病院フェスタ	1/1【○】	0/1【▲】	0/1【▲】	—	0/1	—	0.0%	▲																																																																																																																																																																																																				
丹波	(2) 市民健康講座（地域と研修医との懇談会）	11/12【○】	0/12【▲】	4/3【◎】	80	11/12	232	91.7%	○																																																																																																																																																																																																				
	(1) 市民公開講座	3/2【◎】	1/2【▲】	1/1【○】	—(※)	0/1	—	0.0%	▲																																																																																																																																																																																																				
淡路	(2) 病院フェスタ	1/1【○】	0/1【▲】	0/1【▲】	—	0/1	—	0.0%	▲																																																																																																																																																																																																				
	(1) 県民向け講演会	1/1【○】	0/1【▲】	0/1【▲】	—	3/1	128	300.0%	◎																																																																																																																																																																																																				
こころ	(2) セミナー	4/5【○】	1/4【▲】	2/4【▲】	130	3/1	180	300.0%	◎																																																																																																																																																																																																				
	(3) 病院フェスタ（光風あいアイまつり）	2/2【○】	0/2【▲】	0/2【▲】	—	0/1	—	0.0%	▲																																																																																																																																																																																																				
	・がんフォーラム	2/4【▲】	1/3【▲】	1/3【▲】	146	4/4	498	100.0%	○																																																																																																																																																																																																				
粒子線	(1) 医療関係者向け粒子線治療Web講演会	1/1【○】	18/1【◎】	19/24【△】	101	3/19	82	15.8%	▲																																																																																																																																																																																																				
	(2) 患者・一般向け粒子線治療Web講演会	—	—	9/6【◎】	42	12/12	56	100.0%	○																																																																																																																																																																																																				
神戸陽子	・一般対象施設見学会・公開講演会	—	2/6【▲】	1/6【▲】	—(※)	3/2	40	150.0%	◎																																																																																																																																																																																																				
リハ中	・県民公開講座	1/1【○】	0/1【▲】	1/1【○】	80	1/1	89	100.0%	○																																																																																																																																																																																																				
リハ西	・県民公開講座	1/1【○】	0/1【▲】	1/1【○】	153	1/1	49	100.0%	○																																																																																																																																																																																																				
計		46/49	24/55	42/74	1,010	60/66	2,853	90.9%																																																																																																																																																																																																					
<p>※（姫路）R1～R3 は、姫路循環器病センター実施の「循環器疾患予防フォーラム」</p> <p>※（淡路）市民公開講座の R3 参加者数：ケーブル TV 放映のため、集計不可。</p> <p>※（神戸陽子）R3 参加者数：がんフォーラム内で開催したため、単独での集計不可。</p>																																																																																																																																																																																																													

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目1 経営目標の設定と持続的な経営の取組

○ 基本方向 持続可能な経営を行うため、不断の経営改善に努め、経常損益について黒字経営の確保を図る。 なお、丹波医療センター（2019（H31）年度）、はりま姫路総合医療センター（仮称）（2022年度）の統合再編整備等により、一時的な収支悪化が見込まれるため、早期の経営安定方策を検討し、経営改革の取組を進める。
○ 取組内容
1 経営目標の設定 (1) 各年度の経営実施計画を策定し、具体的な数値目標、経営改善方策及び責任者を明確にしたうえで、経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図る。 (2) 目標は、財務に関する指標だけでなく、専門的な手技手法による治療件数等診療機能の充実に向けた指標を定める。 (3) 病院運営会議・管理局長会議において、各病院の経営情報を共有するとともに、経営健全化方策を検討し実施する。 (4) 各病院において優れた取組、経営努力等に関する前向きな取組を評価し、予算配分に反映させるなど職員のさらなる意欲向上につながる評価の仕組みを継続する。 (5) 経営実施計画及びその達成状況は、病院事業全体及び病院ごとに県民が理解しやすいように公表する。 (6) 外部委員等による計画達成状況の評価、課題の明確化、経営改善に向けた措置勧告を受ける仕組みを継続する。
2 持続的な経営への取組 (1) 新病院開設時には、入院患者抑制等により一時的に収支は悪化するが、速やかに患者受入れの促進などにより、収支の悪化を抑制する。 (2) 持続可能な経営を維持するため、一定の内部留保資金残高の確保を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
〔目標〕 令和4年度は、上半期に新型コロナウイルス感染症の影響を見込むとともに、はりま姫路総合医療センターの開院に伴う患者調整等により一時的な収支悪化が見込まれるが、新型コロナウイルス感染症対応と通常医療との両立を図りながら、民間コンサルを活用した経営再生本部など、各病院と病院局が一体となった経営改善を推進し、持続可能な経営の確保に努める。 また、純損益は、姫路循環器病センター建物償却費等を特別損失として計上するため、90億円の純損失を見込んでいる。	新型コロナウイルス感染症による病院経営への影響については、診療報酬の増額やコロナ患者受入れに係る病床確保料など、新型コロナウイルス感染症対応のための臨時的な収益により減収分は概ね補填されたが、はりま姫路総合医療センターの開院に伴う患者調整等により一時的に収支が悪化し、経常損益は30億円の赤字となった。純損益は、旧姫路循環器病センターに係る特別償却や旧柏原病院建物撤去費用を特別損失として計上したことにより、85億円の赤字となった。	○	経常損益、純損益ともに計画値を上回った。	
〔取組項目〕 1 経営目標の設定 (1) 病院別の経営実施計画、数値目標を設定し、院長、管理局長を中心に経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図る。 (2) 経営目標の設定 病院別の経営実施計画策定にあたっては、数値目標として手術件数及び救急搬送患者数等も設定 (3) 各種会議における病院事業の当初予算、決算見込、経営状況にかかる情報共有 病院運営会議、管理局長会議における各病院の経営状況、経営健全化方策の情報共有 (4) 各病院における優れた取り組み・経営努力等に対する評価・予算配分への反映 経営成績の改善とともに、各病院における経営努力等に関する前向きな取り組みを評価し、固定資産購入費及び研究研修費を重点的に予算配分（メリット配分） (5) 県のホームページに病院事業全体、病院別の経営状況などを公表	〔取組項目〕 1 経営目標の設定 (1) 病院別の経営実施計画、数値目標を設定し、院長、管理局長を中心に経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図った。 (2) 経営目標の設定 病院別の経営実施計画策定にあたっては、数値目標として手術件数及び救急搬送患者数等も設定した。 (3) 各種会議における病院事業の当初予算、決算見込、経営状況にかかる情報共有 病院運営会議、管理局長会議における各病院の経営状況、経営健全化方策の情報共有を行った。 (4) 各病院における優れた取り組み・経営努力等に対する評価・予算配分への反映 経営成績の改善とともに、各病院における経営努力等に関する前向きな取り組みを評価し、固定資産購入費及び研究研修費を重点的に予算配分（メリット配分）した。 (5) 県のホームページに病院事業全体、病院別の経営状況などを公表した。	○	概ね計画どおり実施	1 令和5年度の経営目標の設定 (1) 病院別の月次収支分析及び計画の達成状況を進行管理 (2) 前年度同様に数値目標を明確化し、進行管理 (3) 各種会議実施状況 病院運営会議、管理局長会議（共に月1回）で病院毎の経営状況、経営健全化方策を共有 (4) 評価等実績 経営成績が改善した病院に、固定資産購入費及び研究研修費を重点的に予算配分（メリット配分）

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
<p>2 持続的な経営への取組</p> <p>(1) 上半期に新型コロナウイルス感染症の影響を見込むとともに、はりま姫路総合医療センターの開院に伴う患者調整等により一時的な収支悪化が見込まれるが、新型コロナウイルス感染症対応と通常医療との両立を図りながら、民間コンサルを活用した経営再生本部など、各病院と病院局が一体となった経営改善を推進し、持続可能な経営の確保に努める。 また、病院事業の規模拡大や、各種業務が複雑化・高度化する中で、各病院と病院局が一体となって、適正な経理事務処理に努める。</p> <p>(2) 令和4年度末の内部留保資金残高（見込）：86億円</p>	<p>2 持続的な経営への取組</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の病院経営への影響については、診療報酬の増額やコロナ患者の受入れ体制を確保するための補償等により、減収分は概ね補填されたが、はりま姫路総合医療センターの開院に伴う患者調整等の影響により、一時的に収支が悪化した。 また、病院事業の規模拡大や、各種業務が複雑化・高度化する中で、各病院と病院局が一体となって、適正な経理事務処理に努めた。</p> <p>(2) 令和4年度末の内部留保資金残高（見込）：103億円</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>経常損益、純損益ともに、計画を達成</p> <p>内部留保資金残高が計画を達成</p>	<p>2 持続的な経営への取組</p> <p>(1) 令和5年度は、はりま姫路総合医療センターのフルオープンにより収支改善を図るとともに、引き続き、新型コロナウイルス感染症と通常医療との両立を図りながら、民間コンサルを活用した経営再生本部など、各病院と病院局が一体となった経営改善を推進し、持続可能な経営の確保に努める。</p> <p>(2) 令和5年度末内部留保資金残高（見込）：107億円</p>

実施計画		実施状況			評価	説明		参考：現況（令和5年5月の状況等）					
収支（13病院）		（単位：億円）											
区	分	R3決算 ①	R4当初計画 ②	R4最終予算 ③	R4決算 ④	対前年 (④-①)	対最終予算 (④-③)						
収益的 収支	経常収益 (A)	1,492	1,576	1,608	1,611	119	3						
	（うち一般会計繰入金） (B)	159	162	164	164	5	0						
	経常費用 (C)	1,463	1,617	1,659	1,641	178	△ 18						
	当期経常損益 (D=A-C)	28	△ 41	△ 51	△ 30	△ 58	21						
	特別損益 (E)	3	△ 49	△ 42	△ 56	△ 59	△ 14						
	当期純損益 (F=D+E)	32	△ 90	△ 93	△ 85	△ 117	8						
	資金収支 (G)	96	22	11	32	△ 64	21						
資本的 収支	収入 (H)	344	206	180	201	△ 143	21						
	（うち一般会計繰入金） (I)	71	72	72	72	1	0						
	支出 (J)	389	240	211	236	△ 153	25						
	差引（資金収支） (K=H-J)	△ 45	△ 34	△ 31	△ 35	10	△ 4						
一般会計繰入金の合計 (B+I)		230	234	236	236	6	0						
総資金収支 (L=G+K)		50	△ 11	△ 20	△ 3	△ 53	17						
内部留保資金残高 (M=L+M[前年度])		106	86	86	103	△ 3	17						
※ 特別損益：旧姫路循環器病センターに係る特別償却(△28億円)や旧相原病院建物撤去費用(△23億円)等 ※ 一般会計繰入金については、全て国基準及び県施策に伴うものであり、いわゆる赤字補填としての繰入金は無い。 ※ 計数については、四捨五入の関係で合計等が合わない場合がある(以下の表も同じ)。													
経営状況（各病院ごとの経常損益）		（単位：百万円）											
区分	総合病院							専門病院					10病院計
	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	小計	こころ	こども	がん	粒子線 たつの 神戸陽子		
R3年度決算①	2,913	△ 20	1,828	△ 245	△ 267	727	4,936	△ 245	△ 136	△ 491	△ 777	△ 439	2,847
R4年度当初計画②	1,428	256	231	△ 3,798	△ 799	344	△ 2,338	△ 321	125	△ 479	△ 638	△ 456	△ 4,106
R4年度最終予算③	914	△ 114	1,145	△ 4,407	△ 1	△ 331	△ 2,794	38	△ 483	△ 264	△ 952	△ 643	△ 5,097
R4年度決算④	1,149	△ 144	1,356	△ 4,163	100	90	△ 1,612	170	△ 49	△ 35	△ 955	△ 494	△ 2,976
対前年(④-①)	△ 1,764	△ 124	△ 472	△ 3,918	367	△ 637	△ 6,548	415	87	456	△ 178	△ 55	△ 5,823
対予算(④-③)	235	△ 30	211	244	101	421	1,182	132	434	229	△ 3	149	2,121

実施計画の自己点検・評価

実施計画								実施状況				評価			説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）			
【令和4年度決算の内訳】																			
（単位：床、%、人、千円）																			
区 分	総合病院							小計	専門病院						10病院計	指定管理			13病院計
	尼 崎	西 宮	加 古 川	姫 路	丹 波	淡 路	こ ころ		こ ど も	が ん	粒子線			災 害		リハ			
											た つ の	神 戸	計			中 央	西 播 磨		
稼働病床数	730	400	353	640	320	441	2,884	254	282	360	50	-	50	3,830	30	330	100	4,290	
病床利用率(%)	83.8	74.1	61.7	74.7	80.2	75.4	76.1	59.6	80.5	69.1	47.8	-	47.8	74.8	77.4	72.5	84.1	74.4	
延入院患者数	223,390	108,182	79,541	174,383	93,686	121,420	800,602	55,273	82,809	90,761	8,722	-	8,722	1,038,187	8,477	87,288	30,683	1,164,615	
(1日当たり)	612	296	218	478	257	333	2,193	151	227	249	24	-	24	2,844	23	239	84	3,190	
延外来患者数	458,221	149,571	169,038	198,837	135,741	191,236	1,302,644	49,449	111,753	165,985	4,450	8,921	13,371	1,643,202	1,047	58,860	9,324	1,710,433	
(1日当たり)	1,893	618	699	822	581	790	5,383	204	462	688	18	37	55	6,762	3	235	39	7,039	
入院収益	21,733,402	7,508,082	6,192,745	16,550,255	5,337,993	9,407,120	66,820,477	1,530,988	8,709,948	8,873,376	655,254	-	655,254	84,508,044	0	0	0	84,508,044	
(1人1日)	97,289	70,243	77,856	94,908	56,976	77,476	83,483	27,861	105,169	75,731	75,127	-	75,127	81,488	0	0	0	72,840	
外来収益	9,561,301	2,991,289	3,865,723	3,975,946	2,194,701	3,282,479	25,871,419	342,230	1,954,891	9,405,481	250,581	573,325	823,906	38,197,707	0	0	0	38,197,707	
(1人1日)	20,868	19,999	21,688	19,996	16,188	17,165	19,707	6,921	17,491	56,865	56,310	64,287	81,619	23,246	0	0	0	22,332	
その他医薬収益	595,098	207,411	205,859	376,225	404,320	184,837	1,973,748	16,522	134,261	435,075	6,720	729	7,448	2,567,054	0	0	0	2,567,054	
医薬収益計	31,889,889	10,797,662	10,064,327	20,902,426	7,936,904	12,874,436	94,465,644	1,898,740	10,797,900	16,713,912	912,555	574,054	1,486,609	125,362,805	0	0	0	125,362,805	
コロナ空床補償	2,400,568	1,069,169	2,939,784	558,191	815,431	527,288	8,310,427	544,288	318,864	518,442	0	0	0	9,891,819	0	0	0	9,891,819	
長期前受金戻入額	945,000	320,818	908,093	478,656	837,825	636,887	4,127,079	263,988	824,011	471,795	377,905	281,689	659,594	6,146,475	157,295	388,789	212,020	6,804,579	
その他医薬外収益	627,318	151,148	484,339	387,148	261,142	256,505	2,147,601	81,861	349,474	178,883	13,703	2,706	16,408	2,775,028	187	5,002	660	2,780,877	
医薬外収益計	3,972,884	1,540,935	4,332,216	1,403,996	1,914,398	1,420,678	14,585,107	889,945	1,292,149	1,170,120	391,608	284,395	676,003	18,613,323	157,482	393,791	212,680	19,377,275	
経常収益計	35,862,774	12,338,597	14,398,543	22,306,423	9,851,301	14,295,114	109,050,751	2,788,684	12,090,049	17,884,033	1,304,163	858,449	2,182,812	143,976,128	157,482	393,791	212,680	144,740,080	
給 与 費	18,342,715	7,866,755	7,117,366	13,516,265	5,290,314	7,894,333	60,027,748	2,991,194	8,405,133	6,831,538	626,588	317,709	944,297	79,199,907	33,000	21,332	10,886	79,265,125	
(退職給与金)	489,963	323,474	455,658	209,907	213,088	269,829	1,961,919	252,380	196,328	302,552	55,049	2,501	57,550	2,770,730	0	0	0	2,770,730	
(退職給付引当金)	356,913	147,370	-39,838	353,180	-44,201	211,020	984,424	-37,836	265,871	131,292	-10,805	39,673	29,068	1,372,818	0	0	0	1,372,818	
(賞与引当金)	960,000	420,000	376,000	779,000	280,000	416,000	3,231,000	188,000	455,000	425,000	37,000	19,000	56,000	4,335,000	0	0	0	4,335,000	
材 料 費	11,832,184	3,248,317	3,383,702	8,026,841	1,822,720	4,272,424	32,586,188	185,373	2,476,668	8,888,866	64,238	14,743	78,981	44,012,044	0	0	0	44,012,044	
経 費	5,110,724	1,869,662	2,180,081	5,583,648	2,191,937	2,318,163	19,234,225	633,681	2,292,465	2,200,409	1,271,104	452,774	1,723,878	26,084,658	626,094	298,517	119,815	27,130,184	
減価償却費	1,662,741	485,042	1,377,205	650,184	1,129,899	1,089,069	6,374,120	422,509	1,055,128	856,435	515,773	518,716	1,034,489	9,742,680	139,921	363,275	201,896	10,447,772	
資産減耗費	182,311	21,968	12,448	113,000	1,701	20,623	352,051	4,265	9,222	1,525	1,304	2,353	3,657	370,719	2,512	6,809	3	379,843	
研究研修費	140,784	57,296	37,242	91,191	25,197	39,775	391,455	12,474	53,079	112,303	4,280	2,870	7,150	576,480	0	0	0	576,480	
医薬費用計	37,271,439	13,549,010	14,088,054	27,980,109	10,461,768	15,614,387	118,964,787	4,249,498	14,290,683	18,688,073	2,483,287	1,309,165	3,792,452	159,986,469	801,527	690,733	332,700	161,811,429	
医薬外費用	348,909	69,860	323,284	249,433	238,520	288,809	1,518,915	88,837	154,745	102,495	260,000	95,992	355,992	2,220,782	38,814	25,190	13,258	2,295,844	
経常費用計	37,620,349	13,618,970	14,411,338	28,229,541	10,700,287	15,903,197	120,483,692	4,338,132	14,445,428	18,791,567	2,743,287	1,405,156	4,148,443	162,207,252	838,141	715,923	345,958	164,107,274	
経常損益(繰入前)	△ 1,757,575	△ 1,280,373	△ 14,795	△ 5,923,119	△ 848,985	△ 1,608,083	△ 11,432,931	△ 1,549,449	△ 2,355,379	△ 807,535	△ 1,439,124	△ 548,708	△ 1,985,831	△ 18,231,124	△ 680,659	△ 322,132	△ 133,278	△ 19,367,194	
特別利益	20,191	17,357	13,500	2,229,365	1,749	2,333	2,284,495	10,071	2,015	10,634	37	0	37	2,307,253	0	1	0	2,307,254	
特別損失	9,420	4,085	274	5,542,984	2,291,075	5,200	7,853,038	4,787	7,270	6,118	195	0	195	7,871,389	0	0	0	7,871,389	
純損益(繰入前)	△ 1,746,804	△ 1,267,101	△ 1,569	△ 9,236,737	△ 3,138,312	△ 1,610,949	△ 17,001,474	△ 1,544,145	△ 2,360,634	△ 803,019	△ 1,439,282	△ 548,708	△ 1,985,899	△ 23,795,280	△ 680,659	△ 322,132	△ 133,278	△ 24,931,930	
一般会計繰入金	2,906,210	1,136,387	1,371,166	1,769,936	948,534	1,698,247	9,820,480	1,719,103	2,306,021	872,769	483,916	53,193	537,109	15,255,493	680,659	322,132	133,278	16,391,652	
経常損益(繰入後)	1,148,635	△ 143,888	1,356,371	△ 4,163,183	99,549	80,164	△ 1,612,451	169,655	△ 49,358	△ 34,765	△ 655,208	△ 493,515	△ 1,448,722	△ 2,975,641	0	0	0	△ 2,975,642	
純損益(繰入後)	1,158,406	△ 130,714	1,368,597	△ 7,476,801	△ 2,189,778	87,298	△ 7,180,994	174,958	△ 54,813	△ 30,250	△ 955,366	△ 493,515	△ 1,448,880	△ 8,539,778	0	0	0	△ 8,539,778	
※千円未満四捨五入のため、合計が一致しない箇所がある。																			
給与費比率	57.5	72.9	70.7	64.7	66.7	61.3	63.5	157.5	77.8	40.9	68.7	55.3	63.5	63.2				63.2	
材料費比率	37.1	30.1	33.8	38.4	23.0	33.2	34.5	9.8	22.9	52.0	7.0	2.8	5.3	35.1				35.1	
経費比率	18.0	17.3	21.5	26.7	27.6	18.0	20.4	33.4	21.2	13.2	139.3	78.9	116.0	20.8				21.8	

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目 2 収益の確保 (1) 患者の受入れ促進等

- 基本方向

設備やスタッフなど高度専門医療に係る機能を十分に活用するため、地域の医療機関との緊密な連携を進め、前方連携（紹介患者や救急患者の積極的な受入れ）・後方連携（地域の医療機関への逆紹介）の充実を図り、患者の受入れを促進する。
- 取組内容
 - 1 新規患者の受入れ促進
 - (1) 高度専門・特殊医療の充実、医師の確保、地域医療連携の推進等により患者の受入れを促進する。
 - (2) 地域の医療機関との連携を強化し、紹介患者の増加を図る。
 - ① 地域の医療機関との合同症例検討会や医療技術向上研修会を拡充する。
 - ② 医療機関ごとに紹介患者数の動向を把握し、院長等が直接地域の医療機関に患者紹介を働きかける。
 - ③ 治療中・治療終了時に紹介元医療機関に、治療状況等の報告を行う。
 - ④ 地域の医療機関を含めたICT（情報通信技術）化を図ることにより、医療情報の共有化を推進する。
 - (3) 救急医療体制の充実を図り、救急患者の受入れを促進する。
 - ① 医師、看護師等の救急医療体制を確保する。
 - ② 救急隊と症例検討会や意見交換会を実施し、円滑な救急患者の受入れを行う。
 - ③ ドクターカーやドクターヘリによる重症患者の受入れを強化する。
 - (4) 地域の医療機関との連携を強化し、逆紹介の促進を図る。
 - ① 地域連携クリニカルパスを進めることにより、地域医療連携の推進を図る。
 - ② 地域医療連携室の機能を強化することにより、転退院に向けた患者相談の充実を図る。
 - 2 効率的な病床運用
 - (1) 電子カルテ等を活用した空床情報の一元管理により、病床の有効活用を図る。
 - (2) 入院前検査センター機能の拡充により、病床の有効活用を図る。
 - (3) 休日入院や入院時検査の外来シフト化の拡充により、病床の有効活用を図る。
 - (4) 診療科別にきめ細かく患者の動向を踏まえることにより、病床の有効活用を図る。
 - (5) 地域連携クリニカルパスを促進し、後方医療機関との連携を充実させることにより、病床の有効活用を図る。
 - (6) 院内バスの適用率を向上させることにより、病床の有効活用を図る。
 - (7) 地域の医療ニーズに対応した適正な稼働病床数・病床機能への見直しを進め、病床の効率的な運用を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画				実施状況				評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																																																																																			
<p>〔目標〕 診療機能の充実を図るとともに、地域医療連携の推進等により患者の受入れを促進する。</p>				<p>診療機能の充実を図るとともに、地域医療連携の推進等を行ったものの、右記の理由により外来患者数は減少した。</p>				○	<p>地域の医療機関との前方連携・後方連携の充実を図り、患者受入れの促進に向け、概ね計画どおり取り組んだ。</p> <p>なお、コロナ対応と通常医療の両立を促進し、入院患者数は計画を上回ったが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う受診控えの影響が残り、外来患者数は計画を下回ったため、全体として患者数は計画値を下回った。</p>	<p>延患者数等(10病院)5月末現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>R5実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">入院</td> <td>病床利用率</td> <td>75.6</td> </tr> <tr> <td>延患者数</td> <td>181,512</td> </tr> <tr> <td>1日あたり</td> <td>2,976</td> </tr> <tr> <td>新規患者数</td> <td>14,505</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">外来</td> <td>延患者数</td> <td>273,575</td> </tr> <tr> <td>1日あたり</td> <td>6,839</td> </tr> <tr> <td>新規患者数</td> <td>21,865</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 粒子線の新規患者数は、実患者数を記載</p>	区分		R5実績	入院	病床利用率	75.6	延患者数	181,512	1日あたり	2,976	新規患者数	14,505	外来	延患者数	273,575	1日あたり	6,839	新規患者数	21,865																																																																																																
区分		R5実績																																																																																																																											
入院	病床利用率	75.6																																																																																																																											
	延患者数	181,512																																																																																																																											
	1日あたり	2,976																																																																																																																											
	新規患者数	14,505																																																																																																																											
外来	延患者数	273,575																																																																																																																											
	1日あたり	6,839																																																																																																																											
	新規患者数	21,865																																																																																																																											
<p>患者数の状況(10病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">稼働病床数</th> <th colspan="4">新規患者数</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>入院</th> <th>外来</th> <th>入院+外来</th> <th>区分</th> <th>入院</th> <th>外来</th> <th>入院+外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">稼働病床数</td> <td>R3実績①</td> <td>3,492</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="7">1日あたり</td> <td>R3実績①</td> <td>2,394</td> <td>6,145</td> <td>8,539</td> </tr> <tr> <td>R4当初計画②</td> <td>3,830</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>R4当初計画②</td> <td>2,962</td> <td>7,128</td> <td>10,090</td> </tr> <tr> <td>R4最終予算③</td> <td>3,830</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>R4最終予算③</td> <td>2,829</td> <td>6,829</td> <td>9,658</td> </tr> <tr> <td>R4実績④</td> <td>3,830</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>R4実績④</td> <td>2,844</td> <td>6,762</td> <td>9,606</td> </tr> <tr> <td>対前年(④-①)</td> <td>338</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>対前年(④-①)</td> <td>450</td> <td>617</td> <td>1,067</td> </tr> <tr> <td>対予算(④-③)</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>対予算(④-③)</td> <td>15</td> <td>△ 67</td> <td>△ 52</td> </tr> <tr> <td>延患者数</td> <td>R3実績①</td> <td>873,793</td> <td>1,486,997</td> <td>2,360,790</td> <td>R3実績①</td> <td>69,881</td> <td>112,278</td> <td>182,159</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R4当初計画②</td> <td>1,081,147</td> <td>1,732,161</td> <td>2,813,308</td> <td>R4当初計画②</td> <td>86,156</td> <td>131,824</td> <td>217,980</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R4最終予算③</td> <td>1,032,645</td> <td>1,659,372</td> <td>2,692,017</td> <td>R4最終予算③</td> <td>80,563</td> <td>135,731</td> <td>216,294</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R4実績④</td> <td>1,038,167</td> <td>1,643,201</td> <td>2,681,368</td> <td>R4実績④</td> <td>81,237</td> <td>131,688</td> <td>212,925</td> </tr> <tr> <td></td> <td>対前年(④-①)</td> <td>164,374</td> <td>156,204</td> <td>320,578</td> <td>対前年(④-①)</td> <td>11,356</td> <td>19,410</td> <td>30,766</td> </tr> <tr> <td></td> <td>対予算(④-③)</td> <td>5,522</td> <td>△ 16,171</td> <td>△ 10,649</td> <td>対予算(④-③)</td> <td>674</td> <td>△ 4,043</td> <td>△ 3,369</td> </tr> </tbody> </table>				稼働病床数				新規患者数				区分	入院	外来	入院+外来	区分	入院	外来	入院+外来	稼働病床数	R3実績①	3,492	-	-	1日あたり	R3実績①	2,394	6,145	8,539	R4当初計画②	3,830	-	-	R4当初計画②	2,962	7,128	10,090	R4最終予算③	3,830	-	-	R4最終予算③	2,829	6,829	9,658	R4実績④	3,830	-	-	R4実績④	2,844	6,762	9,606	対前年(④-①)	338	-	-	対前年(④-①)	450	617	1,067	対予算(④-③)	0	-	-	対予算(④-③)	15	△ 67	△ 52	延患者数	R3実績①	873,793	1,486,997	2,360,790	R3実績①	69,881	112,278	182,159		R4当初計画②	1,081,147	1,732,161	2,813,308	R4当初計画②	86,156	131,824	217,980		R4最終予算③	1,032,645	1,659,372	2,692,017	R4最終予算③	80,563	135,731	216,294		R4実績④	1,038,167	1,643,201	2,681,368	R4実績④	81,237	131,688	212,925		対前年(④-①)	164,374	156,204	320,578	対前年(④-①)	11,356	19,410	30,766		対予算(④-③)	5,522	△ 16,171	△ 10,649	対予算(④-③)	674	△ 4,043	△ 3,369		
稼働病床数				新規患者数																																																																																																																									
区分	入院	外来	入院+外来	区分	入院	外来	入院+外来																																																																																																																						
稼働病床数	R3実績①	3,492	-	-	1日あたり	R3実績①	2,394	6,145	8,539																																																																																																																				
	R4当初計画②	3,830	-	-		R4当初計画②	2,962	7,128	10,090																																																																																																																				
	R4最終予算③	3,830	-	-		R4最終予算③	2,829	6,829	9,658																																																																																																																				
	R4実績④	3,830	-	-		R4実績④	2,844	6,762	9,606																																																																																																																				
	対前年(④-①)	338	-	-		対前年(④-①)	450	617	1,067																																																																																																																				
	対予算(④-③)	0	-	-		対予算(④-③)	15	△ 67	△ 52																																																																																																																				
	延患者数	R3実績①	873,793	1,486,997		2,360,790	R3実績①	69,881	112,278	182,159																																																																																																																			
	R4当初計画②	1,081,147	1,732,161	2,813,308	R4当初計画②	86,156	131,824	217,980																																																																																																																					
	R4最終予算③	1,032,645	1,659,372	2,692,017	R4最終予算③	80,563	135,731	216,294																																																																																																																					
	R4実績④	1,038,167	1,643,201	2,681,368	R4実績④	81,237	131,688	212,925																																																																																																																					
	対前年(④-①)	164,374	156,204	320,578	対前年(④-①)	11,356	19,410	30,766																																																																																																																					
	対予算(④-③)	5,522	△ 16,171	△ 10,649	対予算(④-③)	674	△ 4,043	△ 3,369																																																																																																																					

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																												
<p>【取組項目】</p> <p>1 新規患者の受入れの促進</p> <p>(1) 高度専門・特殊医療の充実等による患者の確保</p> <p>① 高度専門医療のための医療機器等の整備・更新 CT（尼崎、西宮）、電子内視鏡（尼崎）、 リニアック（淡路）等</p> <p>② 粒子線治療保険適用拡大を踏まえた患者の受入れ促進</p> <p>(2) 地域医療連携の推進</p> <p>① 意見交換会・症例検討会の実施</p> <p>② 前方連携（紹介患者や救急患者の積極的な受け入れ）・ 後方連携（地域の医療機関への逆紹介）の推進及び院長 等による病院訪問並びに訪問区域の拡大</p> <p>③ 紹介元医療機関に対する診療内容の報告</p> <p>④ 「h-Anshin むこねっと」、「あわじネット」、「明石しごせ んネット」の活用</p> <p>・返書送付率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こころ</th> <th>こども</th> <th>がん</th> <th>粒子線</th> <th>神戸陽子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 実績</td> <td>96.0</td> <td>100.0</td> <td>96.3</td> <td>95.6</td> <td>87.9</td> <td>99.9</td> <td>85.6</td> <td>94.3</td> <td>92.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R4 実績</td> <td>87.0</td> <td>147.8</td> <td>95.2</td> <td>91.8</td> <td>105.2</td> <td>98.5</td> <td>82.3</td> <td>95.3</td> <td>96.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線	神戸陽子	R3 実績	96.0	100.0	96.3	95.6	87.9	99.9	85.6	94.3	92.0	100.0	100.0	R4 実績	87.0	147.8	95.2	91.8	105.2	98.5	82.3	95.3	96.0	100.0	100.0	<p>【取組項目】</p> <p>1 新規患者の受入れの促進</p> <p>(1) 高度専門・特殊医療の充実等による患者の確保</p> <p>① 高度専門医療のための医療機器等を整備・更新した。 CT（尼崎、西宮）、電子内視鏡（尼崎、がん）、 手術顕微鏡（尼崎）、ガンマカメラ（こども）等</p> <p>② 粒子線治療保険適用拡大を踏まえて患者の受入れを促進 した。 粒子線と神戸陽子合計の実患者数 R3:482 人→R4:561 人</p> <p>(2) 地域医療連携の推進</p> <p>① 意見交換会・症例検討会を実施した。</p> <p>② 前方連携（紹介患者や救急患者の積極的な受け入れ）・ 後方連携（地域の医療機関への逆紹介）の推進及び院長 等による病院訪問並びに訪問区域を拡大した。</p> <p>③ 紹介元医療機関に対する診療内容を報告した。</p> <p>④ 「h-Anshin むこねっと」、「あわじネット」、「明石しごせ んネット」を活用した。【再掲 P30、31】</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>予算繰越対象分を除き計画 どおり高度専門医療のため の医療機器の整備・更新を 実施</p> <p>粒子線治療の実患者数の増</p> <p>概ね計画どおり実施</p>	<p>1 新規患者の受入れの促進</p> <p>(1) 高度専門・特殊医療の充実等による患者の確保</p> <p>① 高度専門医療のための医療機器等の整備・更新 令和5年度（予定） 内視鏡下手術支援機器（尼崎、がん）、 SPECT/CT（西宮）、アンギオ（加古川、こども）、 リニアック（淡路）、MRI（丹波）等</p> <p>(2) 地域医療連携の推進</p> <p>① 地域連携課長会の実施 ② 積極的な診療所訪問 ③ 紹介状、返書の徹底</p> <p>(4) 地域医療連携・逆紹介の推進</p> <p>・11 病院（粒子線・災害以外）で地域連携クリニカ ルパスを導入（がん・糖尿病等） ・指定管理病院を除く全 10 病院で地域医療連携室に 専任看護師を配置</p>																								
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線	神戸陽子																																																					
R3 実績	96.0	100.0	96.3	95.6	87.9	99.9	85.6	94.3	92.0	100.0	100.0																																																					
R4 実績	87.0	147.8	95.2	91.8	105.2	98.5	82.3	95.3	96.0	100.0	100.0																																																					
<p>(3) 救急患者の積極的受入</p> <p>・救急搬送患者数+3,263 人 (R3 見込：24,219 人→R4 計画：27,482 人)</p> <p>(4) 地域医療連携・逆紹介の推進</p> <p>・各病院の関係医療機関と連携し、地域連携クリニカル パスを活用</p> <p>・地域医療連携室の専任看護師配置を継続</p> <p>・紹介先医療機関に対する診療内容の報告</p> <p>・逆紹介率【再掲 P33】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こころ</th> <th>こども</th> <th>がん</th> <th>粒子線</th> <th>神戸陽子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 決算</td> <td>91.3</td> <td>71.0</td> <td>52.9</td> <td>180.0</td> <td>87.9</td> <td>72.1</td> <td>47.1</td> <td>62.3</td> <td>46.8</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R4 計画①</td> <td>95.8</td> <td>132.0</td> <td>70.7</td> <td>115.9</td> <td>78.1</td> <td>70.0</td> <td>45.0</td> <td>65.1</td> <td>46.8</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R4 決算②</td> <td>90.8</td> <td>106.8</td> <td>78.9</td> <td>81.9</td> <td>105.2</td> <td>73.6</td> <td>38.9</td> <td>66.3</td> <td>79.1</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>差 (②-①)</td> <td>△5.0</td> <td>△25.2</td> <td>8.2</td> <td>△34.0</td> <td>27.1</td> <td>3.6</td> <td>△6.1</td> <td>1.2</td> <td>32.3</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線	神戸陽子	R3 決算	91.3	71.0	52.9	180.0	87.9	72.1	47.1	62.3	46.8	100.0	100.0	R4 計画①	95.8	132.0	70.7	115.9	78.1	70.0	45.0	65.1	46.8	100.0	100.0	R4 決算②	90.8	106.8	78.9	81.9	105.2	73.6	38.9	66.3	79.1	100.0	100.0	差 (②-①)	△5.0	△25.2	8.2	△34.0	27.1	3.6	△6.1	1.2	32.3	0.0	0.0	<p>(3) 救急患者の積極的受入</p> <p>・救急搬送患者数+5,889 人 (R4 計画：27,482 人→R4 実績：33,371 人)</p> <p>(4) 地域医療連携・逆紹介の推進</p> <p>・各病院の関係医療機関と連携し、地域連携クリニカルパ スを活用した。</p> <p>・地域医療連携室の専任看護師配置を継続した。</p> <p>・紹介先医療機関に対する診療内容を報告した。</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>救急受入れ要請件数の増</p> <p>概ね計画どおり実施</p>	
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線	神戸陽子																																																					
R3 決算	91.3	71.0	52.9	180.0	87.9	72.1	47.1	62.3	46.8	100.0	100.0																																																					
R4 計画①	95.8	132.0	70.7	115.9	78.1	70.0	45.0	65.1	46.8	100.0	100.0																																																					
R4 決算②	90.8	106.8	78.9	81.9	105.2	73.6	38.9	66.3	79.1	100.0	100.0																																																					
差 (②-①)	△5.0	△25.2	8.2	△34.0	27.1	3.6	△6.1	1.2	32.3	0.0	0.0																																																					

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																																																																
<p>2 効率的な病床運営</p> <p>(1) 電子カルテを活用した空床の有効活用の徹底を継続</p> <p>(2) 入院前検査センター機能の活用による病床の有効活用</p> <p>(3) 患者の意向を踏まえた休日入院など休日における病床の有効活用の促進</p> <p>(4) 診療科別の患者数、診療単価のきめ細かな把握・分析による病床の有効活用の促進</p> <p>・病床の有効活用としての診療科混合使用病床率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こども</th> <th>がん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>66.9</td> <td>97.9</td> <td>72.2</td> <td>9.7</td> <td>61.6</td> <td>90.1</td> <td>86.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>66.9</td> <td>97.9</td> <td>72.2</td> <td>9.7</td> <td>61.6</td> <td>90.1</td> <td>86.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 地域連携クリニカルパスを促進し、後方医療機関との連携を充実させることによる病床の有効活用の促進</p> <p>・地域連携クリニカルパス適用件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>がん</th> <th>リハ中</th> <th>リハ西</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>401</td> <td>111</td> <td>100</td> <td>207</td> <td>54</td> <td>351</td> <td>215</td> <td>134</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>431</td> <td>118</td> <td>127</td> <td>398</td> <td>13</td> <td>355</td> <td>177</td> <td>134</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 院内クリニカルパスの適用推進及び質の向上</p> <p>・クリニカルパス適用率【再掲P27】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こども</th> <th>がん</th> <th>粒子線</th> <th>神戸陽子</th> <th>リハ中</th> <th>リハ西</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>66.4</td> <td>51.8</td> <td>47.6</td> <td>49.2</td> <td>33.6</td> <td>38.1</td> <td>32.1</td> <td>63.7</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>48.1</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>69.4</td> <td>47.1</td> <td>48.6</td> <td>45.3</td> <td>33.7</td> <td>50.0</td> <td>37.1</td> <td>65.2</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>34.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(7) 地域の医療ニーズに対応した適正な稼働病床数・病床機能の見直しによる病床の効率的運用</p>	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん	R3実績	66.9	97.9	72.2	9.7	61.6	90.1	86.0	100.0	R4実績	66.9	97.9	72.2	9.7	61.6	90.1	86.0	100.0	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	がん	リハ中	リハ西	R3実績	401	111	100	207	54	351	215	134	106	R4実績	431	118	127	398	13	355	177	134	83	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん	粒子線	神戸陽子	リハ中	リハ西	R3実績	66.4	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	100.0	48.1	R4実績	69.4	47.1	48.6	45.3	33.7	50.0	37.1	65.2	100.0	100.0	100.0	34.5	<p>2 効率的な病床運営</p> <p>(1) 電子カルテを活用した空床の有効活用の徹底を継続した。</p> <p>(2) 入院前検査センター機能の活用による病床の有効活用に取り組んだ。</p> <p>(3) 患者の意向を踏まえた休日入院など休日における病床の有効活用を促進した。</p> <p>(4) 診療科別の患者数、診療単価のきめ細かな把握・分析による病床の有効活用を促進した。</p> <p>(5) 地域連携クリニカルパスを促進し、後方医療機関との連携を充実させることによる病床の有効活用を促進した。</p> <p>(6) 院内クリニカルパスの適用推進及び質を向上した。</p> <p>(7) 地域の医療ニーズに対応した適正な稼働病床数・病床機能の見直しによる病床を効率的に運用した。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>適正な稼働病床数による効率的な病床運用を実施</p>	<p>2 効率的な病床運営</p> <p>(2) 入院前検査センターを設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8病院（尼崎、西宮、加古川、姫路、丹波、淡路、こども、がん）で設置済み ・患者サポートセンター開設による機能の一元化（尼崎、R5.2開設） <p>(3) 休日における病床の有効活用（主なもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日曜・休日入院の実施（[全科]姫路、[泌尿器科ほか11科]尼崎、[婦人科]西宮、丹波） ・白内障手術の日曜入院（尼崎、西宮、加古川、姫路、丹波、こども） ・外科ほか7診療科における休日入院（淡路） <p>(6) クリニカルパス推進対策本部の設置</p> <p>病院局にクリニカルパス推進対策本部を設置、尼崎のほか8病院（西宮、加古川、姫路、丹波、淡路、こども、がん）に院内パス推進チームを設置し、パス推進体制を強化</p> <p>(7) 地域医療ニーズに対応した病床機能の見直しの継続的な実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はりま姫路総合医療センター+96床 ・こども病院+8床
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん																																																																																												
R3実績	66.9	97.9	72.2	9.7	61.6	90.1	86.0	100.0																																																																																												
R4実績	66.9	97.9	72.2	9.7	61.6	90.1	86.0	100.0																																																																																												
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	がん	リハ中	リハ西																																																																																											
R3実績	401	111	100	207	54	351	215	134	106																																																																																											
R4実績	431	118	127	398	13	355	177	134	83																																																																																											
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん	粒子線	神戸陽子	リハ中	リハ西																																																																																								
R3実績	66.4	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	100.0	48.1																																																																																								
R4実績	69.4	47.1	48.6	45.3	33.7	50.0	37.1	65.2	100.0	100.0	100.0	34.5																																																																																								

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目2 収益の確保 (2) 診療機能に見合う収益の確保等

○ 基本方向
高度医療機器や手術室等の有効活用、医療の特質に応じた各種加算の取得、適正な診療報酬請求の推進、入院前検査センターの機能拡充やクリニカルパスの見直しにより平均在院日数の適正化を図り、診療機能に見合う収益を確保する。

○ 取組内容

1 診療機能に見合う収益の確保

(1) 建替整備による診療機能の充実、高度医療機器の計画的な整備等により診療内容の高度化を図る。
(2) 地域連携クリニカルパスを促進し、後送病院との連携・充実を図るとともに、院内においてもクリニカルパスの適用率を高めることにより、平均在院日数の適正化を図る。
(3) 入院、転退院に向けた外来段階での患者アセスメントの推進により、平均在院日数の適正化を図る。
(4) DPCにおける機能評価係数の向上及びコーディング精度の適正化を図る。
(5) DPC分析ソフトを活用し、継続的にクリニカルパスを見直すことにより、平均在院日数の適正化を図る。
(6) 診療情報管理士の資格取得を促進するとともに、全職種を対象に、診療報酬に関する研修会を開催することにより、診療機能にふさわしい各種加算の取得や指導管理の充実を図る。
(7) 病院横断的に組織した診療報酬対策本部において、診療報酬制度への適時的確な対応等の課題について取り組む。
(8) 医事委託業務の精緻化により、精度の高い医事事務を実施する。
(9) 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に行う。

2 一般会計の適切な負担
総務省から毎年示される地方財政計画及び地方公営企業繰入金通知(繰出基準)により、救急医療対策費、看護師確保対策費などが不相当経費、また、特殊医療経費、高度医療経費などが困難経費とされており、これらに基づき、安定的かつ継続的に一般会計繰入金を確保する。
また、地方財政計画や繰出基準を踏まえた見直しを適時適切に行う。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況(令和5年5月の状況等)																																																									
<p>〔目標〕 診療報酬対策本部による診療報酬制度への的確な対応及び施設基準の取得、診療機能の充実、高度医療機器の高稼働、手術件数の増加等により、診療機能に見合う収益の確保を図る。</p> <p>診療単価・平均在院日数等(10病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3決算①</th> <th>R4計画②</th> <th>R4最終予算③</th> <th>R4実績④</th> <th>対前年(④-①)</th> <th>対予算(④-③)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">診療単価(円)</td> <td>入院</td> <td>82,930</td> <td>78,137</td> <td>81,594</td> <td>81,488</td> <td>△ 1,442</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>23,713</td> <td>21,944</td> <td>22,989</td> <td>23,246</td> <td>△ 467</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>10.9</td> <td>10.7</td> <td>11.1</td> <td>11.2</td> <td>0.3</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>44,867</td> <td>49,357</td> <td>52,211</td> <td>52,530</td> <td>7,663</td> <td>319</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平均在院日数は、こころ、粒子線を除く8病院</p>	区分	R3決算①	R4計画②	R4最終予算③	R4実績④	対前年(④-①)	対予算(④-③)	診療単価(円)	入院	82,930	78,137	81,594	81,488	△ 1,442	外来	23,713	21,944	22,989	23,246	△ 467	平均在院日数	10.9	10.7	11.1	11.2	0.3	0.1	手術件数	44,867	49,357	52,211	52,530	7,663	319	<p>診療報酬制度への的確な対応、在院日数の適正化、手術件数の増加等により診療機能に見合う収入の確保を図った。</p>	○	<p>全ての項目において、概ね計画どおりに取り組んだ。また、診療情報管理士については新規資格取得者が計画を上回った。</p>	<p>診療単価等(10病院)5月末現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R5実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">診療単価(円)</td> <td>入院</td> <td>80,273</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>22,610</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>10.9</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>9,011</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平均在院日数は、こころ、粒子線を除く8病院</p> <p>○ 平均在院日数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日数</td> <td>11.1</td> <td>11.1</td> <td>10.9</td> <td>10.9</td> <td>11.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ こころ、粒子線を除く</p>	区分	R5実績	診療単価(円)	入院	80,273	外来	22,610	平均在院日数	10.9	手術件数	9,011	年度	H30	R元	R2	R3	R4	日数	11.1	11.1	10.9	10.9	11.2
区分	R3決算①	R4計画②	R4最終予算③	R4実績④	対前年(④-①)	対予算(④-③)																																																							
診療単価(円)	入院	82,930	78,137	81,594	81,488	△ 1,442																																																							
	外来	23,713	21,944	22,989	23,246	△ 467																																																							
平均在院日数	10.9	10.7	11.1	11.2	0.3	0.1																																																							
手術件数	44,867	49,357	52,211	52,530	7,663	319																																																							
区分	R5実績																																																												
診療単価(円)	入院	80,273																																																											
	外来	22,610																																																											
平均在院日数	10.9																																																												
手術件数	9,011																																																												
年度	H30	R元	R2	R3	R4																																																								
日数	11.1	11.1	10.9	10.9	11.2																																																								
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 診療機能に見合う収益の確保</p> <p>(1) 建替整備、医療機器整備・更新による診療機能の充実 C T (尼崎、西宮)、電子内視鏡(尼崎)、リニアック(淡路)等</p> <p>(2) クリニカルパスの適用推進による在院日数の適正化</p> <p>・クリニカルパス適用率【再掲P27、49】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こども</th> <th>がん</th> <th>粒子線</th> <th>神戸陽子</th> <th>リハ中</th> <th>リハ西</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 実績</td> <td>66.4</td> <td>51.8</td> <td>47.6</td> <td>49.2</td> <td>33.6</td> <td>38.1</td> <td>32.1</td> <td>63.7</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>48.1</td> </tr> <tr> <td>R4 実績</td> <td>69.4</td> <td>47.1</td> <td>48.6</td> <td>45.3</td> <td>33.7</td> <td>50.0</td> <td>37.1</td> <td>65.2</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>34.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:%)</p>	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん	粒子線	神戸陽子	リハ中	リハ西	R3 実績	66.4	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	100.0	48.1	R4 実績	69.4	47.1	48.6	45.3	33.7	50.0	37.1	65.2	100.0	100.0	100.0	34.5	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 診療機能に見合う収益の確保</p> <p>(1) 建替整備、医療機器整備・更新による診療機能を充実した。 ・C T (尼崎、西宮)、電子内視鏡(尼崎)、リニアック(淡路)等</p> <p>(2) クリニカルパスの適用推進により在院日数を適正化した。</p>	○	<p>計画どおり高度専門医療のための医療機器の整備・更新を実施</p> <p>○ クリニカルパス適用率の促進等により、概ね計画どおりの平均在院日数で推移</p>	<p>1 診療機能に見合う収益の確保</p> <p>(1) 令和5年度(予定) 内視鏡下手術支援機器(尼崎、がん)、SPECT/CT(西宮)、アンギオ(加古川、こども)、MRI(丹波)等</p> <p>(2) 平均在院日数(こころ、粒子線を除く8病院) 令和5年度見込 11.2日</p>																		
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん	粒子線	神戸陽子	リハ中	リハ西																																																	
R3 実績	66.4	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	100.0	48.1																																																	
R4 実績	69.4	47.1	48.6	45.3	33.7	50.0	37.1	65.2	100.0	100.0	100.0	34.5																																																	

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																	
<p>(3) 入院前検査センター機能拡充による在院日数の適正化</p> <p>(4) 院内診療報酬関連委員会等における機能評価係数向上・コーディング適正化等に向けた現状の把握及び取り組みの実施</p> <p>・診療報酬関係委員会及びDPCコーディング委員会開催回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こころ</th> <th>こども</th> <th>がん</th> <th>粒子線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線	R3実績	12	12	12	16	16	16	12	16	12	12	R4実績	12	12	11	11	16	16	12	16	12	12	<p>(3) 入院前検査センター機能拡充による在院日数を適正化した。</p> <p>・患者サポートセンター開設による機能の一元化（尼崎、R5.2開設）</p> <p>(4) 院内診療報酬関連委員会等における機能評価係数向上・コーディング適正化等に向けた現状の把握及び取り組みを実施した。</p> <p style="text-align: right;">（単位：回）</p>	○	概ね計画どおり実施	<p>(4) 取組実績</p> <p>① 院内診療報酬関連委員会及びDPCコーディング委員会の開催</p> <p>② 診療科別研修会・カンファレンスを利用した診療報酬にかかる情報の共有</p> <p>(5) クリニカルパス推進対策本部の設置 病院局にクリニカルパス推進対策本部を設置、尼崎のほか8病院（西宮、加古川、姫路、丹波、淡路、こころ、こども、がん）に院内パス推進チームを設置し、パス推進体制を強化</p> <p>(6) 診療情報管理士育成状況（H23～）</p> <p>・診療情報管理士資格取得者：48名（累積）</p> <p>・養成中：9名</p> <p>(7) 取組実績 令和5年度診療報酬対策本部会議 ワーキンググループ提案に基づく経営健全化方策の検討及び実施</p> <p>・本部会議 第1回：5月26日（金）</p> <p>・WG 第1回：5月31日（金） パス推進チーム：10回</p> <p>(8) 取組実績</p> <p>・レセプト精度診断の実施（はり姫：5月、加古川6月）</p> <p>(9) 取組実績</p> <p>・令和5年度医事委託業者選定のプロポーザルによる契約更新（尼崎・淡路、R5.4）</p>
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線																											
R3実績	12	12	12	16	16	16	12	16	12	12																											
R4実績	12	12	11	11	16	16	12	16	12	12																											
<p>(5) DPC分析ソフトを活用したクリニカルパスの見直しによる在院日数の適正化</p> <p>・クリニカルパス数のうちDPCⅡ期以内に設定されている割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>がん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>99.8</td> <td>77.8</td> <td>95.0</td> <td>100.0</td> <td>71.1</td> <td>72.6</td> <td>62.7</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>99.8</td> <td>81.6</td> <td>95.0</td> <td>28.9</td> <td>70.4</td> <td>72.9</td> <td>55.7</td> </tr> </tbody> </table>	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	がん	R3実績	99.8	77.8	95.0	100.0	71.1	72.6	62.7	R4実績	99.8	81.6	95.0	28.9	70.4	72.9	55.7	<p>(5) DPC分析ソフトを活用したクリニカルパスの見直しによる在院日数の適正化に取り組んだ。</p> <p style="text-align: right;">（単位：回）</p>	○	概ね計画どおり実施										
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	がん																														
R3実績	99.8	77.8	95.0	100.0	71.1	72.6	62.7																														
R4実績	99.8	81.6	95.0	28.9	70.4	72.9	55.7																														
<p>(6) 診療情報管理士の育成 診療情報管理士資格の新規取得者：5名</p>	<p>(6) 診療情報管理士を育成した。 R4診療情報管理士資格の新規取得者：6名</p>	○	新規資格取得者が計画より1名多く、新規受講者5名の育成開始																																		
<p>(7) 令和4年度診療報酬改定を踏まえて、病院事業副管理者を本部長、各病院管理局長を本部員とした診療報酬対策本部における経営健全化方策の検討</p>	<p>(7) 令和4年度診療報酬改定を踏まえて、病院事業副管理者を本部長、各病院管理局長を本部員とした診療報酬対策本部における経営健全化方策を検討した。 (R4開催実績：3回（6/2、11/2、3/10）)</p>	○	概ね計画どおり実施																																		
<p>(8) 経営再生本部における収益確保による収支改善の取り組みの実施</p> <p>・検査委託費削減</p> <p>・はりま姫路総合医療センター開院支援</p>	<p>(8) 経営再生本部における収益確保による収支改善の取り組みを実施した。</p> <p>・検査委託費削減</p> <p>・はりま姫路総合医療センター開院支援</p> <p>・夜間看護補助体制加算の取得（加古川）</p> <p>・医事委託費の削減（尼崎・淡路）</p>	○	概ね計画どおり実施																																		
<p>(9) 精度の高い医事事務の実施</p> <p>・プロポーザル方式による医事委託業者の選定</p> <p>・医事事務にかかる研修会の実施</p> <p>・診療報酬請求件数のうち被査定件数の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こころ</th> <th>こども</th> <th>がん</th> <th>粒子線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>11.8</td> <td>8.3</td> <td>2.9</td> <td>4.3</td> <td>5.0</td> <td>4.8</td> <td>1.0</td> <td>3.4</td> <td>14.5</td> <td>13.5</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>12.3</td> <td>9.0</td> <td>4.0</td> <td>6.0</td> <td>5.9</td> <td>9.1</td> <td>1.0</td> <td>4.2</td> <td>26.5</td> <td>16.4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線	R3実績	11.8	8.3	2.9	4.3	5.0	4.8	1.0	3.4	14.5	13.5	R4実績	12.3	9.0	4.0	6.0	5.9	9.1	1.0	4.2	26.5	16.4	<p>(9) 精度の高い医事事務を実施した。</p> <p>・プロポーザル方式による医事委託業者を選定した。（尼崎・淡路）</p> <p>・医事事務にかかる研修会を実施した。</p> <p style="text-align: right;">（単位：%）</p>	○	概ね計画どおり実施	
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線																											
R3実績	11.8	8.3	2.9	4.3	5.0	4.8	1.0	3.4	14.5	13.5																											
R4実績	12.3	9.0	4.0	6.0	5.9	9.1	1.0	4.2	26.5	16.4																											
<p>(10) 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に実施</p>	<p>(10) 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に実施した。</p>	○	適時適切に実施																																		

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																										
<p>2 一般会計負担金 全て国基準及び県施策に伴うものであり、いわゆる赤字補てんとしての負担金はない。 なお、資本的収支においては、行革期間中に行ってきた一般会計繰入金の減額調整（総額109億円（H23～H30））について、H30年度から5年間で一般会計と病院事業会計との貸借関係の整理と併せて計画的に精算を実施</p>	<p>2 一般会計負担金 地方公営企業法で定める不相当経費、困難経費を一般会計から負担金として繰入れた。 ・収益的収支 16,392百万円 ・資本的収支 7,240百万円</p>	○	公立病院に求められる事業の実施及び一般会計負担金の受入れを適切に実施	<p>2 一般会計負担金 地方公営企業法で定める不相当経費、困難経費を一般会計からの負担金として繰入れ</p>																																																										
（単位：千円）																																																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="125 400 517 427">区 分</th> <th data-bbox="517 400 1032 427">主 な 内 容</th> <th data-bbox="1032 400 1122 427">R3年度</th> <th data-bbox="1122 400 1272 427">R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="125 555 248 735" rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">収益的収支</td> <td data-bbox="248 459 315 555" rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">不適当経費</td> <td data-bbox="315 427 517 459">看護師確保対策費</td> <td data-bbox="517 427 1032 459">院内保育事業運営経費</td> <td data-bbox="1032 427 1122 459">155,561</td> <td data-bbox="1122 427 1272 459">190,976</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 459 517 486">救急医療対策費</td> <td data-bbox="517 459 1032 486">救急医療の確保に要する経費等</td> <td data-bbox="1032 459 1122 486">3,216,206</td> <td data-bbox="1122 459 1272 486">3,204,185</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 486 517 513">保健衛生行政経費</td> <td data-bbox="517 486 1032 513">相談調査事業運営経費等</td> <td data-bbox="1032 486 1122 513">57,351</td> <td data-bbox="1122 486 1272 513">59,279</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 513 517 541">共済組合追加費用</td> <td data-bbox="517 513 1032 541">恩給制度廃止に伴う公立病院負担経費</td> <td data-bbox="1032 513 1122 541">880,573</td> <td data-bbox="1122 513 1272 541">949,168</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 541 517 568">その他</td> <td data-bbox="517 541 1032 568">児童手当に要する経費の一部等</td> <td data-bbox="1032 541 1122 568">238,514</td> <td data-bbox="1122 541 1272 568">206,819</td> </tr> <tr> <td data-bbox="248 568 315 735" rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">困難経費</td> <td data-bbox="315 568 517 595">高度医療経費</td> <td data-bbox="517 568 1032 595">集中治療室運営損費等</td> <td data-bbox="1032 568 1122 595">4,787,210</td> <td data-bbox="1122 568 1272 595">5,054,302</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 595 517 622">特殊医療経費</td> <td data-bbox="517 595 1032 622">精神病棟運営損費、リハビリテーション運営損費等</td> <td data-bbox="1032 595 1122 622">3,795,788</td> <td data-bbox="1122 595 1272 622">3,861,984</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 622 517 649">建設改良経費</td> <td data-bbox="517 622 1032 649">施設・機器整備のために発行した企業債の利息の一定割合</td> <td data-bbox="1032 622 1122 649">614,090</td> <td data-bbox="1122 622 1272 649">633,542</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 649 517 676">基礎年金拠出金</td> <td data-bbox="517 649 1032 676">事業主負担相当額</td> <td data-bbox="1032 649 1122 676">1,979,568</td> <td data-bbox="1122 649 1272 676">2,199,035</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 676 517 703">一般会計施策に伴うもの</td> <td data-bbox="517 676 1032 703">丹波市立看護専門学校運営費等負担金等</td> <td data-bbox="1032 676 1122 703">135,779</td> <td data-bbox="1122 676 1272 703">32,261</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td data-bbox="517 703 1032 730" style="text-align: center;">合 計</td> <td data-bbox="1032 703 1122 730">15,860,640</td> <td data-bbox="1122 703 1272 730">16,391,551</td> </tr> <tr> <td data-bbox="125 730 248 735" style="text-align: center;">資本的収支</td> <td data-bbox="248 730 517 735" style="text-align: center;">建設改良経費</td> <td data-bbox="517 730 1032 735">施設・機器整備のために発行した企業債の元金の一定割合</td> <td data-bbox="1032 730 1122 735">7,104,066</td> <td data-bbox="1122 730 1272 735">7,240,463</td> </tr> </tbody> </table>					区 分		主 な 内 容	R3年度	R4年度	収益的収支	不適当経費	看護師確保対策費	院内保育事業運営経費	155,561	190,976	救急医療対策費	救急医療の確保に要する経費等	3,216,206	3,204,185	保健衛生行政経費	相談調査事業運営経費等	57,351	59,279	共済組合追加費用	恩給制度廃止に伴う公立病院負担経費	880,573	949,168	その他	児童手当に要する経費の一部等	238,514	206,819	困難経費	高度医療経費	集中治療室運営損費等	4,787,210	5,054,302	特殊医療経費	精神病棟運営損費、リハビリテーション運営損費等	3,795,788	3,861,984	建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の利息の一定割合	614,090	633,542	基礎年金拠出金	事業主負担相当額	1,979,568	2,199,035	一般会計施策に伴うもの	丹波市立看護専門学校運営費等負担金等	135,779	32,261			合 計	15,860,640	16,391,551	資本的収支	建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の元金の一定割合	7,104,066	7,240,463
区 分		主 な 内 容	R3年度	R4年度																																																										
収益的収支	不適当経費	看護師確保対策費	院内保育事業運営経費	155,561	190,976																																																									
		救急医療対策費	救急医療の確保に要する経費等	3,216,206	3,204,185																																																									
		保健衛生行政経費	相談調査事業運営経費等	57,351	59,279																																																									
		共済組合追加費用	恩給制度廃止に伴う公立病院負担経費	880,573	949,168																																																									
		その他	児童手当に要する経費の一部等	238,514	206,819																																																									
	困難経費	高度医療経費	集中治療室運営損費等	4,787,210	5,054,302																																																									
		特殊医療経費	精神病棟運営損費、リハビリテーション運営損費等	3,795,788	3,861,984																																																									
		建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の利息の一定割合	614,090	633,542																																																									
		基礎年金拠出金	事業主負担相当額	1,979,568	2,199,035																																																									
		一般会計施策に伴うもの	丹波市立看護専門学校運営費等負担金等	135,779	32,261																																																									
		合 計	15,860,640	16,391,551																																																										
資本的収支	建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の元金の一定割合	7,104,066	7,240,463																																																										
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①不適当経費： 地方公営企業法第17条の2第1項第1号に規定する、「その性質上、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない」経費（救急の医療を確保するために要する経費等）</p> <p>②困難経費： 地方公営企業法第17条の2第1項第2号に規定する、「当該地方公営企業の性質上、能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる」経費（医療水準の向上を図るため必要な高度又は特殊な医療で採算をとることが困難な経費等）</p> </div>																																																														

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目2 収益の確保 (3) その他の収益の確保

○ **基本方向**
未収金については「県立病院未収金取扱要領」に基づき、全病院で統一的な発生防止及び徴収強化に取り組むことにより、新規発生率及び未収金総額の抑制を図る。
使用料、手数料については、原価や他施設との均衡等を踏まえつつ、適切な受益者負担となるよう見直しを行う。
資産の有効活用については、医師公舎・看護師宿舎は病院の建替整備に併せて廃止することとし、今後の必要戸数については、借上での対応を図る。

○ **取組内容**

1 **未収金の縮減**
(1) 職員の管理意識の向上を図るため未収金管理研修を実施するとともに、概算支払額の事前通知、退院日請求の促進、医療費に関する各種制度活用（高額療養費制度、出産育児一時金の代理受領等）の周知徹底を図ること等により発生防止に努める。
(2) 新たな滞納者を発生させないため、納付期限経過後に、督促・催告の実施、分割納付の誓約取付、未収金徴収嘱託員等による訪問徴収等、徴収対策を集中的に行い、未収金の早期回収に取り組む。
(3) 滞納後一定期間を経過したものについては、連帯保証人に請求するとともに、回収の見込みが立たないものについては、弁護士法人へ徴収委託し、必要に応じて法的措置を講じるなど徴収強化に取り組む。

2 **使用料、手数料等の見直し**
(1) 使用料、手数料の自主料金については、適時適切に見直しを行う。
(2) 届出によって実施が可能な先進医療については、各病院の診療機能に応じて適時適切に料金化する。
(3) 民間事業者による病院施設の運営（売店、食堂、自動販売機等）にあたっては、プロポーザル方式の導入により、適正な使用料を確保するとともに、患者の利便性の向上を図る。

3 **資産の有効活用**
(1) 資産の有効活用については、医師公舎・看護師宿舎は病院の建替整備に併せて廃止する。
(2) 医師公舎・看護師宿舎については借上を基本とし、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																																																																
<p>〔目標〕 未収金の発生防止と徴収の強化、使用料・手数料の適切な見直しを図り、引き続きその他収入の確保に努める。 また、未利用施設については、県有財産等活用推進会議の方針等に従い、売却等を進める。</p>	<p>未収金の発生防止と徴収の強化、使用料・手数料の適切な見直しを図り、引き続きその他収入の確保に努めた。 また、未利用施設については、県有財産等活用推進会議の方針等に従い、売却等を進めた。</p>	○	未収金の抑制や使用料・手数料の適切な見直し等、その他の収益に確保においては、概ね計画どおりに取り組んだ。																																																																																																	
<p>〔取組項目〕 1 「県立病院未収金取扱要領」に基づいた取り組みの推進 (1) 未収金の発生防止による新規発生率の抑制</p> <p>過年度未収金（決算時点） (単位：千円、件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>未収金総額</th> <th>件数</th> <th>新規発生未収金 A</th> <th>医業収益 B</th> <th>発生率 A/B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H20 年度決算</td><td>318,689</td><td>4,740</td><td>141,257</td><td>71,285,298</td><td>0.20%</td></tr> <tr><td>H21 年度決算</td><td>297,506</td><td>4,027</td><td>99,118</td><td>70,864,921</td><td>0.14%</td></tr> <tr><td>H22 年度決算</td><td>266,965</td><td>3,382</td><td>83,658</td><td>73,673,335</td><td>0.11%</td></tr> <tr><td>H23 年度決算</td><td>245,519</td><td>3,384</td><td>82,252</td><td>80,362,312</td><td>0.10%</td></tr> <tr><td>H24 年度決算</td><td>225,482</td><td>3,078</td><td>73,814</td><td>83,336,271</td><td>0.09%</td></tr> <tr><td>H25 年度決算</td><td>216,511</td><td>2,998</td><td>81,860</td><td>87,465,286</td><td>0.09%</td></tr> <tr><td>H26 年度決算</td><td>168,179</td><td>3,007</td><td>47,403</td><td>87,862,779</td><td>0.05%</td></tr> <tr><td>H27 年度決算</td><td>163,589</td><td>2,331</td><td>50,575</td><td>90,929,334</td><td>0.06%</td></tr> <tr><td>H28 年度決算</td><td>165,230</td><td>2,639</td><td>60,531</td><td>93,766,921</td><td>0.06%</td></tr> <tr><td>H29 年度決算</td><td>204,063</td><td>2,308</td><td>109,534</td><td>101,453,893</td><td>0.11%</td></tr> <tr><td>H30 年度決算</td><td>151,539</td><td>1,603</td><td>73,386</td><td>106,669,907</td><td>0.07%</td></tr> <tr><td>R 元年度決算</td><td>150,562</td><td>1,598</td><td>80,038</td><td>108,415,472</td><td>0.07%</td></tr> <tr><td>R 2 年度決算</td><td>172,125</td><td>1,979</td><td>84,880</td><td>111,480,504</td><td>0.08%</td></tr> <tr><td>R 3 年度決算</td><td>124,189</td><td>2,002</td><td>50,231</td><td>128,228,441</td><td>0.04%</td></tr> <tr><td>R 4 年度決算</td><td>121,803</td><td>1,796</td><td>52,936</td><td>125,362,805</td><td>0.04%</td></tr> </tbody> </table> <p>※H20 年度：新規発生未収金のピーク</p>	区分	未収金総額	件数	新規発生未収金 A	医業収益 B	発生率 A/B	H20 年度決算	318,689	4,740	141,257	71,285,298	0.20%	H21 年度決算	297,506	4,027	99,118	70,864,921	0.14%	H22 年度決算	266,965	3,382	83,658	73,673,335	0.11%	H23 年度決算	245,519	3,384	82,252	80,362,312	0.10%	H24 年度決算	225,482	3,078	73,814	83,336,271	0.09%	H25 年度決算	216,511	2,998	81,860	87,465,286	0.09%	H26 年度決算	168,179	3,007	47,403	87,862,779	0.05%	H27 年度決算	163,589	2,331	50,575	90,929,334	0.06%	H28 年度決算	165,230	2,639	60,531	93,766,921	0.06%	H29 年度決算	204,063	2,308	109,534	101,453,893	0.11%	H30 年度決算	151,539	1,603	73,386	106,669,907	0.07%	R 元年度決算	150,562	1,598	80,038	108,415,472	0.07%	R 2 年度決算	172,125	1,979	84,880	111,480,504	0.08%	R 3 年度決算	124,189	2,002	50,231	128,228,441	0.04%	R 4 年度決算	121,803	1,796	52,936	125,362,805	0.04%	<p>〔取組項目〕 1 「県立病院未収金取扱要領」に基づいた取り組みの推進 (1) 未収金の発生防止による新規発生率を抑制した。</p>	○	弁護士法人による回収促進及び病院からの積極的かつ継続的な督促等を実施し、平成20年度以降、未収金総額は過去最小	
区分	未収金総額	件数	新規発生未収金 A	医業収益 B	発生率 A/B																																																																																															
H20 年度決算	318,689	4,740	141,257	71,285,298	0.20%																																																																																															
H21 年度決算	297,506	4,027	99,118	70,864,921	0.14%																																																																																															
H22 年度決算	266,965	3,382	83,658	73,673,335	0.11%																																																																																															
H23 年度決算	245,519	3,384	82,252	80,362,312	0.10%																																																																																															
H24 年度決算	225,482	3,078	73,814	83,336,271	0.09%																																																																																															
H25 年度決算	216,511	2,998	81,860	87,465,286	0.09%																																																																																															
H26 年度決算	168,179	3,007	47,403	87,862,779	0.05%																																																																																															
H27 年度決算	163,589	2,331	50,575	90,929,334	0.06%																																																																																															
H28 年度決算	165,230	2,639	60,531	93,766,921	0.06%																																																																																															
H29 年度決算	204,063	2,308	109,534	101,453,893	0.11%																																																																																															
H30 年度決算	151,539	1,603	73,386	106,669,907	0.07%																																																																																															
R 元年度決算	150,562	1,598	80,038	108,415,472	0.07%																																																																																															
R 2 年度決算	172,125	1,979	84,880	111,480,504	0.08%																																																																																															
R 3 年度決算	124,189	2,002	50,231	128,228,441	0.04%																																																																																															
R 4 年度決算	121,803	1,796	52,936	125,362,805	0.04%																																																																																															

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																																																																																		
<p>(2) 新たな未収金滞納者を発生させないよう未収金の早期回収を推進 ① 発生後の早期督促、分割納付の制約取付等による新たな滞納の防止の実施 ② 納付交渉に応じない者に対する弁護士法人への徴収委託の推進</p> <p>(3) 弁護士法人による回収の促進（回収率の向上）を図るとともに悪質な滞納者については法的措置を実施</p> <p>2 使用料、手数料等の見直し (1) 使用料、手数料等自主料金の見直し</p> <p>(2) 必要に応じた各病院の診療機能に応じた先進医療等の料金化</p> <p>(3) プロポーザル方式による民間事業者の提案を元にした病院施設（売店等）の運営により、患者の利便性の向上を図るとともに、使用料及び売上加算を徴収するなど収益の増加に努める。</p> <p>3 資産の有効活用 (1) 医師公舎・看護師宿舎について、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択</p>	<p>(2) 新たな未収金滞納者を発生させないよう未収金の早期回収を推進した。 ① 発生後の早期督促、分割納付の制約取付等による新たな滞納の防止を実施した。 ② 納付交渉に応じない者に対する弁護士法人への徴収委託を推進した。</p> <p>(3) 弁護士法人による回収の促進（回収率の向上）を図るとともに悪質な滞納者については法的措置を実施した。</p> <p>2 使用料、手数料等の見直し (1) 使用料、手数料等自主料金の見直しを実施した。 ・選定療養費の改定（R4.10.1 施行）</p> <table border="1" data-bbox="712 528 1189 743"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>改定前</th> <th>改定後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>選定療養費の改定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>初診</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 医科</td> <td>5,000 円</td> <td>7,000 円</td> </tr> <tr> <td> 歯科</td> <td>3,000 円</td> <td>5,000 円</td> </tr> <tr> <td>再診</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 医科</td> <td>2,500 円</td> <td>3,000 円</td> </tr> <tr> <td> 歯科</td> <td>1,500 円</td> <td>1,900 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 必要に応じた各病院の診療機能に応じた先進医療等の料金化については、令和4年度は対象事例が無かった。</p> <p>(3) プロポーザル方式による民間事業者の提案を元にした病院施設（売店等）の運営により、患者の利便性の向上を図るとともに、使用料及び売上加算を徴収するなど収益の増加に努めた。</p> <p>3 資産の有効活用 (1) 医師公舎・看護師宿舎について、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択した。 ・姫路医師公舎を廃止した（R4.5.1）。</p>	区分	改定前	改定後	選定療養費の改定			初診			医科	5,000 円	7,000 円	歯科	3,000 円	5,000 円	再診			医科	2,500 円	3,000 円	歯科	1,500 円	1,900 円	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>—</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>適時適切に実施</p> <p>概ね計画どおり実施（対前年比 107%）</p> <p>概ね計画どおり実施</p>	<p>1 「県立病院未収金取扱要領」に基づいた取り組みの推進</p> <p>(2) 新たな未収金滞納者を発生させないよう未収金の早期回収を推進 ② 納付交渉に応じない者に対する弁護士法人への徴収委託の推進</p> <table border="1" data-bbox="1603 339 2181 647"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">委託総額</th> <th colspan="2">回収総額</th> <th>回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>894 件</td> <td>111,972 千円</td> <td>298 件</td> <td>32,201 千円</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>1,589 件</td> <td>168,327 千円</td> <td>664 件</td> <td>56,535 千円</td> <td>33.6%</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>1,969 件</td> <td>193,504 千円</td> <td>1,160 件</td> <td>71,098 千円</td> <td>36.7%</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>2,357 件</td> <td>227,482 千円</td> <td>1,365 件</td> <td>87,222 千円</td> <td>38.3%</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>2,801 件</td> <td>267,823 千円</td> <td>1,583 件</td> <td>105,644 千円</td> <td>39.4%</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>3,140 件</td> <td>306,505 千円</td> <td>1,682 件</td> <td>117,975 千円</td> <td>38.5%</td> </tr> <tr> <td>元</td> <td>3,599 件</td> <td>333,652 千円</td> <td>1,827 件</td> <td>132,416 千円</td> <td>39.7%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4,024 件</td> <td>356,944 千円</td> <td>1,940 件</td> <td>142,704 千円</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4,192 件</td> <td>393,458 千円</td> <td>2,148 件</td> <td>155,082 千円</td> <td>39.4%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4,609 件</td> <td>425,304 千円</td> <td>2,469 件</td> <td>166,983 千円</td> <td>39.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 民間業者による病院施設運営状況</p> <table border="1" data-bbox="1592 871 2166 1230"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>プロポーザル実施対象（R5.4） ※業者が提示した率で売上加算使用料を徴収しているもの</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ、入院セット</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>売店、自動販売機</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>売店、自動販売機</td> </tr> <tr> <td>リハ中</td> <td>売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>リハ西</td> <td>床頭台システム</td> </tr> </tbody> </table>	年度	委託総額		回収総額		回収率	25	894 件	111,972 千円	298 件	32,201 千円	28.8%	26	1,589 件	168,327 千円	664 件	56,535 千円	33.6%	27	1,969 件	193,504 千円	1,160 件	71,098 千円	36.7%	28	2,357 件	227,482 千円	1,365 件	87,222 千円	38.3%	29	2,801 件	267,823 千円	1,583 件	105,644 千円	39.4%	30	3,140 件	306,505 千円	1,682 件	117,975 千円	38.5%	元	3,599 件	333,652 千円	1,827 件	132,416 千円	39.7%	2	4,024 件	356,944 千円	1,940 件	142,704 千円	40.0%	3	4,192 件	393,458 千円	2,148 件	155,082 千円	39.4%	4	4,609 件	425,304 千円	2,469 件	166,983 千円	39.3%	施設名	プロポーザル実施対象（R5.4） ※業者が提示した率で売上加算使用料を徴収しているもの	尼崎	売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ、入院セット	西宮	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	加古川	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	姫路	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ	丹波	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	淡路	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	こころ	売店、自動販売機	こども	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	がん	売店、自動販売機	リハ中	売店、自動販売機、床頭台システム	リハ西	床頭台システム
区分	改定前	改定後																																																																																																																				
選定療養費の改定																																																																																																																						
初診																																																																																																																						
医科	5,000 円	7,000 円																																																																																																																				
歯科	3,000 円	5,000 円																																																																																																																				
再診																																																																																																																						
医科	2,500 円	3,000 円																																																																																																																				
歯科	1,500 円	1,900 円																																																																																																																				
年度	委託総額		回収総額		回収率																																																																																																																	
25	894 件	111,972 千円	298 件	32,201 千円	28.8%																																																																																																																	
26	1,589 件	168,327 千円	664 件	56,535 千円	33.6%																																																																																																																	
27	1,969 件	193,504 千円	1,160 件	71,098 千円	36.7%																																																																																																																	
28	2,357 件	227,482 千円	1,365 件	87,222 千円	38.3%																																																																																																																	
29	2,801 件	267,823 千円	1,583 件	105,644 千円	39.4%																																																																																																																	
30	3,140 件	306,505 千円	1,682 件	117,975 千円	38.5%																																																																																																																	
元	3,599 件	333,652 千円	1,827 件	132,416 千円	39.7%																																																																																																																	
2	4,024 件	356,944 千円	1,940 件	142,704 千円	40.0%																																																																																																																	
3	4,192 件	393,458 千円	2,148 件	155,082 千円	39.4%																																																																																																																	
4	4,609 件	425,304 千円	2,469 件	166,983 千円	39.3%																																																																																																																	
施設名	プロポーザル実施対象（R5.4） ※業者が提示した率で売上加算使用料を徴収しているもの																																																																																																																					
尼崎	売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ、入院セット																																																																																																																					
西宮	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																					
加古川	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																					
姫路	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ																																																																																																																					
丹波	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																					
淡路	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																					
こころ	売店、自動販売機																																																																																																																					
こども	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																					
がん	売店、自動販売機																																																																																																																					
リハ中	売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																					
リハ西	床頭台システム																																																																																																																					

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目3 費用の抑制

○ 基本方向	持続可能な経営の確保に向け、診療機能に見合う収益を確保するとともに、費用の抑制に取り組み、医業収益に対する給与費比率、材料費比率及び経費比率の改善に努める。
○ 取組内容	
1 給与費比率の改善	(1) 業務の委託化や効率化を検討し、給与費の適正化を進める。 (2) 診療報酬制度や診療機能の高度化に対応した職員の適正配置による収益の確保を図り、給与費比率の抑制を推進する。
2 材料費比率の改善	(1) 診療材料費の抑制 ① 診療材料については、診療材料委員会等において、性能及び価格等を検証のうえ、品目を選定する。 ② 診療材料の購入に当たっては、診療材料コンサルティング業者のノウハウを活用しながら、必要に応じてメーカーを対象とした交渉を行う。 ③ 同性能の診療材料については、安価材料への統一化を図ったうえで、一括購入に取り組む。 ④ 診療材料の使用に当たっては、在庫管理を徹底するとともに、使用数量の適正化を図る。 (2) 薬品費の抑制 ① 医薬品については、購入方式の多様化を図ることにより、より低廉な価格での購入に努める。 ② 薬剤師、事務職員等のチームにより、卸業者はもとより、必要に応じてメーカーを対象とした交渉に取り組む。 ③ 後発医薬品については、供給の安定性等を踏まえたうえで、使用拡大に努める。 ④ パイオ後続品については、有効性、安全性・安定供給等を踏まえたうえで、使用拡大に努める。 ⑤ 同種同効品を整理し、採用品目数の縮減を図ることにより、使用効率の向上を促進する。 ⑥ 有効性、安全性、経済性を踏まえた上で、医薬品の院内使用指針（フォーミュラリー）の導入を検討する。
3 経費比率の改善	(1) 施設管理等の業務委託については、引き続き委託範囲や実施頻度等を見直すことにより、委託費の抑制を図る。 (2) 医療機器保守契約の一括契約化の推進、医療器材の一括購入、事務用品等の安価製品への切替等に取り組むことにより、経費を抑制する。 (3) 施設・設備を計画的に改修し、投資の効率化を図ることにより、修繕費を抑制する。 (4) 施設改修時に省エネルギー対策を実施することにより、光熱水費を抑制する。 (5) 効率的な業務遂行や経費節減により、一般事務費を抑制する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
<p>〔目標〕</p> <p>診療機能に見合う収益を確保するため、費用対効果の検証に基づく経営資源の有効活用に取り組み、医業収益に対する給与費比率、材料費比率及び経費比率の改善に努める。</p> <p>(10 病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> 給与費比率 R3 年度決見 64.6%→R4 年度計画 64.1% 材料費比率 R3 年度決見 35.8%→R4 年度計画 32.8% 経費比率 R3 年度決見 19.7%→R4 年度計画 19.2% 	<p>〔目標〕</p> <p>診療機能に見合う収益を確保するため、費用対効果の検証に基づく経営資源の有効活用に取り組み、医業収益に対する給与費比率、材料費比率及び経費比率の改善に努めた。</p> <p>(10 病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> 給与費比率 R3 年度実績 64.5%(48.2%)→R4 年度実績 63.2%(49.7%) 材料費比率 R3 年度実績 35.2%(26.4%)→R4 年度実績 35.1%(27.6%) 経費比率 R3 年度実績 19.5%(14.6%)→R4 年度実績 20.8%(16.4%) <p>※カッコ内は、対経常収益比率</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> 診療機能拡充に伴う医師・看護師等の増員、新型コロナウイルス感染症等の影響があるものの、診療密度の向上や患者の受入れ促進等により収益の確保を図ったことから、医業収益に対する給与費比率が前年度実績より改善し、計画を達成できた。 高額な抗がん剤の増加、新型コロナウイルス感染症の影響等があるものの、高度専門医療に必要な薬品等の低廉な価格での購入等により、医業収益に対する材料費比率が前年度実績より改善したが、計画は達成できなかった。 委託業務の範囲や内容の見直しを行うとともに、高額医療機器の保守・点検一括契約の推進等費用抑制に努めたものの、はりま姫路総合医療センターの開院に伴う経費の増等により、医業収益に対する経費比率が前年度実績より悪化し、計画を達成できなかった。 	
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 給与費比率の改善</p> <p>(1) 業務の委託化や効率化を引き続き検討し、給与費の適性化を推進</p> <p>(2) 診療報酬基準の改定等に応じた職員の適正配置による収益の確保</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 給与費比率の改善</p> <p>(1) 業務の委託化や効率化を引き続き検討し、給与費の適正化を推進したが、給与費が増加した。</p> <p>(2) 診療報酬基準の改定等に応じた職員の適正配置により収益を確保した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 病棟薬剤業務の体制整備（薬剤：西宮+2、淡路+2）など、施設基準の新たな取得に向けた体制を整備した。 	△	<p>診療機能拡充に伴う医師・看護師等の増員による増</p>	<p>1 給与費比率の改善</p> <p>診療機能の高度化等に対応するため、増員配置を行ったものに関して、費用対効果の検証を実施</p>
		○	概ね計画どおり実施	

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																							
<p>2 材料費比率の改善 (1) 診療材料 ① 診療材料委員会等において性能及び価格等を検証のうえ品目を選定 材料選択の際、各病院に設置した診療材料委員会において価格・同効品を含めた審査を実施</p> <p>・新規調達品目のうちBM適正価以下で調達できた品目の割合（病院品、BMがある品目に限る）（単位：回）</p> <table border="1" data-bbox="143 363 1256 443"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こども</th> <th>がん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 実績</td> <td>100.0</td> <td>86.4</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>72.7</td> <td>52.0</td> <td>100.0</td> <td>87.7</td> </tr> <tr> <td>R4 実績</td> <td>100.0</td> <td>85.7</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>76.0</td> <td>52.7</td> <td>100.0</td> <td>96.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 購入数量に見合う市場性の高い適正単価の確保 見積合せ等により単価契約を締結したうえで、民間を含む多くの急性期系病院が加入する専門コンサルタントのベンチマークシステムにより契約単価の検証を行い、検証結果に応じて価格交渉を強化</p> <p>③ 安価材料への統一化及び一括購入の推進 診療材料等購入に係る全国的な共同購入組織を活用した安価材料等への切替により、診療材料費を抑制</p> <p>(2) 薬品 ① 在庫医薬品を適正に管理し、定期的な在庫定数の見直しを実施することで、医薬品購入量の適正化に努めるとともに、薬品値引率拡大の取組や試薬の一括入札、専門コンサルタントのベンチマークシステムを活用した価格交渉の強化により低廉な価格での購入に努める。</p> <p>② 薬剤部長会と連携し、後発医薬品の県立病院統一化を推進</p> <p>③ 県立病院における後発医薬品数量シェア達成計画について、国目標（2023年度末までに後発医薬品の数量シェアを、全ての都道府県で80%以上）を達成済み 令和4年度以降の目標 各県立病院において85.0%以上を維持（後発医薬品使用体制加算1又は2の算定要件充足※）するとともに、県立病院群全体として90.0%以上を確保 ※2022年度診療報酬改定で85%以上＝加算1が、90%以上＝加算1・85%以上＝加算2に変更</p> <p>後発医薬品使用率実績</p> <table border="1" data-bbox="134 1236 683 1337"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29 実績</th> <th>H30 実績</th> <th>R1 実績</th> <th>R2 実績</th> <th>R3 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数量シェア</td> <td>85.3%</td> <td>90.2%</td> <td>91.7%</td> <td>91.1%</td> <td>92.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん	R3 実績	100.0	86.4	100.0	100.0	72.7	52.0	100.0	87.7	R4 実績	100.0	85.7	100.0	100.0	76.0	52.7	100.0	96.7	区分	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	数量シェア	85.3%	90.2%	91.7%	91.1%	92.7%	<p>2 材料費比率の改善 (1) 診療材料 ① 診療材料委員会等において性能及び価格等を検証のうえ品目を選定 材料選択の際、各病院に設置した診療材料委員会において価格・同効品を含めた審査を実施した。</p> <p>(単位：回)</p> <p>② 購入数量に見合う市場性の高い適正単価の確保 院内SPD業者のノウハウを活用して得られた民間価格情報等を踏まえたうえで価格交渉を強化した。 (R4 実績 本庁品：効果額 19,931 千円 病院品：効果額 71,710 千円)</p> <p>③ 安価材料への統一化及び一括購入の推進 全国的な共同購入組織における安価な提案品目について、試用のうえ共同購入を実施した。 (R4 実績 切替による削減額：440,875 千円)</p> <p>(2) 薬品 ① 在庫医薬品を適正に管理し、定期的な在庫定数の見直しを実施することで、医薬品購入量の適正化に努めるとともに、薬品値引率拡大の取組や試薬の一括入札、専門コンサルタントのベンチマークシステムを活用した価格交渉の強化により低廉な価格での購入を促進した。 (R4 実績 値引率（税込）：6.52% 薬価差：1,546,843 千円)</p> <p>② 薬剤部長会と連携し、後発医薬品の県立病院統一化を推進した。</p> <p>③ 県立病院における後発医薬品数量シェア達成計画について、国目標（2023年度末までに後発医薬品の数量シェアを、全ての都道府県で80%以上）を達成済み。 また、各県立病院において85.0%以上を維持し、県立病院群全体として90.0%以上を確保した。 (R4実績（県立病院 後発医薬品数量シェア） 病院全体：92.4% 各病院：85.0%以上)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p>	<p>参考：現況（令和5年5月の状況等）</p> <p>2 材料費比率の改善</p> <p>(2) 薬品 後発医薬品、バイオ後続品への切替えや採用品目数の削減にあたっては、薬剤部長会と連携し、各病院の薬事委員会において安全性や供給体制等を確認の上取組みを進めている。</p>
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん																																			
R3 実績	100.0	86.4	100.0	100.0	72.7	52.0	100.0	87.7																																			
R4 実績	100.0	85.7	100.0	100.0	76.0	52.7	100.0	96.7																																			
区分	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績																																						
数量シェア	85.3%	90.2%	91.7%	91.1%	92.7%																																						

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）															
<p>④ 有効性、安全性・安定供給等を踏まえたうえで、バイオ後続品の使用拡大を引き続き検討</p> <p>⑤ 各病院の診療機能に見合った採用品目の選択及び同種同効薬の整理による採用品目数の縮減を引き続き実施</p> <p>⑥ 有効性、安全性、経済性を踏まえた上で、医薬品の院内使用指針（フォーミュラリー）の導入を検討</p>	<p>④ 有効性、安全性・安定供給等を踏まえたうえで、バイオ後続品の使用拡大を引き続き検討した。</p> <p>R4実績 R4年度末採用品目：40品目 バイオ後続品切り替えによる削減額：8,082千円</p> <p>⑤ 採用医薬品の縮減に引き続き努めたが、後発医薬品の供給安定の影響による代替品の購入や診療機能上不可欠な新規品目の購入により採用品目は微増した。 (R3年度末：5,217品目→R4年度末：5,466品目)</p> <p>⑥ 有効性、安全性、経済性を踏まえた上で、医薬品の院内使用指針（フォーミュラリー）の導入を検討した。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>概ね計画どおり実施</p> <p>左記理由により微増したが概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p>	<p>参考：現況（令和5年5月の状況等）</p>															
<p>3 経費比率の改善</p> <p>(1) 委託範囲や実施頻度の見直しによる委託費の抑制</p> <p>(2) 医療機器保守契約の一括契約化等の推進</p> <p>① 各職種との協働による医療機器保守契約の一括化の推進</p> <p>② 医療器材の一括購入、事務用品等の安価製品への切り替え等の取り組みの検討</p> <p>(3) 施設・設備の計画的な改修による修繕費の抑制</p> <p>(4) 照明のLED化の推進等の省エネルギー対策の実施による光熱水費の抑制</p> <p>(5) 効率的な業務遂行や経費節減により一般事務費の抑制</p>	<p>3 経費比率の改善</p> <p>(1) 委託範囲や実施頻度の見直しにより委託費の抑制に努めたが、はりま姫路総合医療センターの開院に伴う経費の増等により増加した。</p> <p>(2) 医療機器保守契約の一括契約化等を推進した。</p> <p>① 各職種との協働による医療機器保守契約の一括化を推進した。</p> <p>② 医療器材の一括購入、事務用品等の安価製品への切り替え等の取り組みを検討した。</p> <p>(3) 施設・設備の計画的な改修により修繕費を抑制した。</p> <p>(4) 照明のLED化の推進等の省エネルギー対策の実施により光熱水費を抑制した。</p> <p>(5) 効率的な業務遂行や経費節減により一般事務費を抑制した。</p> <p>① 電気使用量を抑制した（昼休みの事務室消灯等）。</p> <p>② 用紙の節減に取り組んだ（資料の電子媒体化、両面コピーの徹底、2up書類の推進等）。</p>	<p>△</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>はりま姫路総合医療センターの開院に伴う経費増</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>昼休みの事務室消灯やペーパーレス化推進により、一般事務費を抑制</p>	<p>3 経費比率の改善</p> <p>(2) 一括保守契約の拡大</p> <p>①手術支援ロボット4基、造影剤自動注入器51基、線量管理システム14基を新たに一括保守に含めた全111基とし、病院直接契約の23.7%（196,405千円）削減</p> <table border="1" data-bbox="1675 746 2190 877"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R2実績</th> <th>R3実績</th> <th>R4実績</th> <th>R5見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一括機器数</td> <td>85</td> <td>88</td> <td>104</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>削減率</td> <td>15.1%</td> <td>13.9%</td> <td>19.1%</td> <td>23.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 光熱水費の抑制</p> <p>①令和5年度電力供給付き省エネルギー対策事業契約を締結し、省エネポテンシャル調査を実施</p> <p>②LED化未了の4病院（尼崎・加古川・淡路・こころ）の照明LED化工事を実施</p>	区分	R2実績	R3実績	R4実績	R5見込	一括機器数	85	88	104	111	削減率	15.1%	13.9%	19.1%	23.7%
区分	R2実績	R3実績	R4実績	R5見込															
一括機器数	85	88	104	111															
削減率	15.1%	13.9%	19.1%	23.7%															

IV 安定した医療提供体制の確立

項目1 効果的・効率的な組織・人員体制の整備

- 基本方向
法令、診療報酬制度等に定められている配置基準を基本に、病院事業を取り巻く環境の変化に迅速かつ機動的に対応するため、医療機能の高度化・専門分化、医療サービスの水準の維持・向上、新病院の機能充実等を図る観点から、課題に応じた組織の見直しや職員の適正配置を行う。
- 取組内容
1 医療機能の高度化・専門分化、医療ニーズの多様化、診療報酬の改定等に迅速、的確かつ柔軟に対応できる組織の整備や職員の適正配置、業務執行方法等の見直しによる効果的な人員体制の整備を行う。
2 新病院の開設にあたり、病院機能が十分発揮できるよう、複数の診療科、多職種の協働による専門センター制等を推進するなど、効果的・効率的な組織の整備や、病院機能が十分発揮できるよう人員体制の整備を行う。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																																																																													
<p>【目標】 病院事業を取り巻く環境の変化や診療報酬基準の改定、診療機能の高度化等に迅速かつ的確に対応し、県民に良質で安心な医療を効果的、効率的に提供していくため、組織・職制の見直しと人員の適正配置を行う。</p>	<p>病院事業を取り巻く環境の変化や診療報酬基準の改定、診療機能の高度化等に迅速かつ的確に対応し、県民に良質で安心な医療を効果的、効率的に提供していくため、組織・職制の見直しと人員の適正配置を行った。</p>	○	効果的・効率的な組織・人員体制の整備に取り組んだ。																																																																																																														
<p>【取組項目】 1 医療機能高度化等に対応した組織及び人員体制の整備 ・ 医療機能の高度化や診療報酬制度の改定、新型コロナウイルス感染症への対応など、病院事業を取り巻く環境の変化に迅速かつ機動的に対応し、直面する課題に応じた適切な組織・職制の見直しと人員体制の整備を実施（県立病院のICT化推進に向けた体制整備に伴う増員） 2 新病院開設に対応した組織及び人員体制の整備 ・ 新病院の建替整備が続く中、新病院の体制整備にあたっては、病院運営の観点を踏まえつつ、新病院で提供する診療機能が十分発揮できるよう、効果的・効率的な組織・職制の見直しと人員体制の整備を推進（はりま姫路総合医療センターの開設に向けた対応等）</p>	<p>【取組項目】 1 医療機能高度化等に対応した組織及び人員体制の整備 [R4.4 組織改正] ・ 各病院の医療情報システムの標準化・共同化や病院独自の基盤ネットワークの構築を推進するため「情報戦略班」を設置した（企画課）。 [R4.4 人員体制の整備] ・ 県立病院全体の医療情報システム体制整備のため、医療情報職を増員した。 （医療情報：尼崎+1、西宮+1、がん+1） 2 新病院開設に対応した組織及び人員体制の整備 ・ はりま姫路総合医療センター開設に向けて各職種を増員した（R4.4）。</p>	○	<p>概ね計画どおり実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置数</td> <td>+144</td> <td>+32</td> <td>+61</td> <td>+81</td> <td>+29</td> <td>+47</td> <td>+40</td> <td>+48</td> <td>+96</td> <td>+81</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>+144</td> <td>+176</td> <td>+327</td> <td>+318</td> <td>+347</td> <td>+394</td> <td>+434</td> <td>+482</td> <td>+578</td> <td>+659</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	配置数	+144	+32	+61	+81	+29	+47	+40	+48	+96	+81	累計	+144	+176	+327	+318	+347	+394	+434	+482	+578	+659	<p>【参考：人員体制の整備状況】 ○高度専門医療や地域医療連携の充実等</p>																																																																												
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																							
配置数	+144	+32	+61	+81	+29	+47	+40	+48	+96	+81																																																																																																							
累計	+144	+176	+327	+318	+347	+394	+434	+482	+578	+659																																																																																																							
		○	<p>概ね計画どおり実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淡路</td> <td colspan="10">(H25.5 開設)</td> </tr> <tr> <td>尼崎</td> <td>+32</td> <td>+322</td> <td colspan="8">(H27.7 開設)</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>-</td> <td>+1</td> <td>+74</td> <td colspan="7">(H28.5開設)</td> </tr> <tr> <td>陽子線</td> <td>+1</td> <td>+8</td> <td>+4</td> <td>+20</td> <td colspan="6">(H29.12開設)</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>+1</td> <td>-</td> <td>+109 (R1.7開設)</td> <td>+29</td> <td>+2</td> <td>+29</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>+3</td> <td>+6</td> <td>-</td> <td>+816 (R4.5開設)</td> <td>+117</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>+1</td> <td>+5</td> <td>+3</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>+3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>+33</td> <td>+331</td> <td>+78</td> <td>+21</td> <td>-</td> <td>+112</td> <td>+35</td> <td>+3</td> <td>+853</td> <td>+120</td> </tr> </tbody> </table> <p>○新病院整備に伴う体制整備</p>	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	淡路	(H25.5 開設)										尼崎	+32	+322	(H27.7 開設)								こども	-	+1	+74	(H28.5開設)							陽子線	+1	+8	+4	+20	(H29.12開設)						丹波	-	-	-	+1	-	+109 (R1.7開設)	+29	+2	+29	-	姫路	-	-	-	-	-	+3	+6	-	+816 (R4.5開設)	+117	西宮	-	-	-	-	-	-	-	+1	+5	+3	がん	-	-	-	-	-	-	-	-	+3	-	合計	+33	+331	+78	+21	-	+112	+35	+3	+853	+120
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																							
淡路	(H25.5 開設)																																																																																																																
尼崎	+32	+322	(H27.7 開設)																																																																																																														
こども	-	+1	+74	(H28.5開設)																																																																																																													
陽子線	+1	+8	+4	+20	(H29.12開設)																																																																																																												
丹波	-	-	-	+1	-	+109 (R1.7開設)	+29	+2	+29	-																																																																																																							
姫路	-	-	-	-	-	+3	+6	-	+816 (R4.5開設)	+117																																																																																																							
西宮	-	-	-	-	-	-	-	+1	+5	+3																																																																																																							
がん	-	-	-	-	-	-	-	-	+3	-																																																																																																							
合計	+33	+331	+78	+21	-	+112	+35	+3	+853	+120																																																																																																							

IV 安定した医療提供体制の確立

項目2 医師確保対策の推進

○ 基本方向	地域や診療科における医師の不足・偏在を解消するため、独自の医師確保対策を推進するとともに、県養成医師の義務年限終了後も含めたキャリア支援を実施するなど、地域医療の充実にも取り組んでいく。
○ 取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学医局からの医師確保に向けて、関係大学との連携強化を図る。 2 県立病院のスケールメリットを活かした臨床研修制度や専攻医制度の実施、新専門医制度に対応した研修プログラムの提供等の研修基盤の充実により、若手医師の確保・育成を図る。 3 指導医資格の取得支援等により、指導医の確保・育成を図る。 4 丹波医療センターの教育・研修機能の充実や医師修学資金制度の実施、麻酔科・救急科プログラム等の効果的な運用等により、地域医療を担う医師や特定診療科の医師確保を図る。 5 県養成医師に対して、義務年限終了後も含め、県立病院を活用したキャリア支援を実施する。 6 高度先進医療設備・機器の新規導入や院内施設の整備、医療秘書の設置による業務の負担軽減等、医師にとって魅力ある執務環境の整備を進める。 7 県立病院に勤務する医師の資質向上や士気高揚を図るため、海外学会研究発表派遣事業の活用を促進する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
〔目標〕 必要な医師総数の確保や、地域偏在・診療科偏在の解消に向け総合的な医師確保対策を推進する。	必要な医師総数の確保や、地域偏在・診療科偏在の解消に向け総合的な医師確保対策を推進した。	○	新型コロナウイルス感染症の影響で中止した医師の海外学会研究発表支援を除いて概ね計画どおりに実施した。	○ 医師数の推移 ・正規医師 516人(H19.4) →970人(R5.4) ・専攻医 138人(H19.4) →392人(R5.4)
〔取組項目〕 1 臨床研修制度の実施 70名の定員を公募により充足 2 専攻医制度の実施及び新専門医制度への対応 基幹施設として魅力ある研修プログラムを策定するとともに、連携施設として基幹施設と十分に連携し、専攻医を確保 3 指導医資格の取得支援 指導医資格取得に要する経費（受験料・手数料・認定料等）を補助 4 医師修学資金制度の実施 5 地域医療循環型人材育成プログラムの実施 丹波医療センターの医師確保のため、神戸大学から中堅医師10名と非常勤指導医3名以上の派遣を受け、専攻医等を含めた若手医師の育成を図るプログラムを実施 6 麻酔科専門研修プログラムの実施 新規研修参加医師数：3名 7 救急科研修プログラムの実施 新規研修参加医師数：3名 8 県養成医師の義務年限終了後も含めたキャリア支援の実施	〔取組項目〕 1 臨床研修制度の実施 臨床研修医を採用した（R4.4採用70名 総数130名）。 2 専攻医制度の実施及び新専門医制度への対応 ・専攻医を採用した（R4.4採用98名 総数345名）。 ・開院に伴い内科・救急の新規プログラムを開始した（姫路）。 ・産婦人科プログラムを開始した（西宮）。 3 指導医資格の取得支援 指導医資格取得に要する経費を補助した（R4:180名）。 4 医師修学資金制度の実施 (1) 指定診療科枠 現貸与者数（返還猶予含む）：20名 (2) 指定病院枠 現貸与者数（返還猶予含む）：15名 (3) 中・西播磨枠 現貸与者数：46名 5 地域医療循環型人材育成プログラムの実施 R3～R5年度の3年間継続実施した。 6 麻酔科専門研修プログラムの実施 研修参加医師数（R4.4:15名）※R4.4採用実績4名 7 救急科研修プログラムの実施 研修参加医師数（R4.4:34名）※R4.4採用実績5名 8 県養成医師の義務年限終了後も含めたキャリア支援の実施 県養成医師数：R4.4：131名 （うち義務年終了予定の後期派遣2年目医師6名）	○	概ね計画どおり実施 ○ 概ね計画どおり実施 ○ 概ね計画どおり実施 ○ 概ね計画どおり実施 ○ 概ね計画どおり実施 ○ 概ね計画どおり実施 ○ 概ね計画どおり実施	1 臨床研修医の採用状況（R5.4） 採用74名 総数152名 2 新専門医制度研修プログラムにおける研修開始専攻医の採用状況（R5.4） 採用97名 総数392名 4 医師修学資金貸与実績(R5.4) (1) 指定診療科枠 現貸与者数（返還猶予含む）：20名 (2) 指定病院枠 現貸与者数（返還猶予含む）：15名 (3) 中・西播磨枠 現貸与者数（返還猶予含む）：49名 R5新規貸与決定3名（中・西播磨枠）を含む 5 地域医療循環型人材育成プログラムの実施 R3～R5年度の3年間継続実施 6 麻酔科専門研修プログラム現参加者数(R5.5:14名) 7 救急科研修プログラム現参加者数(R5.4:43名) 8 県養成医師の義務年限終了後も含めたキャリア支援の実施 県養成医師数：R5.4 145名（うち義務年終了予定の後期派遣2年目医師6名）

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
<p>9 高度先進医療設備・機器の導入</p> <p>10 医療秘書の効果的な配置</p> <p>11 医師の海外学会での研究発表に対する支援 海外発表に要する旅費・学会参加費等を補助 ※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ補助実施を検討</p>	<p>9 高度先進医療設備・機器の導入【再掲 P48、50】 高度専門医療のための医療機器等を整備・更新した。</p> <p>10 医療秘書の効果的な配置 医療秘書を効果的に配置した（R4.11：360名）。</p> <p>11 医師の海外学会での研究発表に対する支援 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により休止した。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>▲</p>	<p>計画どおり高度専門医療のための医療機器の整備・更新を実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>【コ】左記理由により事業を休止</p>	<p>11 医師の海外学会での研究発表支援（R5） ※新型コロナウイルス感染症の類型変更に伴い R5 から支援再開</p>

IV 安定した医療提供体制の確立

項目3 看護師確保対策の推進

<p>○ 基本方向</p> <p>県立病院の建替整備や診療報酬の施設基準等に応じた看護体制を整備するため、多様な看護師確保対策を推進する。</p> <p>○ 取組内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 受験生にとって受験しやすい環境整備のため、採用試験の実施方法の見直しを図る。 2 看護師・看護学生に対して、県立病院単独の合同説明会等を実施し、県立病院で勤務する魅力のPRを一層推進する。 3 看護師修学資金制度を活用するとともに、地元学生等への説明会を実施するなど、県立病院の看護師の地域偏在に対応する。 4 認定看護師等の養成に向けた派遣研修制度の活用により、キャリア支援の充実を図る。 5 看護補助者の効果的な配置等により、看護師の業務負担の軽減を図る。 6 多様な勤務形態の整備や育児支援制度の充実・利用促進など、魅力ある職場環境づくりを更に推進する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）																																																		
<p>〔目標〕</p> <p>人材の確保・育成を図るための取組みを積極的に推進する。</p>	<p>人材の確保・育成を図るための取組みを積極的に推進した。</p>	○	<p>看護師採用試験の受験可能年齢を引き上げたほか、特定行為看護師養成派遣研修制度を創設するなど、看護師の確保・育成に向けて、取り組んだ。</p>																																																			
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 看護師の需給状況を考慮した採用試験の実施 （試験会場：神戸、姫路、岡山、徳島、福岡）</p> <p>○県立病院における看護師の採用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度 区分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受験者数 (A)</td> <td>766</td> <td>839</td> <td>863</td> <td>874</td> <td>988</td> <td>909</td> <td>1,016</td> <td>1,358</td> <td>1,129</td> </tr> <tr> <td>合格者数 (B)</td> <td>598</td> <td>535</td> <td>293</td> <td>348</td> <td>340</td> <td>353</td> <td>419</td> <td>422</td> <td>497</td> </tr> <tr> <td>受験倍率 (A/B)</td> <td>1.28</td> <td>1.57</td> <td>2.95</td> <td>2.51</td> <td>2.91</td> <td>2.58</td> <td>2.42</td> <td>3.22</td> <td>2.27</td> </tr> <tr> <td>採用者数</td> <td>547</td> <td>475</td> <td>265</td> <td>329</td> <td>320</td> <td>321</td> <td>377</td> <td>385</td> <td>447</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 県立病院単独の合同説明会の実施</p>	年度 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	受験者数 (A)	766	839	863	874	988	909	1,016	1,358	1,129	合格者数 (B)	598	535	293	348	340	353	419	422	497	受験倍率 (A/B)	1.28	1.57	2.95	2.51	2.91	2.58	2.42	3.22	2.27	採用者数	547	475	265	329	320	321	377	385	447	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 看護師の需給状況を考慮した採用試験の実施 ・採用試験を実施した（試験実施会場：神戸、姫路、岡山、徳島、福岡）。 ・受験可能年齢を45歳から60歳に引き上げた（R4～）。</p> <p>2 県立病院単独の合同説明会の実施 ・合同説明会を実施した（R4実績：2回）。</p>	○	<p>概ね計画どおり実施</p> <p>○県立病院単独の合同説明会の実施 ・合同説明会を実施した（R4実績：2回）。</p>	<p>1 採用試験の実施状況</p> <p>○実施方法の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方試験会場（神戸除く）の設置状況 H24～：岡山、徳島、福岡 H25～：姫路、岡山、徳島、福岡、福井、沖縄 H27～：姫路、広島、徳島、福岡、福井、沖縄 H29～：姫路、広島、徳島、福岡 R02～：姫路、岡山、徳島、福岡 ・受験可能年齢の引き上げ H23～：40歳→45歳 R04～：45歳→60歳 ・実施回数が増 H23～：1回→3回 H25～：3回→4回 R02：5回（コロナの感染状況に伴う受験機会の確保） ・実施日の増 R01～：1回目採用試験の受験者増加に伴い、2日に分けて実施 <p>2 県立病院単独の合同説明会の実施 （H30.4.28、H31.4.27、R2.2.22、R3.2.28、R3.12.19、R4.2.11、R4.12.19、R5.2.23） R03：1回→2回（オンライン開催） R04：2回（オンライン・対面開催）</p>
年度 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																													
受験者数 (A)	766	839	863	874	988	909	1,016	1,358	1,129																																													
合格者数 (B)	598	535	293	348	340	353	419	422	497																																													
受験倍率 (A/B)	1.28	1.57	2.95	2.51	2.91	2.58	2.42	3.22	2.27																																													
採用者数	547	475	265	329	320	321	377	385	447																																													

実施計画の自己点検・評価

実施計画					実施状況					評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
3 看護師修学資金制度の実施 ○看護師修学資金の状況					3 看護師修学資金制度を実施					○	概ね計画どおり実施	3 看護師修学資金制度の実施 ○看護師修学資金制度の創設(H23)と募集枠の拡大 H23～：50名 H24～：120名 H25～：150名 H26～：200名 H27～：200名以内 ・看護師修学資金の最終学年の新規貸付決定者への貸与額を倍増(H26) (月額5万円→月額10万円)
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5			
募集人数	60	30	20	50	75	100	50	20	30			
応募者	169	143	88	110	112	151	122	95	106			
合格者	84	25	18	50	58	83	30	21	26			
1年	27	10	8	9	17	10	8	1	1			
2年(1年)	20	9	5	18	23	6	6	6	9			
3年(2年)	13	3	4	10	9	6	6	8	11			
4年(3年)	24	3	1	13	9	8	10	6	5			
採用者	65	62	48	44	46	28	54	44	31			
丹波配属	20	5	11	3	15	5	4	13	9			
淡路配属	6	7	28	3	19	18	39	15	22			
その他配属	39	50	9	38	12	5	11	16	0			
4 認定看護師の養成に向けた派遣研修制度の実施 日本看護協会等が認定する認定看護師教育課程に看護師を派遣 年間養成数：15名程度（派遣期間6ヶ月程度）					4 認定看護師の養成に向けた派遣研修制度を実施 日本看護協会等が認定する認定看護師教育課程に看護師を派遣した（R4年間養成数：14名）。					○	概ね計画どおり実施	4 認定看護師の養成に向けた派遣研修制度の実施 (R1：6名、R2：10名、R3：15名、R4：14名)
5 特定行為看護師の計画的な育成及び活用方策の検討					5 特定行為看護師の計画的な育成及び活用方策の検討 特定行為看護師養成派遣研修制度を創設した(R4：1名)。					○	概ね計画どおり実施	
6 看護補助者の活用 看護師の業務負担軽減を図るため、看護補助者を配置					6 看護補助者の活用 看護師の業務負担軽減を図るため、看護補助者を配置した(R4.11：391名)。					○	概ね計画どおり実施	
7 ワークライフバランスに配慮した多様な働き方の推進					7 ワークライフバランスに配慮した多様な働き方の推進					○	概ね計画どおり実施	7 ワークライフバランスに配慮した多様な働き方の推進 全県立病院への2交替勤務制度の導入(H27～)、夜勤専従勤務制度の導入(R3～)
8 看護職員等の処遇改善 国の経済対策（「看護職員等処遇改善事業」（国補助金））を活用し、県立病院の看護職員等の処遇改善を図る。					8 看護職員等の処遇改善 国の経済対策（「看護職員等処遇改善事業」（国補助金））を活用し、県立病院の看護職員等の処遇改善を図った。					○	概ね計画どおり実施	

IV 安定した医療提供体制の確立

項目4 専門的人材の充実・確保と人材育成の取組

<p>○ 基本方向 診療機能の高度化・専門化やICTの高度化等の医療を取り巻く環境変化に迅速かつ的確に対応し、求められる専門性を備えた職種・人員の確保策を検討する。病院運営の中核となる事務部門を強化するため、病院や医療制度を熟知した専門的人材の育成・確保策を検討する。 県立病院組織の活力を更に向上するため、多種多様な研修機会の提供や研修内容の充実等を通じ、職員の資質・能力を高めるための取り組みを積極的に進める。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 専門的人材の充実・確保 (1) 専門性を備えた人材について、多様な任用形態による確保策を検討する。 (2) 病院運営の中核となる人材を育成する人事ローテーション等を検討する。 (3) 事務職員に向けた病院経営に関する研修等を実施する。</p> <p>2 職員の育成、士気高揚 (1) 職種・職務毎に研修の体系や内容を点検し、更なる充実を図る。 (2) 患者に接する機会が多い職員を対象とする接遇研修を更に充実する。 (3) 病院運営に顕著な功績のあった職員等を対象に、管理者表彰及び院長表彰を積極的に実施する。 (4) 査定昇給制度の適切な運用や勤勉手当への勤務成績の反映により、職員の士気高揚を図る。</p>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
<p>【目標】 専門的人材の確保・育成を図るための取組みを実施する。</p>	<p>専門的人材の確保・育成を図るための取組みを実施した。</p>	○	<p>職種や階層に応じた研修を実施した他、MBAや神戸大学実践的病院経営マネジメント人材養成プラン（M×M K O B E）の受講を支援する等、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した接遇研修を除き、専門的人材の確保・育成に向けて、概ね計画どおりに取り組んだ。</p>	
<p>【取組項目】</p> <p>1 専門的人材の充実・確保 (1) 診療機能の高度化・専門化や医療を取り巻く環境変化に対応するため、施設基準の改定等に応じて必要となる専門的人材の確保策を検討 ・医療情報職の増員 (2) 患者サービスの維持・向上を図るため、病院運営に係る知識・経験が豊富な人材育成ができる人事配置について、引き続き、人事当局と調整 (3) 総務事務・給与事務担当者等を対象とした会議、研修の実施 (4) 県立病院経営に係る人材育成のためのMBA受講支援 ① 兵庫県立大学大学院 ② 関西学院大学大学院 ③ 神戸大学大学院 (5) 神戸大学実践的病院経営マネジメント人材養成プラン（M×M K O B E）受講支援 受講する職員の学費を負担 (6) 診療情報管理士の育成</p>	<p>【取組項目】</p> <p>1 専門的人材の充実・確保 (1) 診療機能の高度化・専門化や医療を取り巻く環境変化に対応するため、施設基準の改定等に応じて必要となる専門的人材の確保策を検討した。 ・医療情報職の増員（R4.4：+4名） (2) 患者サービスの維持・向上を図るため、病院運営に係る知識・経験が豊富な人材育成ができる人事配置について、人事当局と調整した。 (3) 総務事務・給与事務担当者等を対象とした会議、研修を実施した。 (4) 県立病院経営に係る人材育成のためのMBA受講を支援した。（R4実績：4名）※内訳：県立大3名、関学1名 (5) 神戸大学実践的病院経営マネジメント人材養成プラン（M×M K O B E）受講を支援した。（R4実績：科目履修コース 10名） (6) 診療情報管理士を育成した。【再掲P51】</p>	○ ○ ○ ○ ○ ○	<p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>看護師・事務・医療技術職と幅広い職種を育成（R3は医師のみ3名の実績）</p> <p>R4は10名の科目履修を支援</p> <p>新規資格取得者が計画より1名多く、新規受講者5名の育成開始</p>	<p>1 専門的人材の充実・確保 (1) 専門分野に精通した人材の登用 ・副院長に看護職を積極的に登用 ・勤務延長の活用 ・新たな専門職の創設： 臨床工学技士（H16～） 医療福祉相談員（H25～） 医療情報職（H30～） 遺伝カウンセラー（R2～） 医療事務職（R4～） ・現在の任用制度を活用した必要な人材の確保 (3) 総務担当者会議の実施（R5.5） 経理事務担当者研修の実施（R5.9頃） 簿記研修の実施（R5.8頃） (4) MBA受講支援実績 累計24名（R4新規4名含む） (5) M×M K O B E受講支援実績 累計47名（R5科目履修コース募集中）</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
<p>2 職員の育成、士気高揚 (1) 職員の資質向上のため職種別研修や階級別研修を効率的に実施 (2) 待遇研修の実施（年1回）（待遇とクレーム対応等） (3) 管理者表彰や院長表彰の積極的な実施 (4) 職員の士気高揚を図るため、勤務成績を反映した査定昇給や勤勉手当への反映を実施</p>	<p>2 職員の育成、士気高揚 (1) 職員の資質向上のため職種別研修や階級別研修を効率的に実施した。 (2) 待遇研修は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し中止した。【再掲 P39】 (3) 管理者表彰や院長表彰の積極的に実施した。 (4) 職員の士気高揚を図るため、勤務成績を反映した査定昇給や勤勉手当への反映を実施した。</p>	<p>○ ▲ ○ ○</p>	<p>概ね計画どおり実施 【コ】左記理由により中止 概ね計画どおり実施 概ね計画どおり実施</p>	<p>2 職員の育成、士気高揚 (1) 職員の人材育成を積極的に推進するため、看護師等の職種別研修や副院長研修、新任職員研修等の階層別研修を実施 (3) 病院運営に顕著な功績のあった職員等を対象に管理者表彰（年2回実施）及び院長表彰（適宜実施）を積極的に実施 (4) 査定昇給（年1回）の適切な運用や勤勉手当への勤務成績の反映（年2回）により、職員の士気高揚を推進</p>

IV 安定した医療提供体制の確立

項目5 働きやすい職場づくり

<p>○ 基本方向 県立病院の職員を安定的に確保するため魅力ある職場環境の整備を進めるとともに、健康管理やワークライフバランスに配慮し、超過勤務の縮減、休暇の取得促進等、働きやすい職場環境づくりに取り組む。</p> <p>○ 取組内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国における医師の働き方改革に関する検討会から示される労働時間の短縮策などに取り組み、労働時間の適正化を推進する。 2 院内施設の整備、医療秘書の設置による業務の負担軽減等、医師にとって魅力ある執務環境の整備を進める。 3 女性医師が増加している中、仕事と育児を両立することができる育児短時間制度や部分休業制度の利用促進、院内保育所の充実等を図ることにより、女性が働きやすい環境整備を推進する。
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）						
<p>【目標】 働きやすい職場づくりに向けて、超過勤務の縮減や職員自身の健康管理意識の高揚を図るため、継続して以下の取組を実施する。</p>	<p>働きやすい職場づくりに向けて、超過勤務の縮減や職員自身の健康管理意識の高揚を図るため、継続して以下の取組を実施した。</p>	○	<p>医師の働き方改革については取組の途中段階ではあるが、全体としては概ね計画どおり実施した。</p>							
<p>【取組項目】</p> <p>1 労働時間の適正化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同職種や同診療科内での業務の平準化、タスクシフティング等による業務の効率化 ・各病院の実情に応じた超過勤務縮減に向けた取り組みの推進 ・年次休暇の計画的な取得の促進 <p>2 魅力ある執務環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師の業務負担軽減を図るため、医療秘書の効果的な配置 ・給与の見直しによる処遇改善 <p>3 女性医師が働きやすい環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児休業や育児短時間勤務制度等の活用促進 ・院内保育所の整備 ・在宅勤務制度の実施 ・民間情報サイト等を利用した女性医師バンクの活用 <p>4 医師の働き方改革の推進</p> <p>労働基準法の改正により、医師の時間外・休日労働の上限規制が令和6年4月から適用されることも踏まえ、労働時間短縮に向けた取組を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICカードによる勤怠管理システムの導入等による適切な労務管理 ・医師の勤務時間の割り振りの弾力化 ・医師の業務負担軽減を図るため、医療秘書の効果的な配置や特定行為研修修了看護師の計画的な育成及び活用方策の検討 ・病院運営会議等で国の動向や県立病院の現状等を情報共有 	<p>【取組項目】</p> <p>1 労働時間の適正化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の検討会の内容を踏まえたタスクシフト／タスクシェアについて、より一層検討した。 ・医師の年次休暇平均取得日数が増加した。 (R3：6.5日→R4：6.9日) <p>2 魅力ある執務環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療秘書の配置数を拡大した。【再掲 P60】 (H30：285名 → R4:360(R4.11 現在)) <p>3 女性医師が働きやすい環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はりま姫路総合医療センターで病児・病後児保育を開始した (R4.5)。 ・不妊治療のための休暇を拡充した。 (5日→12日) (R5.1) <p>4 医師の働き方改革の推進</p> <p>労働基準法の改正により、医師の時間外・休日労働の上限規制が令和6年4月から適用されることも踏まえ、労働時間短縮に向けた取組を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICカードによる勤怠管理システムの導入等による適切な労務管理 ・医師の勤務時間の割り振りの弾力化 ・医師の業務負担軽減を図るため、医療秘書の効果的な配置や特定行為研修修了看護師の計画的な育成及び活用方策の検討【再掲 P60、62】 ・病院運営会議等で国の動向や県立病院の現状等を情報共有 	○	<p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>概ね計画どおり実施</p> <p>令和6年4月に向けて、必要な特例水準取得に向け取組段階ではあるが、概ね計画どおり実施</p>	<p>3 女性医師が働きやすい環境の整備</p> <p>○育児等休暇・支援制度の導入経過（全職種を対象とした制度）</p> <p>①・・・育児等休暇制度、②・・・育児支援制度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>取組実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育への送迎を目的とした部分休暇制度を導入 (H22) ・「子育て支援休暇」の取得事由に子の健康診断や予防接種等を追加 (H22) ・「子育て支援休暇」の対象となる子を満15歳までに拡大 (H30) ・「子育てのための部分休暇」の取得単位の拡大（勤務時間の始めも取得可）(R3) ・不妊治療のための休暇の新設 (R4.1) ・不妊治療のための休暇の拡充 (5日→12日) (R5.1) </td> </tr> <tr> <td>②</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・院内保育の対象職種の拡大（看護師→全職種）(H16) ・院内保育の開設時間の延長等 (H19) ・尼崎病院（現 尼崎総合医療センター）の24時間保育を開始 (H23) ・姫路循環器病センター（現 はりま姫路総合医療センター）に院内保育所を設置 (H24) ・こども病院で休日保育を実施 (H28) ・尼崎総合医療センターで病児・病後児保育を開始 (H29) ・丹波医療センターに院内保育室を設置 (R1) ・はりま姫路総合医療センターで病児・病後児保育を開始 (R4.5) ・在宅勤務制度の試行導入 (H30.10) ・在宅勤務制度の本格実施 (R2.10) </td> </tr> </tbody> </table> <p>4 医師の働き方改革に資する取組の実施・検討状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数主治医制の導入やオンコール体制の見直し等、医師の超過勤務削減に資する取組の実施・検討 ・看護師の特定行為を実施する病院・分野・運用等の検討をはじめとする、医師から他職種へのタスクシフト／タスクシェアの更なる推進検討 ・フレックスタイム制等の弾力的な勤務時間設定の可否を判断するためのシミュレーションの実施・導入後の体制検討 ・診療科別の業務実態把握、宿日直許可の再取得 等 <p>○特例水準指定申請を行う予定の病院 (R5.8時点) B水準（地域医療確保暫定特例水準）を申請予定：尼崎、姫路</p>	項目	取組実績	①	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育への送迎を目的とした部分休暇制度を導入 (H22) ・「子育て支援休暇」の取得事由に子の健康診断や予防接種等を追加 (H22) ・「子育て支援休暇」の対象となる子を満15歳までに拡大 (H30) ・「子育てのための部分休暇」の取得単位の拡大（勤務時間の始めも取得可）(R3) ・不妊治療のための休暇の新設 (R4.1) ・不妊治療のための休暇の拡充 (5日→12日) (R5.1) 	②	<ul style="list-style-type: none"> ・院内保育の対象職種の拡大（看護師→全職種）(H16) ・院内保育の開設時間の延長等 (H19) ・尼崎病院（現 尼崎総合医療センター）の24時間保育を開始 (H23) ・姫路循環器病センター（現 はりま姫路総合医療センター）に院内保育所を設置 (H24) ・こども病院で休日保育を実施 (H28) ・尼崎総合医療センターで病児・病後児保育を開始 (H29) ・丹波医療センターに院内保育室を設置 (R1) ・はりま姫路総合医療センターで病児・病後児保育を開始 (R4.5) ・在宅勤務制度の試行導入 (H30.10) ・在宅勤務制度の本格実施 (R2.10)
項目	取組実績									
①	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育への送迎を目的とした部分休暇制度を導入 (H22) ・「子育て支援休暇」の取得事由に子の健康診断や予防接種等を追加 (H22) ・「子育て支援休暇」の対象となる子を満15歳までに拡大 (H30) ・「子育てのための部分休暇」の取得単位の拡大（勤務時間の始めも取得可）(R3) ・不妊治療のための休暇の新設 (R4.1) ・不妊治療のための休暇の拡充 (5日→12日) (R5.1) 									
②	<ul style="list-style-type: none"> ・院内保育の対象職種の拡大（看護師→全職種）(H16) ・院内保育の開設時間の延長等 (H19) ・尼崎病院（現 尼崎総合医療センター）の24時間保育を開始 (H23) ・姫路循環器病センター（現 はりま姫路総合医療センター）に院内保育所を設置 (H24) ・こども病院で休日保育を実施 (H28) ・尼崎総合医療センターで病児・病後児保育を開始 (H29) ・丹波医療センターに院内保育室を設置 (R1) ・はりま姫路総合医療センターで病児・病後児保育を開始 (R4.5) ・在宅勤務制度の試行導入 (H30.10) ・在宅勤務制度の本格実施 (R2.10) 									

IV 安定した医療提供体制の確立

項目6 経営形態の検討

- **基本方向**
持続可能な経営のもとで県民に対して高度専門・特殊医療等を継続して提供していくうえで、本県病院事業に最も相応しい経営形態のあり方を検討する。
- **取組内容**
以下を踏まえ、「第4次病院構造改革推進方策」の終期である2023年度までは、地方公営企業法の全部適用を維持する。
なお、国の制度の見直し等病院事業を取り巻く環境に大きな変化があった場合には、必要に応じて経営形態のあり方についての検討を行う。
 - ・ 県立病院が関係する複数の統合再編事業を協議・調整中であること
 - ・ 初期投資に必要な財源確保や統合再編・建替整備等の資金調達に懸念があること
 - ・ 地域医療の確保と公立病院改革の推進に関する調査研究会の分析では、必ずしも地方独立行政法人制度適用が経営改善に繋がるわけではないとされていること

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
【目標】 令和5年度までは現在の地方公営企業法の全部適用を維持するが、国の制度の見直し等病院事業を取り巻く環境に大きな変化があった場合には、必要に応じて経営形態のあり方についての検討を行う。	令和6年度以降の経営形態の検討（次期病院構造改革推進方策の検討と並行実施）を見据え、病院事業を取り巻く環境変化や国及び他団体の動向の把握等を適切に実施した。	○	同左	
【取組項目】 経営形態のあり方検討に資するため、病院事業を取り巻く環境変化や国及び他団体の動向を適切に把握する。	【取組項目】 経営形態のあり方検討に資するため、病院事業を取り巻く環境変化や国及び他団体の動向把握、財務状況の分析を適切に実施した。	○	同左	

○都道府県立病院の運営形態（R5.4.1）

区分	R4.4.1		R5.4.1		増減	内 訳（病院数）	
	病院数	（割合）	病院数	（割合）			
全部適用	122	65%	122	63%	0	兵庫(13)、北海道(6)、青森(2)、岩手(20)、山形(4)、福島(5)、茨城(3)、群馬(4)、千葉(6)、新潟(13)、静岡(1)、愛知(3)、三重(3)、滋賀(3)、鳥取(2)、島根(2)、広島(2)、徳島(3)、香川(3)、愛媛(4)、高知(2)、長崎(2(一部事務組合で運営))、熊本(1)、大分(1)、宮崎(3)、鹿児島(5)、沖縄(6)	
一部適用	19	10%	11	6%	△8	新潟(2)、富山(2)、石川(2)、福井(2)、京都(1)、和歌山(1)、福岡(1)	
独立行政法人	47	25%	61	31%	14		
独立行政法人 の 経営 形態	全部適用	(14)	30%	(14)	23%	0	宮城(3)、山形(2)、埼玉(4)、神奈川(4)、三重(1)
	一部適用	(32)	68%	(40)	66%	8	秋田(2)、栃木(3)、東京(9)、神奈川(1)、山梨(2)、長野(5)、岐阜(3)、静岡(3)、大阪(5)、奈良(3)、岡山(1)、山口(2)、佐賀(1)
	その他	(1)	2%	(7)	11%	6	東京(6 公社→独法)、徳島(1 法適用外(健康保険病院)→県移管・独法)
	小計	(47)	100%	(61)	100%	14	
計	188	100%	194	100%	6		

※1つの自治体で複数形態で運営する団体有り

IV 安定した医療提供体制の確立

項目7 安定的な地域医療の提供

○ 基本方向	地域の医療需要や他の医療機関の状況等を適時把握し、県民から必要とされる医療を的確に提供することで、将来に亘る安定的な地域医療の提供に貢献する。
○ 取組内容	今後の安定的な地域医療の提供に貢献するため、地域の医療需要や他の医療機関の状況等を適時把握し、県民から必要とされる医療を的確に提供する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和5年5月の状況等）
<p>【目標】</p> <p>今後の安定的な地域医療の提供に貢献するため、地域の医療需要や他の医療機関の状況等を踏まえ、各県立病院に求められる医療を提供する。</p>	<p>今後の安定的な地域医療の提供に貢献するため、地域の医療需要や他の医療機関の状況等を踏まえ、各県立病院に求められる医療を提供した。</p>	○	<p>県民から必要とされる医療を的確に提供し、安定的な地域医療の提供に貢献した。</p>	<p>○地域医療構想の推進体制</p> <p>地域医療構想の実現のため、医療機関等の自主的な取り組みや行政と医療機関等が連携した取り組み等を行うため、各圏域において、医療関係者、医療保険者その他関係者からなる「地域医療構想調整会議」を設置し、地域医療構想の達成に必要な事項について、協議が行われている。</p> <p>（検討内容）</p> <p>①病床機能報告や医療資源を踏まえた、2025年を見据えた医療機関としての役割分担</p> <p>②2025年に持つべき、医療機関ごとの病床数（病床機能等）</p> <p>③施策の進捗状況の確認、医療介護基金事業の検討</p>
<p>【取組項目】</p> <p>兵庫県地域医療構想に適切に対応していくため、兵庫県保健医療計画（圏域版）を踏まえ、「第4次病院構造改革推進方策」及び「公的医療機関等2025プラン」に定められた県立病院が求められる役割を果たしながら、将来に亘る安定的な地域医療の提供に貢献する。</p>	<p>【取組項目】</p> <p>兵庫県地域医療構想に適切に対応していくため、兵庫県保健医療計画（圏域版）を踏まえ、「第4次病院構造改革推進方策」及び「公的医療機関等2025プラン」に定められた県立病院が求められる役割を果たしながら、将来に亘る安定的な地域医療の提供に貢献した。</p>	○	<p>県立病院が求められる役割を果たしながら、将来に亘る安定的な地域医療の提供に貢献</p>	

○地域医療構想調整会議の議題

年度	内容
H30年度	<ul style="list-style-type: none"> 公立・公的2025プランの策定 H29 病床機能報告・分析 H30 病床機能転換推進事業の審議 H31 医療介護推進基金事業の地域事業の議論
R1年度	<ul style="list-style-type: none"> 公立・公的2025プランの再検討・再検証 県立・公立病院の再編統合等の議論 R1 病床機能転換推進事業の審議 R2 医療介護推進基金事業の地域事業の議論
R2年度	<ul style="list-style-type: none"> 公立・公的2025プランの再検討・再検証 R2 病床機能転換推進事業の審議 R3 医療介護推進基金事業の地域事業の議論
R3年度	<ul style="list-style-type: none"> 公立・公的2025プランの再検討・再検証 R3 医療機関再編等推進事業の審議 R4 医療介護推進基金事業の地域事業の議論
R4年度	<ul style="list-style-type: none"> R4 医療機関再編等推進事業の審議 R5 医療介護推進基金事業の地域事業の議論 公立病院経営強化プランの議論

○県立病院のある圏域の地域医療構想調整会議の開催状況(R5.3末時点)

年度	神戸	阪神 (阪神南)	東播磨	播磨姫路		丹波	淡路
				(中播磨)	(西播磨)		
R1	3	7	3	6	4	3	3
R2	2	2	2	3	3	2	1
R3	1	3	1	2	2	0	1
R4	3	3	2	5	6	1	1

各県立病院の目標・計画（経営計画）

（１）尼崎総合医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R4 年度 計画①	R4 年度 実績②	R3 年度 実績	②/①	評価
業務量	病床数（床）	730	730	730	100.0%	
	病床利用率（%）	85.6	83.8	78.3	97.9%	
	1日当たり入院患者数（人）	625	612	572	97.9%	
	1日当たり外来患者数（人）	1,880	1,886	1,845	100.3%	
財務	経常収支比率（%）	103.9	103.1	107.9	99.2%	
	医業収支比率（%）	87.2	85.6	82.4	98.2%	
	入院単価（円）	95,600	97,289	97,032	101.8%	
	外来単価（円）	20,709	20,866	20,644	100.8%	
	給与費比率（%）	58.7	57.5	61.4	98.0%	
	材料費比率（%）	34.7	37.1	36.1	106.9%	
	経費比率（%）	15.2	16.0	16.6	105.3%	
	平均在院日数	9.3	9.5	9.5	102.2%	○
医療機能	紹介率（%）	75.9	71.3	73.1	93.9%	○
	逆紹介率（%）	95.8	90.8	91.3	94.8%	○
	救急患者数	23,311	26,266	22,428	112.7%	○
	（うち救急車搬送件数）	10,290	11,948	9,877	116.1%	○
	糖尿病新規入院患者数	224	222	191	99.1%	○
	手術件数	22,866	24,184	22,746	105.8%	○
	（うち高額手術件数）	3,244	3,308	3,184	102.0%	○
	（うちがん手術件数）	1,464	1,361	1,427	93.0%	○
	（うち冠動脈形成術件数）	555	512	555	92.3%	○
	（うち開心術件数）	182	191	175	104.9%	○
	頭頸部血管内治療件数	86	65	88	75.6%	△
	TAVI実施件数	60	84	68	140.0%	◎
	外来化学療法件数	10,910	11,814	11,212	108.3%	○
	分娩件数	1,155	1,185	1,158	102.6%	○
	ハイリスク妊娠数（人）	174	206	159	118.4%	○
	母体搬送受入数（人）	84	88	100	104.8%	○
	2500g未満新生児実入院患者数（人）	199	225	199	113.1%	○
	新生児搬送受入総数（人）	58	72	54	124.1%	◎
	ドクターカー出動回数	283	298	196	105.3%	○
	物忘れ外来患者数	607	562	535	92.6%	○
	薬剤管理指導件数	30,313	30,753	27,941	101.5%	○
	リハビリ件数	119,307	139,885	124,511	117.2%	○
	（うちOTリハビリ件数）	21,953	26,463	20,080	120.5%	◎
	（うちPTリハビリ件数）	77,371	89,129	81,287	115.2%	○
	（うちSTリハビリ件数）	19,983	24,293	23,144	121.6%	◎
	クリニカルパス件数	498	555	517	111.4%	○
	在宅復帰率（%）	89.0	87.6	89.7	98.4%	○
臨床研修医の受入件数	50	50	50	100.0%	○	
医師派遣等件数	200	87	248	43.5%	▲	
医療相談件数	513	293	—	57.1%	▲	
その他	セカンド・オピニオン実施件数	23	32	23	139.1%	◎
	TVカンファレンス実施回数	12	12	12	100.0%	○

区分		R4 年度 計画①	R4 年度 実績②	R3 年度 実績	②/①	評価
その他	PFMの更なる拡大（アセスメント率）（%）	60.0	62.4	59.4	104.0%	○
	重点診療科長及び事務職員による地域クリニック等訪問回数	6	33	0	550.0%	◎
	社協コラボ出前型セミナー開催回数	3	0	1	0.0%	▲

収支計画

（単位：百万円）

区分		R4 年度計画	R4 年度実績	R3 年度実績	
収益	入院収益	21,808	21,733	20,253	
	外来収益	9,462	9,561	9,216	
	その他医業収益	634	595	584	
	医業収益計	31,904	31,890	30,053	
	その他の収益	3,650	3,993	7,406	
収益合計		35,554	35,883	37,458	
費用	給与費	18,722	18,343	18,455	
	（うち退職給与金）	474	490	387	
	材料費	11,082	11,832	10,857	
	経費	4,838	5,111	4,975	
	減価償却費	1,619	1,663	2,032	
	その他の医業費用	323	323	148	
	医業費用計	36,585	37,271	36,467	
	その他費用	439	358	786	
	費用合計		37,024	37,630	37,253
	差引損益		△1,470	△1,747	206
一般会計繰入金		2,853	2,906	2,808	
当期純損益		1,383	1,159	3,014	
経常損益		1,428	1,149	2,913	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(2) 西宮病院

経営指標に係る数値目標						収支計画					
						(単位：百万円)					
区分		R4 年度 計画①	R4 年度 実績②	R3 年度 実績	②/①	評価	区分	R4 年度計画	R4 年度実績	R3 年度実績	
業務量	病床数 (床)	400	400	400	100.0%	/	収益	入院収益	7,771	7,599	7,309
	病床利用率 (%)	78.0	74.1	72.3	95.0%			外来収益	2,933	2,991	3,021
	1日当たり入院患者数 (人)	312	296	289	94.9%			その他医業収益	251	207	229
	1日当たり外来患者数 (人)	641	616	622	96.1%			医業収益計	10,955	10,798	10,559
	経常収支比率 (%)	102.0	98.9	99.8	97.0%			その他の収益	1,002	1,558	1,744
医業収支比率 (%)	85.9	79.7	80.5	92.8%	収益合計			11,957	12,356	12,303	
財務	入院単価 (円)	68,280	70,243	69,214	102.9%		費用	給与費	7,227	7,867	7,530
	外来単価 (円)	18,825	19,999	20,073	106.2%			(うち退職給与金)	238	323	215
	給与費比率 (%)	66.0	72.9	71.3	110.5%			材料費	3,100	3,248	3,174
	材料費比率 (%)	28.3	30.1	30.1	106.4%			経費	1,698	1,870	1,815
	経費比率 (%)	15.5	17.3	17.2	111.6%			減価償却費	655	485	530
	平均在院日数	9.7	10.2	10.2	105.2%			○	その他の医業費用	66	79
医療機能	紹介率 (%)	80.0	102.8	83.4	128.5%		◎	医業費用計	12,747	13,549	12,124
	逆紹介率 (%)	132.0	106.8	139.6	80.9%		○	その他費用	70	74	107
	手術件数 (件)	5,100	5,392	5,098	105.7%		○	費用合計	12,816	13,623	13,231
	がん手術総件数	1,440	1,157	1,296	80.3%		○	差引損益	△859	△1,267	△928
	入退院支援センター入院・検査説明件数	2,250	2,509	2,388	111.5%		○	一般会計繰入金	1,118	1,136	1,130
	クリニカルパス件数	210	250	212	119.0%		○	当期純損益	259	△131	202
	化学療法件数	8,000	5,740	5,495	71.8%		△	経常損益	256	△144	△20
	うち外来化学療法件数	4,000	3,997	4,065	99.9%		○				
	救急患者数 (人)	5,200	5,963	5,279	114.7%		○				
	(うち救急車搬送件数)	3,700	4,581	3,814	123.8%		◎				
	小児救急車搬送件数	451	379	357	84.0%		○				
	ドクターカー出動実績	643	488	540	75.9%		△				
	分娩件数	360	398	421	110.6%		○				
	ハイリスク妊娠数	120	135	120	112.5%		○				
	母体搬送受入数	75	81	58	108.0%		○				
	2500g未満新生児実入院患者数	100	86	97	86.0%		○				
	新生児搬送受入総数	40	46	38	115.0%		○				
	さい帯血採取数	90	97	88	107.8%		○				
	糖尿病新規入院患者数	210	212	233	101.0%	○					
	腎移植実施数	10	18	9	180.0%	◎					
	透析件数	4,050	3,028	3,708	74.8%	△					
	リハビリ件数	43,583	33,538	43,524	77.0%	△					
	臨床研修医の受入件数	18	20	21	111.1%	○					
	四肢外傷センターの充実(骨折等疾患の救急、整形外科の連携治療実施件数)	330	380	360	115.2%	○					
	その他	腎臓病教室の開催回数	3	0	0	0.0%	▲				
		西宮薬師会と薬師部の合同研修会の開催回数	1	1	1	100.0%	○				

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(3) 加古川医療センター

経営指標に係る数値目標						収支計画					
						(単位：百万円)					
区分		R4年度 計画①	R4年度 実績②	R3年度 実績	②/①	評価	区分		R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績
業務量	病床数(床)	353	353	353	100.0%	/	収益	入院収益	6,321	6,193	5,946
	病床利用率(%)	63.4	61.7	52.1	97.3%			外来収益	3,530	3,666	3,487
	1日当たり入院患者数(人)	224	218	184	97.3%			その他医業収益	337	206	188
	1日当たり外来患者数(人)	681	696	664	102.2%			医業収益計	10,188	10,064	9,621
財務	経常収支比率(%)	101.6	109.4	112.8	107.7%			その他の収益	2,844	4,346	5,236
	医業収支比率(%)	73.8	71.4	69.3	96.7%			収益合計	13,032	14,410	14,857
	入院単価(円)	77,349	77,856	88,501	100.7%		費用	給与費	7,076	7,117	7,353
	外来単価(円)	21,327	21,686	21,691	101.7%			(うち退職給与金)	373	456	209
	給与費比率(%)	69.4	70.7	76.4	101.9%			材料費	3,190	3,384	3,084
	材料費比率(%)	31.3	33.6	32.1	107.3%			経費	2,100	2,160	2,083
経費比率(%)	20.6	21.5	21.6	104.4%	減価償却費			1,362	1,377	1,323	
平均在院日数	10.9	11.3	10.8	103.7%	◎			その他の医業費用	86	50	49
医療機能	紹介率(%)	66.3	91.0	58.2	137.3%		◎	医業費用計	13,814	14,088	13,891
	逆紹介率(%)	70.7	78.9	52.9	111.6%		◎	その他費用	448	324	395
	ドクターヘリ運航件数	564	403	360	71.5%		△	費用合計	14,262	14,412	14,286
	救急患者数(人)	6,063	6,612	5,215	109.1%		◎	差引損益	△1,230	△2	571
	(うち救急車搬送患者数)	1,899	2,668	1,620	140.5%		◎	一般会計繰入金	1,348	1,371	1,421
	手術件数(件)	4,580	4,236	3,814	92.5%		◎	当期純損益	118	1,370	1,991
	化学療法件数	3,319	3,893	3,072	117.3%		◎	経常損益	231	1,356	1,828
	[うち外来化学療法件数]	2,808	3,565	2,701	127.0%		◎				
	緩和ケア病床入院患者数(人)	3,627	3,620	1,850	99.8%	◎					
	糖尿病教育入院患者数(人)	107	22	77	20.6%	▲					
	リハビリ件数(人)	27,454	32,953	25,655	120.0%	◎					
	新規紹介患者数(人)	7,382	7,109	6,011	96.3%	◎					

各県立病院の目標・計画（経営計画）

（４）はりま姫路総合医療センター（R3実績は姫路循環器病センターの実績）

経営指標に係る数値目標						収支計画					
						(単位：百万円)					
区分		R4年度 計画①	R4年度 実績②	R3年度 実績	②/①	評価	区分	R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績	
業務量	病床数（床）	640	640	330	100.0%		収益	入院収益	16,142	16,550	8,896
	病床利用率（%）	87.4	77.7	65.9	88.9%			外来収益	4,756	3,976	2,173
	1日当たり入院患者数（人）	537	478	217	89.0%			その他医業収益	641	376	163
1日当たり外来患者数（人）	1,192	818	330	68.6%	医業収益計			21,539	20,902	11,232	
財務	経常収支比率（%）	86.9	85.2	98.3	98.0%			その他の収益	3,400	3,633	1,602
	医業収支比率（%）	74.9	74.7	83.2	99.7%			収益合計	24,938	24,536	12,834
	入院単価（円）	82,355	94,908	112,097	115.2%		費用	給与費	15,627	13,516	5,889
	外来単価（円）	16,424	19,996	27,239	121.7%			（うち退職給与金）	417	210	140
	給与費比率（%）	72.6	64.7	52.4	89.1%			材料費	6,948	8,026	5,041
	材料費比率（%）	32.3	38.4	44.9	118.9%			経費	4,759	5,584	1,960
経費比率（%）	22.1	26.7	17.5	120.8%	減価償却費			1,291	650	554	
平均在院日数（日）	11.0	12.0	13.7	109.1%	◎			その他の医業費用	132	204	63
紹介率（%）	66.8	75.7	70.6	113.3%	◎		医業費用計	28,758	27,980	13,508	
逆紹介率（%）	115.9	81.9	180.0	70.7%	△		その他費用	5,906	5,792	511	
救急患者数（人）	6,532	8,003	4,152	122.5%	◎		費用合計	34,663	33,773	14,019	
（うち救急車搬送患者数）	3,943	5,537	2,300	140.4%	◎		差引損益	△9,725	△9,237	△1,186	
手術件数（件）	4,501	6,491	1,537	144.2%	◎		一般会計繰入金	1,736	1,760	1,167	
地域連携パス件数	180	415	196	230.6%	◎		当期純損益	△7,989	△7,477	△19	
頭頸部血管内治療件数	80	161	94	201.3%	◎		経常損益	△3,798	△4,163	△245	
TAVI実施件数	69	87	96	126.1%	◎						
リハビリ件数（件）	65,672	65,672	40,661	100.0%	◎						
糖尿病新規入院患者数	98	98	73	100.0%	◎						
糖尿病新規外来患者数	371	495	284	133.4%	◎						
慢性閉塞再開通デバイスを用いた下肢閉塞動脈治療件数	45	40	10	88.9%	◎						
超急性期脳梗塞に対する血管内治療件数	31	47	57	151.6%	◎						
胸腔鏡下弁形成術（MICS）の件数	4	11	4	275.0%	◎						
経皮的カテーテル心筋焼灼術の件数	333	446	403	133.9%	◎						
クリップを使った僧帽弁閉鎖症治療件数	25	38	31	152.0%	◎						
超急性期脳梗塞に対する経皮的脳血栓回収術件数	30	53	17	176.7%	◎						
補助人工心臓ポンプカテーテル治療（インペラ）の件数	21	25	24	119.0%	◎						

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(5) 丹波医療センター

経営指標に係る数値目標							収支計画					
							(単位：百万円)					
区分		R4 年度 計画①	R4 年度 実績②	R3 年度 実績	②/①	評価	区分	R4 年度計画	R4 年度実績	R3 年度実績		
業務量	病床数 (床)	320	320	275	100.0%	○	収益	入院収益	5,049	5,338	4,514	
	病床利用率 (%)	76.5	80.2	78.4	104.8%			外来収益	1,969	2,195	1,984	
	1日当たり入院患者数 (人)	245	257	216	104.9%			その他医業収益	414	404	394	
	1日当たり外来患者数 (人)	542	559	537	103.1%			医業収益計	7,432	7,937	6,892	
	経常収支比率 (%)	92.4	100.9	97.4	109.2%			その他の収益	1,404	1,916	2,045	
財務	医業収支比率 (%)	72.1	75.9	69.1	105.3%		収益合計	8,836	9,853	8,937		
	入院単価 (円)	56,496	56,976	57,358	100.8%		費用	給与費	5,408	5,290	5,182	
	外来単価 (円)	14,955	16,168	15,279	108.1%			(うち退職給与金)	245	213	166	
	給与費比率 (%)	72.8	66.7	75.2	91.6%			材料費	1,629	1,823	1,597	
	材料費比率 (%)	21.9	23.0	23.2	105.0%			経費	2,109	2,192	2,064	
	経費比率 (%)	28.4	27.6	30.0	97.2%			減価償却費	1,130	1,130	1,116	
平均在院日数	12.9	13.6	12.0	105.4%	○			その他の医業費用	32	27	20	
医療機能	紹介率 (%)	78.3	69.3	77.6	88.5%			○	医業費用計	1,308	10,462	9,978
	逆紹介率 (%)	78.1	105.2	87.9	134.7%			◎	その他費用	747	2,530	1,419
	がんの手術件数 (件)	240	298	244	124.2%			◎	費用合計	11,055	12,991	11,397
	緩和ケア病棟の入院患者数	7,655	7,805	7,583	102.0%			○	差引損益	△2,219	△3,138	△2,461
	冠動脈形成術の件数	91	86	93	94.5%		○	一般会計繰入金	923	949	1,147	
	救急患者数	7,700	9,243	7,310	120.0%		◎	当期純損益	△1,296	△2,190	△1,314	
	(うち救急車搬送件数)	2,500	3,211	2,415	128.4%		◎	経常損益	△799	100	△267	
	分娩件数	282	291	303	103.2%		○					
	小児の救急車搬送件数	200	291	168	145.5%		◎					
	リハビリ件数	34,200	45,467	29,452	132.9%		◎					
	へき地診療所への派遣回数	96	89	95	92.7%		○					
	術中迅速病理組織検査実施件数	96	91	100	94.8%		○					
	休日乳がん検診の継続実施 (受診患者数)	65	57	65	87.7%		○					
	消化器がんの内視鏡的治療実施件数	25	37	36	148.0%		◎					
	ポータルX線撮影装置による出張撮影等件数	100	90	89	90.0%		○					
	消化器、循環器救急の 24時間受入れ件数	内視鏡	260	262	255		100.8%	○				
		心カテ	85	83	67	97.6%	○					
	その他	研修医受入人数	45	45	46	100.0%	○					
		医療相談の件数	15,600	19,812	15,796	127.0%	◎					
		県養成医の受入れ人数	12	14	12	116.7%	○					
TVカンファレンスの実施		126	126	127	100.0%	○						
IVナースの年間養成数		12	12	13	100.0%	○						
オープンセミナー等の開催回数		1	1	2	100.0%	○						
診療機器の共同利用件数		C T	700	711	684	101.6%	○					
	MR I	400	403	385	100.8%	○						

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(6) 淡路医療センター

経営指標に係る数値目標						収支計画					
区分		R4年度 計画①	R4年度 実績②	R3年度 実績	②/①	評価	(単位：百万円)				
区分		R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績			区分				
業務量	病床数(床)	441	441	441	100.0%	○	収益	入院収益	9,130	9,407	8,900
	病床利用率(%)	77.1	75.4	71.2	97.8%			外来収益	3,078	3,282	3,079
	1日当たり入院患者数(人)	340	333	314	97.9%			その他医業収益	208	185	189
	1日当たり外来患者数(人)	793	787	766	99.2%			医業収益計	12,416	12,874	12,168
	経常収支比率(%)	102.3	100.6	104.8	98.3%			その他の収益	1,359	1,423	2,462
財務	医業収支比率(%)	83.8	82.5	81.2	98.4%		収益合計	13,775	14,297	14,630	
	入院単価(円)	73,532	77,476	77,661	105.4%		費用	給与費	7,520	7,894	7,671
	外来単価(円)	15,977	17,165	16,599	107.4%			(うち退職給与金)	204	270	214
	給与費比率(%)	60.6	61.3	63.0	101.2%			材料費	3,900	4,272	4,022
	材料費比率(%)	31.4	33.2	33.1	105.7%			経費	2,253	2,318	2,230
	経費比率(%)	18.1	18.0	18.3	99.4%			減価償却費	1,070	1,069	999
平均在院日数	11.9	12.8	11.8	107.6%	その他の医業費用			70	60	59	
医療機能	紹介率(%)	74.0	77.5	74.0	104.7%		○	医業費用計	14,813	15,614	14,982
	逆紹介率(%)	70.0	73.6	72.1	105.1%		○	その他費用	282	294	299
	救急患者数(人)	6,900	7,019	7,008	101.7%		○	費用合計	15,095	15,908	15,282
	(うち救急車搬送患者数)	2,800	3,505	3,121	125.2%		◎	差引損益	△1,319	△1,611	△652
	手術件数(件)	3,620	3,445	3,154	95.2%		○	一般会計繰入金	1,664	1,698	1,706
	リハビリ延単位数(単位)	63,500	65,384	64,754	103.0%		○	当期純損益	345	87	1,054
	認知症鑑別診断件数(人)	272	289	280	106.3%		○	経常損益	344	90	727
	子宮動脈塞栓術(UAE)の実施件数	5	6	7	120.0%		◎				

各県立病院の目標・計画（経営計画）
 (7) ひょうごこころの医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R4年度 計画①	R4年度 実績②	R3年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	254	254	254	100.0%	/	
	病床利用率(%)	60.6	59.6	47.8	98.3%		
	1日当たり入院患者数(人)	154	151	121	98.1%		
	1日当たり外来患者数(人)	204	203	208	99.5%		
	経常収支比率(%)	92.7	103.9	94.3	112.1%		
財務	医療収支比率(%)	41.8	44.7	35.2	106.9%		
	入院単価(円)	26,079	27,861	25,256	106.8%		
	外来単価(円)	6,443	6,921	6,568	107.4%		
	給与費比率(%)	171.7	157.5	200.5	91.7%		
	材料費比率(%)	9.8	9.8	10.7	100.0%		
医療機能	経費比率(%)	33.6	33.4	40.7	99.4%		
	平均在院日数(日)	60.8	47.7	49.5	78.5%		○
	紹介率(%)	82.0	82.3	91.3	100.4%		○
	逆紹介率(%)	45.0	38.9	47.1	86.4%		○
	クリニカルパス数	8	8	8	100.0%		○
	救急患者数(人)	370	533	413	144.1%	◎	
	訪問看護件数(件)	3,500	3,422	3,402	97.8%	○	
相談件数	57,000	67,103	59,594	117.7%	○		

収支計画

(単位:百万円)

区分		R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績
収益	入院収益	1,465	1,540	1,119
	外来収益	320	342	330
	その他医療収益	16	17	18
	医療収益計	1,801	1,899	1,467
	その他の収益	563	900	1,019
	収益合計	2,365	2,799	2,486
費用	給与費	3,094	2,991	2,942
	(うち退職給与金)	204	252	179
	材料費	177	185	158
	経費	605	634	597
	減価償却費	413	423	454
	その他の医療費用	23	17	19
	医療費用計	4,312	4,249	4,170
	その他費用	91	93	100
	費用合計	4,403	4,343	4,270
	差引損益	△2,038	△1,544	△1,784
	一般会計繰入金	1,715	1,719	1,643
当期純損益	△323	175	△141	
経常損益	△321	170	△245	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(8) こども病院

経営指標に係る数値目標						収支計画					
						(単位：百万円)					
区分		R4年度 計画①	R4年度 実績②	R3年度 実績	②/①	評価	区分		R4年度計画	R4実績	R3年度実績
業務量	病床数(床)	282	282	282	100.0%	/	収益	入院収益	8,810	8,709	8,437
	病床利用率(%)	81.5	80.5	78.6	98.8%			外来収益	1,968	1,955	1,965
	1日当たり入院患者数(人)	230	227	222	98.7%			その他医業収益	156	134	132
	1日当たり外来患者数(人)	470	460	456	97.9%			医業収益計	10,933	10,798	10,535
	経常収支比率(%)	100.9	99.7	99.0	98.8%			その他の収益	921	1,294	1,525
財務	医業収支比率(%)	79.1	75.6	74.9	95.6%		収益合計	11,854	12,092	12,059	
	入院単価(円)	105,085	105,169	104,245	100.1%		費用	給与費	8,175	8,405	8,176
	外来単価(円)	17,235	17,491	17,811	101.5%			(うち退職給与金)	246	196	173
	給与費比率(%)	74.8	77.8	77.6	104.0%			材料費	2,368	2,476	2,438
	材料費比率(%)	21.7	22.9	23.1	105.5%			経費	2,126	2,292	2,147
	経費比率(%)	19.4	21.2	20.4	109.3%			減価償却費	1,052	1,055	1,247
	平均在院日数(日)	11.4	11.5	11.1	100.9%			その他の医業費用	101	62	58
紹介率(%)	87.8	84.9	87.7	96.7%	医業費用計			13,822	14,291	14,067	
医療機能	逆紹介率(%)	65.1	66.3	62.3	101.8%		その他費用	174	162	313	
	救急患者数(人)	13,600	14,743	12,936	108.4%		費用合計	13,996	14,453	14,380	
	小児の救急車搬送患者数(人)	1,400	2,467	1,750	176.2%		差引損益	△2,142	△2,361	△2,321	
	手術件数(件)	3,300	4,306	3,213	130.5%		一般会計繰入金	2,251	2,306	2,227	
	開心術(件)	180	172	169	95.6%		当期純損益	109	△55	△93	
	ハイリスク妊娠数(人)	180	149	159	82.8%		経常損益	125	△49	△136	
	母体搬送受入数(人)	170	114	153	67.1%						
	2500g未満新生児実入院患者数(人)	230	241	229	104.8%						
	新生児搬送受入総数(人)	180	178	179	98.9%						
	造血幹細胞移植	42	27	39	64.3%						
	リハビリテーション実施単位	19,560	17,690	18,817	90.4%						
	看護相談外来	1,980	1,909	1,876	96.4%						

各県立病院の目標・計画（経営計画）
 (9) がんセンター

経営指標に係る数値目標						収支計画						
						(単位：百万円)						
区分		R4年度 計画①	R4年度 実績②	R3年度 実績	②/①	評価	区分	R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績		
業務量	病床数(床)	360	360	377	100.0%	/	収益	入院収益	7,170	6,873	6,499	
	病床利用率(%)	73.2	69.1	62.4	94.4%			外来収益	9,077	9,405	9,251	
	1日当たり入院患者数(人)	264	249	235	94.3%			その他医業収益	489	435	446	
	1日当たり外来患者数(人)	667	683	669	102.4%			医業収益計	16,735	16,714	16,197	
経常収支比率(%)	97.4	99.8	97.3	102.5%	その他の収益			599	1,181	983		
医業収支比率(%)	90.1	89.4	88.9	99.2%	収益合計			17,334	17,895	17,180		
財務	入院単価(円)	74,544	75,731	75,635	101.6%		費用	給与費	6,769	6,832	6,849	
	外来単価(円)	55,970	56,665	57,141	101.2%			(うち退職給与金)	317	303	355	
	給与費比率(%)	40.4	40.9	42.3	101.2%			材料費	8,707	8,687	8,338	
	材料費比率(%)	52.0	52.0	51.5	100.0%			経費	2,094	2,200	2,066	
	経費比率(%)	12.5	13.2	12.8	105.6%			減価償却費	839	856	843	
	平均在院日数	11.5	11.5	11.5	100.0%			その他の医業費用	157	114	121	
医療機能	紹介率(%)	97.0	97.7	97.1	100.7%			○	医業費用計	18,566	18,689	18,218
	逆紹介率(%)	75.0	79.1	74.2	105.5%			○	その他費用	111	109	115
	リハビリ件数	20,000	15,403	16,175	77.0%			△	費用合計	18,677	18,798	18,332
	クリニカルパス件数	163	163	163	100.0%			○	差引損益	△1,343	△903	△1,153
	手術件数	3,190	3,238	3,175	101.5%			○	一般会計繰入金	854	873	864
	放射線治療件数	15,000	14,419	14,185	96.1%			○	当期純損益	△489	△30	△289
	放射線診断件数	75,000	78,326	74,338	104.4%		○	経常損益	△479	△35	△491	
	化学療法件数	20,000	18,816	18,706	94.1%		○					
	[うち外来化学療法件数]	14,500	13,333	13,891	92.0%		○					
	がん登録届出件数	3,400	3,543	3,604	104.2%		○					
	相談支援件数	1,400	1,841	1,861	131.5%		◎					
	薬剤管理指導件数	13,900	14,748	14,012	106.1%		○					

各県立病院の目標・計画（経営計画）
（10-1）粒子線医療センター

経営指標に係る数値目標						収支計画					
						(単位：百万円)					
区分		R4年度 計画①	R4年度 実績②	R3年度 実績	②/①	評価	区分	R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績	
業務量	病床数 (床)	50	50	50	100.0%	/	収益	入院収益	810	655	589
	病床利用率 (%)	64.3	47.8	46.2	74.3%			外来収益	245	251	175
	1日当たり入院患者数 (人)	32	24	23	75.0%			その他医業収益	35	7	16
	1日当たり外来患者数 (人)	20	18	15	90.0%			医業収益計	1,090	913	780
経常収支比率 (%)	75.7	65.2	67.0	86.1%	その他の収益			428	392	420	
財務	医業収支比率 (%)	46.0	36.7	37.4	79.8%		収益合計	1,518	1,304	1,200	
	入院単価 (円)	69,028	75,127	69,944	108.8%		費用	給与費	619	627	641
	外来単価 (円)	49,959	56,310	47,718	112.7%			(うち退職給与金)	46	55	24
	給与費比率 (%)	56.8	68.7	82.2	121.0%			材料費	88	64	62
	材料費比率 (%)	8.0	7.0	7.9	87.5%			経費	1,079	1,271	1,058
	経費比率 (%)	99.0	139.3	135.7	140.7%			減価償却費	562	516	311
平均在院日数 (日)	33.5	32.1	35.7	95.8%	その他の医業費用			21	6	12	
医療機能	紹介率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0%		○	医業費用計	2,369	2,483	2,084
	逆紹介率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0%		○	その他費用	265	260	417
	医師派遣等件数	72	92	73	127.8%		◎	費用合計	2,634	2,743	2,501
	クリニカルパス導入状況 (種類)	97	100	97	103.1%		○	差引損益	△1,115	△1,439	△1,302
	セカンドオピニオン実施状況 (件数)	50	65	52	130.0%		◎	一般会計繰入金	475	484	505
	インシデント報告件数	300	240	223	80.0%		○	当期純損益	△640	△955	△796
	経過観察 (電話相談) 件数	3,000	2,503	2,828	83.4%		○	経常損益	△638	△955	△777
	連携病院からの通院患者数	30	13	0	43.3%		▲				
	外国人患者の治療実績	1	1	0	100.0%	○					
	その他	患者満足度 (%)	96.0	未実施	未実施	—	—				
医療相談件数		35	71	36	202.9%	◎					

各県立病院の目標・計画（経営計画）
（10-2）神戸陽子線センター

経営指標に係る数値目標

区分		R4年度 計画①	R4年度 実績②	R3年度 実績	②/①	評価
業務量	病床数（床）	—	—	—		
	病床利用率（%）	—	—	—		
	1日当たり入院患者数（人）	—	—	—		
	1日当たり外来患者数（人）	38	37	33	97.4%	
	経常収支比率（%）	68.7	64.9	67.6	94.5%	
財務	医療収支比率（%）	49.5	43.8	46.3	88.5%	
	入院単価（円）	—	—	—	—	
	外来単価（円）	73,291	64,267	71,952	87.7%	
	給与費比率（%）	46.9	55.3	48.7	117.9%	
	材料費比率（%）	1.6	2.6	1.5	162.5%	
医療機能	経費比率（%）	76.2	78.9	76.5	103.5%	
	紹介率	100.0	100.0	100.0	100.0%	○
	逆紹介率	100.0	100.0	100.0	100.0%	○

収支計画

（単位：百万円）

区分		R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績
収益	入院収益	—	—	—
	外来収益	674	573	581
	その他医療収益	1	1	3
	医療収益計	675	574	584
	その他の収益	282	284	298
	収益合計	957	858	882
費用	給与費	317	318	284
	（うち退職給与金）	1	3	19
	材料費	11	15	8
	経費	514	453	447
	減価償却費	520	519	518
	その他の医療費用	2	5	3
	医療費用計	1,363	1,309	1,260
	その他費用	97	96	417
	費用合計	1,460	1,405	2,501
	差引損益	△503	△547	△475
	一般会計繰入金	46	53	52
当期純損益	△457	△494	△422	
経常損益	△456	△494	△439	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

（11）災害医療センター

経営指標に係る数値目標						収支計画					
区分		R4年度 計画①	R4年度 実績②	R3年度 実績	②/①	評価	(単位：百万円)				
区分		R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績			区分	R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績	
業務量	病床数（床）	30	30	30	100.0%		収益	入院収益	0	0	0
	病床利用率（%）	81.5	77.4	76.4	95.0%			(1,562)	(1,515)	(1,472)	
	1日当たり入院患者数（人）	24	23	23	95.8%			0	0	0	
	1日当たり外来患者数（人）	1	3	2	300.0%			(27)	(99)	(86)	
財務	経常収支比率（%）	100.0	100.3	103.9	100.3%			0	0	0	
	医業収支比率（%）	72.5	73.7	74.2	101.7%			(9)	(26)	(10)	
	入院単価（円）	175,061	178,717	175,809	102.1%			0	0	0	
	外来単価（円）	170,212	94,349	155,509	55.4%			(1,598)	(1,639)	(1,568)	
	給与費比率（%）	84.0	81.8	82.6	97.4%			159	157	162	
	材料費比率（%）	30.9	31.2	30.6	101.0%		(49)	(58)	(26)		
	経費比率（%）	21.7	21.6	21.0	99.5%		159	157	162		
医療機能	平均在院日数（日）	6.7	7.3	6.9	109.0%		(1,647)	(1,697)	(1,594)		
	手術件数（件）	1,200	1,245	1,225	103.8%						
	（うち高額手術件数）	210	214	215	101.9%						
費用	給与費	45	33	37		0	0	0			
	（うち退職給与金）	(0)	(0)	(0)		(1,342)	(1,340)	(1,295)			
	材料費	0	0	0		0	0	0			
	経費	627	626	687		(494)	(511)	(479)			
	減価償却費	144	140	147		(347)	(354)	(330)			
	その他の医業費用	0	3	1		0	3	1			
	医業費用計	817	802	871		(21)	(18)	(9)			
	その他費用	37	37	38		817	802	871			
	費用合計	853	838	909		(2,204)	(2,223)	(2,113)			
		(98)	(92)	(81)		37	37	38			
	(2,302)	(2,315)	(2,194)								
差引損益	△694	△681	△747								
	(△656)	(△619)	(△600)								
一般会計繰入金	694	681	747								
	(656)	(625)	(685)								
当期純損益	0	0	0								
	(0)	(6)	(85)								
経常損益	0	0	0								
	(0)	(6)	(85)								

※上段は病院局の決算・計画、下段（ ）書きは指定管理病院の決算・計画を記載

各県立病院の目標・計画（経営計画）
（１２）リハビリテーション中央病院

経営指標に係る数値目標

区分		R4年度 計画①	R4年度 実績②	R3年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数（床）	330	330	330	100.0%		
	病床利用率（%）	73.4	72.5	68.2	98.8%		
	1日当たり入院患者数（人）	242	239	225	98.8%		
	1日当たり外来患者数（人）	224	234	213	104.5%		
財務	経常収支比率（%）	100.0	101.6	101.1	101.6%		
	医業収支比率（%）	87.2	85.8	91.2	98.4%		
	入院単価（円）	35,017	39,935	37,203	114.0%		
	外来単価（円）	18,777	17,215	18,737	91.7%		
	給与費比率（%）	66.1	61.3	65.1	92.7%		
	材料費比率（%）	26.0	26.0	26.0	100.0%		
	経費比率（%）	22.6	29.2	29.6	129.2%		
医療機能	紹介率（%）	67.7	70.7	64.6	104.4%		○
	逆紹介率（%）	71.8	71.3	68.3	99.3%		○
	糖尿病教育入院患者数	1	1	1	100.0%	○	

収支計画

（単位：百万円）

区分		R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績	
収益	入院収益	0 (3,097)	0 (3,486)	0 (3,056)	
	外来収益	0 (1,020)	0 (979)	0 964()	
	その他医業収益	0 (64)	0 (69)	0 (63)	
	医業収益計	0 (4,181)	0 (4,534)	0 (4,083)	
	その他の収益	391 (325)	394 (552)	455 (623)	
	収益合計	391 (4,506)	394 (5,086)	455 (4,706)	
	費用	給与費	33 (2,762)	21 (2,780)	21 (2,660)
		（うち退職給与金）	0 (0)	0 (0)	0 (0)
材料費		0 (1,088)	0 (1,181)	0 (1,061)	
経費		302 (945)	300 (1,326)	282 (1,210)	
減価償却費		366 (0)	363 (0)	425 (0)	
その他の医業費用		0 (0)	7 (0)	6 (0)	
医業費用計		701 (4,795)	691 (5,287)	734 (4,931)	
その他費用		26 (0)	25 (0)	27 (0)	
費用合計		728 (4,795)	716 (5,287)	761 (4,931)	
差引損益		△337 (△289)	△322 (△201)	△306 (△225)	
一般会計繰入金	337 (289)	322 (288)	306 (281)		
当期純損益	0 (0)	0 (87)	0 (57)		
経常損益	0 (0)	0 (87)	1 (57)		

※上段は病院局の決算・計画、下段（ ）書きは指定管理病院の決算・計画を記載

各県立病院の目標・計画（経営計画）
（13）リハビリテーション西播磨病院

経営指標に係る数値目標						収支計画						
区分		R4年度 計画①	R4年度 実績②	R3年度 実績	②/①	評価	(単位：百万円)					
区分		R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績			区分					
業務量	病床数（床）	100	100	100	100.0%		収益	入院収益	0 (1,344)	0 (1,203)	0 (1,271)	
	病床利用率（%）	95.5	84.1	87.8	88.1%			外来収益	0 (352)	0 (328)	0 (343)	
	1日当たり入院患者数（人）	95	84	88	88.4%			その他医業収益	0 (26)	0 (32)	0 (24)	
	1日当たり外来患者数（人）	46	38	40	82.6%			医業収益計	0 (1,722)	0 (1,563)	0 (1,639)	
財務	経常収支比率（%）	100.0	96.7	99.6	96.7%			その他の収益	217 (26)	213 (33)	236 (34)	
	医業収支比率（%）	91.8	88.1	91.2	96.0%			収益合計	217 (1,748)	213 (1,597)	236 (1,673)	
	入院単価（円）	38,557	39,197	39,694	101.7%			費用	給与費	23 (1,047)	11 (1,021)	11 (1,030)
	外来単価（円）	31,494	35,208	35,440	111.8%				(うち退職給与金)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	給与費比率（%）	60.8	65.3	62.9	107.4%				材料費	0 (319)	0 (305)	0 (315)
	材料費比率（%）	18.5	19.5	19.2	105.4%				経費	128 (510)	120 (448)	125 (459)
	経費比率（%）	29.6	28.7	28.0	97.0%		減価償却費		206 (0)	202 (0)	225 (0)	
紹介率（%）	90.0	91.2	92.0	101.3%	○	その他の医業費用	0 (0)		0 (0)	0 (0)		
逆紹介率（%）	151.5	157.3	143.9	103.8%	○	医業費用計	358 (1,876)		333 (1,774)	361 (1,804)		
回復期病棟在宅復帰率（%）	87.6	89.1	83.3	101.7%	○	その他費用	14 (0)	13 (0)	13 (0)			
医療機能	P Tリハビリ件数（単位）	74,600	64,801	66,414	86.9%	○	費用合計	371 (1,876)	346 (1,774)	374 (1,804)		
	O Tリハビリ件数（単位）	73,614	63,273	64,578	86.0%	○	差引損益	△154 (△127)	△133 (△177)	△138 (△131)		
	S Tリハビリ件数（単位）	41,811	31,678	38,793	75.8%	△	一般会計繰入金	154 (127)	133 (119)	138 (124)		
	認知症鑑別診断件数（人）	1,141	1,284	1,248	112.5%	○	当期純損益	0 (0)	0 (△58)	0 (△7)		
	脳卒中地域連携バス件数（人）	112	76	99	67.9%	△	経常損益	0 (0)	0 (△58)	0 (△7)		
その他	認知リハビリ件数（人）	4,116	3,064	2,976	74.4%	△	※上段は病院局の決算・計画、下段（ ）書きは指定管理病院の決算・計画を記載					
	音楽療法件数（人）	3,739	3,312	3,198	88.6%	○						
	園芸療法件数（人）	1,934	1,259	245	65.1%	△						
	認知症専門医療相談件数（人）	2,553	2,622	2,396	102.7%	○						
	短時間通所リハ件数（人）	1,073	581	577	54.1%	▲						